

SONY®


SONY®

FWD-40LX2F/40LX2X/32LX2F/32LX2X

Flat Wide Display Monitor

取扱説明書 _____ **JP**Operating Instructions _____ **GB**Mode d'emploi _____ **FR**Bedienungsanleitung _____ **DE**Manual de instrucciones _____ **ES**Istruzioni per l'uso _____ **IT**使用说明书 _____ **CS**

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FWD-40LX2F/40LX2X/32LX2F/32LX2X

© 2006 Sony Corporation

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

<http://www.sony.net/>

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Sony Corporation Printed in China

SRS (●) **WOW** **BBE** **DIGITAL**

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。
8ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

<ul style="list-style-type: none">・煙が出たら・異常な音、においがしたら・内部に水、異物が入ったら・製品を落としたりキャビネットを破損したときは	→	<ol style="list-style-type: none">① ディスプレイの電源を切る。② ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。
--	---	---

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
電池についての安全上のご注意	7
本機の性能を保持するために	8
設置するときのご注意	10

各部の名称と働き

前面パネル	11
サイドパネル	12
オプションアダプター	14
後面パネル	15
リモコン	16
ボタンの機能	16
リモコンの特別ボタン	18
ワイド切換を使う	18
2画面設定を使う	19
ID MODE ボタンを使う	20
ECO モード機能を使う	20

JP

接続

スピーカーの接続	21
電源コードの接続	21
ケーブルを処理する	22

メニューの設定

メニュー一覧	24
画質メニュー	26
音質メニュー	28
画面調整メニュー	29
設定メニュー	33

その他の情報

故障かな?と思ったら	36
入力信号一覧表	38
仕様	39
索引	41



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。

規定の電源電圧で使う



指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない



禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物をいれない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に



指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。

壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

安全アースを接続する

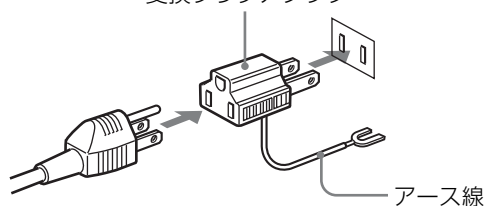


アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合 付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合 付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- ・アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

変換プラグアダプター



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない



高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。



注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する



注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する



注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となる場合があります。

水のある場所に設置しない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となる場合があります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。ほかの電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 設置の項（10 ページ）に従って設置してください。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する



注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売の専用スタンドをご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う



注意

本機を据え置きする際には、万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く



注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する



注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っ掛けたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する



指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する



指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全 上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れ

により、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。



接触禁止

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



指示

必ず次の処理をする

液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



禁止

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。



禁止

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



注意

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。



指示

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておく、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

JP

本機の性能を保持するために

液晶パネルについて

- ・画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。ご了承ください。
- ・液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- ・前面のフィルターを強く押ししたり、引っかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- ・寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- ・静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、表示内容を変えたり、画面全体を白表示にすることで徐々に解消されます。なお、長期にわたり同じ表示を続けた場合は、元に戻らなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・使用中に画面やキャビネットが温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

設置についてのご注意

ほかの機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

ディスプレイのお手入れについて

スクリーン面の汚れは

- ・お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- ・アルコールやシンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装の汚れは

- ・乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- ・アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤などは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。

ディスプレイ表面の取扱いについてのご注意

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、 カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、 ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	— ¹⁾	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国・地域規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

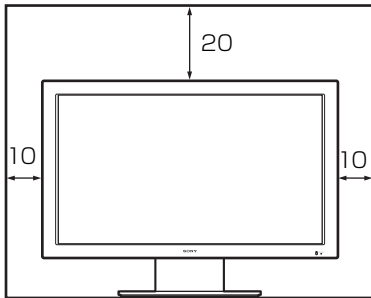
設置するときの注意

周囲に十分なスペースをとる

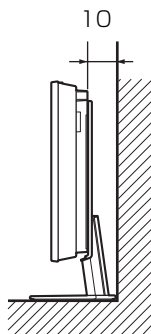
- ・ 内部の温度上昇を防ぐため、密閉状態にならないようにディスプレイの周囲に少なくとも下図に示す距離をあけて、通風を確保してください。
- ・ 周囲の温度は0℃～35℃の範囲でご使用ください。
- ・ スタンドを使用するときは、必ず専用ディスプレイスタンドSU-42FW/32FW（別売）をご使用ください。
- ・ ブラケットやネジ、ボルトなどの設置機材について特定の製品を指定することはできません。実際の設置は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。設置についてはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- ・ 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

ディスプレイスタンドを使用する場合

前面



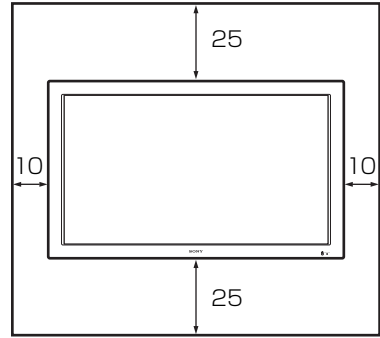
側面



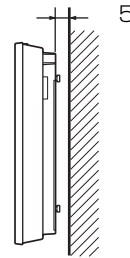
単位：cm

水平方向で使用する場合

前面



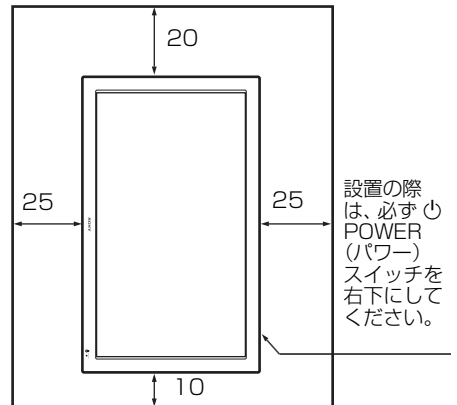
側面



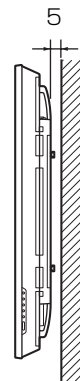
単位：cm

垂直方向で使用する場合

前面



側面

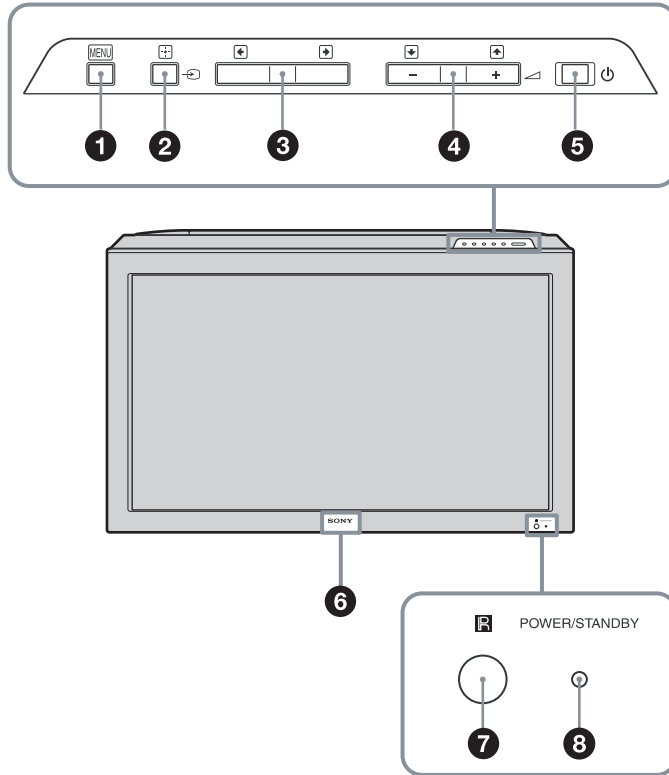


単位：cm

ご注意

本機を垂直方向で使用するときは、スピーカー SS-SP40FW/32FW（別売）は使用できません。

前面パネル



1 MENU (24 ページ)

2 (INPUT)

- ・メニュー画面で、「決定」ボタンとして使います。
- ・メニュー画面以外では、入力信号を切り換えます。
- HD15/HDMI 1/HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2 端子からの入力信号を選びます。
- OPTION 1/OPTION 2 スロットにオプションアダプターがないときは、OPTION 1/OPTION 2 をスキップします。

3

- ・メニュー画面で、左右の移動ボタンとして使います。
- ・2画面モードでメニュー画面以外のはきは、アクティブ画面や画面サイズを切り換えます。

4

- ・(+) と (-) で音量を調整します。
- ・メニュー画面で、上下の移動ボタン (/) として使います。

5

本機の電源を入/切 (スタンバイ) します。

ご注意

パネル保護のため、電源の入/切 (スタンバイ) に時間がかかります。再度、電源を入れる場合は約5秒待ってから行ってください。

6 **ソニーロゴ**

ソニーロゴが点灯します。メニュー画面で「入」/「切」の切り換えができます。34 ページの「詳細設定」をご覧ください。

7 **リモコンセンサー**

8 **POWER/STANDBY (電源/スタンバイ) インジケーター**

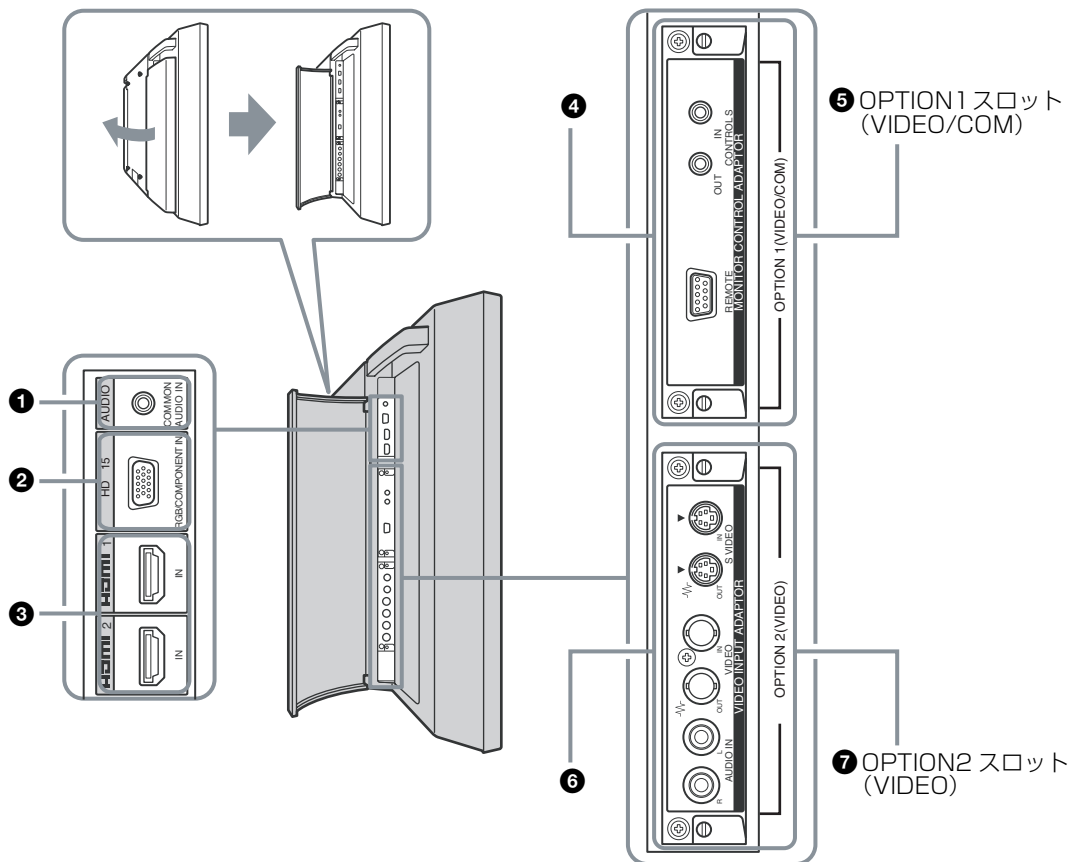
- ・本機の電源を入れると緑色に点灯します。
- ・本機がスタンバイ状態のとき、赤色に点灯します。
- ・現在の入力がビデオまたはSビデオではないとき、パワーセービングモードに入るとオレンジ色に点灯します。

ご注意

「マルチディスプレイ設定」の「LED」が「切」で、「ポジション設定」が右下以外の場合は、ディスプレイの電源が入っていてもインジケーターは緑点灯しません (無信号時/未対応信号時を除く)。

サイドパネル

ケーブルカバー（側面）を開けるには



端子

① AUDIO (COMMON AUDIO IN) (ステレオミニジャック)

② HD 15 (RGB/COMPONENT IN) (D-sub 15ピン)

③ HDMI 1/HDMI 2 IN

説明

音声信号を入力します。映像機器やPCの音声出力端子と接続します。**②**と**③**の音声入力に対応しています。

映像機器やPCのアナログRGB信号出力端子、またはコンポーネント信号出力端子と接続します。40ページをご覧ください。

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は13, 14ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 端子は本機とHDMI対応の音声/映像機器やPCとのインターフェースを提供します。高精細な映像と2チャンネルのデジタル音声をお楽しみいただけます。また、DVI対応機器をHDMI-DVIケーブル(市販品)で接続することもできます。接続された機器によって、音声/映像機器またはPCの適切なモードが自動選択されます。

ご注意

HDMIケーブル(別売)は、必ずHDMIロゴの付いたケーブルをご使用ください。

端子	説明
④ MONITOR CONTROL ADAPTOR (モニターコントロールアダプター) (BKM-FW20 プリインストール)	<p>CONTROL S IN/OUT (ミニジャック)：ディスプレイを含む他機器の CONTROL S 端子に接続すると、1 台のリモコンで複数の機器を操作できます。本機の CONTROL S OUT 端子とほかの機器の CONTROL S IN 端子、本機の CONTROL S IN 端子とほかの機器の CONTROL S OUT 端子を接続します。</p> <p>REMOTE (D-sub 9 ピン)：RS-232C プロトコルを使って本機を遠隔操作するときに使います。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。</p> <p>ご注意</p> <p>このアダプターは OPTION 2 スロットでは動作いたしません。</p>
⑤ OPTION 1 スロット (VIDEO/COM ポート)	<p>映像信号および通信機能に対応したスロットです。オプションアダプター (BKM-FW シリーズなど) を装着すると、入力信号端子を拡張したり、ネットワーク経由でディスプレイ制御を行うことが可能となります。</p>
⑥ VIDEO INPUT ADAPTOR (ビデオ入力アダプター) (BKM-FW10 プリインストール)	<p>S VIDEO IN (ミニ DIN 4 ピン)：映像機器の S ビデオ信号出力端子と接続します。</p> <p>S VIDEO OUT (ミニ DIN 4 ピン)：映像機器の S ビデオ信号入力端子と接続します。</p> <p>VIDEO IN (BNC 型)：映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。</p> <p>VIDEO OUT (BNC 型)：映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。</p> <p>AUDIO IN L/R (ピンジャック)：映像機器の音声出力端子と接続します。</p> <p>ビデオ信号もしくは S ビデオ信号は自動選択されます。ビデオ端子か S ビデオ端子のどちらかに、ケーブル (別売) を接続してください。</p> <p>接続した映像機器が S ビデオ出力端子を装備している場合、S ビデオ端子に接続いただくと、より高画質をお楽しみいただけます。</p>
⑦ OPTION 2 スロット (VIDEO ポート)	<p>映像信号に対応したスロットです。このスロットには、ビデオ信号入出力系のオプションアダプターを装着することができます。通信機能のあるオプションアダプターは、⑤ の OPTION 1 スロットに取り付けてください。</p>

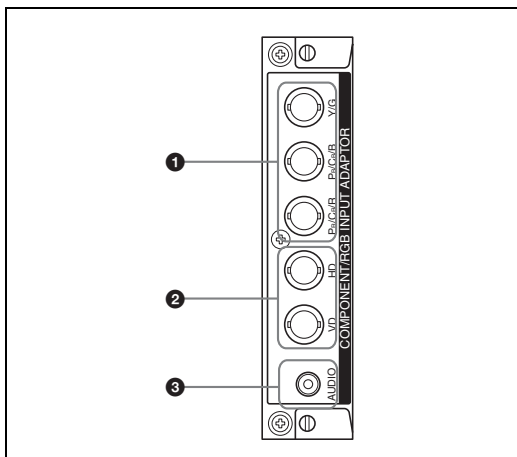
オプションアダプター

サイドパネル ⑤、⑦ の端子部はスロットイン方式になっていて、以下のオプションアダプター（別売）に付け換えることができます。各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ビデオ入力アダプター BKM-FW10

OPTION 2 スロット ⑦ にプリインストールされているアダプターと同じものです。12 ページをご覧ください。

コンポーネント / RGB 入力アダプター BKM-FW11



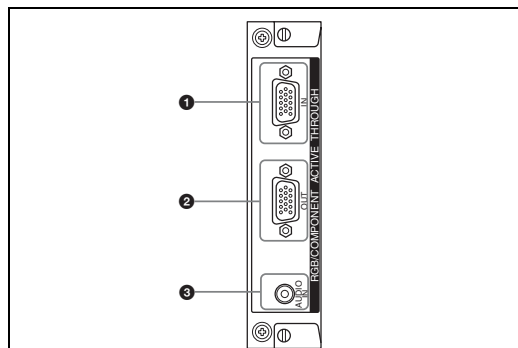
- ① Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R 映像入力端子 (BNC 型) : 映像機器や PC のコンポーネント信号出力端子またはアナログ RGB 信号出力端子と接続します。
- ② HD VD 同期信号入力端子 (BNC 型) : PC の同期信号出力端子と接続します。

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は HD、VD に同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

- ③ AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。

RGB/ コンポーネントアクティブスルーアダプター BKM-FW12



- ① RGB/COMPONENT IN (RGB/ コンポーネント信号入力) 端子 (D-sub 15 ピン) : 映像機器や PC のアナログ RGB 信号出力端子またはコンポーネント信号出力端子と接続します。コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、40 ページのピン配列を参考にしてください。

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

- ② RGB/COMPONENT OUT (RGB/ コンポーネント信号出力) 端子 (D-sub 15 ピン) : 映像機器や PC のアナログ RGB 信号入力端子またはコンポーネント信号入力端子と接続します。
- ③ AUDIO IN (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。

ご注意

本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が接続されていないときは、RGB/COMPONENT OUT 端子からは出力されません。

ネットワークマネジメントアダプター BKM-FW32

詳しくは BKM-FW32 の取扱説明書をご覧ください。

ストリーミングレシーバーアダプター BKM-FW50

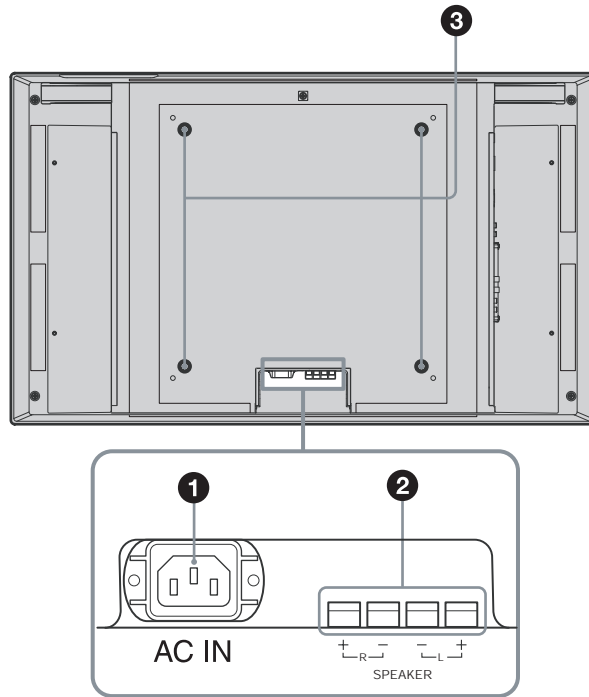
詳しくは BKM-FW50 の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

BKM-FW32/50 にてネットワークケーブルを使用する際は、不要電波の放射を抑えるため、シールドタイプのケーブルをお使いください。また接続方法に関してはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

その他、機能拡張用オプションアダプター BKM-FW シリーズについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

後面パネル

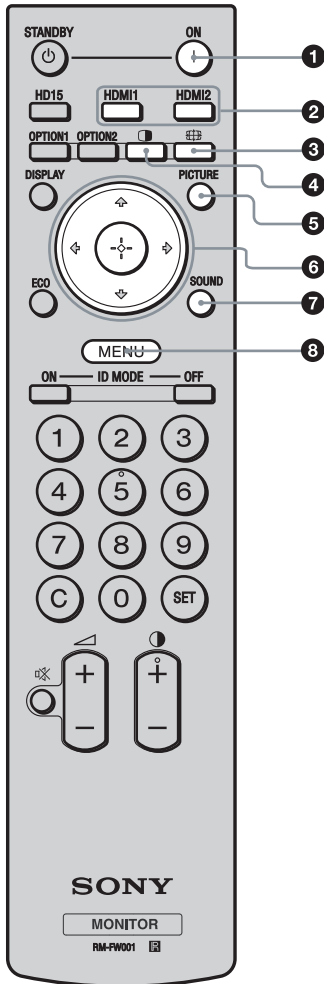


JP

各部	説明
① AC IN (電源入力) ソケット	付属の電源コードをこのソケットとコンセントに接続します。電源コードを接続すると、POWER/STANDBY インジケータが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。21 ページをご覧ください。
② SPEAKER (スピーカー) 端子	スピーカー SS-SP40FW/32FW (別売) をこの端子に接続すると、画面に表示されている信号の音声を出力し、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。また、スピーカーコードのまとめ方は、23 ページをご覧ください。
③ スタンド取り付け用フック	ディスプレイスタンド SU-42FW/32FW (別売) を取り付けるときに使用します。

リモコン

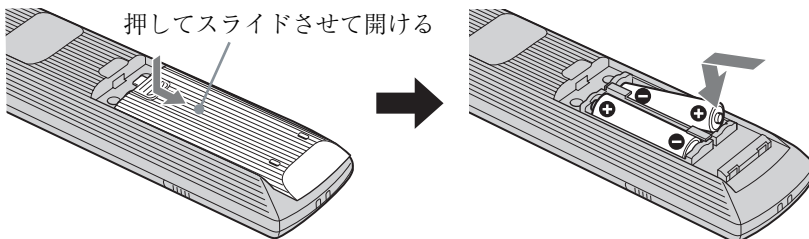
ボタンの機能

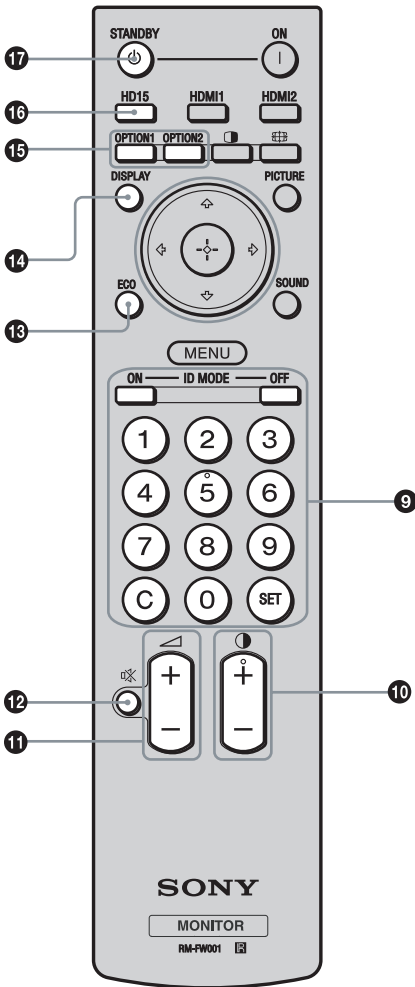


- 1 POWER (電源) ON スイッチ**
押すと電源が入ります。
- 2 HDMI 1/HDMI 2 ボタン**
HDMI 1/HDMI 2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。
- 3 〇 ボタン**
「ワイド切換」で画面のアスペクト比を変更します。18 ページをご覧ください
- 4 2画面/1画面 ボタン**
「2画面」モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、2画面、1画面の順に切り替わります。19 ページをご覧ください。
- 5 PICTURE ボタン**
「画質モード」を切り換えます。ボタンを押すごとに、「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「TC Control」の順に切り替わります。
- 6 上下左右/中心/決定 ボタン**
上下左右/中心 ボタンでメニューのカーソル（黄色）を移動させたり、数値などを設定します。決定 ボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。
2画面モードでは、上下 ボタンでアクティブな画面を切り換えることができます。
- 7 SOUND ボタン**
「音質モード」を選びます。ボタンを押すごとに、「ダイナミック」、「スタンダード」、「SRS WOW」、「カスタム」の順に切り替わります。
- 8 MENU ボタン**
画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。24 ページをご覧ください。

ご注意

- ・ 数字ボタンの「5」および 1 ボタンには、凸部（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。
- ・ 付属の単3形乾電池2本を、リモコンの電池挿入部内部の図を確認しながら、+ 極と - 極を正しく入れてください。





9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) ボタン

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

- ・ ON ボタン：「インデックス番号」を画面上に表示します。
- ・ 0-9 ボタン：操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力します。
- ・ SET ボタン：入力した「インデックス番号」を設定します。
- ・ C ボタン：入力した「インデックス番号」をクリアします。
- ・ OFF ボタン：通常の画面に戻ります。

20 ページをご覧ください。

10 +/- ボタン

画像のコントラストを調整します。

11 +/- ボタン

音量を調整します。

12 静音 ボタン

音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

13 ECO ボタン

バックライトの明るさを調節して電力消費を抑え、黒レベルが強調されます。「切」、「低」、「高」、「消画」から選びます。20 ページをご覧ください。

14 DISPLAY ボタン

現在選択されている入力、入力されている信号の種類および「ワイド切替」設定を画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

15 OPTION 1/OPTION 2 ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。OPTION 1 端子からの信号入力を選ぶには OPTION 1 ボタンを押し、OPTION 2 端子からの信号入力を選ぶには OPTION 2 ボタンを押しします。

16 HD15 ボタン

HD15 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。接続した機器によって RGB 信号またはコンポーネント信号が自動選択されます。

17 STANDBY ボタン

押すとスタンバイ状態になります。

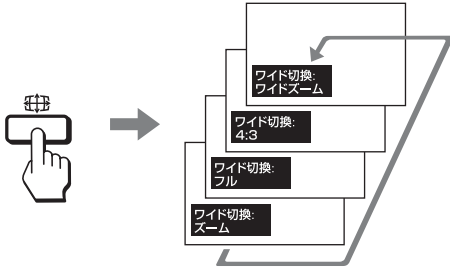
リモコンの特別ボタン

ワイド切換を使う

画面のアスペクト比を変更することができます。

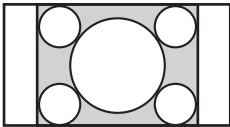
ちょっと一言

「画面調整」メニューからも「ワイド切換」を設定することができます。29、32 ページをご覧ください。

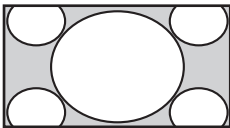


ビデオ、DVD、HDMI 入力の場合（PC 入力以外）

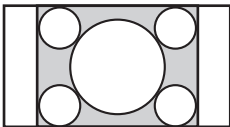
4:3 の映像ソース



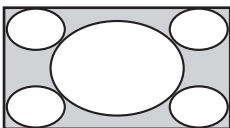
ワイド
ズーム



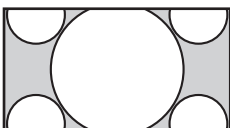
4:3



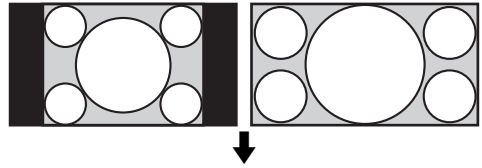
フル



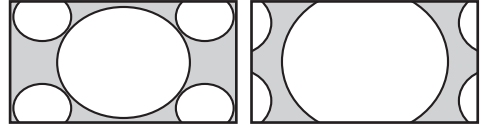
ズーム



16:9 の映像ソース



ワイドズーム



4:3



フル



ズーム

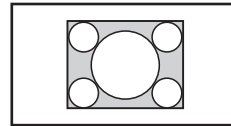


ご注意

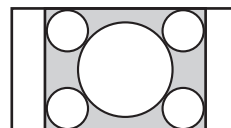
入力信号が 1080i、720p、1080p のときは、「ワイドズーム」および「4:3」は選択できません。29 ページをご覧ください。

PC 入力の場合

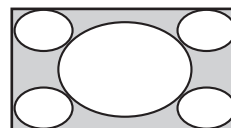
ノーマル



フル 1



フル 2



2画面設定を使う

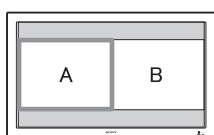
PCとビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。また左右画面の入れ換えや、画面の大きさのバランスも自由に変えられます。

ちょっと一言

「画面調整」メニューからも「2画面設定」を設定することができます。30ページをご覧ください。

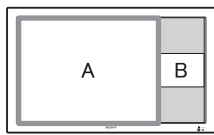


アクティブな画面を示すカーソル



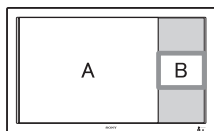
AとBの横幅は同じになります。高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇨ ボタンを押す



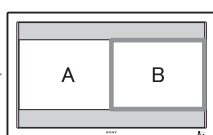
Aの横幅はBの横幅より大きくなります。Aのアスペクト比が4:3なら、Aの高さはパネルのサイズと等しくなります。

⇨ ボタンを押す



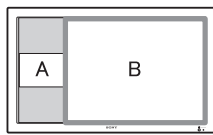
右側のBがアクティブな画像となります。

⇨ ボタンを押す



AとBの横幅は同じになります。高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇨ ボタンを押す



Bの横幅はAの横幅より大きくなります。Bのアスペクト比が4:3なら、Bの高さはパネルのサイズと等しくなります。

JP

利用可能な2画面の組み合わせ

		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RGB	コンポーネント	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	コンポーネント	ビデオ	Sビデオ
HD15	RGB	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンポーネント	○	○	○	○	○	○	○	○
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○	○	○	○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○	○	○	○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RGB	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンポーネント	○	○	○	○	○	○	○	○
	ビデオ	○	○	○	○	○	○	○	○
	Sビデオ	○	○	○	○	○	○	○	○

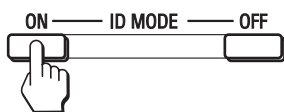
ID MODE ボタンを使う

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 ON ボタンを押す。

「インデックス番号」が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます（「インデックス番号」は、1 から 255 の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています）。

インデックス番号



2 リモコンの0から9のボタンで、操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力する。

すべてのディスプレイの「インデックス番号」の右に、入力した数字が表示されます。

入力された番号



3 SET ボタンを押す。

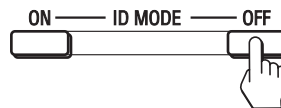
選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。



これで特定のディスプレイ（文字が緑色に変わったディスプレイ）のみを操作できます（POWER（電源）ONスイッチ、STANDBY ボタン、および ID MODE-OFF ボタンの操作だけは、ほかのディスプレイにも有効です）。

4 設定変更等の操作が終了したら、OFF ボタンを押す。

ディスプレイは通常の画面に戻ります。



インデックス番号を訂正するには

C ボタンを押して、現在入力されている「インデックス番号」を消去します。手順2に戻り、新しい「インデックス番号」を入力します。

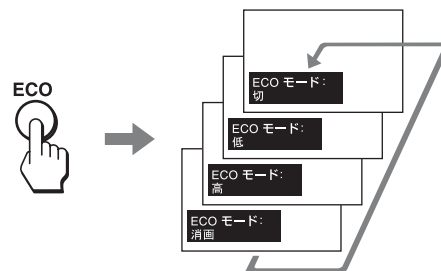


ちょっと一言

ディスプレイの「インデックス番号」を変更するには、34 ページの「コントロール設定」の「リモートインデックス」をご覧ください。

ECO モード機能を使う

本機の消費電力を減らすことができます。



ECO モードを解除するには

「ECO モード: 切」が表示されるまで、ECO ボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

- ・「ECO モード」を有効にしたまま本機の電源を切ると、次に本機の電源を入れたときも設定されたモードが保持されます（「消画」の場合を除く）。
- ・「設定」メニューからも「ECO モード」を設定することができます。「設定」メニューから「ECO モード」を選び、「切」、「低」、「高」、「消画」のいずれかに設定してください。

接続

接続上のご注意

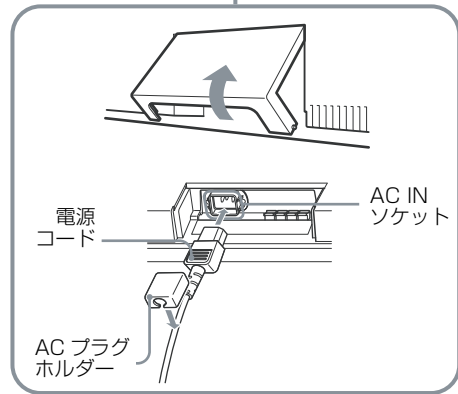
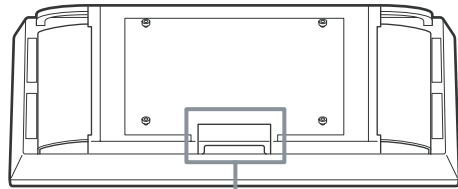
- ・ 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- ・ 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- ・ 接続ケーブルは端子にしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ・ ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。決してケーブルそのものを引っ張らないでください。
- ・ 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 電源コードのプラグは、AC IN ソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- ・ 付属の AC プラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

スピーカーの接続

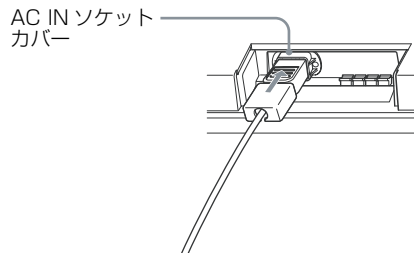
スピーカー SS-SP40FW/32FW（別売）を接続して、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。また、スピーカーコードのまとめ方は、23 ページをご覧ください。

電源コードの接続

- 1 電源コードを底部の AC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。



- 2 AC プラグホルダーをスライドさせて、本体側の AC IN ソケットカバーにはめ込む。



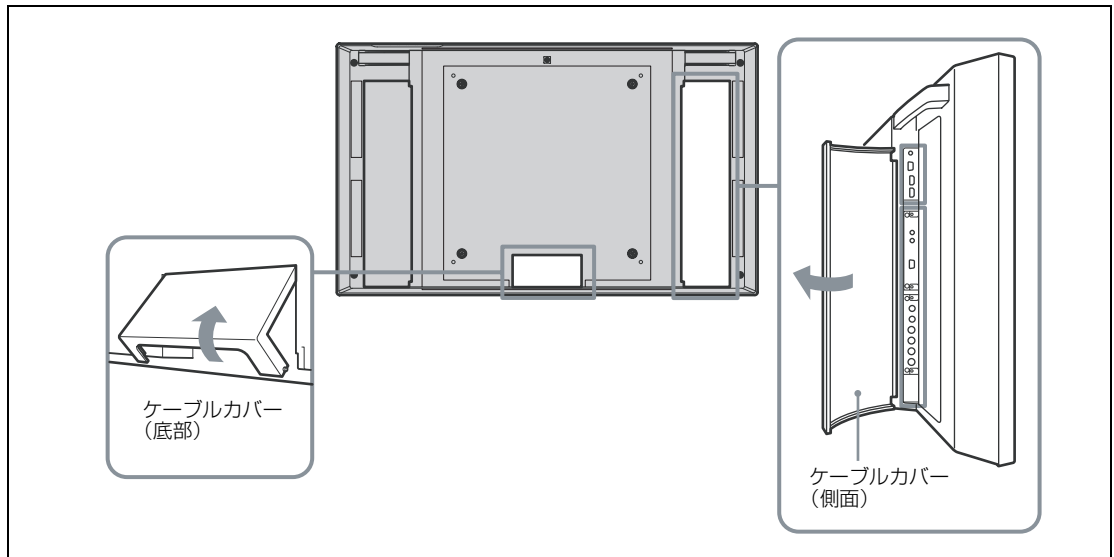
電源コードをはずすには

AC プラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

JP

ケーブルを処理する

本機には、背面をすっきり見せるためにケーブルカバーが取り付けられています。ケーブル類を接続する前に、以下に示すようにケーブルカバーを開けてください。すべてのケーブルを取り付けた後に、ケーブルカバーを閉めてください。



ケーブルホルダーを使う

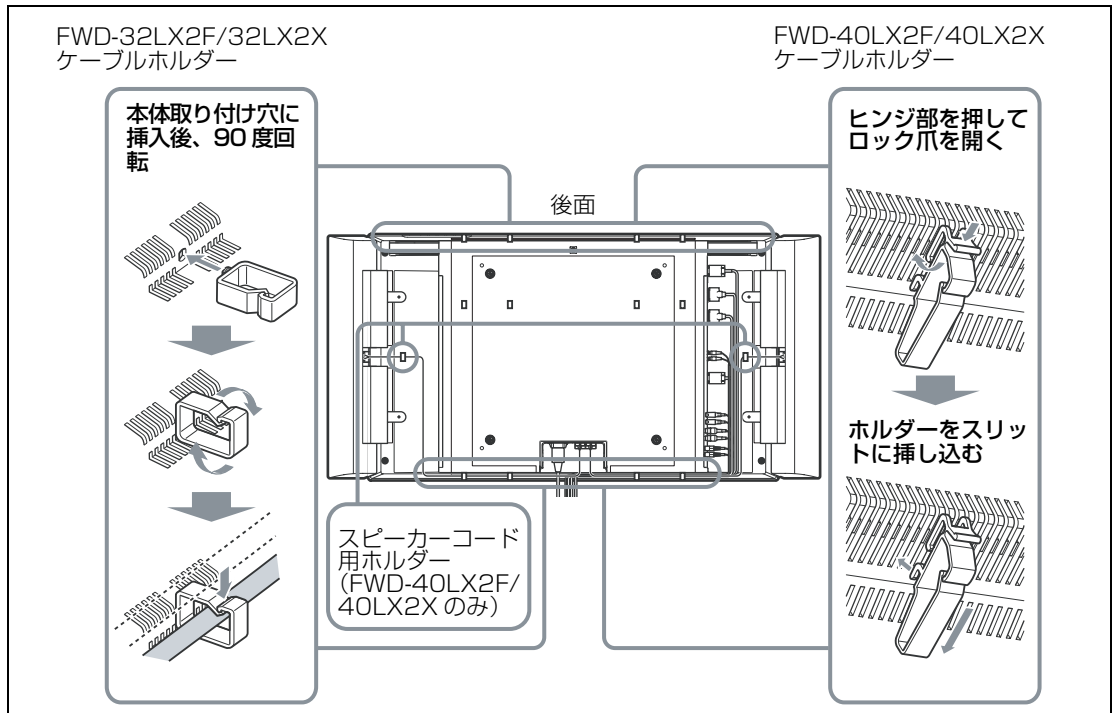
付属のケーブルホルダーを使って、ケーブル類をすっきりまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。

FWD-40LX2F/40LX2X

ケーブルホルダー（4個付属）を上部と底部のスリットに2個ずつ取り付けます。尚、スピーカー（別売）を接続したときは、スピーカーコードをディスプレイ後面のスピーカーコード用ホルダーに通してください。

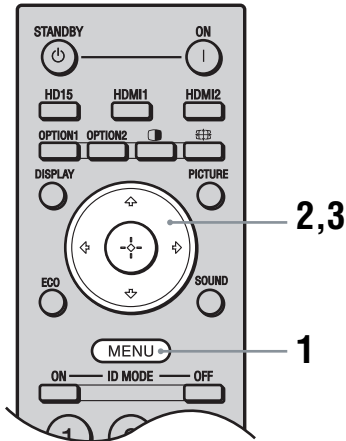
FWD-32LX2F/32LX2X

ケーブルホルダー（6個付属）を取り付け用の穴の8か所（上部に4か所、底部に4か所）のうち、任意の6か所を使って取り付けます。尚、スピーカーコード用ホルダーは付属しません。



JP

メニュー一覽



- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 上/下 ボタンで設定したいメニューのアイコンを選ぶ。
- 3 左 ボタンまたは 右 ボタンを押す。
メニューの操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

メニュー表示の言語を変更する

メニュー表示とメッセージの言語を、「English」、「Español」、「Français」、「Italiano」、「Deutsch」、「日本語」から選びます。初期設定では「English」（英語）に設定されています。33 ページをご覧ください。

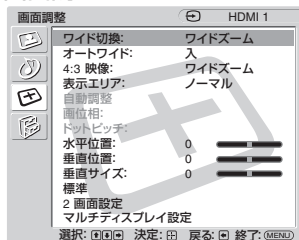
メニュー画面から以下の項目を設定することができます。

メニュー画面	設定／変更できる項目
画質 	画質モード (26、27 ページ) 画質モード標準 (26、27 ページ) コントラスト (26、27 ページ) 明るさ (26、27 ページ) 色の濃さ (26 ページ) 色あい (26 ページ) 色温度 (26、27 ページ) シャープネス (26 ページ) NR (26 ページ) シネーション (26 ページ) True Color Control (26 ページ)
音質 	音質モード (28 ページ) 音質モード標準 (28 ページ) 高音 (28 ページ) 低音 (28 ページ) バランス (28 ページ) 音声入力選択 (28 ページ) スピーカー出力 (28 ページ)

メニュー画面

設定／変更できる項目

画面調整



ワイド切換 (29、32 ページ)
オートワイド (29 ページ)
4:3 映像 (30 ページ)
表示エリア (30 ページ)
自動調整 (32 ページ)
画位相 (32 ページ)
ドットピッチ (32 ページ)
水平位置 (30、32 ページ)
垂直位置 (30、32 ページ)
垂直サイズ (30 ページ)
標準 (30、32 ページ)
2画面設定 (30 ページ)
マルチディスプレイ設定 (31 ページ)

設定



言語 (33 ページ)
タイマー設定 (33 ページ)
ECO モード (33 ページ)
オートシャットオフ (33 ページ)
詳細設定 (34 ページ)
インフォメーション (34 ページ)
オールリセット (34 ページ)
IP Address Setup (35 ページ)
Speed Setup (35 ページ)

* メニュー画面の下の方に表示されているアイコンは、設定項目によっては、働かないことがあります。

画質メニュー

ビデオ入力の場合



項目を選んで設定を変えるには、 \leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow ボタンを押します。
設定を確定するには \oplus ボタンを押します。
「画質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」：映像の輪郭を強調しコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」：標準的な設定です。
「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整します。
「TC Control」：設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

ちょっと一言

- ・ リモコンの PICTURE ボタンでも「画質モード」の設定を切り換えることができます。
- ・ 各入力ごとに「画質モード」を設定することができます。

画質モード標準

現在選択中の「画質モード」（「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「TC Control」）について、すべての設定や調整値を初期設定に戻します（グレイアウトしている項目を除く）。

コントラスト

コントラストの強弱を調整します。

明るさ

映像の明るさを調整します。

色の濃さ

色の濃淡を調整します。

色あい

映像の色調を調整します。

ご注意

入力信号がビデオまたはSビデオで、映像信号のカラー方式がNTSCでない場合、「色あい」は調整できません。

色温度

「高」：青みがかった白色になります。
「中」：中間の白色になります。
「低」：赤みがかった白色になります。

シャープネス

映像の輪郭の強弱を調整します。

NR (ノイズリダクション)

接続した機器からのノイズを軽減します。「入」または「切」を選んでください。

シネモーション

「自動」を選ぶと、映画の映像素材を検知し、リバーズ 3-2 プルダウンまたはリバーズ 2-2 プルダウン処理によって画面表示を自動的に最適化します。動画がより鮮明かつ自然に見えます。「切」を選ぶと、この検知を行いません。

True Color Control

赤、緑、黄、青の4色それぞれについて色合いと鮮やかさを調整することで、画像の中の特定の色を強調したりすることができます。調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。

ご注意

- ・この項目は「画質モード」が「TC Control」の場合に調整することができます。
- ・2画面モード時は、この設定を行うことはできません。たとえ1画面時に設定しても、2画面モード時には反映されない場合があります。

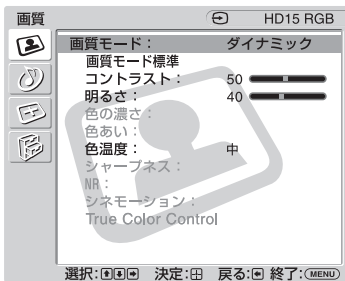
ちょっと一言

それぞれの「画質モード」ごとに、「画質」メニュー（「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」など）を設定することができます。

ご注意

- ・2画面モード時、画質メニューの項目はすべて選択不可能となります。
- ・現在の入力が無信号の場合、「画質」メニューの項目はすべて選択不可能となります。

PC 入力の場合



入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画質」メニューとなります。PC 用の「画質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」：映像の輪郭とコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」：標準的な設定です。
「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整します。
「TC Control」：設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

画質モード標準

現在選択中の「画質モード」（「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「TC Control」）について、すべての設定や調整値を初期設定に戻します（グレイアウトしている項目を除く）。

コントラスト

コントラストの強弱を調整します。

明るさ

映像の明るさを調整します。

色温度

ビデオ入力時の「色温度」をご覧ください（26 ページ）。

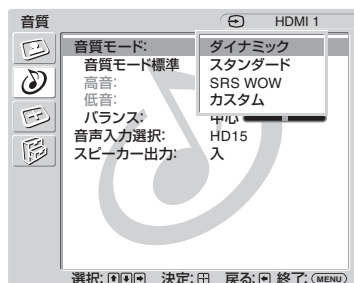
True Color Control

ビデオ入力時の「True Color Control」をご覧ください（27 ページ）。

ご注意

- ・「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR」、「シネーション」は、PC 入力時は調整できません。
- ・2画面モード時、「画質」メニューの項目はすべて選択不可能となります。
- ・現在の入力が無信号の場合、「画質」メニューの項目はすべて選択不可能となります。

音質メニュー



スピーカー SS-SP40FW/32FW（別売）を接続しているときは、各種「音質」メニューを設定することができます。

項目を選んで設定を変えるには、 \leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow ボタンを押します。

設定を確定するには \oplus ボタンを押します。

「音質」メニューには、以下の項目が含まれません。

音質モード

「ダイナミック」：高音と低音を強調します。

「スタンダード」：標準的な設定です。

「SRS WOW」：ふくよかな重低音とクリアな高音によって、立体感のあるステレオ音声を提供します。映画館のような迫力のある音響を楽しむことができます。

「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整します。

ちょっと一言

- ・ リモコンの SOUND ボタンでも「音質モード」の設定を切り換えることができます。
- ・ 「ダイナミック」と「スタンダード」に BBE の技術が使用されています。

音質モード標準

「高音」、「低音」、「バランス」の設定を初期設定に戻します。

高音

高音の強弱を調整します。

低音

低音の強弱を調整します。

バランス

スピーカーの左右出力バランスを調整します。

音声入力選択

「HD15」：HD15（RGB/COMPONENT IN）端子と AUDIO（COMMON AUDIO IN）端子に接続された映像機器や PC からの音声を出力します。

「HDMI 1」／「HDMI 2」：HDMI ケーブル（別売）または HDMI-DVI ケーブルを接続し、さらに別途、対応するオーディオケーブルを同時に接続する場合に選択します。

12 ページをご覧ください。

ご注意

- ・ HDMI-DVI ケーブル（市販品）をご使用の場合は、オーディオケーブルを AUDIO（COMMON AUDIO IN）端子に接続してください。
- ・ 「HDMI 1」または「HDMI 2」を選択すると HDMI 端子からのデジタル音声出力されません。HDMI 端子搭載の映像機器を HDMI 1/HDMI 2 端子に接続するときは、「HD15」に設定してください（デフォルトは「HD15」に設定されています）。

スピーカー出力

「入」：スピーカーから音声を出力します。

「切」：スピーカーから音声を出力しません。

ご注意

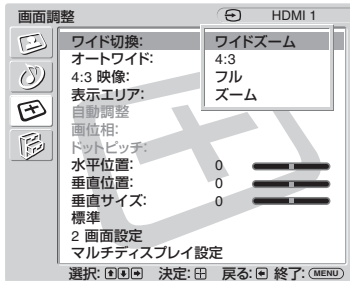
「スピーカー出力」が「切」のときは、「音質モード」、「音質モード標準」、「高音」、「低音」、「バランス」は選択できません。

ちょっと一言

「音質モード」で「カスタム」を選択しているときは、「音質」メニュー（「高音」、「低音」）を設定することができます。

画面調整メニュー

ビデオ入力の場合



項目を選んで設定を変えるには、 \leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow ボタンを押します。
設定を確定するには \oplus ボタンを押します。
「画面調整」メニューには、以下の項目が含まれます。

ワイド切換

「ワイドズーム」：ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。

「4:3」：4:3の映像ソース（標準画質）を、そのままのアスペクト比で表示します。

「フル」：4:3の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。

「ズーム」：アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。

18 ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ・リモコンの $\left[\text{W}$] ボタンでも「ワイド切換」の設定を切り換えることができます。
- ・映画などのDVD映像で、黒帯のある映像を画面いっぱいに映して楽しみたいときは、「ズーム」を選んでください。
- ・「ワイドズーム」または「ズーム」が選ばれているときは、映像の「水平位置」「垂直位置」「垂直サイズ」を調整することができます。30 ページをご覧ください。

ご注意

- ・「2画面」機能または「マルチディスプレイ」使用時は、「ワイド切換」はできません。
- ・コンポーネント端子またはHDMI端子に入力された1080i、720p、1080pの信号に対しては、「ワイドズーム」と「4:3」は選択できません。

オートワイド

「入」：映像を検知して、自動的に適切な画面設定に変更します。

「切」：画面設定を自動で変更しません。

ご注意

- ・入力信号がデジタルおよびアナログRGBのときは、「オートワイド」は働かないので使用できません。
- ・「2画面」機能または「マルチディスプレイ」を使用時は、「オートワイド」は設定できません。

4:3 映像

「ワイドズーム」: 4:3 の映像ソースを、元のイメージを可能な限り保ったまま、16:9 に拡大します。

「4:3」: 4:3 の映像ソースをそのままのアスペクト比で表示します。

「フル」: 4:3 の映像ソースを水平方向にのみ拡大し、16:9 にします。

「ズーム」: 4:3 の映像ソースをアスペクト比を保ったまま、画面全体に映るように拡大します。レターボックス方式の映画を見るのに適しています。

「切」: 入力信号が切り替わっても、現在のワイド設定を保ちます。

ご注意

- ・「4:3 映像」は、「オートワイド」が「入」のときにのみ選択可能です。
- ・「4:3 映像」は、入力信号が NTSC、PAL、SECAM、480i、480p、575i、または 576p のときにのみ、働きます。
- ・「4:3 映像」を設定したあとで「ワイド切換」の設定を変更すると、その設定が有効になり、アスペクト比が変わります。この「ワイド切換」による後からの設定変更は入力信号ごとに有効なため、入力信号切換時には、元の「4:3 映像」の設定に戻ります。入力信号を切り換えても現在のアスペクト比のままにするには「4:3 映像」を「切」に設定してください。

表示エリア

「ノーマル」: 標準サイズの映像を表示します。

「- 1」 / 「- 2」: 映像の見える領域を調整します。画面の外側にノイズが見える場合に選択すると、ノイズを隠すことができます。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。「ワイドズーム」または「ズーム」が選ばれているときにのみ、調整できます。◀/▶ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。「ワイドズーム」または「ズーム」が選ばれているときにのみ、調整できます。▲/▼ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。

垂直サイズ

映像の垂直サイズを調整します。「ワイドズーム」または「ズーム」が選ばれているときにのみ、調整できます。▲/▼ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。

標準

「水平位置」、「垂直位置」、「垂直サイズ」の設定を初期設定に戻します。

2 画面設定

PC とビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。デジタル信号とアナログ信号の組み合わせのみご利用になれます。

「2 画面」: 「入」を選ぶと、ふたつの映像を同時に並べて表示します。「切」を選ぶと、「2 画面」機能を解除します。

「画面入替」: 「実行」を選ぶと、ふたつの映像を入れ換えます。「取消」を選ぶと、入れ換えを取り消します。

「画面サイズ」:

「左大」: 左画面の横幅を、右画面よりも大きくします。左画面のアスペクト比が 4:3 の場合、縦幅はディスプレイのサイズと同じになります。

「同サイズ」: 左右の画面の横幅を同じにします。縦幅は、それぞれの映像のアスペクト比に合ったものになります。

「右大」: 右画面の横幅を、左画面よりも大きくします。右画面のアスペクト比が 4:3 の場合、縦幅はディスプレイのサイズと同じになります。

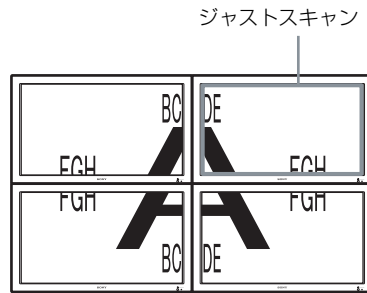
ご注意

- ・「マルチディスプレイ」が「切」のときにのみ、2 画面表示をすることができます。
- ・2 画面表示をしているときは、両画面ともに 1 画面時の「画質」設定が適用されます。
- ・2 画面表示できる信号の組み合わせについて詳しくは、19 ページをご覧ください。

マルチディスプレイ設定

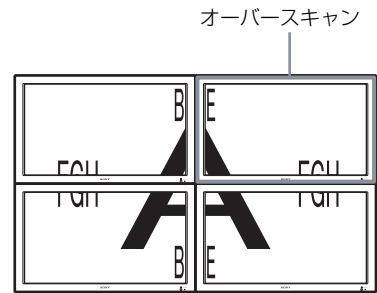
本機を複数台接続して、ビデオウォールを構成するための設定をします。「マルチディスプレイ」：「切」を選ぶと、1画面表示になります。「2×2」～「4×4」を選ぶと、それぞれの構成のビデオウォールになります。「ポジション設定」（配置ポップアップ）：個々のディスプレイの画面位置を、 \square / ∇ / \triangle / \diamond ボタンで選びます。 \oplus ボタンで位置を確定します。「出画形式」：図にある2種類の映像出力形式から選びます。いずれかの形式を選択することにより、水平・垂直位置を手動で調整しなくても、最適な映像出力が得られます。「タイル」または「ウィンドウ」を選んでください。

「タイル」



それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。

「ウィンドウ」



ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。

「LED」：「入」を選ぶと、本機前面の POWER/STANDBY インジケータ（11 ページ）が点灯しつづけます。「切」を選ぶと、消灯します。

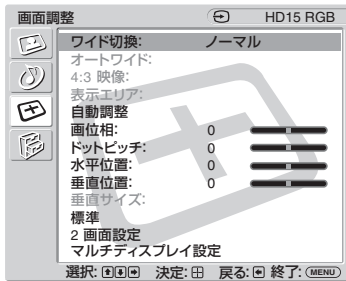
ご注意

- ・「マルチディスプレイ」は、ビデオ入力の場合は現在の「ワイド切換」を極力維持した映像を、PC入力の場合は「ワイド切換」の「フル2」の映像を表示することができます。
- ・「2画面」機能を使用していないときのみ、「マルチディスプレイ設定」を設定することができます。
- ・「ポジション設定」を右下に設定すると、「LED」を「切」にしても、POWER/STANDBY インジケータが緑色に点灯します。インジケータは、無信号時/未対応信号時も含め、ディスプレイがオフ（スタンバイ）時、異常検出時、スリープ状態時にも点灯します。

ご注意

- ・「表示エリア」、「水平位置」、「垂直位置」、「垂直サイズ」は、「2画面」機能や「マルチディスプレイ設定」の使用中は設定できません。
- ・現在の入力が無信号の場合、「画面調整」メニューの項目は「2画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。

PC 入力の場合



入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画面調整」メニューとなります。
PC 用の「画面調整」メニューには、以下の項目が含まれます。

ワイド切換

「ノーマル」：映像を元のままのサイズで表示します。
「フル 1」：アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出ることがあります。
「フル 2」：映像を画面いっぱいに拡大します。

ご注意

「2画面」機能または「マルチディスプレイ設定」使用時は、「ワイド切換」はできません。

自動調整

接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。
入力信号の種類によっては、「自動調整」がうまく働かないことがあります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。

画位相

画面がちらちらしているとき、位相を調整します。

ドットピッチ

映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。◀/▶ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確認します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。▲/▼ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確認します。

標準

「画位相」、「ドットピッチ」、「水平位置」、「垂直位置」の設定を初期設定に戻します。

2画面設定

ビデオ入力時の「2画面設定」をご覧ください (30 ページ)。

マルチディスプレイ設定

ビデオ入力時の「マルチディスプレイ設定」をご覧ください (31 ページ)。

ご注意

- ・ 「オートワイド」、「4:3 映像」、「表示エリア」、「垂直サイズ」は、PC 入力時は設定できません。
- ・ 現在の入力が無信号の場合、画面調整メニューの項目は「2画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。
- ・ 現在の入力 HDMI 1/HDMI 2 の場合、「自動調整」、「画位相」、「ドットピッチ」は PC 入力時は設定できません。

設定メニュー



項目を選んで設定を変えるには、 \leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow ボタンを押します。

設定を確定するには \oplus ボタンを押します。

「設定」メニューには、以下の項目が含まれます。

言語

メニュー表示の言語を、「English」、「Español」、「Français」、「Italiano」、「Deutsch」、「日本語」のなかから選びます。

タイマー設定

時刻合わせ、内蔵時計の表示、およびあらかじめ決めた時間に自動で電源を入/切するタイマー機能の設定をすることができます。

「時刻設定」：日時を設定します。

「時計表示」：「入」を選ぶと、設定された現在時刻を表示します。

「電源タイマー」：自動的に電源を入/切する時間を設定します。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて電池の交換をご依頼ください（有料）。

ECO モード

「切」：省電力機能を使用しません。

「低」 / 「高」：消費電力を減らします。黒レベルが強調されます。

「消画」：映像を消します。音声はそのままの音量で流れます。

オートシャットオフ

「入」：ビデオ入力、Sビデオ入力に無信号の状態が約5分続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。またHDMI入力、RGB/コンポーネント入力に無信号の状態が約30秒続くと、自動的にパワーセービング状態になります。

「切」：各入力に無信号の状態が続いても、本機の電源は切れません。

ちょっと一言

スタンバイ状態のときは \odot POWER（パワー）スイッチまたはリモコンのPOWER ONスイッチを押すと、電源が入ります。またパワーセービング状態のときは、信号が入力されると自動的に電源が入ります。

JP

詳細設定

「カラー方式」: 「NTSC」、「PAL」、「SECAM」、「NTSC4.43」、「PAL-M」、「PAL-N」、「PAL60」から映像信号のカラー方式を設定します。「自動」を選ぶと、カラー方式が自動的に設定されます。

「ステータス表示」: 「入」を選ぶと、電源を入れたときに入力信号と「ワイド切換」の情報が、画面に約 20 秒間表示されます。また、入力信号を切り換えると、入力信号の情報が約 5 秒間表示されます。「切」を選ぶと、情報は表示されません。

ちょっと一言

リモコンの DISPLAY ボタンで、「ステータス表示」の設定にかかわらず入力信号と「ワイド切換」の情報を表示させることができます。

「イルミネーション」: 「入」を選ぶと、本機前面の Sony ロゴが点灯します。「切」を選ぶと、消灯します。

「コントロール設定」: 本機およびリモコンの操作に関する設定を行います。

「リモートインデックス」: 必要に応じて、本機の「インデックス番号」を変更します。⇕/⇓ ボタンで「インデックス番号」を設定し、⊕ ボタンで決定します。

ご注意

「インデックス番号」を設定するときは、本機のボタンをご使用ください。リモコンでは設定できません。

「コントロールモード」

「本体+リモコン」: 本機のボタンおよびリモコンで、本機を操作できます。

「本体のみ」: リモコンでの操作を無効にします。本機のボタンでのみ、本機の設定をすることができます。

「リモコンのみ」: リモコンだけで操作したいときに、本機の操作を無効にします。リモコンでのみ、本機の設定をすることができます。

「切」: リモコンおよび本機のボタンのどちらの操作も無効にします。本機の REMOTE 端子 (BKM-FW20) および通信機能を持つオプションアダプター (BKM-FW32/FW50 など) 経由で本機を操作できます。

ご注意

- ・この項目を設定するとき、使用するボタンによって選べるモードが異なります。リモコンの ⊕ ボタンで設定するときは、「本体+リモコン」か「リモコンのみ」を選べます。本機の ⊕ ボタンで設定するときは、「本体+リモコン」か「本体のみ」を選べます。
- ・「切」に設定すると、リモコンおよび本機のボタンでの操作ができなくなりますが、本機の MENU ボタンと ◀+ ボタンを 5 秒以上同時に押すことで、「本体+リモコン」の設定に戻すことができます。

インフォメーション

「機種名」、「シリアル番号」、「累積通電時間」、「ソフトウェアバージョン」、および「IP Address」を表示します

ご注意

通信機能を持つオプションアダプターがインストールされていないと、「IP Address」は表示されません。

オールリセット

すべての「設定」メニューを初期設定に戻します。

ご注意

「インフォメーション」に含まれる内容と、「インデックス番号」はリセットされません。

IP Address Setup

本機に装着した通信機能を持つオプションアダプター（BKM-FW32/FW50 など）と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器とが通信できるように IP アドレスを設定します。
「DHCP」：「OK」を選ぶと、自動的に IP アドレスを設定します。「Cancel」を選ぶと、自動設定を中止します。

ご注意

DHCP で IP アドレスを自動取得したときは、電源の入/切をすると、IP アドレスが変わることがあります。

「Manual」：IP アドレスを手動で設定します。

- 1 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Primary DNS」、「Secondary DNS」を \uparrow/\downarrow ボタンで選び、 \oplus ボタンを押す。
- 2 本機の \uparrow/\downarrow ボタンまたはリモコンの数字ボタンで、最初の枠に3桁の値（0～255）を入力し、 \oplus ボタンまたは \rightarrow ボタンを押す。
- 3 4つの枠にそれぞれ3桁の値（0～255）を入力し、 \oplus ボタンを押す。
- 4 \uparrow/\downarrow ボタンで次に設定したい項目を選び、同じ手順をくり返し、 \oplus ボタンを押す。
- 5 設定したいすべての項目に値を入力したら、 \uparrow/\downarrow ボタンで「Execute」を選び、 \oplus ボタンを押す。

「OK」を選んで、 \oplus ボタンを押すと、IP アドレスが手動で設定されます。

ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、原因に応じて、次のようなエラーコードが表示されます。

Error 1：本機と BKM-FW32、BKM-FW50 などの間の通信エラー

Error 2：IP アドレスがほかで使われている

Error 3：IP アドレスの設定不備

Error 4：Gateway address の設定不備

Error 5：Primary DNS の設定不備

Error 6：Secondary DNS の設定不備

Error 7：Subnet mask の設定不備

Speed Setup

本機に装着した通信機能を持つオプションアダプター（BKM-FW32/FW50 など）と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器との間の通信速度を設定します。

「Speed」：「Auto」を選ぶと、ネットワーク構成に適切な通信速度が自動的に設定されます。また、「10Mbps Half」、「10Mbps Full」、「100Mbps Half」、「100Mbps Full」のいずれかの通信速度を選ぶこともできます。

「Execute」：「OK」を選んで、 \oplus ボタンを押すと、通信速度が設定されます。

ご注意


通信機能を持つオプションアダプターがインストールされていないと、「IP Address Setup」と「Speed Setup」は設定できません。

故障かな？と思ったら

POWER/STANDBY インジケーターが赤く点滅していないか確認する。



点滅している場合

自己診断機能が働いています。

- 1 POWER/STANDBY インジケーターの点滅回数および消灯時間をはかる。
たとえば、2回点滅→3秒消灯→2回点滅となります。
- 2 本機（上部）の （電源）を押して電源を切り、電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口にインジケーターの点滅状態（点滅回数および消灯時間）をお知らせください。

点滅していない場合

- 1 以下の表の項目を点検する。
- 2 それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

こんなときは	原因と対処のしかた
本機の電源スイッチおよびコントロールボタンが働かない。	・「コントロール設定」を確認してください（34 ページ）。
画像が出ない。	・「ECO モード」の設定を確認してください（33 ページ）。
本機の電源が自動的に切れる。	・「タイマー設定」が有効になっていないか確認してください（33 ページ）。
特定の入力からの画像が出ない。	・映像機器と本機の接続を確認してください。 ・本機の INPUT ボタンまたはリモコンで入力を切り換えてみてください（11、16、17 ページ）。
画像が見にくい。	
色が見つからない／画像が暗い／画像が明るすぎる／色がおかしい	・ PICTURE ボタンを押してご希望の「画質モード」に切り換えてください（16 ページ）。 ・「画質」メニューで「画質モード」の項目を調整してください（26 ページ）。 ・接続ケーブルの状態を点検してください。
音が出ない／音にノイズが混じる。	
画像はきれいだが、音が出ない。	・音量を確認してください。 ・リモコンの  または  + を押して「消音」を画面から消してください（17 ページ）。 ・「音声入力選択」の設定を確認してください（28 ページ）。 ・「スピーカー出力」の設定を確認してください（28 ページ）。
「ワイド切換」の設定が自動的に変わる。	・「画面調整」メニューの「オートワイド」が「入」に設定されているとき、入力を切り換えると、現在の「ワイド切換」設定は、自動的に入力信号に合わせた設定に変わります。入力を切り換えても現在の「ワイド切換」設定を保ちたいときは、「画面調整」メニューの「オートワイド」を「切」に設定してください（29 ページ）。

こんなときは	原因と対処のしかた
リモコンが動かない。	<ul style="list-style-type: none">・ 電池の+／-が正しく挿入されているか確認してください。もしくは電池を交換してください。・ リモコンを本機のリモコンセンサーに向けてください。・ リモコンセンサーのまわりに障害物を置かないようにしてください。・ 「コントロール設定」を確認してください（34 ページ）。・ CONTROL S IN 端子にケーブルが接続されていないか確認してください。本機がCONTROL S 接続によって制御されているとき、リモコンはご使用になれません。・ 蛍光灯によってリモコンの操作に障害が出る場合があります。蛍光灯を消してみてください。

入力信号一覧表

PC 信号

	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 - 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 x 600@60 Hz (VESA STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 x 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 x 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 x 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1280 x 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
11	848 x 480@60 Hz (VESA STD)	29.8	60
12	848 x 480@60 Hz (VESA STD)	29.5	60
13	848 x 480@75 Hz	37.7	75
14	1280 x 768@60 Hz	47.8	60
15	1280 x 768@60 Hz	47.4	60
16	1360 x 768@60 Hz	47.7	60
17	1360 x 768@60 Hz	47.4	60

TV/ビデオ信号

	解像度	利用可能な入力		
		ビデオ	コンポーネント / RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
 b) VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
 c) Mac (Macintosh) は Apple Computer, Inc. の登録商標です。

ご注意

- ・ HDTV 信号を入力する場合、同期信号は 3 値同期信号を HD15 端子または BKM-FW12 (オプションアダプター) の RGB/COMPONENT 端子 (D-sub 15 ピンコネクター) の 2 番ピンに入力してください。
- ・ 本機で DVD 信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、「画質」メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- ・ 位相を再調整すると解像度が低下します。

入力信号 / ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640 x 480 / 60 (例)	PC 信号が入力されています。
480 / 60i (例)	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC (例)	NTSC 信号が入力されています。
標準信号ではありません。	標準信号でない信号が入力されています。
信号がありません。	入力信号がありません。
HD15	HD15 入力を選択されています。
HDMI 1	HDMI 1 入力を選択されています。
HDMI 2	HDMI 2 入力を選択されています。
Option 1	OPTION 1 入力を選択されています。
Option 2	OPTION 2 入力を選択されています。

仕様

映像処理系

パネル方式	a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
解像度	1,366 ドット (水平) × 768 ライン (垂直)
サンプリング周波数	13.5 MHz ~ 140 MHz
カラー方式	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N
入力信号	38 ページをご覧ください。

FWD-40LX2F/40LX2X :

ピクセルピッチ	0.648 (水平) × 0.648 (垂直) mm
有効表示寸法	885 (水平) × 498 (垂直) mm
画面サイズ	40 (V) 型 (対角 1,016 mm)

FWD-32LX2F/32LX2X :

ピクセルピッチ	0.510 (水平) × 0.510 (垂直) mm
有効表示寸法	698 (水平) × 392 (垂直) mm
画面サイズ	32 (V) 型 (対角 801 mm)

入出力

HD15

(RGB/COMPONENT IN)

D-sub 15 ピン (メス) (× 1)
40 ページをご覧ください。

AUDIO

(COMMON AUDIO IN)

ステレオミニジャック (× 1)
500 mVrms、ハイインピー
ダンス

HDMI 1/HDMI 2 IN HDMI (HDMI 規格 1.1 準拠)

ビデオ入力アダプター BKM-FW10

VIDEO IN	BNC 型 (× 1) コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω 自動終端
VIDEO OUT	BNC 型 (× 1) ループスルー
S VIDEO IN	ミニ DIN4 ピン (× 1) Y (輝度) : 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 Ω 終端 C (クロマ) : バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC)、75 Ω 終端 バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL)、75 Ω 終端
S VIDEO OUT	ミニ DIN4 ピン (× 1) ループス ルー
AUDIO IN	ピンジャック (× 2) 500 mVrms、ハイインピーダンス

モニターコントロールアダプター BKM-FW20

REMOTE (RS-232C)	D-sub 9 ピン (× 1)
CONTROL S IN/OUT	ミニジャック (× 2)

その他

電源 AC

100 V ~ 240 V、50/60 Hz、
FWD-40LX2F/40LX2X : 2.3 A
FWD-32LX2F/32LX2X : 1.3 A

消費電力

FWD-40LX2F/40LX2X : 200 W
FWD-32LX2F/32LX2X : 120 W

スピーカー出力

7 W + 7 W (6 Ω)
適合負荷インピーダンス
6 ~ 16 Ω

動作条件

温度 : 0 ~ 35 °C
湿度 : 20 ~ 90 %
(結露のないこと)

保存・輸送条件

温度 : - 10 ~ + 40 °C
湿度 : 20 ~ 90 %
(結露のないこと)

外形寸法

FWD-40LX2F :
988 × 591 × 125 mm
FWD-40LX2X :
994 × 597 × 125 mm
FWD-32LX2F :
796 × 486 × 107 mm
FWD-32LX2X :
802 × 492 × 107 mm
(幅/高さ/奥行き、最大突起部含
まず)

質量

FWD-40LX2F :
約 25.0 kg
FWD-40LX2X :
約 26.0 kg
FWD-32LX2F :
約 16.0 kg
FWD-32LX2X :
約 17.0 kg

付属品

電源コード (1)
AC プラグホルダー (2)
ケーブルホルダー
40 インチ用 (4)、32 インチ用 (6)
コンポーネントビデオ信号ケーブル
(HD15-RCA × 3) (1)
BNC-RCA 変換アダプター (1)
変換プラグアダプター (1)
リモコン RM-FW001 (1)
単 3 形乾電池 (2)
取扱説明書 (1)
保証書 (ソニー業務用製品ご相談窓
口のご案内) (1)

別売アクセサリ

ディスプレイスタンド SU-42FW/
32FW
スピーカー SS-SP40FW/32FW
機能拡張用オプションアダプター
BKM-FW シリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく
変更することがありますが、ご了承ください。

JP

WOW、SRS と (●) 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。

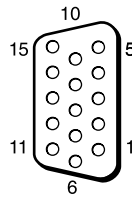
WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

この製品は BBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

この製品は米国 BBE Sound, Inc. の所有する特許 USP5510752 及び 5736897 を使用しています。BBE と BBE のシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

ピン配列

HD15 (RGB/COMPONENT) 端子 (D-sub 15ピン)



ピン No.	信号
1	赤映像信号または C _R /P _R 信号
2	緑映像信号または Y 信号
3	青映像信号または C _B /P _B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号またはコンポジットビデオ信号
14	垂直同期信号
15	SCL

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は 13, 14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

安全規格

電安法、VCCI クラス B

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

索引

あ

明るさ 24, 26, 27
イルミネーション 34
色あい 24, 26
色温度 24, 26, 27
色の濃さ 24, 26
インデックス番号 17, 20, 34
インフォメーション 25, 34
ウィンドウ 31
オートシャットオフ 25, 33
オートワイド 25, 29
オールリセット 25, 34
音質メニュー 24, 28
音質モード 24, 28
音質モード標準 24, 28
音声入力選択 24, 28
音量ボタン 11, 17

か

画位相 25, 32
画質メニュー 24, 26
画質モード 24, 26, 27
画質モード標準 24, 26, 27
カスタム 26, 27, 28
画面入替 30
画面サイズ 30
画面調整メニュー 25, 29
カラー方式 34
ケーブルカバー (側面) 12, 22
ケーブルカバー (底部) 22
ケーブルホルダー 23
言語 25, 33
高音 24, 28
コントラスト 24, 26, 27
コントラストボタン 17
コントロールモード 34
コントロール設定 34

さ

時刻設定 33
自動調整 25, 32
シネモーション 24, 26
シャープネス 24, 26
出画形式 31
消音ボタン 17
詳細設定 25, 34
垂直位置 25, 30, 32
垂直サイズ 25, 30
水平位置 25, 30, 32
ズーム 18, 29
スタンダード 26, 27, 28
スタンド取り付け用フック 15
ステータス表示 34
スピーカー出力 24, 28
設定メニュー 25, 33
ソニーロゴ 11, 34

た

ダイナミック 26, 27, 28
タイマー設定 25, 33

タイトル 31
低音 24, 28
電源タイマー 33
時計表示 33
ドットピッチ 25, 32

な

入力信号 38
ノーマル 18, 30, 32

は

バランス 24, 28
ビデオ入力アダプター 13, 14
表示エリア 25, 30
標準 25, 30, 32
フル 18, 29, 30
フル1/フル2 18, 32
ポジション設定 31

ま

マルチディスプレイ設定 25, 31, 32
モニターコントロールアダプター 13

ら

リモートインデックス 34
リモコンセンサー 11

わ

ワイド切替 18, 25, 29, 32
ワイド切替ボタン 16, 18
ワイドズーム 18, 29, 30

数字

2画面設定 19, 25, 30, 32
2画面ボタン 16, 19
4:3 18, 29, 30
4:3 映像 25, 30

A

AC INソケット 15, 21
AUDIO (COMMON AUDIO IN) 端子 12
AUDIO IN L/R端子 13

C

CONTROL S IN/OUT端子 13

D

DHCP 35
DISPLAYボタン 17

E

ECOボタン 17, 20
ECOモード 20, 25, 33

H

HD15ボタン 17
HD15 (RGB/COMPONENT IN) 端子 12
HDMI 1/HDMI 2 IN端子 12
HDMI 1/HDMI 2ボタン 16

I

ID MODEボタン 17, 20
INPUTボタン 11
IP Address Setup 25, 35

L

LED 31

M

Manual (IP Address Setup) 35
MENUボタン 11, 16

N

NR (ノイズリダクション) 24, 26

O

OPTION 1/OPTION 2 スロット 13, 14
OPTION 1/OPTION 2 ボタン 17

P

PICTUREボタン 16
POWERスイッチ 11
POWER/STANDBYインジケータ 11
POWER (電源) ON スイッチ 16

R

REMOTE端子 13

S

S VIDEO IN/OUT端子 13
SOUND ボタン 16
SPEAKER端子 15
Speed Setup 25, 35
SRS WOW 28
STANDBYボタン 17

T

TC Control 26, 27
True Color Control 24, 27

V

VIDEO IN/OUT端子 13

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	FWD-40LX2F/FWD-40LX2X/FWD-32LX2F/FWD-32LX2X
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there

is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE LOCAL RULES.

Trademark Information

WOW, SRS and (●) symbol are trademarks of SRS Labs, Inc. WOW technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.

Manufactured under license from BBE Sound, Inc. Licensed by BBE Sound, Inc. under one or more of the following US patents: 5510752, 5736897. BBE and BBE symbol are registered trademarks of BBE Sound, Inc.

Table of Contents

Introduction

Precautions	4
Recommendations on Installation	6

Location and Function of Parts and Controls

Front Panel.....	7
Side Panel.....	8
Optional Adaptors	10
Rear Panel	11
Remote Control.....	12
Button Description.....	12
Special Buttons on the Remote Control	14
Using the Wide Mode.....	14
Using the PAP Setting	15
Using the ID MODE button	16
Using the ECO Mode function	16

GB

Connections

Connecting the Speakers.....	17
Connecting the AC Power Cord.....	17
Cable Management.....	18

Using the Settings

Overview of the Menus	20
Picture Settings	22
Sound Settings.....	24
Screen Settings.....	25
Setup Settings.....	29

Other Information

Troubleshooting	32
Input Signal Reference Chart.....	33
Specifications	34
Index	36

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When you install the unit on the floor, be sure to use the optional display stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the remote control, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On the LCD panel

- You may see some bright spots of red, blue or green, or dark spots appearing on the screen. These do not indicate a malfunction. Although the LCD panel is manufactured with extremely high precision technology, it can generate a few dark or bright pixels.
- Keeping the LCD panel facing toward the sun for a long time will damage the panel. Take this into account when you install the unit outdoor or by a window.
- Do not push, scratch or put a heavy weight on the panel. These can cause irregularities in the screen or a malfunction of the LCD panel.
- You may find the screen looks darker or an afterimage occurs when using the unit in a colder environment. These do not indicate a malfunction. The screen will return to normal operation as the temperature rises.
- If you display a still image continuously, a ghosting may occur. This symptom will be gradually resolved by changing the image or making the whole screen display in white. In addition, if you display the same still image for a long period of time, the ghosting may not be resolved.
- The panel surface or the cabinet may warm up during use. This does not indicate a malfunction.

On cleaning the display

The panel surface

- Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.
- The LCD panel surface has been given a special finish. Avoid touching the LCD screen. When cleaning the panel face, wipe off stains using a dry, soft cloth.
- Never use rubbing alcohol, benzine or thinner for cleaning. They may damage the finish of the panel face.
- When using a chemically treated cloth for cleaning, follow the directions.
- Spraying the unit with volatile solvents (such as an insecticide) or allowing the unit come into prolonged contact with rubber or plastic products may remove the coating or spoil the unit.

The cabinet

- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Never use rubbing alcohol, benzine or thinner for cleaning. They may damage the finish of the cabinet or can remove the markings on it.

Notes on handling and cleaning the display panel

The display panel's special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the display. When cleaning it, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment for business use (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable take-back scheme for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative

consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Sony office or visit Sony Europe's web site for business customers: <http://www.sonybiz.net/environment>

For Customers in Taiwan only

廢電池請回收



GB

For the State of California, USA only

Perchlorate Material – special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For Customers in the United States

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Warning on power connection

Use the proper power cord for your local power supply.

	United States, Canada	Continental Europe		United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Female end	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Note: Use an appropriate rating plug which complies with local regulations.

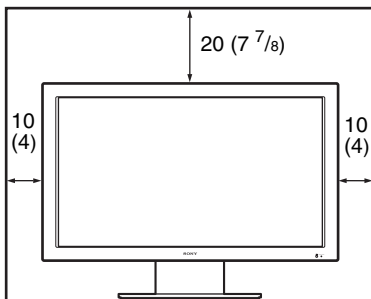
Recommendations on Installation

Provide an ample amount of space around the display

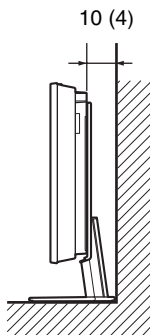
- To prevent internal heat buildup from sealing off the display, make sure to ensure proper ventilation by leaving open the minimum amount of space around the display, as illustrated below.
- The ambient temperature must be 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F).
- When using the stand, make sure you use the applicable display stand SU-42FW/32FW (not supplied).
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the display is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the display when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When using the display stand

Front



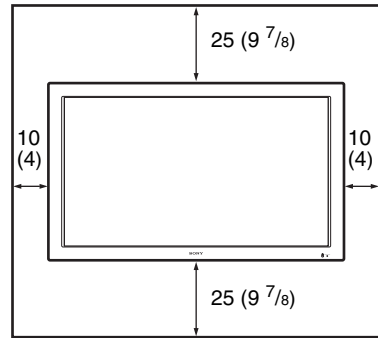
Side



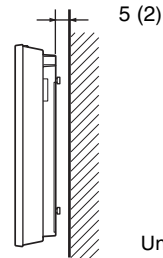
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



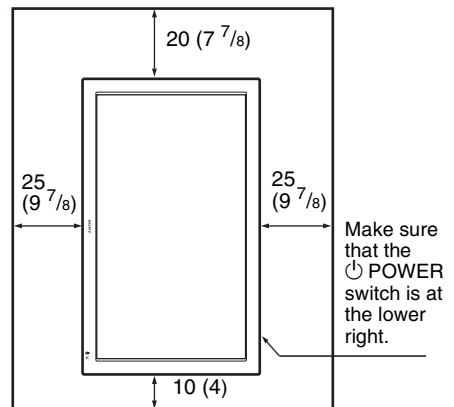
Side



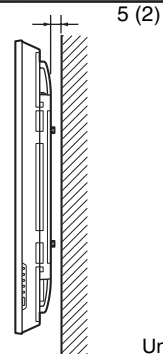
Units: cm (inches)

When mounting the display vertically

Front



Side

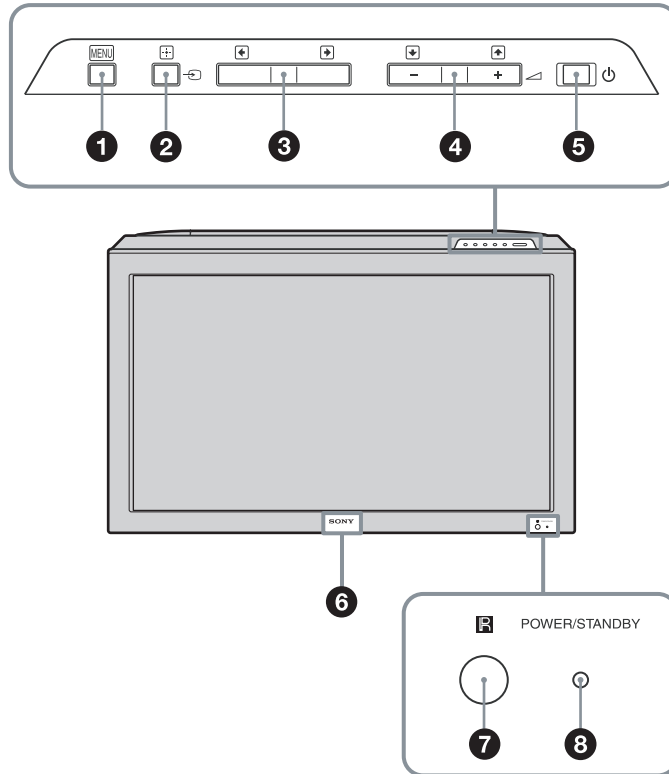


Units: cm (inches)

Notes

- When mounting the display vertically, you cannot use the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied).
- Be sure to use only the UL listed wall mount bracket to mount the display.

Front Panel



1 MENU (page 20)

2 (INPUT)

- In the menu screen, this button works as the “Set” button.
- This button switches the input signal when it is not in the menu screen.


Selects an input signal from among the HD15/HDMI 1/HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2 connectors.

When an optional adaptor is not installed in the OPTION 1/OPTION 2 slot, OPTION 1/OPTION 2 will be skipped.

3

- In the menu screen, these buttons work as left/right buttons.
- In the “PAP” mode, these buttons work to change the active picture or change the picture size when a screen other than the menu screen is displayed.

4

- Increases (+) or decreases (–) the volume.
- In the menu screen, these buttons work as up/down buttons (.

5

Switches the display on or off (standby).

Note

To protect the panel, a certain amount of time is required to turn the display to on/off (standby). When you turn the display on again, soon after turning it off, wait about 5 seconds before you turn it on again.

6 Sony logo

The Sony logo lights up.

You can switch “On”/“Off” in the menu screen. See “Advanced Setup” on page 30.

7 Remote control sensor

8 POWER/STANDBY indicator

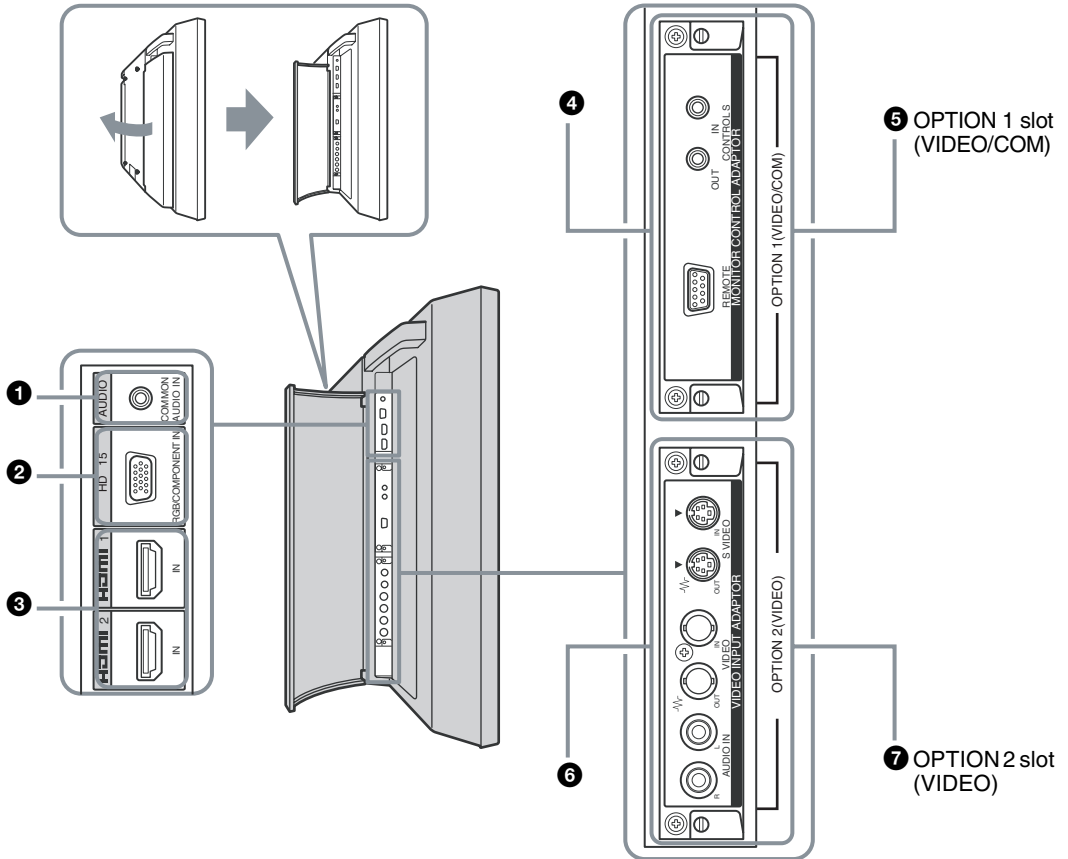
- Lights up in green when the display is switched on.
- Lights up in red when the display is in standby mode.
- Lights up in orange when the display enters the power saving mode when the current input is not video or S Video.

Note

When the “LED” option in the “Multi Display” settings is set to “Off” and the “Position” option is not set to the right-bottom, the indicator does not light up in green even when the display is turned on, except for the case of no signal or an unsupported signal.

Side Panel

To open the cable cover (side)



Connector	Description
1 AUDIO (COMMON AUDIO IN) (Stereo mini jack)	Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC. Supports audio signals corresponding to 2 and 3 .
2 HD15 (RGB/COMPONENT IN) (D-sub 15-pin)	Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC. See page 35.
Note When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.	
3 HDMI 1/HDMI 2 IN	HDMI (High-Definition Multimedia Interface) provides an interface between the display and any HDMI-equipped audio/video equipment, as well as PC. You can enjoy enhanced or high-definition video, and two-channel digital audio. You can also connect a piece of DVI-equipped equipment to your display by using an HDMI-to-DVI cable (not supplied). The appropriate mode for a piece of audio/video equipment or PC is automatically selected in accordance with the connected equipment.
Note Be sure to use only an HDMI cable (not supplied) that bears the HDMI logo.	

Connector	Description
4 MONITOR CONTROL ADAPTOR (The BKM-FW20 is pre-installed.)	<p>CONTROL S IN/OUT (Mini jack): You can control pieces of multiple equipment with a single remote control when the display is connected to the CONTROL S connector of the video equipment or another display. Connect the CONTROL S OUT connector on this display to the CONTROL S IN connector of the other equipment, and connect the CONTROL S IN connector on this display to the CONTROL S OUT connector of the other equipment.</p> <p>REMOTE (D-sub 9-pin): This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.</p>
<p>Note</p> <p>This adaptor won't work when installed in the OPTION 2 slot.</p>	
5 OPTION 1 slot (VIDEO/COM port)	<p>This slot supports video signals and communication functions. By installing an optional adaptor (the BKM-FW series) in this slot, you can expand the input signal connectors or control the display via the network.</p>
6 VIDEO INPUT ADAPTOR (The BKM-FW10 is pre-installed.)	<p>S VIDEO IN (Mini DIN 4-pin): Connects to the S Video output of a piece of video equipment.</p> <p>S VIDEO OUT (Mini DIN 4-pin): Connects to the S Video input of a piece of video equipment.</p> <p>VIDEO IN (BNC): Connects to the video output of a piece of video equipment.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): Connects to the video input of a piece of video equipment.</p> <p>AUDIO IN L/R (Pin jack): Connects to the audio output of a piece of video equipment. The video signal or the S Video signal is automatically selected. Connect the cable (not supplied) to the video connector or the S Video connector.</p> <p>When connecting a piece of video equipment equipped with the S Video output connector, you can enjoy better video performance by connecting it to the S Video connector.</p>
7 OPTION 2 slot (VIDEO port)	<p>This slot supports video signals. You can install an optional adaptor with video signal input/output function into this slot. The optional adaptor with communication functions should be installed in 5 OPTION 1 slot.</p>

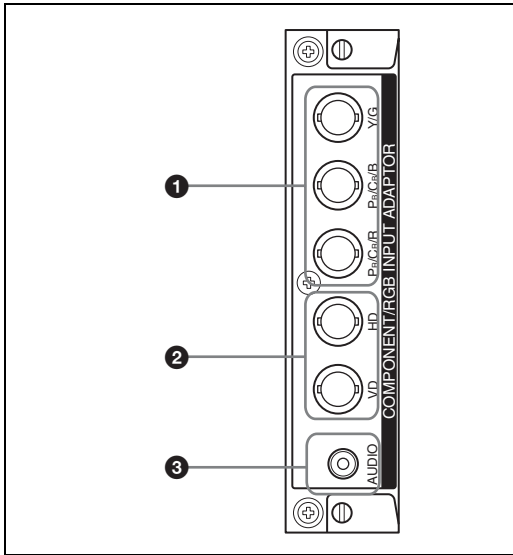
Optional Adaptors

The connectors marked with **5** and **7** on the side panel are slot-in types and can be fitted with any of the following optional adaptors (not supplied). For details on installation, consult your Sony dealers.

VIDEO INPUT Adaptor BKM-FW10

This is the same as the optional adaptor preinstalled in the **7** OPTION 2 slot. See page 8.

COMPONENT/RGB INPUT Adaptor BKM-FW11



1 Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC): Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC.

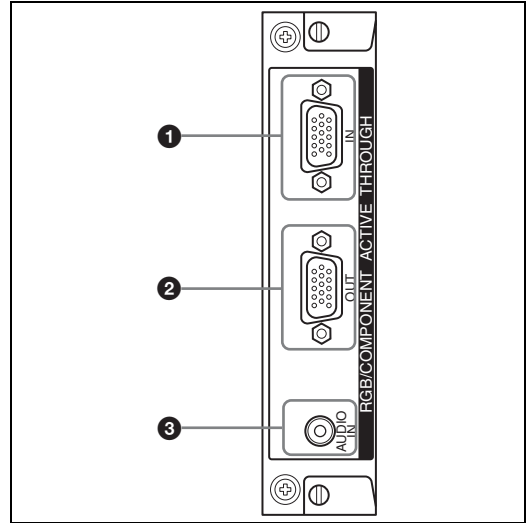
2 HD VD IN (BNC): Connects to the synchronization signal output of a PC.

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to the HD and VD connectors. If you do so, the picture may not be displayed properly.

3 AUDIO (Stereo mini jack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or PC.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH Adaptor BKM-FW12



1 RGB/COMPONENT IN (D-sub 15-pin): Connects to the component signal output or analog RGB signal output of a piece of video equipment or PC. For details on inputting a component signal to the connector, see “Pin assignment” on page 35.

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

2 RGB/COMPONENT OUT (D-sub 15-pin): Connects to the component signal input or analog RGB signal input of a piece of video equipment or PC.

3 AUDIO IN (Stereo mini jack): Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC.

Note

When the display is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the RGB/COMPONENT OUT.

NETWORK MANAGEMENT Adaptor BKM-FW32

For details, see the instruction manual of the BKM-FW32.

STREAMING RECEIVER Adaptor BKM-FW50

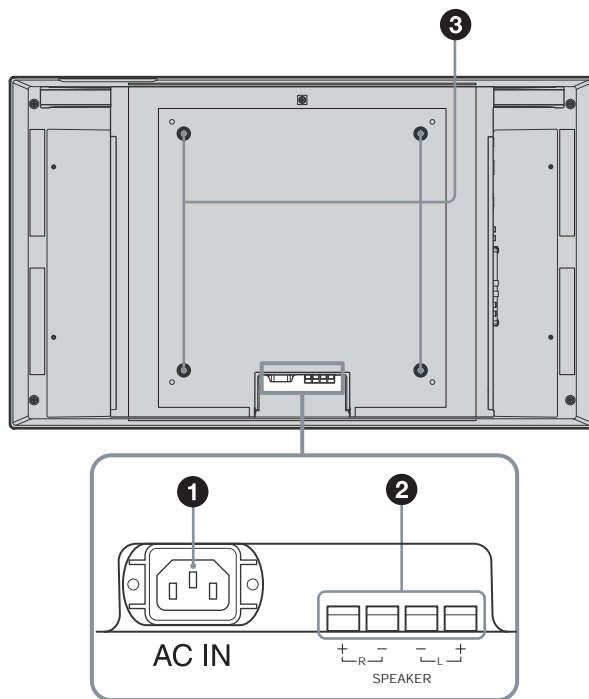
For details, see the instruction manual of the BKM-FW50.

Note

When using a network cable for the BKM-FW32/50, be sure to use a shielded cable to help prevent the radiation of undesired radio waves. For details on the connection, see each instruction manual.

For details on the optional adaptors for system expansion, BKM-FW series, see each instruction manual.

Rear Panel

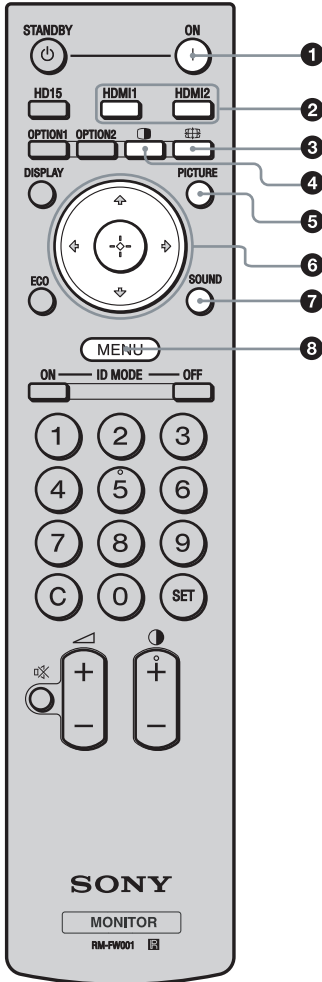


GB

Parts	Description
❶ AC IN socket	Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the POWER/STANDBY indicator lights up in red and the display goes into the standby mode. See page 17.
❷ SPEAKER socket	By connecting the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied) to this socket, you can output the audio matching the signal displayed on the screen and enjoy viewing with a greater sense of presence. Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 19.
❸ Stand installation hooks	Use these hooks to install the display stand SU-42FW/32FW (not supplied).

Remote Control

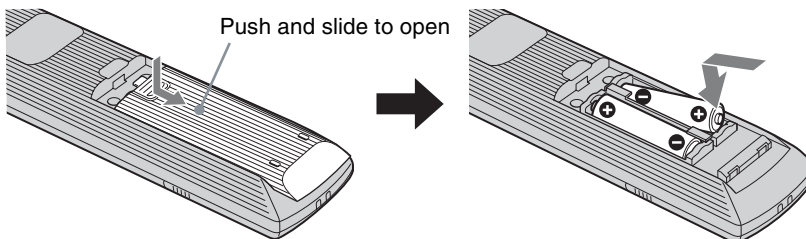
Button Description

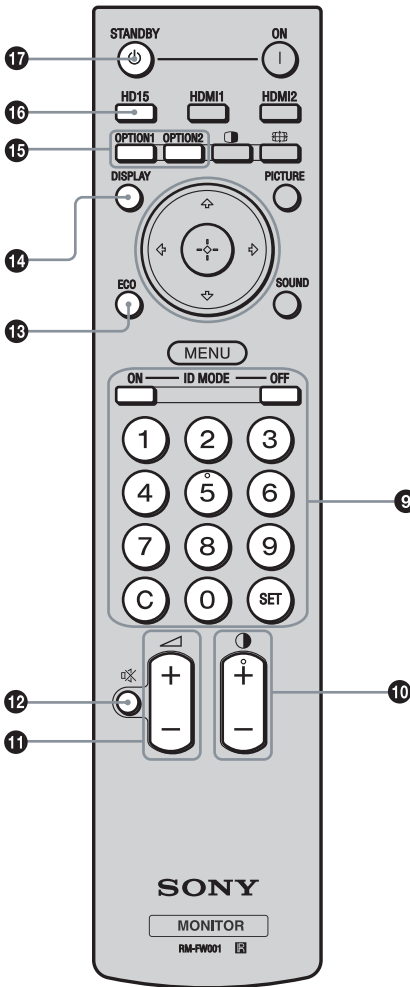


- 1 POWER ON switch**
Press to turn the display on.
- 2 HDMI 1/ HDMI 2 button**
Press to select the signal input to the HDMI 1 or HDMI 2 connectors.
- 3 button**
Press to change the aspect ratio in "Wide Mode". See page 14.
- 4 button**
Selects the "PAP" (Picture And Picture) mode. Each press toggles between the two-picture screen and the single-picture screen. See page 15.
- 5 PICTURE button**
Selects "Picture Mode". Each press toggles between "Vivid", "Standard", "Custom", and "TC Control".
- 6 buttons**
The / / / buttons move the menu cursor (yellow) and set values, etc. Pressing sets the selected menu or setting items. In the "PAP" mode, you can switch the active picture with / .
- 7 SOUND button**
Selects "Sound Mode". Each press toggles between "Dynamic", "Standard", "SRS WOW", and "Custom".
- 8 MENU button**
Press to show menus. Press again to hide them. See page 20.

Notes

- The 5 button and button have a tactile dot. Use the tactile dot as a reference when operating the display.
- Insert two size AA (R6) batteries (supplied) by matching the and on the batteries to the diagram inside the remote control's battery compartment.





9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) buttons

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

- ON button: Press to show the “Index Number” on the screen.
- 0-9 button: Press to enter the “Index Number” of the display you want to operate.
- SET button: Press to set the input “Index Number”.
- C button: Press to clear the input “Index Number”.
- OFF button: Press to return to the normal mode.

See page 16.

10 +/- button

Adjusts the picture (contrast) level.

11 +/- button

Press to adjust the volume.

12 Mute button

Press to mute the sound. Press again to restore sound.

13 ECO button

Press to reduce the power consumption by adjusting the backlight brightness. This also enhances the black level. Select from “Off”, “Low”, “High” or “Picture Off”. See page 16.

14 DISPLAY button

Press to display the currently selected input, the type of the input signal and the “Wide Mode” setting on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

15 OPTION 1/OPTION 2 button

When an optional adaptor is installed, selects an input signal from the equipment connected to the optional adaptor. Press the OPTION 1 button to select the input signal of the OPTION 1 connector, and press the OPTION 2 button to select the input signal of the OPTION 2 connector.

16 HD15 button

Press to select the input signal of the HD15 connector. The RGB signal or component signal is selected automatically in accordance with the connected equipment.

17 STANDBY button

Press to change the display to the standby mode.

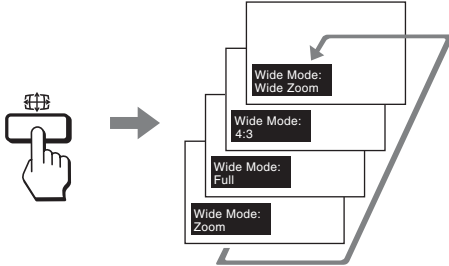
Special Buttons on the Remote Control

Using the Wide Mode

You can change the aspect ratio of the screen.

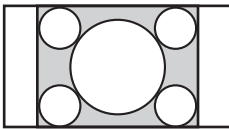
Tip

You can also access the “Wide Mode” settings in the “Screen” settings. See page 25, 28.

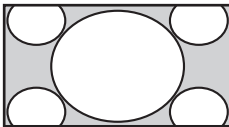


For Video, DVD or HDMI input (other than PC input)

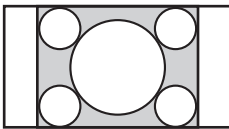
4:3 Original Source



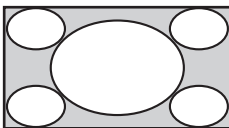
Wide Zoom



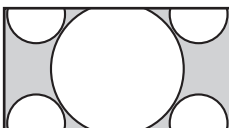
4:3



Full



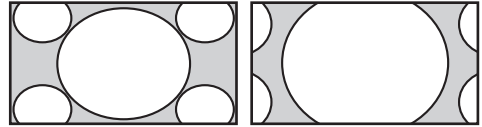
Zoom



16:9 Original source



Wide Zoom



4:3



Full



Zoom

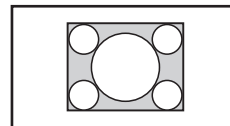


Note

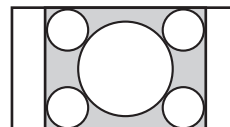
When the input signal is 1080i, 720p, or 1080p, “Wide Zoom” and “4:3” cannot be selected. See page 25.

For PC Input

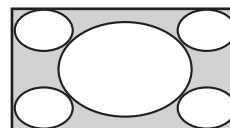
Normal



Full 1



Full 2



Using the PAP Setting

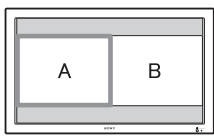
You can show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side. You can also swap the left/right pictures, or change the balance of left/right picture sizes.

Tip

You can also access the “PAP Setting” in the “Screen” settings. See page 26.

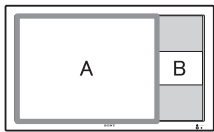


Cursor showing active picture



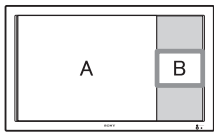
The width of A and B is the same. The height will be set to match each picture's aspect ratio.

Press ⇄ button.



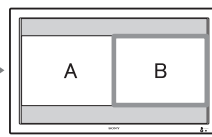
The width of A is larger than that of B. If A's aspect ratio is 4:3, its height will be equal to the panel size.

Press ⇄ button.



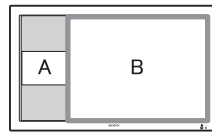
B on the right side becomes the active picture.

Press ⇄ button.



The width of A and B is the same. The height will be set to match each picture's aspect ratio.

Press ⇄ button.



The width of B is larger than that of A. If B's aspect ratio is 4:3, its height will be equal to the panel size.

GB

Available combination of two pictures

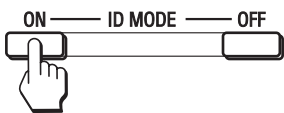
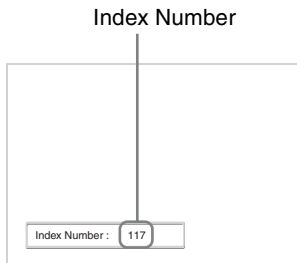
		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RGB	Component	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	Component	Video	S Video
HD15	RGB			○	○				
	Component			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RGB			○	○				
	Component			○	○				
	Video			○	○				
	S Video			○	○				

Using the ID MODE button

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

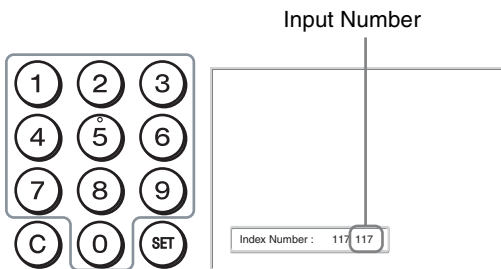
1 Press ON button.

Display's "Index Number" appears in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset "Index Number" from 1 to 255.)



2 Input the "Index Number" of the display you want to operate using the 0 - 9 buttons on the remote control.

The input number appears right next to the "Index Number" of each display.



3 Press SET button.

The characters on the selected display change to green while the others change to red.

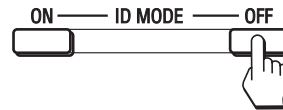


You can operate the specified display indicated with green characters only.

Only the operation of POWER ON switch and STANDBY/ID MODE-OFF button is effective to other displays, as well.

4 When all of the setting changes have been completed, press OFF button.

The display returns to the normal screen.



To correct the Index Number

Press the C button to clear the current input "Index Number". Return to Step 2, and input a new "Index Number".

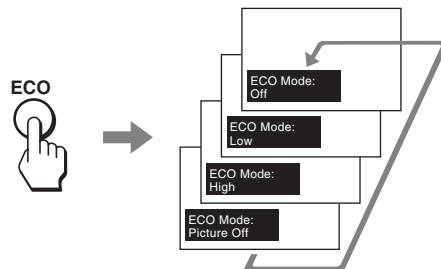


Tip

To change the "Index Number" of the display, see "Remote Index" in "Control Setting" on page 30.

Using the ECO Mode function

You can reduce the power consumption of the display.



To cancel the ECO Mode

Press ECO button repeatedly until "ECO Mode : Off" appears.

Tips

- If you turn off the display when the "ECO Mode" is activated, the mode stays on next time you turn on the display except "Picture Off".
- You can set the "ECO Mode" using the "Setup" settings. Select "ECO Mode" in the "Setup" settings, then set it to "Off", "Low", "High", or "Picture Off".

Before you start

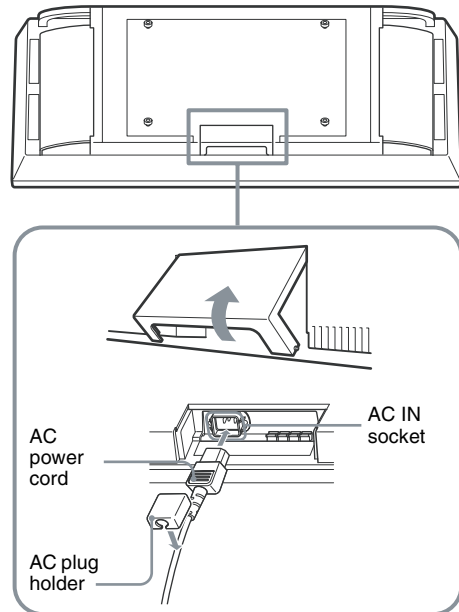
- First make sure that the power of each piece of equipment is turned off.
- Use cables suitable for the equipment to be connected.
- Connect the cables, fully inserting them into the connectors or jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- See the instruction manual of the equipment to be connected, too.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) to securely hold the AC plug.

Connecting the Speakers

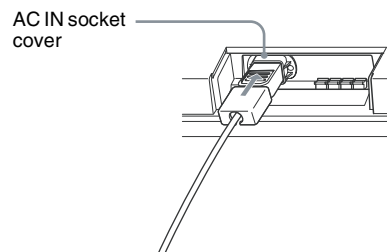
You can enjoy viewing with a greater sense of presence by connecting the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual of the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 19.

Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



- 2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.

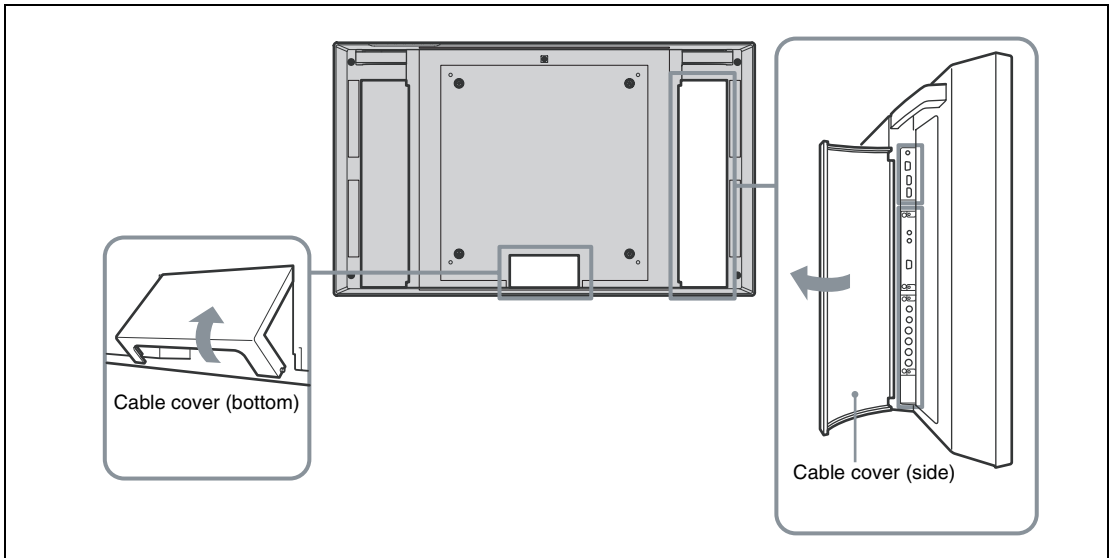


To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Cable Management

The display has the cable covers on its back to make it look neat. Before connecting the cables to the display, open the cable covers as shown below. After connecting the cables to the display, close the cable covers.



Using the cable holders

You can bundle the cables with the supplied cable holders. Attach the cable holders as shown in the illustration below.

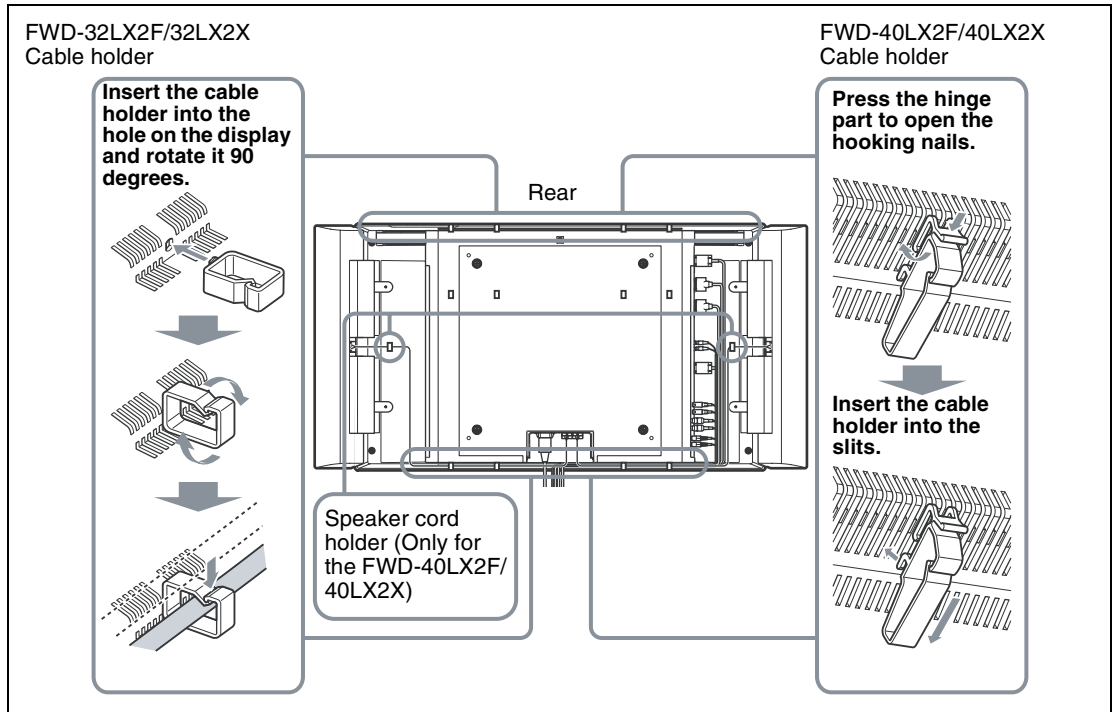
For the FWD-40LX2F/40LX2X:

Attach the two cable holders (×4 supplied) to the slits on the top and on the bottom respectively.

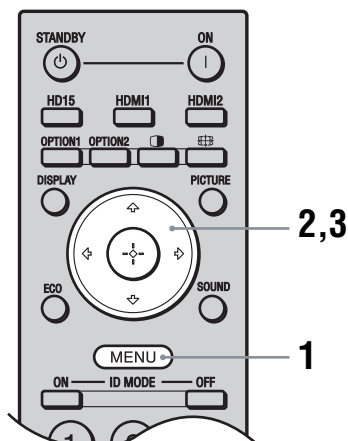
When you connect the speakers (not supplied), route the speaker cords through the speaker cord holders on the rear of the display.

For the FWD-32LX2F/32LX2X:

Choose six out of eight holes (4 on the top and 4 on the bottom) and attach the cable holders (×6 supplied). The speaker cord holders are not supplied.



Overview of the Menus



- 1 Press MENU button.
- 2 Press \uparrow/\downarrow to highlight the desired menu icon.
- 3 Press \leftarrow or \rightarrow .
To exit the menu, press MENU button.

To change the on-screen language

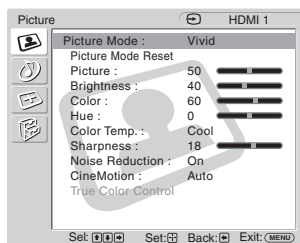
Select the desired language for on-screen settings and messages from “English”, “Español”, “Français”, “Italiano”, “Deutsch” or “日本語”. “English” (English) is set for the default setting. See page 29.

The settings provide you access to the following features:

Settings

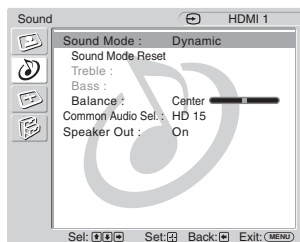
Allows you to set/change

Picture



- Picture Mode (page 22, 23)
- Picture Mode Reset (page 22, 23)
- Picture (page 22, 23)
- Brightness (page 22, 23)
- Color (page 22)
- Hue (page 22)
- Color Temp. (page 22, 23)
- Sharpness (page 22)
- Noise Reduction (page 22)
- CineMotion (page 22)
- True Color Control (page 23)

Sound

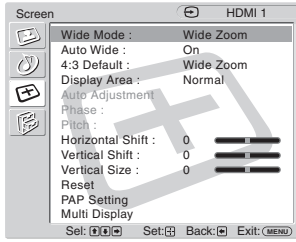


- Sound Mode (page 24)
- Sound Mode Reset (page 24)
- Treble (page 24)
- Bass (page 24)
- Balance (page 24)
- Common Audio Sel. (page 24)
- Speaker Out (page 24)

Settings

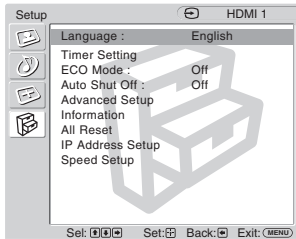
Allows you to set/change

Screen



Wide Mode (page 25, 28)
Auto Wide (page 25)
4:3 Default (page 26)
Display Area (page 26)
Auto Adjustment (page 28)
Phase (page 28)
Pitch (page 28)
Horizontal Shift (page 26, 28)
Vertical Shift (page 26, 28)
Vertical Size (page 26)
Reset (page 26, 28)
PAP Setting (page 26)
Multi Display (page 27)

Setup

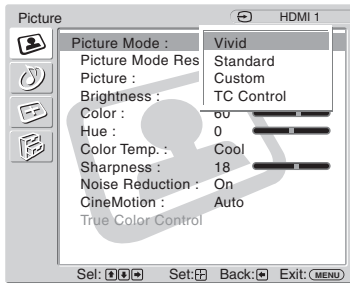


Language (page 29)
Timer Setting (page 29)
ECO Mode (page 29)
Auto Shut Off (page 29)
Advanced Setup (page 30)
Information (page 30)
All Reset (page 30)
IP Address Setup (page 31)
Speed Setup (page 31)

* Menu icons displayed at the bottom of the screen may not work, depending on the settings.

Picture Settings

For Video Input



To highlight an option and to change settings, press $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Press \oplus to confirm the selection.

The “Picture” settings include the following options:

Picture Mode

“Vivid”: Select for enhanced picture contrast and sharpness.

“Standard”: Select for standard picture settings.

“Custom”: Allows you to store preferred settings.

“TC Control”: The setting is common with “Vivid”. In addition, you can use the “True Color Control” function (after-mentioned).

Tips

- To change from one “Picture Mode” option to another, you can also use PICTURE on the remote control instead.
- You can alter the “Picture Mode” options for each input.

Picture Mode Reset

Resets all settings and adjustments to the default setting for the currently selected “Picture Mode” (“Vivid”, “Standard”, “Custom”, “TC Control”) (except for the options grayed out).

Picture

Adjust picture contrast.

Brightness

Adjust to brighten or darken the picture.

Color

Adjust to increase or decrease color intensity.

Hue

Adjusts the color tones of the picture.

Note

“Hue” is not available when the input is video or S Video and the color system of video signal is not NTSC.

Color Temp.

“Cool”: Select to give the white colors a blue tint.

“Neutral”: Select to give the white colors a neutral tint.

“Warm”: Select to give the white colors a red tint.

Sharpness

Adjust to sharpen or soften the picture.

Noise Reduction

Select to reduce the noise level of connected equipment. Select from “On” or “Off”.

CineMotion

Select “Auto” to optimize the screen display automatically detecting film content and applying a reverse 3-2 pull down or 2-2 pull down process. Moving picture will appear clearer and more natural looking. Select “Off” to disable the detection.

True Color Control

You can adjust the details of hue and saturation for each of 4 colors : red, green, yellow, blue, and you can highlight specific colors in the image. Select the color which you want to adjust, and you can check and see which part of current image will be adjusted. Then you can adjust it using the matrix dialog.

Notes

- This option can be adjusted when “Picture Mode” is set to “TC Control”.
- In “PAP” mode, you cannot select this option. Even if you select this option in the single-picture screen, the setting of this option may not be applied in the “PAP” mode.

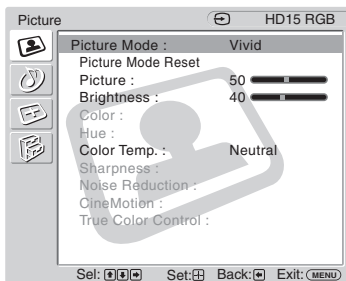
Tip

You can alter the “Picture” settings (“Picture”, “Brightness”, “Color”, etc.) for each “Picture Mode”.

Notes

- In the “PAP” mode, none of the options of the “Picture” settings can be selected.
- If there is no signal currently being input, none of the options of the “Picture” setting can be selected.

For PC Input



When input is switched to a PC input source, the “Picture” settings specific to PC input are applied. The “Picture” settings for a PC include the following options:

GB

Picture Mode

“Vivid”: Select for enhanced picture contrast and sharpness.

“Standard”: Select for standard picture settings.

“Custom”: Allows you to store preferred settings.

“TC Control”: The setting is common with “Vivid”. In addition, you can use the “True Color Control” function (after-mentioned).

Picture Mode Reset

Resets all settings and adjustments to the default setting for the currently selected “Picture Mode” (“Vivid”, “Standard”, “Custom”, “TC Control”) (except for the options grayed out).

Picture

Adjust to increase or decrease picture contrast.

Brightness

Adjust to brighten or darken the picture.

Color Temp.

See “Color Temp.” for video input (page 22).

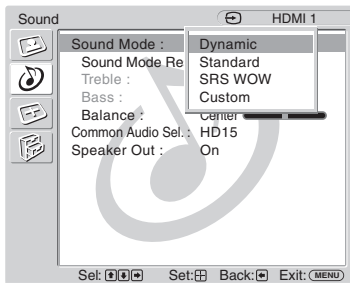
True Color Control

See “True Color Control” for video input (page 23).

Notes

- “Color”, “Hue”, “Sharpness”, “Noise Reduction” and “CineMotion” are not available for PC input.
- In the “PAP” mode, none of the “Picture” settings options can be selected.
- If there is no signal currently being input, none of the options of the “Picture” setting can be selected.

Sound Settings



When the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied) are installed, you can set various “Sound” settings. To highlight an option and to change settings, press $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Press \oplus to confirm the selection.

The “Sound” settings include the following options:

Sound Mode

“Dynamic”: Select to enhance treble and bass.

“Standard”: Flat setting.

“SRS WOW”: Provides a panoramic stereo audio image by producing deep and rich bass tones and clear treble tones, enabling you to enjoy powerful sound effects like those in a movie theater.

“Custom”: Allows you to store preferred settings.

Tips

- To change from one “Sound Mode” option to another, you can also use SOUND on the remote control instead.
- The proprietary technologies of BBE Sound, Inc. are applied for “Dynamic” and “Standard”.

Sound Mode Reset

Resets the following settings; “Treble”, “Bass” and “Balance” to the default settings.

Treble

Adjust to increase or decrease higher-pitched sounds.

Bass

Adjust to increase or decrease lower-pitched sounds.

Balance

Adjust to emphasize left or right speaker balance.

Common Audio Sel.

“HD15”: Outputs audio from a piece of video equipment or PC connected to the HD15 (RGB/COMPONENT IN) connector and the AUDIO (COMMON AUDIO IN) connector.

“HDMI 1”/“HDMI 2”: Select to connect a piece of equipment using an HDMI cable (not supplied) or an HDMI-to-DVI cable, and the corresponding audio cable at the same time.

See page 8.

Notes

- When using an HDMI-to-DVI cable (not supplied), connect the audio cable to the AUDIO (COMMON AUDIO IN) connector.
- When “HDMI 1”/“HDMI 2” is selected, digital audio is not output from the HDMI connectors. When a piece of video equipment equipped with an HDMI connector is connected to the HDMI 1/HDMI 2 connectors, set “Common Audio Sel.” to “HD15”. (The default setting is “HD15”).

Speaker Out

“On”: Enables sound to be emitted from the speakers.

“Off”: Disables sound to be emitted from the speakers.

Note

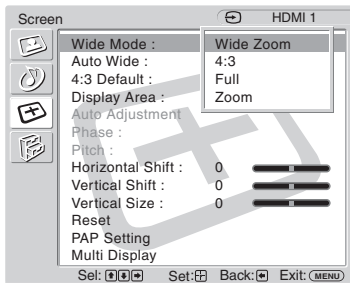
When “Speaker Out” is set to “Off”, “Sound Mode”, “Sound Mode Reset”, “Treble”, “Bass”, and “Balance” cannot be selected.

Tip

You can adjust the sound quality menus (“Treble” and “Bass”) when the “Sound Mode” is set to “Custom”.

Screen Settings

For Video Input



To highlight an option and to change settings, press $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Press \oplus to confirm the selection.

The “Screen” settings include the following options:

Wide Mode

“Wide Zoom”: Select to enlarge to fill screen with minimum distortion.

“4:3”: Select to display 4:3 picture in original size when the original source is 4:3 (Standard definition source).

“Full”: Select to enlarge the original picture horizontally to fill the screen when the original source is 4:3 (Standard definition source). When the original source is 16:9 (High definition source), select this mode to display 16:9 picture in original size.

“Zoom”: Select to enlarge the original picture without distorting the aspect ratio. See page 14.

Tips

- To change from one “Wide Mode” option to another, you can also use \boxplus on the remote control.
- Select “Zoom” to display movies and other DVD content with black bands, using the entire viewable area of the screen.
- For “Wide Zoom” and “Zoom” modes, you can adjust “Horizontal Shift”, “Vertical Shift” and “Vertical Size”. See page 26.

Notes

- You cannot set the “Wide Mode” while using the “PAP” function or the “Multi Display”.
- “Wide Zoom” and “4:3” cannot be selected for 1080i, 720p, or 1080p signals input to the component or HDMI connectors.

Auto Wide

“On”: Select to detect the image and change it automatically to the appropriate screen mode.

“Off”: The screen mode does not change automatically.

Notes

- While inputting digital and analog RGB signals, you cannot set the “Auto Wide” because the “Auto Wide” function does not work.
- You cannot set the “Auto Wide” while using the “PAP” function or the “Multi Display” function.

4:3 Default

“Wide Zoom”: Select to enlarge the 4:3 picture to fill the 16:9 screen, keeping the original image as much as possible.

“4:3”: Select to display the 4:3 picture without changing its aspect ratio.

“Full”: Select to enlarge the 4:3 picture horizontally only, to fill the 16:9 screen.

“Zoom”: Select to enlarge the 4:3 picture to fill the screen while keeping its aspect ratio. Useful for watching Letterbox movies.

“Off”: Select to continue using the current wide screen mode setting when the input is changed.

Notes

- You can select “4:3 Default” only when “Auto Wide” is set to “On”.
- “4:3 Default” functions only when the display receives NTSC, PAL, SECAM, 480i, 480p, 575i or 576p signals.
- If “Wide Mode” setting is changed after “4:3 Default” is set, that “Wide Mode” setting will become effective and the aspect ratio of the screen will change. This change of setting made afterward by “Wide Mode” will be effective only for each input signal, therefore when the input signal is changed, the screen will return to the original “4:3 Default” setting. To keep the current aspect ratio even after the input signal is changed, set “4:3 Default” to “Off”.

Display Area

“Normal”: Displays a standard size picture.

“-1”/“-2”: Allows you to adjust the viewable picture area size. When noises appear around the picture, select this to hide the noises.

Horizontal Shift

Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Available only in “Wide Zoom” and “Zoom” modes. Press ⇆ and press ⊕ to choose a correction.

Vertical Shift

Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Available only in “Wide Zoom” and “Zoom” modes. Press ⇅ and press ⊕ to choose a correction.

Vertical Size

Allows you to adjust the vertical size of the picture. Available only in “Wide Zoom” and “Zoom” modes. Press ⇅ and press ⊕ to choose a correction.

Reset

Resets the following settings; “Horizontal Shift”, “Vertical Shift” and “Vertical Size” to the default settings.

PAP Setting

Allows you to show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side. Only the combination of an analog signal and a digital signal is available.

“PAP”: “On” shows two pictures side by side at the same time, and “Off” disables “PAP” function.

“Swap”: “OK” swaps the position of the two pictures, and “Cancel” aborts the execution.

“PAP Size”:

“Large Left”: The left picture’s width is larger than the right picture.

If the left picture’s aspect is 4:3, the left picture’s height will be equal to the panel size.

“Even”: The left picture and the right picture width is the same (half & half). The height will be set to match each picture’s aspect ratio.

“Large Right”: The right picture’s width is larger than the left picture.

If right picture’s aspect is 4:3, the right picture’s height will be equal to the panel size.

Notes

- You can show two pictures only when “Multi Display” is set to “Off”.
- When two pictures are displayed, the “Picture” settings set when a single picture is displayed are applied.
- For details on the available combination of two pictures, see page 15.

Multi Display

You can make settings for connecting multiple displays to form a video wall.
“Multi Display”: “Off” uses a single screen, and “2x2”-“4x4” selects the arrangement to be used to construct the video wall.

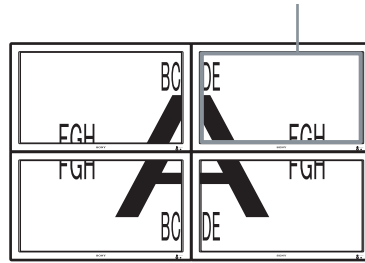
“Position” (location popup): Select the position of this particular display in the arrangement of the video wall with $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$. Press \oplus to set the position.

“Output Format”: Selection of two picture output formats will be available as shown in the figures. By simply selecting either format, suitable picture output will be available without manually adjusting the horizontal and vertical shift.

Select either “Tiles” or “Window”.

“Tiles”

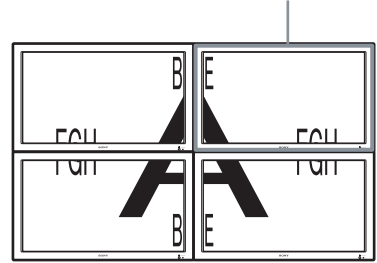
Just scan



To show full signal on each display.

“Window”

Over scan



To show one large picture with multi display naturally. Part of the signal will go behind the bezel area.

GB

“LED”: “On” causes the POWER/STANDBY indicator on the Front Panel (page 7) to be continually turned on, and “Off” causes the POWER/STANDBY indicator on the Front Panel to be continually shut off.

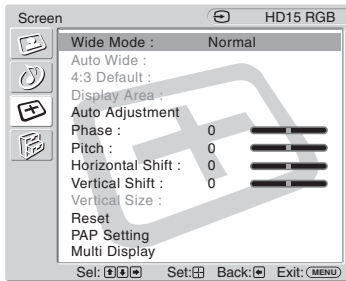
Notes

- “Multi Display” can display an enlarged picture keeping the current “Wide Mode” setting as much as possible for video input, and can display an enlarged picture of which “Wide Mode” is set to “Full 2” for PC input.
- You can set the “Multi Display” only when the “PAP” function is disabled.
- When the “Position” option is set to the right-bottom, the POWER/STANDBY indicator lights up even if the “LED” option is set to “Off”. The indicator also lights up even when the display is off (standby), errors are detected, or the display is in sleep mode including the case of no signal or unsupported signal.

Notes

- “Display Area”, “Horizontal Shift”, “Vertical Shift”, and “Vertical Size” are not available while using the “PAP” function or the “Multi Display”.
- If there is no signal currently being input, none of the “Screen” settings options, except for “PAP Setting” and “Multi Display” can be selected.

For PC Input



When input is switched to PC input source, the “Screen” settings specific for PC input are applied. The “Screen” settings for a PC include the following options:

Wide Mode

“Normal”: Select to display the picture in its original size.

“Full 1”: Select to enlarge the picture to fill the display area in the vertical direction, keeping its original horizontal-to-vertical aspect ratio. A black frame will appear on the surrounding of the picture.

“Full 2”: Select to enlarge the picture to fill the display area.

Note

You cannot set the “Wide Mode” while using the “PAP” function or the “Multi Display” function.

Auto Adjustment

Select to automatically adjust the display position and phase of the picture when the display receives an input signal from the connected PC.

Note that “Auto Adjustment” may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.

Phase

Select to adjust the phase when the screen flickers.

Pitch

Select to adjust the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.

Horizontal Shift

Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Press \leftarrow/\rightarrow and press \oplus to choose a correction.

Vertical Shift

Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Press \uparrow/\downarrow and press \oplus to choose a correction.

Reset

Resets the following settings; “Phase”, “Pitch”, “Horizontal Shift” and “Vertical Shift” to the default settings.

PAP Setting

See “PAP Setting” for video input (page 26).

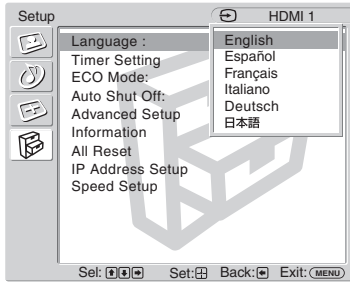
Multi Display

See “Multi Display” for video input (page 27).

Notes

- “Auto Wide”, “4:3 Default”, “Display Area” and “Vertical Size” are not available for PC input.
- If there is no signal currently being input, none of the “Screen” settings options, except for “PAP Setting” and “Multi Display” can be selected.
- When the input is via HDMI 1/HDMI 2, “Auto Adjustment”, “Phase” and “Pitch” are not available for PC input.

Setup Settings



To highlight an option and to change settings, press $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Press \oplus to confirm the selection.

The “Setup” settings include the following options:

Language

Select to display all on-screen settings in your language of choice: “English”, “Español”, “Français”, “Italiano”, “Deutsch” or “日本語”.

Timer Setting

You can adjust time, display the built-in clock, or set the timer to make the display power on/off at a predetermined time.

“Clock Set”: Sets the time and the day.

“Clock Display”: Displays the currently set time on the screen when set to “On”.

“On/Off Timer”: Sets the time at which the power is automatically turned on or off.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

ECO Mode

“Off”: Select to view picture without the benefit of power saving.

“Low”/“High”: Select to view picture with reduced power consumption. It also enhances the black level.

“Picture Off”: Select to turn off the picture. Audio stays on with your selected volume setting.

Auto Shut Off

“On”: The display automatically enters the standby mode when a signal is not input to the video or S Video input connectors for more than about 5 minutes. The display automatically enters the power saving mode when a signal is not input to the HDMI or RGB/component input connectors for more than about 30 seconds.

“Off”: The display is not turned off automatically even when no signal is input to any connector.

Tip

While in the standby mode, press the \uparrow POWER switch on the display or the POWER ON switch on the remote control to turn the display on. In the power saving mode, the display is turned on automatically when a signal is input.

GB

Advanced Setup

“Color System”: Select the color system of video signals from “NTSC”, “PAL”, “SECAM”, “NTSC4.43”, “PAL-M”, “PAL-N”, “PAL60”, or select “Auto” to set the color system automatically.

“Status Display”: “On” makes input signal and “Wide Mode” information appear on the screen for about 20 seconds when the display is turned on, and the input signal information appear for about 5 seconds when the input signal is switched, while “Off” disables display of status information.

Tip

You can display the input signal and “Wide Mode” information by using DISPLAY on the remote control regardless of the “Status Display” setting.

“Illumination”: “On” enables the Sony logo on the front of the display to light up, and “Off” disables the function.

“Control Setting”: This menu is used for settings of operation of the display and the remote control.

“Remote Index”: You can change the “Index Number” of the display if necessary. Select to set the “Index Number” of the display with \uparrow/\downarrow and press \oplus to confirm the setting.

Note

When you set the “Index Number”, use the buttons on the display. The “Index Number” cannot be set with the remote control.

“Control Mode”

“Display+Remote”: You can operate the display with the control buttons on the display and the remote control.

“Display Only”: Disables the remote control function. You can make settings for the display only using the control buttons on the display.

“Remote Only”: Disables the controls on the display. You can make settings for the display only using the remote control.

“All Off”: Disables the operation of both the remote control and the control buttons on the display. You can operate the display via the REMOTE connector on the display (BKM-FW20) and via the optional adaptor with communication functions (such as BKM-FW32/FW50).

Notes

- When operating this item, the modes you can select differ depending on the button you are using. When setting this item with \oplus on the remote control, you can select only “Display+Remote” or “Remote Only”. When setting this item with \oplus on the display, you can select only “Display+Remote” or “Display Only”.
- When this option is set to “All Off”, you cannot operate the display using the remote control and the control buttons on the display. You can return the setting to “Display+Remote” by pressing MENU and \triangleleft + on the display at the same time for more than 5 seconds.

Information

Displays the “Model Name”, “Serial Number”, “Operation Time”, “Software Version” and “IP Address” of your display.

Note

The “IP Address” is not shown if the optional adaptor with network functions is not installed.

All Reset

Resets all the “Setup” settings to the default settings.

Note

The items included in the “Information” option and the “Index Number” will not be reset.

IP Address Setup

Sets an IP address to enable the communication between the optional adaptor with communication functions, such as the BKM-FW32/FW50, installed in the display, and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

“DHCP”: “OK” allows you to set an IP address automatically, and “Cancel” aborts automatic configuration.

Note

When you obtain an IP address automatically using DHCP, an IP address may differ every time you turn the power of the display off and on.

“Manual”: Select to set an IP address manually.

- 1 Select an “IP Address”, “Subnet Mask”, “Default Gateway”, “Primary DNS” “Secondary DNS” to be set manually with \uparrow/\downarrow and press \oplus .
- 2 Set the three digit value (0 to 255) for the first box with \uparrow/\downarrow on the display or numeric keys on the remote control and press \oplus or \rightleftarrows .
- 3 Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press \oplus .
- 4 Select the next item to be set manually with \uparrow/\downarrow and repeat the same procedure and press \oplus .
- 5 After values are set for all the desired items, select “Execute” with \uparrow/\downarrow , then press \oplus .

Select “OK” and press \oplus . An IP address is set manually.

Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.

Error 1: Communication error between the display and the optional adaptor such as the BKM-FW32 or BKM-FW50

Error 2: The specified IP address is already used for other equipment

Error 3: IP address error

Error 4: Gateway address error

Error 5: Primary DNS address error

Error 6: Secondary DNS address error

Error 7: Subnet mask error

Speed Setup

Sets a communication speed between the optional adaptor with communication functions, such as the BKM-FW32/FW50, installed in the display, and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

“Speed”: Select “Auto” when you want to set an appropriate communication speed for your network configuration automatically. You can also select either of “10Mbps Half”, “10Mbps Full”, “100Mbps Half”, “100Mbps Full” manually.

“Execute”: Select “OK” and press \oplus . A communication speed has been set.

Note


“IP Address Setup” and “Speed Setup” are not available if the optional adaptor with network functions is not installed.

Troubleshooting

Check whether the POWER/STANDBY indicator is flashing red.



When it is flashing

The self-diagnosis function is activated.

- 1 Check how many times the POWER/STANDBY indicator flashes and how long it stops flashing.
For example, the indicator flashes 2 times, stops flashing for 3 seconds, and flashes 2 times.
- 2 Press  on the display (top side) to switch off, disconnect the power cord.
Inform your dealer or Sony service center of how the indicator flashes (the number of flashes and the duration of light out).

When it is not flashing

- 1 Check the items in the table below.
- 2 If the problem still persists, have your display serviced by qualified personnel

Problem	Possible Remedies
The power switch and control buttons on the display do not work.	<ul style="list-style-type: none"> • Check “Control Setting” (page 30).
No picture.	
No picture.	<ul style="list-style-type: none"> • Check “ECO Mode” settings (page 29).
The display turns off automatically.	<ul style="list-style-type: none"> • Check if “Timer Setting” is activated (page 29).
No picture from some video sources.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the connection between the video equipment and the display. • Try switching input using the INPUT button of the display, or the remote control (page 7, 12, 13).
Poor picture.	
No color/Dark picture/The picture is too bright/Color is not correct	<ul style="list-style-type: none"> • Press PICTURE to select the desired “Picture Mode” (page 12). • Adjust the “Picture Mode” options in the “Picture” settings (page 22). • Check the condition of the signal cable.
No sound/Noisy sound.	
Good picture, no sound.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the volume control. • Press  on the remote control or  + so that “Muting” disappears from the screen (page 13). • Check “Common Audio Sel.” settings (page 24). • Check “Speaker Out” settings (page 24).
“Wide Mode” setting changes automatically.	<ul style="list-style-type: none"> • The current “Wide Mode” setting automatically changes to the appropriate setting for the current input if “Auto Wide” in the “Screen” settings is set to “On”. If you want to retain the current “Wide Mode” setting as inputs are changed, set “Auto Wide” to “Off” in the “Screen” settings (page 25).
Remote control does not operate.	<ul style="list-style-type: none"> • Check the polarity of the batteries or replace the batteries. • Point the remote control at the remote control sensor of the display. • Keep the remote control sensor area clear from obstacles. • Check “Control Setting” (page 30). • Check whether a cable is connected to the CONTROL S IN connector. The remote control cannot be used while the display is controlled via a CONTROL S connection. • Fluorescent lamps can interfere with remote control operation; try turning off the fluorescent lamps.

Input Signal Reference Chart

PC signals

	Resolution	horizontal frequency (kHz)	vertical frequency (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29.8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29.5	60
13	848 × 480@75 Hz	37.7	75
14	1280 × 768@60 Hz	47.8	60
15	1280 × 768@60 Hz	47.4	60
16	1360 × 768@60 Hz	47.7	60
17	1360 × 768@60 Hz	47.4	60

TV/Video signals

	Resolution	Available Inputs		
		Video	Component/RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
- b) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
- c) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.

Notes

- For HDTV signals, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of RGB/COMPONENT (D-sub 15 pin) on the HD15 connector or the BKM-FW12 (optional adaptor).
- If colors appear too light after input of a DVD signal to the display, adjust "Color" in the "Picture" settings.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.

Actual on-screen display of the input signal and the display's status

On-screen display	Significance
640 × 480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is a PC signal.
480 / 60i (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
Not Supported Signal	The selected input signal is non-supported signal.
No Signal	There is no input signal.
HD15	The selected input signal is HD15.
HDMI 1	The selected input signal is HDMI 1.
HDMI 2	The selected input signal is HDMI 2.
Option 1	The selected input signal is OPTION 1.
Option 2	The selected input signal is OPTION 2.

GB

Specifications

Video processing

Panel system	a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
Display resolution	1,366 dots (horizontal) × 768 lines (vertical)
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Color system	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N
Input signal	See page 33.

FWD-40LX2F/40LX2X:

Pixel pitch	0.648 (horizontal) × 0.648 (vertical) mm ($1/32 \times 1/32$ inches)
Picture size	885 (horizontal) × 498 (vertical) mm ($34 \frac{7}{8} \times 19 \frac{5}{8}$ inches)
Panel size	40-inch (diagonal 1,016 mm)

FWD-32LX2F/32LX2X:

Pixel pitch	0.510 (horizontal) × 0.510 (vertical) mm ($1/32 \times 1/32$ inches)
Picture size	698 (horizontal) × 392 (vertical) mm ($27 \frac{1}{2} \times 15 \frac{1}{2}$ inches)
Panel size	32-inch (diagonal 801 mm)

Inputs and Outputs

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-sub 15-pin (female) (× 1) (See page 35.)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (compliant with HDMI specifications 1.1)

VIDEO INPUT Adaptor BKM-FW10

VIDEO IN	BNC (× 1) Composite video, 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
VIDEO OUT	BNC (× 1) Loop-through
S VIDEO IN	Mini DIN 4-pin (× 1) Y (luminance): 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75 ohms terminated Burst 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75 ohms terminated
S VIDEO OUT	Mini DIN 4-pin (× 1) Loop-through
AUDIO IN	Pin jack (× 2) 500 mVrms, high impedance

MONITOR CONTROL Adaptor BKM-FW20

REMOTE (RS-232C)	D-sub 9-pin (× 1)
CONTROL S IN/OUT	Mini jack (× 2)

General

Power requirements

100 V to 240 V AC, 50/60 Hz,
FWD-40LX2F/40LX2X:
2.3 A
FWD-32LX2F/32LX2X:
1.3 A

Power consumption

FWD-40LX2F/40LX2X:
200 W
FWD-32LX2F/32LX2X:
120 W

Speaker output

7 W + 7 W (6 ohms)
Adequate load impedance, 6 to 16 ohms

Operating conditions

Temperature: 0 °C to 35 °C
(32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)

Storing/transporting conditions

Temperature: -10 °C to +40 °C
(14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)

Dimensions

FWD-40LX2F:
 988 × 591 × 125 mm
 (39 × 23 ³/₈ × 5 inches)

FWD-40LX2X:
 994 × 597 × 125 mm
 (39 ¹/₄ × 23 ⁵/₈ × 5 inches)

FWD-32LX2F:
 796 × 486 × 107 mm
 (31 ³/₈ × 19 ¹/₄ × 4 ¹/₄ inches)

FWD-32LX2X:
 802 × 492 × 107 mm
 (31 ⁵/₈ × 19 ³/₈ × 4 ¹/₄ inches)

(w/h/d, excluding projections)

Mass

FWD-40LX2F:
 Approx. 25.0 kg (55 lb 2 oz)

FWD-40LX2X:
 Approx. 26.0 kg (57 lb 6 oz)

FWD-32LX2F:
 Approx. 16.0 kg (35 lb 5 oz)

FWD-32LX2X:
 Approx. 17.0 kg (37 lb 8 oz)

Supplied accessories

- AC power cord (1)
- AC plug holder (2)
- Cable holder 40" type (4), 32" type (6)
- Component video signal cable (HD15 - RCA × 3) (1)
- BNC-RCA adaptor (1)
- Remote Control RM-FW001 (1)
- Size AA (R6) batteries (2)
- Operating instructions (1)

Optional accessories

- Display stand SU-42FW/32FW
- Speakers SS-SP40FW/32FW
- Optional adaptors for system expansion, BKM-FW series

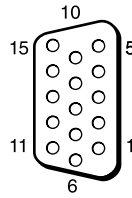
Safety regulations

UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

HD15 (RGB/COMPONENT) connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or C _R /P _R
2	Green video or Y
3	Blue video or C _B /P _B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or Composite Video
14	V sync
15	SCL

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

Index

Numerics

4:3 Default 21, 26
4:3 14, 25, 26

A

AC IN socket 11, 17
Advanced Setup 21, 30
All Reset 21, 30
AUDIO (COMMON AUDIO IN)
connector 8
AUDIO IN L/R connector 9
Auto Adjustment 21, 28
Auto Shut Off 21, 29
Auto Wide 21, 25

B

Balance 20, 24
Bass 20, 24
Brightness 20, 22, 23

C

Cable cover (bottom) 18
Cable cover (side) 8, 18
Cable holder 19
CineMotion 20, 22
Clock Display 29
Clock Set 29
Color 20, 22
Color System 30
Color Temp. 20, 22, 23
Common Audio Sel. 20, 24
Contrast button 13
Control Mode 30
CONTROL S IN/OUT connector 9
Control Setting 30
Custom 22, 23, 24

D

DHCP 31
Display Area 21, 26
DISPLAY button 13
Dynamic 24

E

ECO button 13, 16
ECO Mode 16, 21, 29

F

Full 1/Full 2 14, 28
Full 14, 25, 26

H

HD15 (RGB/COMPONENT IN)
connector 8
HD15 button 13
HDMI 1/HDMI 2 button 12
HDMI 1/HDMI 2 IN connector 8
Horizontal Shift 21, 26, 28
Hue 20, 22

I

ID MODE buttons 13, 16
Illumination 30
Index Number 13, 16, 30
Information 21, 30
INPUT button 7
Input signal 33
IP Address Setup 21, 31

L

Language 21, 29
LED 27

M

Manual (IP Address Setup) 31
MENU button 7, 12
MONITOR CONTROL
ADAPTOR 9
Multi Display 21, 27, 28
Muting button 13

N

Noise Reduction 20, 22
Normal 14, 26, 28

O

On/Off Timer 29
OPTION 1/OPTION 2 button 13
OPTION 1/OPTION 2 slot 9
Output Format 27

P

PAP button 12, 15
PAP Setting 15, 21, 26, 28
PAP Size 26
Phase 21, 28
Picture 20, 22, 23
PICTURE button 12
Picture Mode 20, 22, 23
Picture Mode Reset 20, 22, 23
Picture Settings 20, 22
Pitch 21, 28
Position 27
POWER ON switch 12
POWER switch 7
POWER/STANDBY indicator 7

R

REMOTE connector 9
Remote control sensor 7
Remote Index 30
Reset 21, 26, 28

S

S VIDEO IN/OUT connector 9
Screen Settings 21, 25
Setup Settings 21, 29
Sharpness 20, 22
Sony logo 7, 30
SOUND button 12
Sound Mode 20, 24

Sound Mode Reset 20, 24
Sound Settings 20, 24
Speaker Out 20, 24
SPEAKER socket 11
Speed Setup 21, 31
SRS WOW 24
Stand installation hooks 11
Standard 22, 23, 24
STANDBY button 13
Status Display 30
Swap 26

T

TC Control 22, 23
Tiles 27
Timer Setting 21, 29
Treble 20, 24
True Color Control 20, 23

V

Vertical Shift 21, 26, 28
Vertical Size 21, 26
VIDEO IN/OUT connector 9
VIDEO INPUT ADAPTOR 9, 10
Vivid 22, 23
Volume button 7, 13

W

Wide Mode 14, 21, 25, 28
Wide Mode button 12, 14
Wide Zoom 14, 25, 26
Window 27

Z

Zoom 14, 25

AVERTISSEMENT

Pour réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, placez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis. Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACÉE PAR UNE PILE DE TYPE INCORRECT. DEBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGÉES EN RESPECTANT LES RÉGLEMENTATIONS.

Informations relatives aux marques

WOW, SRS et le (●) symbole sont des marques déposées de SRS Labs, Inc. WOW technologie est incorporé sous licence de SRS Labs, Inc.

Fabriqué sous licence de BBE Sound, Inc.
Sous licence de BBE Sound, Inc., sous les brevets USP5510752 et 5736897. BBE et le symbole BBE sont des marques déposées de BBE Sound, Inc.

Table des matières

Introduction

Précautions	4
Recommandations pour l'installation	6

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Panneau avant	7
Panneau latéral	8
Adaptateurs en option	10
Panneau arrière	11
Télécommande	12
Description des touches.....	12
Touches spéciales de la télécommande	14
Utilisation du Mode cinéma.....	14
Utilisation du réglage PAP	15
Utilisation de la touche ID MODE	16
Utilisation de la fonction Mode ECO	16

FR

Raccordements

Raccordement des enceintes.....	17
Raccordement de la prise d'alimentation secteur	17
Gestion des câbles.....	18

Utilisation des réglages

Description générale des menus.....	20
Réglages Image	22
Réglages Son.....	24
Réglages Écran.....	25
Réglages Réglage.....	30

Informations supplémentaires

Dépannage.....	33
Tableau de référence des signaux d'entrée	34
Spécifications	35
Index	37

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque vous installez l'appareil sur le sol, veillez à utiliser le support d'écran en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.

Panneau d'affichage à cristaux liquides (LCD)

- Des points lumineux (rouges, bleus ou verts) ou des points sombres peuvent apparaître à l'écran. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Bien que le panneau LCD soit le produit d'une technologie de haute précision, il est possible qu'il génère quelques pixels sombres ou lumineux.
- Maintenir le panneau LCD face au soleil pendant une période prolongée peut l'endommager. Ne l'oubliez pas lorsque vous installez l'appareil à l'extérieur ou à proximité d'une fenêtre.
- N'appuyez pas ou n'exercez pas de forte pression sur le panneau et ne le rayez pas. Ceci pourrait provoquer des irrégularités au niveau de l'écran ou un dysfonctionnement du panneau LCD.
- L'écran peut s'assombrir ou une image rémanente peut apparaître lorsque vous utilisez cet appareil dans un environnement plus froid. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Il disparaît dès que la température augmente.

- Si vous affichez une image fixe de façon continue, une image fantôme peut apparaître. Ce phénomène disparaît progressivement si vous changez d'image ou si vous réglez l'écran afin qu'il soit entièrement blanc. En outre, si vous affichez la même image fixe pendant une période prolongée, l'image fantôme restera apparente.
- La surface du panneau ou du boîtier peut chauffer pendant l'utilisation. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement.

Nettoyage de l'écran

Surface du panneau

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.
- La surface du panneau LCD est recouverte d'un fini spécial. Évitez de toucher l'écran LCD. Lorsque vous nettoyez la face du panneau, éliminez les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence ou de dissolvant. Cela risquerait d'endommager le fini de la face du panneau.
- Lorsque vous utilisez une lingette nettoyante, suivez les instructions.
- La pulvérisation sur l'appareil de solvants volatiles (comme des insecticides) ou le contact prolongé de l'appareil avec des produits en caoutchouc ou en plastique risque d'enlever le revêtement ou d'abîmer l'appareil.

Boîtier

- Éliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Éliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'un détergent doux, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence ou de dissolvant. Cela risquerait d'endommager le fini du boîtier ou d'effacer les inscriptions y figurant.

Remarques sur la manipulation et l'entretien de l'écran

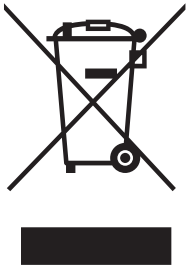
La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballer-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Elimination des appareils électriques et électroniques professionnels en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)



Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être déposé dans un point de collecte spécialisé dans le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée,

vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire concernant le recyclage de ce produit, contactez votre centre Sony local ou consultez le site web de Sony pour l'Europe destiné aux professionnels :
<http://www.sonybiz.net/environment>

Avertissement sur le raccordement électrique					
Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.					
	Etats-Unis, Canada	Europe continentale		Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Remarque : Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.

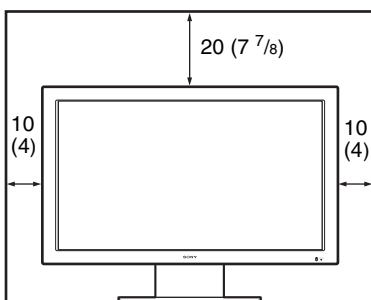
Recommandations pour l'installation

Laissez un espace suffisant autour de l'écran.

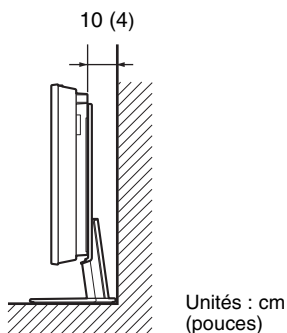
- Veillez à assurer une ventilation adaptée en laissant un espace suffisant autour de l'écran comme illustré ci-dessous afin d'éviter toute surchauffe interne.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et 35 °C (32 °F à 95 °F).
- Veillez à utiliser le support SU-42FW/32FW approprié (non fourni).
- Nous ne pouvons pas spécifier les produits utilisés en ce qui concerne l'installation du matériel tels que les supports de fixation, les vis ou les boulons. L'installation proprement dite est réservée aux revendeurs locaux agréés. Consultez un technicien Sony qualifié pour l'installation.
- Lorsque l'écran est sous tension, il chauffe à l'intérieur. Ceci peut provoquer des brûlures. Evitez de toucher le dessus ou l'arrière de l'écran lorsqu'il est sous tension ou juste après qu'il soit passé en mode de veille.

Utilisation du support d'écran

Avant

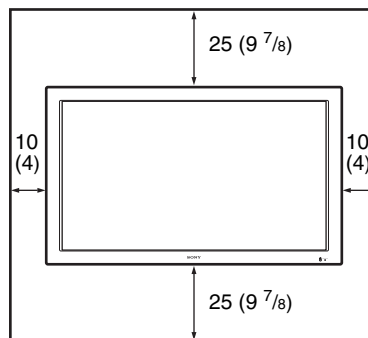


Côté

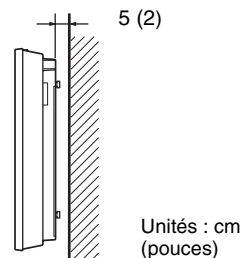


Montage horizontal de l'écran

Avant

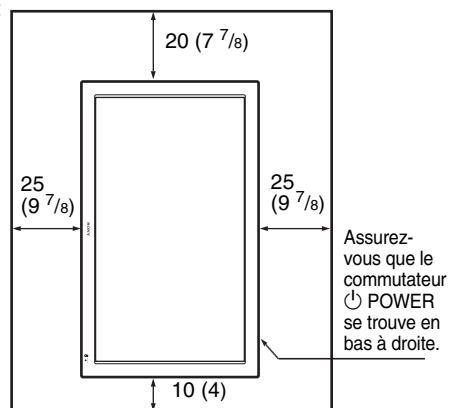


Côté

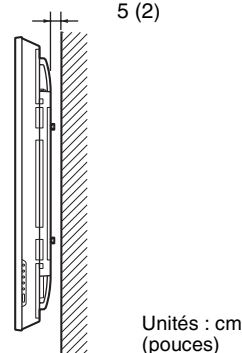


Montage vertical de l'écran

Avant



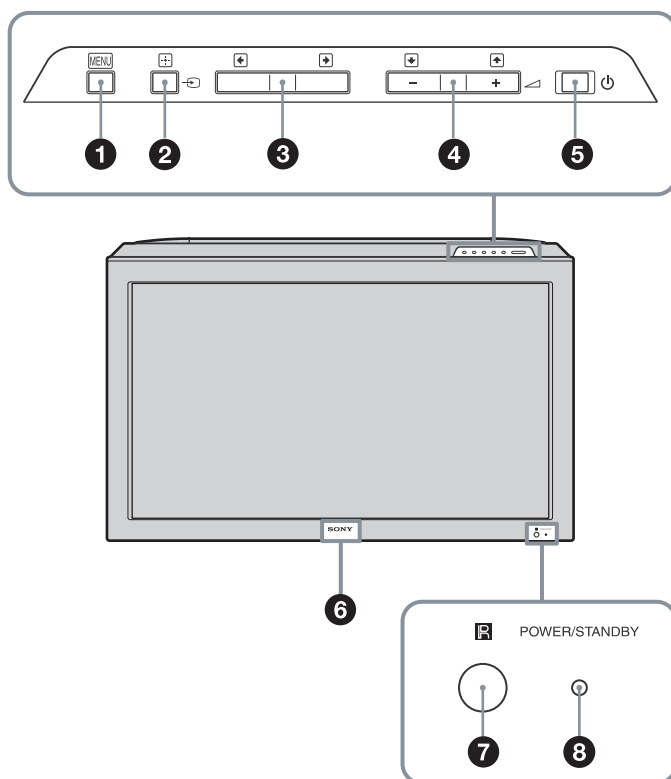
Côté



Remarque

Lors du montage vertical, les enceintes SS-SP40FW/32FW (non fourni) ne peuvent pas être utilisées.

Panneau avant



1 MENU (page 20)



2 (INPUT)

- Dans l'écran de menus, cette touche fonctionne comme la touche « Régl ».
- Elle commute le signal d'entrée lorsqu'il n'est pas dans l'écran de menus.
Permet de sélectionner un signal d'entrée à partir des connecteurs HD15/HDMI 1/HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2.
Si aucun adaptateur en option n'est inséré dans l'emplacement OPTION 1/OPTION 2, OPTION 1 et OPTION 2 ne sont pas disponibles.

3

- Dans l'écran de menus, ces touches permettent de se déplacer vers la gauche ou vers la droite.
- En mode « PAP », elles permettent de modifier l'image active ou la taille de l'image sur un écran autre que l'écran de menus.

4

- Permet d'augmenter (+) ou de diminuer (-) le volume.
- Dans l'écran de menus, ces touches permettent de se déplacer vers le haut ou vers le bas (/.

5

- Permet de mettre l'écran sous tension ou hors tension (veille).

Remarque

Pour protéger le panneau, un certain temps est nécessaire pour mettre l'écran sous tension ou hors tension (veille). Si vous mettez l'écran sous tension juste après l'avoir mis hors tension, attendez environ 5 secondes, puis mettez de nouveau l'écran sous tension.

6 Logo Sony

Le logo Sony s'allume.
Vous pouvez sélectionner « Oui »/« Non » dans l'écran de menus.
Reportez-vous à la section « Réglages avancés », page 31.

7 Capteur de télécommande

8 Indicateur POWER/STANDBY

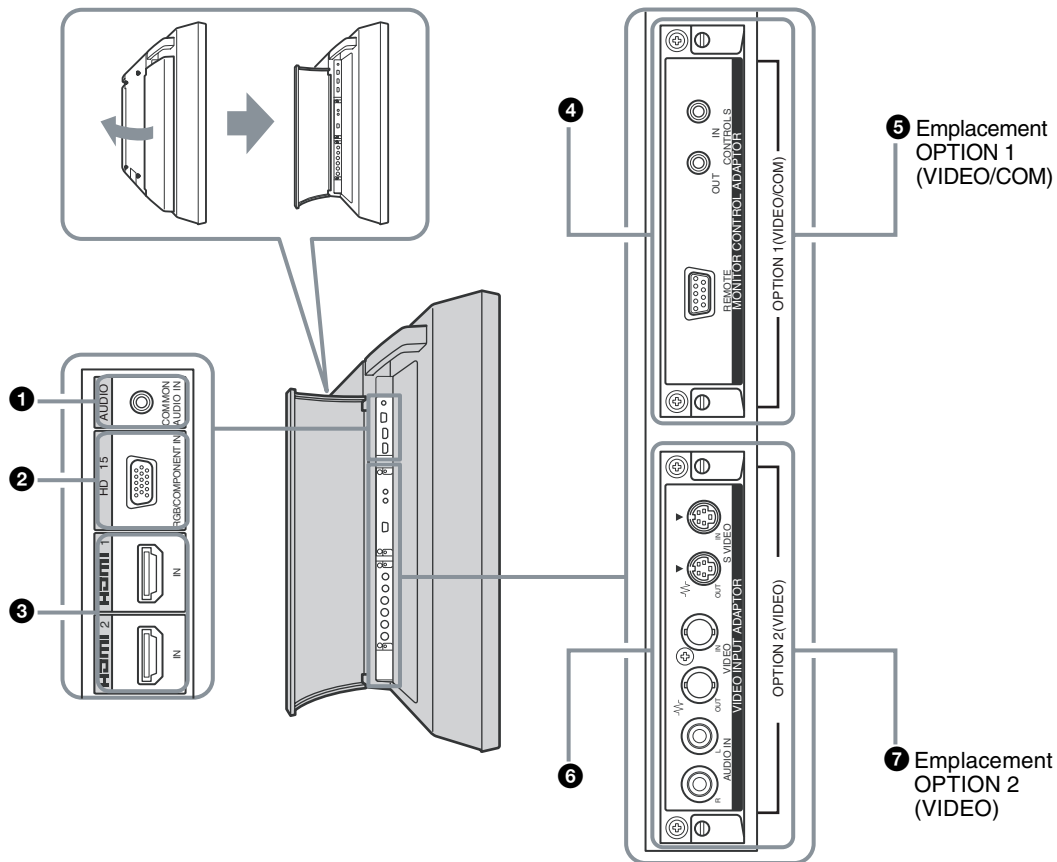
- S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension.
- S'allume en rouge lorsque l'écran est en mode de veille.
- S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie lorsque l'entrée en cours n'est pas vidéo ou S Video (S Vidéo).

Remarque

Lorsque l'option « Activer LED » des réglages « Affichage multiple » est réglé sur « Non » et l'option « Position » n'est pas réglée sur la position inférieure droite, le témoin ne s'allume pas en vert même si l'écran est allumé, sauf si aucun signal ou un signal non pris en charge est reçu.

Panneau latéral

Ouverture du cache-câbles (côté)



Connecteur

1 AUDIO (COMMON AUDIO IN)
(mini-prise stéréo)

2 HD15 (RGB/COMPONENT IN)
(D-sub à 15 broches)

Description

Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie de signal audio d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur. Prend en charge les signaux audio correspondant à **2** et **3**.

Se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal composante d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur. Voir page 36.

Remarque

Lorsque de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

Connecteur	Description
③ HDMI 1/HDMI 2 IN	<p>L'interface HDMI (High-Definition Multimedia Interface) fournit une interface entre l'écran et tout appareil audio/vidéo ou ordinateur compatible HDMI. Vous pouvez profiter d'images vidéo de qualité supérieure ou de haute définition, ainsi que d'un son numérique deux canaux. Vous pouvez également raccorder un appareil compatible DVI à votre écran à l'aide d'un câble HDMI-DVI (non fourni).</p> <p>Le mode adapté à un équipement audio/vidéo ou un ordinateur est automatiquement sélectionné en fonction de l'appareil raccordé.</p> <p>Remarque</p> <p>Utilisez uniquement un câble HDMI (non fourni) portant le logo HDMI.</p>
④ MONITOR CONTROL ADAPTOR (Adaptateur COMMANDE MONITEUR) (le BKM-FW20 est pré-installé.)	<p>CONTROL S IN/OUT (mini-prise) : Vous pouvez commander plusieurs appareils avec une seule télécommande lorsque l'écran est raccordé au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet écran au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet écran au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.</p> <p>REMOTE (D-sub à 9 broches) : Ce connecteur permet de commander l'écran à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus d'informations, contactez votre revendeur Sony agréé.</p> <p>Remarque</p> <p>Cet adaptateur ne fonctionne pas s'il est inséré dans l'emplacement OPTION 2.</p>
⑤ Emplacement OPTION 1 (port VIDEO/COM)	<p>Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo et la fonction communication. Lorsque vous insérez un adaptateur en option (de la série BKM-FW) dans cet emplacement, vous pouvez augmenter les connecteurs de signaux d'entrée ou commander l'écran via le réseau.</p>
⑥ VIDEO INPUT ADAPTOR (Adaptateur ENTREE VIDEO) (le BKM-FW10 est pré-installé.)	<p>S VIDEO IN (mini DIN à 4 broches) : se raccorde à la sortie S Video (S Vidéo) d'un module d'équipement vidéo.</p> <p>S VIDEO OUT (mini DIN à 4 broches) : se raccorde à l'entrée S Video (S Vidéo) d'un module d'équipement vidéo.</p> <p>VIDEO IN (BNC) : se raccorde à la sortie vidéo d'un module d'équipement vidéo.</p> <p>VIDEO OUT (BNC) : se raccorde à l'entrée vidéo d'un module d'équipement vidéo.</p> <p>AUDIO IN L/R (prise à broches) : Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo. Le signal vidéo ou le signal S Video (S Vidéo) est automatiquement sélectionné. Raccordez le câble (non fourni) sur le connecteur vidéo ou S Video (S Vidéo). Lors du raccordement d'un module d'équipement vidéo doté d'un connecteur de sortie S Video (S Vidéo), vous pouvez bénéficier d'une meilleure qualité vidéo en le raccordant au connecteur S Video (S Vidéo).</p>
⑦ Emplacement OPTION 2 (port VIDEO)	<p>Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo. Vous pouvez insérer un adaptateur en option dans cet emplacement pour la fonction d'entrée/sortie de signaux vidéo. L'adaptateur en option avec fonction de communication doit être inséré dans l'emplacement ⑤ OPTION 1.</p>

Adaptateurs en option

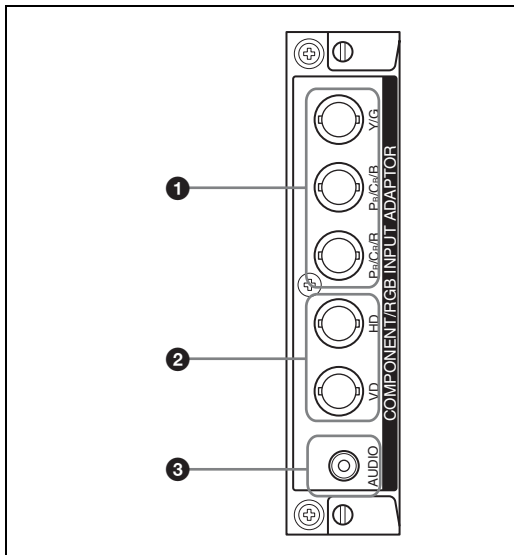
Les connecteurs repérés par ⑤ et ⑦ sur le panneau latéral sont enfichables et sont compatibles avec n'importe lequel des adaptateurs en option suivants (non fournis).

Pour plus d'informations sur l'installation, consultez votre revendeur Sony.

Adaptateur D'ENTRÉE VIDÉO BKM-FW10

Il est identique à l'adaptateur en option pré-installé dans l'emplacement ⑦ OPTION 2. Voir page 8.

Adaptateur D'ENTRÉE COMPOSANT/RVB BKM-FW11



① **Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC)** : Se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal composante d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

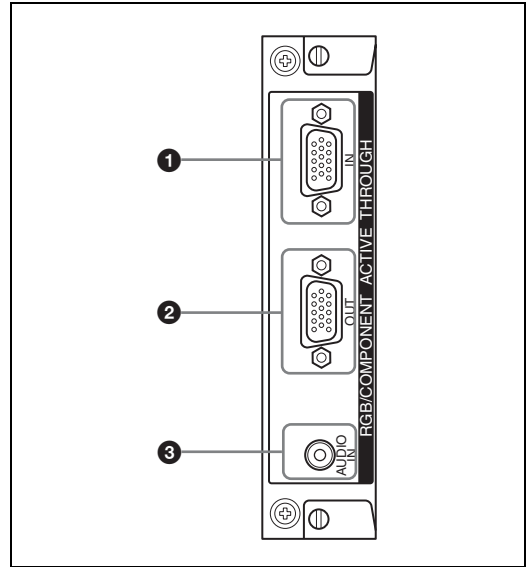
② **HD VD IN (BNC)** : Se raccorde à la sortie du signal de synchronisation d'un ordinateur.

Remarque

Lors de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux connecteurs HD et VD. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

③ **AUDIO (mini-prise stéréo)** : Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

Adaptateur ACTIF RVB/COMPONENT BKM-FW12



① **RGB/COMPONENT IN (D-sub à 15 broches)** : Se raccorde à la sortie du signal composante ou du signal analogique RVB d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur. Pour plus de détails sur la transmission d'un signal composante au connecteur, reportez-vous à la section « Affectation des broches » à la page 36.

Remarque

Lorsque de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

② **RGB/COMPONENT OUT (D-sub à 15 broches)** : Se raccorde à l'entrée du signal composante ou du signal analogique RVB d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

③ **AUDIO IN (mini-prise stéréo)** : Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

Remarque

Si l'écran n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en mode de veille, aucun signal n'est émis via RGB/COMPONENT OUT.

Adaptateur de GESTION DE RÉSEAU BKM-FW32

Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi du BKM-FW32.

Adaptateur pour RECEPTION MULTIMEDIA BKM-FW50

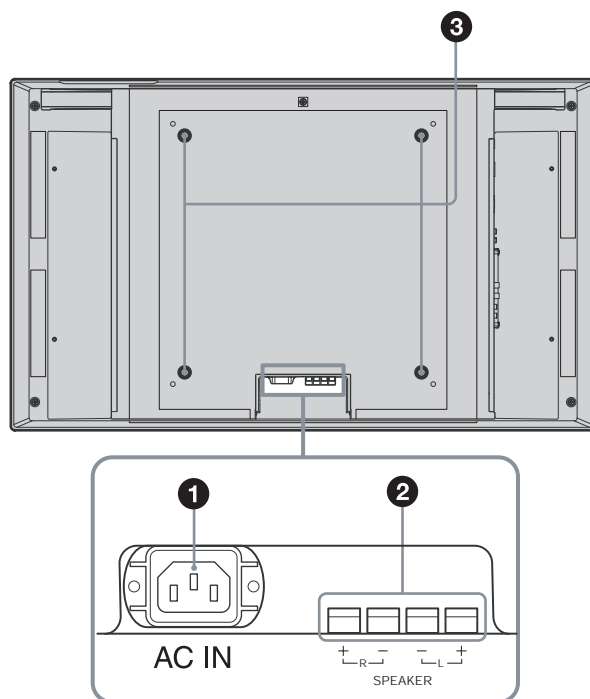
Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi du BKM-FW50.

Remarque

Lors de l'utilisation d'un câble réseau pour le BKM-FW32/50, veillez à utiliser un câble blindé pour éviter les radiations d'ondes radio non désirées. Pour plus de détails sur le raccordement, reportez-vous au mode d'emploi concerné.

Pour plus de détails sur les adaptateurs en option pour l'extension du système, pour la série BKM-FW, reportez-vous au mode d'emploi correspondant.

Panneau arrière

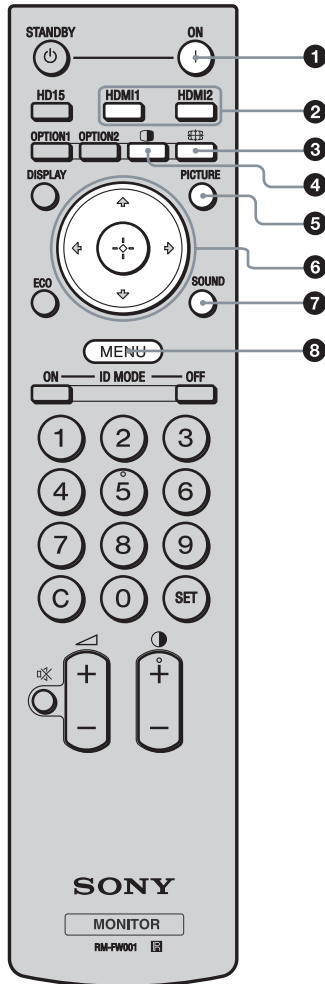


FR

Pièces	Description
❶ Prise AC IN	Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Une fois le cordon d'alimentation raccordé, l'indicateur POWER/STANDBY s'allume en rouge et l'écran passe en mode de veille. Voir page 17.
❷ Prise SPEAKER	Connectez les enceintes SS-SP40FW/32FW (non fournies) à cette prise pour émettre un signal audio correspondant à celui affiché sur l'écran. Vous bénéficiez ainsi d'un visionnage plus performant. Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus d'informations sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 19.
❸ Crochets d'installation du support	Utilisez ces crochets pour installer le support d'écran SU-42FW/32FW (non fourni).

Télécommande

Description des touches



1 Commutateur POWER ON

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

2 Touche HDMI 1/HDMI 2

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal émis vers les connecteurs HDMI 1 ou HDMI 2.

3 Touche

Appuyez sur cette touche pour modifier le format en « Mode cinéma ». Voir page 14.

4 Touche

Permet de sélectionner le mode « PAP » (Picture And Picture). Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre l'écran à deux images et l'écran à une image. Voir page 15.

5 Touche PICTURE

Permet de sélectionner le « Mode de l'image ». Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « Éclatant », « Standard », « Personnalisé » et « TC Control ».

6 Touche

Les touches permettent de déplacer le curseur (jaune) du menu et de régler des paramètres, etc. Appuyez sur pour valider le menu ou le réglage sélectionné.

En mode « PAP », vous pouvez commuter l'image active à l'aide de .

7 Touche SOUND

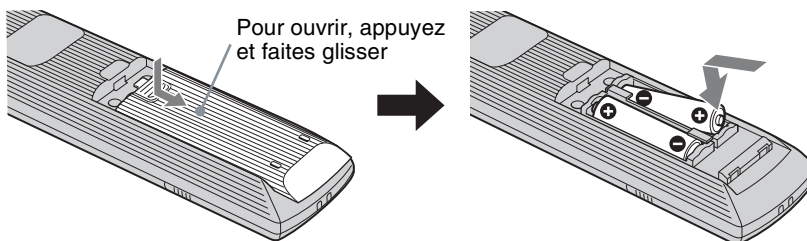
Permet de sélectionner le « Mode du son ». Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « Dynamique », « Standard », « SRS WOW » et « Personnalisé ».

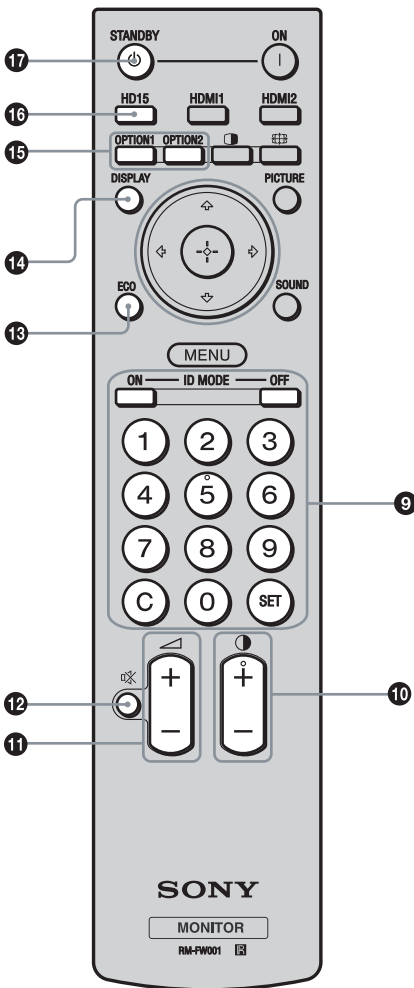
8 Touche MENU

Appuyez sur cette touche pour afficher les menus. Appuyez de nouveau pour les masquer. Voir page 20.

Remarques

- Les touches 5 et comportent un point tactile. Utilisez le point tactile comme repère lors de l'utilisation de l'écran.
- Introduisez deux piles AA (R6) (fournies) en faisant correspondre la polarité et des piles avec celle du logement des piles.





9 Touches ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

- Touche ON : Appuyez sur cette touche pour afficher le « Numéro d'index » à l'écran.
- Touches 0 à 9 : Appuyez sur ces touches pour saisir le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner.
- Touche SET : Appuyez sur cette touche pour valider le « Numéro d'index » saisi.
- Touche C : Appuyez sur cette touche pour effacer le « Numéro d'index » saisi.
- Touche OFF : Appuyez sur cette touche pour revenir en mode normal.

Voir page 16.

10 Touche +/-

Permet de régler le niveau de l'image (contraste).

11 Touche +/-

Appuyez sur cette touche pour régler le volume.

12 Touche

Appuyez sur cette touche pour couper le son. Appuyez de nouveau pour restaurer le son.

13 Touche ECO

Appuyez sur cette touche pour réduire la consommation d'énergie en réglant la luminosité de l'écran. Ce réglage permet également d'augmenter le niveau de noir. Permet de sélectionner entre « Non », « Bas », « Haut » ou « Image désactivée ». Voir page 16.

14 Touche DISPLAY

Appuyez sur cette touche pour afficher l'entrée actuellement sélectionnée ainsi que le type du signal d'entrée et le réglage « Mode cinéma » à l'écran. Appuyez de nouveau pour les masquer. Si les informations restent affichées pendant quelques instants, elles disparaissent automatiquement.

15 Touche OPTION 1/OPTION 2

Si un adaptateur en option est inséré, permet de sélectionner un signal à émettre à partir de l'appareil raccordé à l'adaptateur en option. Appuyez sur la touche OPTION 1 pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur OPTION 1, puis appuyez sur la touche OPTION 2 pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur OPTION 2.

16 Touche HD15

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur HD15. Le signal RVB ou le signal composante est automatiquement sélectionné selon l'appareil raccordé.

17 Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

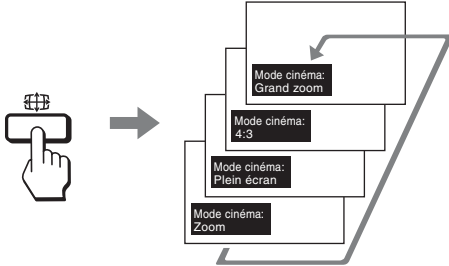
Touches spéciales de la télécommande

Utilisation du Mode cinéma

Vous pouvez modifier le format de l'écran.

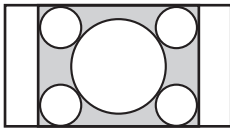
Conseil

Vous pouvez également accéder aux réglages « Mode cinéma » dans les réglages « Écran ». Voir page 25, 29.

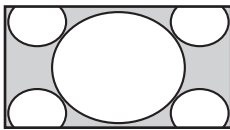


Pour une entrée vidéo, DVD ou HDMI (autre qu'une entrée d'ordinateur)

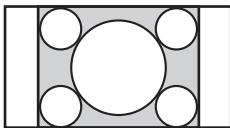
Source d'origine 4:3



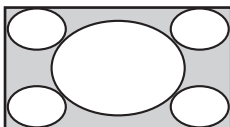
Grand zoom



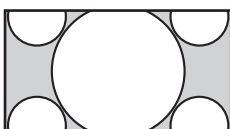
4:3



Plein écran



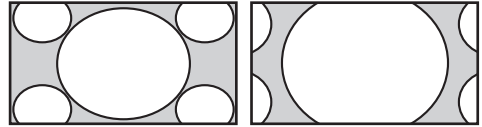
Zoom



Source d'origine 16:9



Grand zoom



4:3



Plein écran



Zoom

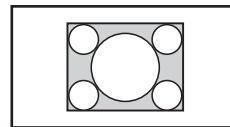


Remarque

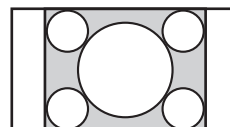
Lorsque le signal d'entrée est en 1080i, 720p, ou 1080p, il est impossible de sélectionner « Grand zoom » et « 4:3 ». Voir page 25.

Pour entrée d'ordinateur

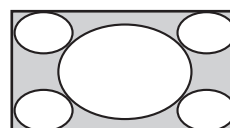
Normal



Plein écran 1



Plein écran 2



Utilisation du réglage PAP

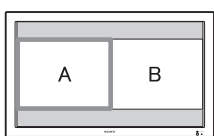
Vous pouvez afficher côte à côte deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un équipement vidéo. Vous pouvez également intervertir les images gauche et droite ou modifier la répartition de la taille des images gauche et droite.

Conseil

Vous pouvez également accéder à l'option « Réglage PAP » dans les réglages « Écran ». Voir page 27.

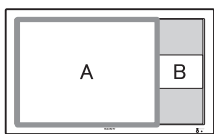


Curseur signalant l'image active



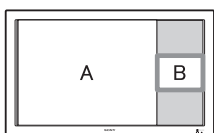
La largeur de A et B est la même. La hauteur est réglée afin de correspondre au format de chaque image.

Appuyez sur la touche ⇐.



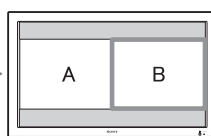
La largeur de A est supérieure à celle de B. Si le format de A est 4:3, la hauteur de A est égale à la taille de l'écran.

Appuyez sur la touche ⇨.



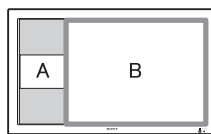
B, à droite, devient l'image active.

Appuyez sur la touche ⇨.



La largeur de A et B est la même. La hauteur est réglée afin de correspondre au format de chaque image.

Appuyez sur la touche ⇨.



La largeur de B est supérieure à celle de A. Si le format de B est 4:3, la hauteur de B est égale à la taille de l'écran.

FR

Combinaisons de deux images disponibles

		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RVB	Composante	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RVB	Composante	Vidéo	S Vidéo (S Vidéo)
HD15	RVB			○	○				
	Composante			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RVB			○	○				
	Composante			○	○				
	Vidéo			○	○				
	S Vidéo (S Vidéo)			○	○				

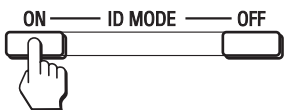
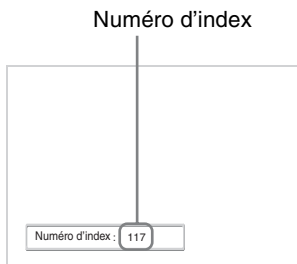
Utilisation de la touche ID MODE

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

1 Appuyez sur la touche ON.

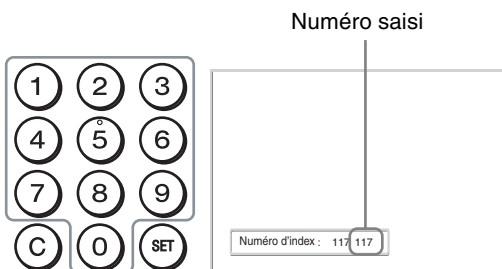
Le « Numéro d'index » de l'écran s'affiche en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l'écran.

(Chaque écran possède un « Numéro d'index » individuel pré-réglé compris entre 1 et 255.)



2 Saisissez le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner à l'aide des touches 0 à 9 de la télécommande.

Le numéro saisi s'affiche à droite du « Numéro d'index » de chaque écran.



3 Appuyez sur la touche SET.

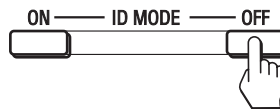
Les caractères sur l'écran sélectionné deviennent verts, tandis que les autres deviennent rouges.



Vous pouvez faire fonctionner l'écran particulier repéré par les caractères verts uniquement. Seuls le commutateur POWER ON et la touche STANDBY/ID MODE-OFF fonctionnent également avec d'autres écrans.

4 Lorsque toutes les modifications de réglages sont terminées, appuyez sur la touche OFF.

L'affichage revient à l'écran normal.



Correction du Numéro d'index

Appuyez sur la touche C pour effacer le « Numéro d'index » saisi. Retournez à l'étape 2, puis saisissez un nouveau « Numéro d'index ».

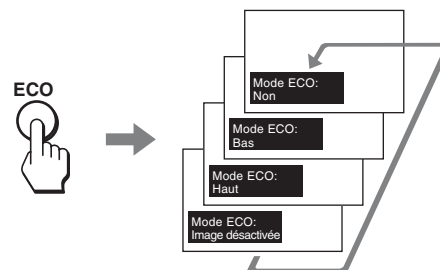


Conseil

Pour modifier le « Numéro d'index » de l'écran, reportez-vous à « Index télécommande » dans « Réglage contrôle », page 31.

Utilisation de la fonction Mode ECO

Vous pouvez réduire la consommation d'énergie de l'écran.



Annulation du Mode ECO

Appuyez plusieurs fois sur la touche ECO jusqu'à ce que « Mode ECO : Non » apparaisse.

Conseils

- Si vous mettez l'écran hors tension lorsque le « Mode ECO » est activé, il est activé lors de la prochaine mise sous tension de l'écran, sauf « Image désactivée ».
- Vous pouvez régler le « Mode ECO » à l'aide du menu « Réglage ». Sélectionnez « Mode ECO » dans les réglages « Réglage », puis réglez-le sur « Non », « Bas », « Haut » ou « Image désactivée ».

Avant de commencer

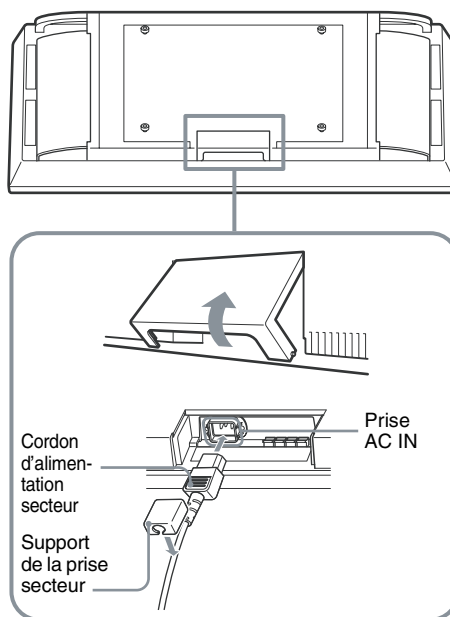
- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles adaptés aux appareils à raccorder.
- Insérez les câbles à fond dans les connecteurs ou les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Consultez également le mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN
- Utilisez l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.

Raccordement des enceintes

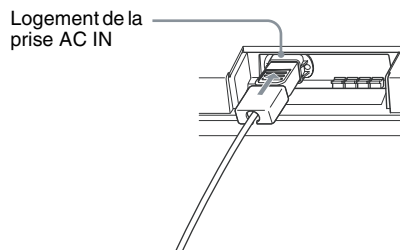
Vous pouvez bénéficier d'une ambiance plus réelle en raccordant les enceintes SS-SP40FW/32FW (non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 19.

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de la prise secteur (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



- 2 Faites glisser le support de la prise secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise AC IN.

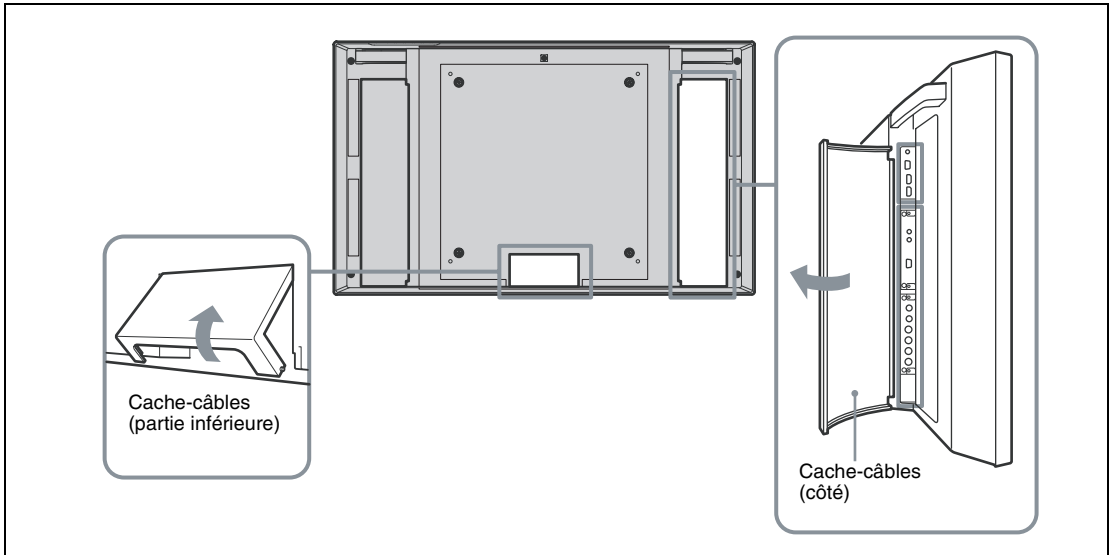


Pour retirer le cordon d'alimentation secteur

Après avoir exercé une pression sur le support de la prise secteur pour le libérer, saisissez la prise et tirez le cordon d'alimentation secteur.

Gestion des câbles

Un cache-câbles est situé à l'arrière de l'écran pour lui donner un aspect bien net. Avant de raccorder les câbles à l'écran, tirez sur le cache-câbles pour l'ouvrir, comme illustré ci-dessous. Une fois les câbles raccordés à l'écran, refermez le cache-câbles.



Utilisation des supports de câbles

Vous pouvez regrouper les câbles à l'aide des supports de câble fournis.

Fixez les supports de câble comme illustré ci-dessous.

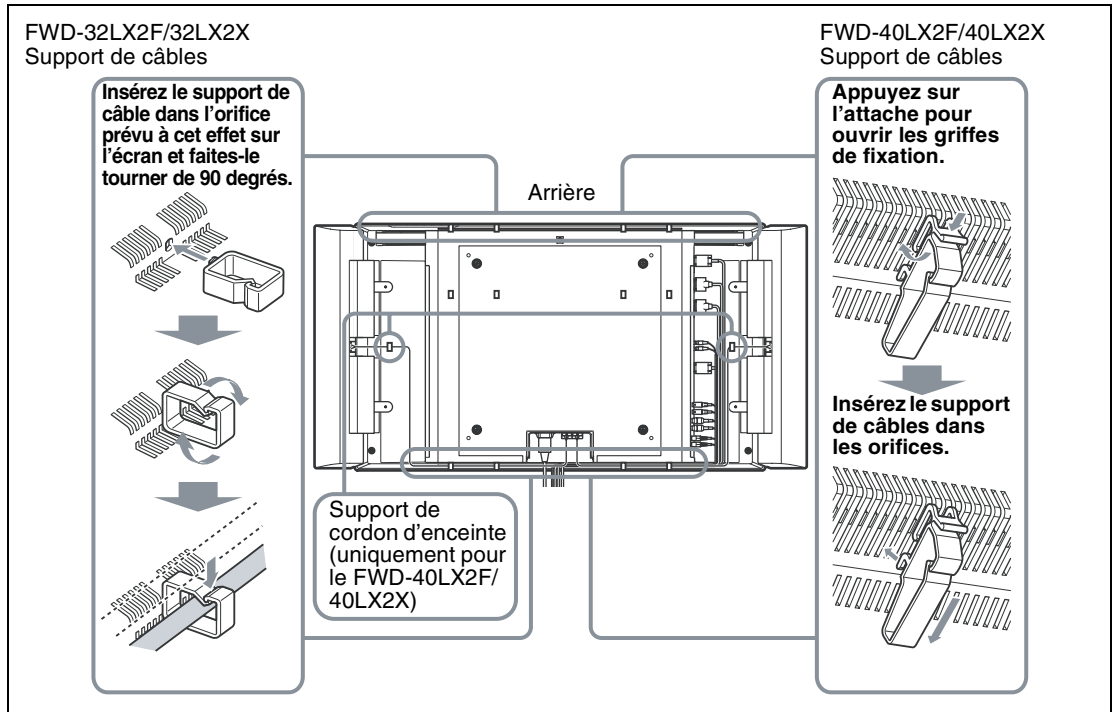
Pour le FWD-40LX2F/40LX2X :

Fixez les deux supports de câble (× 4 fournis) respectivement dans les fentes en haut et en bas.

Lorsque vous raccordez les enceintes (non fournies), faites passer les cordons d'enceinte dans les supports de câble à l'arrière de l'écran.

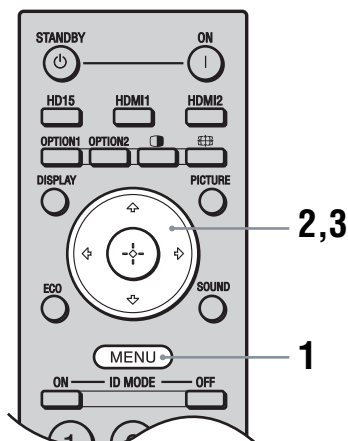
Pour le FWD-32LX2F/32LX2X :

Choisissez six orifices parmi les huit (4 dessus et 4 dessous) et fixez les supports de câble (× 6 fournis). Les supports de câble des enceintes ne sont pas fournis.



FR

Description générale des menus



- 1 Appuyez sur la touche MENU.
- 2 Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour sélectionner l'icône du menu de votre choix.
- 3 Appuyez sur \oplus ou \rightarrow .
Pour quitter le menu, appuyez sur la touche MENU.

Pour modifier la langue affichée à l'écran

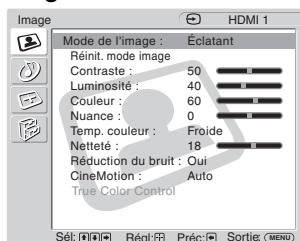
Sélectionnez la langue d'affichage souhaitée pour les messages et les menus parmi les langues suivantes :
« English », « Español », « Français », « Italiano », « Deutsch » ou « 日本語 ».
« English » (l'anglais) est la langue par défaut. Voir page 30.

Les réglages permettent d'accéder aux fonctions suivantes :

Réglages

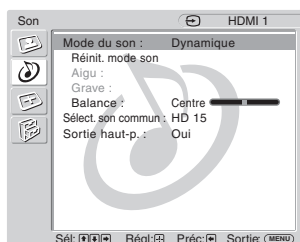
Pour effectuer des réglages ou des modifications

Image



- Mode de l'image (page 22, 23)
- Réinit. mode image (page 22, 23)
- Contraste (page 22, 23)
- Luminosité (page 22, 23)
- Couleur (page 22)
- Nuance (page 22)
- Temp. couleur (page 22, 23)
- Netteté (page 22)
- Réduction du bruit (page 22)
- CineMotion (page 22)
- True Color Control (page 23)

Son

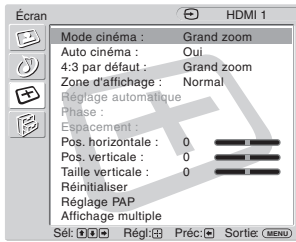


- Mode du son (page 24)
- Réinit. mode son (page 24)
- Aigu (page 24)
- Grave (page 24)
- Balance (page 24)
- Sélect. son commun (page 24)
- Sortie haut-p. (page 24)

Réglages

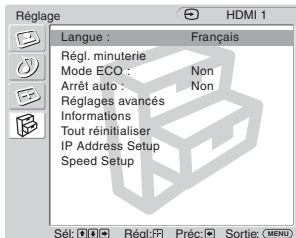
Pour effectuer des réglages ou des modifications

Écran



Mode cinéma (page 25, 29)
Auto cinéma (page 25)
4:3 par défaut (page 26)
Zone d'affichage (page 26)
Réglage automatique (page 29)
Phase (page 29)
Espacement (page 29)
Pos. horizontale (page 26, 29)
Pos. verticale (page 26, 29)
Taille verticale (page 26)
Réinitialiser (page 26, 29)
Réglage PAP (page 27)
Affichage multiple (page 28)

Réglage

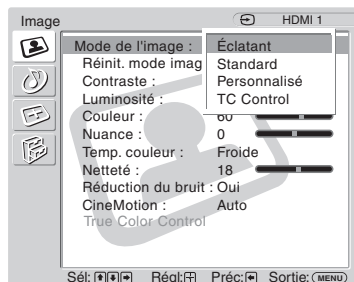


Langue (page 30)
Régl. minuterie (page 30)
Mode ECO (page 30)
Arrêt auto (page 30)
Réglages avancés (page 31)
Informations (page 31)
Tout réinitialiser (page 32)
IP Address Setup (page 32)
Speed Setup (page 32)

* Il est possible que les icônes de menu affichées en bas de l'écran ne fonctionnent pas selon les réglages.

Réglages Image

Pour l'entrée vidéo



Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Appuyez sur \oplus pour confirmer votre choix.

Les réglages « Image » comprennent les options suivantes :

Mode de l'image

« Éclatant » : pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.

« Standard » : pour sélectionner un réglage moyen de l'image

« Personnalisé » : pour mémoriser vos réglages personnels.

« TC Control » : le réglage est commun avec « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (mentionnée ci-après).

Conseils

- Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, utilisez la touche PICTURE de la télécommande.
- Vous pouvez modifier les options « Mode de l'image » pour chaque entrée.

Réinit. mode image

Permet de réinitialiser tous les réglages à leurs valeurs par défaut pour le « Mode de l'image » (« Éclatant », « Standard », « Personnalisé », « TC Control ») (sauf pour les options grisées).

Contraste

A utiliser pour augmenter ou diminuer le contraste de l'image.

Luminosité

A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'image.

Couleur

A utiliser pour augmenter ou diminuer l'intensité des couleurs.

Nuance

A utiliser pour régler les tons des couleurs de l'image.

Remarque

L'option « Nuance » n'est pas disponible lorsque l'entrée est de type vidéo ou S Video (S Vidéo) et que le standard couleur du signal vidéo n'est pas de type NTSC.

Temp. couleur

« Froide » : sélectionnez pour donner une teinte bleuâtre aux couleurs blanches.

« Neutre » : sélectionnez pour donner une teinte neutre aux couleurs blanches.

« Chaude » : sélectionnez pour donner une teinte rougeâtre aux couleurs blanches.

Netteté

A utiliser pour augmenter ou diminuer la netteté de l'image.

Réduction du bruit

Sélectionnez pour réduire le niveau de bruit de l'appareil raccordé. Sélectionnez « Oui » ou « Non ».

CineMotion

Sélectionnez « Auto » pour optimiser la lecture de l'image filmée qui est automatiquement détectée et ajustée selon un processus d'ajustement inversé de l'image 3-2 ou 2-2. Les images dynamiques apparaîtront alors plus nettes et plus naturelles. Sélectionnez « Non » pour désactiver la détection.

True Color Control

Vous pouvez régler les nuances et la saturation pour chacune des 4 couleurs : rouge, vert, jaune et bleu. Vous pouvez également mettre en surbrillance certaines couleurs de l'image.

Sélectionnez la couleur que vous souhaitez régler, puis vérifiez quelle partie de l'image affichée sera réglée. Réglez-la ensuite à l'aide de la boîte de dialogue Matrice.

Remarques

- Vous pouvez régler cette option lorsque « Mode de l'image » est réglé sur « TC Control ».
- En mode « PAP », vous ne pouvez pas sélectionner cette option. Même si vous sélectionnez cette option dans l'écran à une image, il est possible que le réglage de cette option ne soit pas appliqué en mode « PAP ».

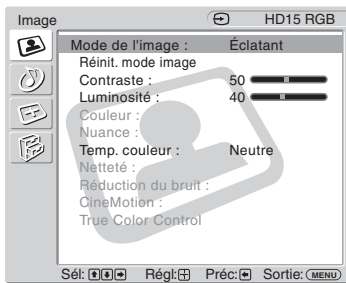
Conseil

Vous pouvez modifier les réglages « Image » (« Contraste », « Luminosité », « Couleur » etc.) pour chaque « Mode de l'image ».

Remarques

- En mode « PAP », aucune des options de réglage « Image » ne peut être sélectionnée.
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option du réglage « Image » ne peut être sélectionnée.

Pour une entrée d'ordinateur



Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Image » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Image » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

FR

Mode de l'image

- « Éclatant » : pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.
- « Standard » : pour sélectionner un réglage moyen de l'image.
- « Personnalisé » : pour mémoriser vos réglages personnels.
- « TC Control » : le réglage est commun avec « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (mentionnée ci-après).

Réinit. mode image

Permet de réinitialiser tous les réglages à leurs valeurs par défaut pour le « Mode de l'image » (« Éclatant », « Standard », « Personnalisé », « TC Control ») (sauf pour les options grisées).

Contraste

A utiliser pour augmenter ou diminuer le contraste de l'image.

Luminosité

A utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'image.

Temp. couleur

Reportez-vous à « Temp. couleur » pour l'entrée vidéo (page 22).

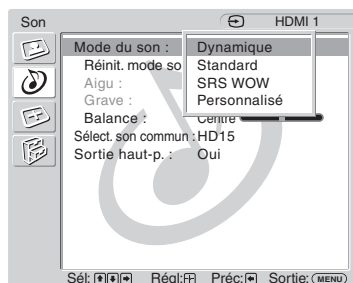
True Color Control

Reportez-vous à « True Color Control » pour l'entrée vidéo (page 23).

Remarques

- « Couleur », « Nuance », « Netteté », « Réduction du bruit » et « CineMotion » ne sont pas disponibles pour une entrée d'ordinateur.
- En mode « PAP », aucune option du réglage « Image » ne peut être sélectionnée.
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option du réglage « Image » ne peut être sélectionnée.

Réglages Son



Lorsque les enceintes SS-SP40FW/32FW (non fournies) sont installées, vous pouvez configurer différents réglages du « Son ».

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Appuyez sur \oplus pour confirmer votre choix.

Les réglages « Son » comprennent les options suivantes :

Mode du son

« Dynamique » : sélectionnez pour augmenter les aigus et les graves.

« Standard » : réglage plat,

« SRS WOW » : procure une image audio et stéréo panoramique en produisant une qualité sonore (pour les aigus et les graves) riche et intense. Ainsi, vous pouvez profiter de puissants effets sonores identiques à ceux d'une salle de cinéma.

« Personnalisé » : vous permet de mémoriser vos réglages personnels.

Conseils

- Pour passer de l'option « Mode du son » à une autre, utilisez la touche SOUND de la télécommande.
- Les technologies propriétaires de BBE Sound, Inc. sont appliquées pour les types « Dynamique » et « Standard ».

Réinit. mode son

Permet de réinitialiser les réglages suivants : « Aigu », « Grave » et « Balance » afin de revenir aux réglages par défaut.

Aigu

A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus aigus.

Grave

A utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus graves.

Balance

A utiliser pour accentuer la balance de l'enceinte droite ou gauche.

Sélect. son commun

« HD15 » : pour émettre l'audio à partir d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur raccordé au connecteur HD15 (RGB/COMPONENT IN) et au connecteur AUDIO (COMMON AUDIO IN).

« HDMI 1 »/« HDMI 2 » : sélectionnez pour raccorder un appareil à l'aide d'un câble HDMI (non fourni) ou d'un câble HDMI-DVI ainsi que le câble audio correspondant en même temps.

Voir page 8.

Remarques

- Si vous utilisez un câble HDMI vers DVI (non fourni), raccordez le câble audio au connecteur AUDIO (COMMON AUDIO IN).
- Si « HDMI 1 »/« HDMI 2 » est sélectionné, l'audio numérique n'est pas émis à partir des connecteurs HDMI. Lorsqu'un équipement vidéo doté d'un connecteur HDMI est raccordé aux connecteurs HDMI 1/HDMI 2, réglez « Sélect. son commun » sur « HD15 ».
(Le réglage par défaut est « HD15 ».)

Sortie haut-p.

« Oui » : permet au son d'être émis à partir des enceintes.

« Non » : désactive le son émis à partir des enceintes.

Remarque

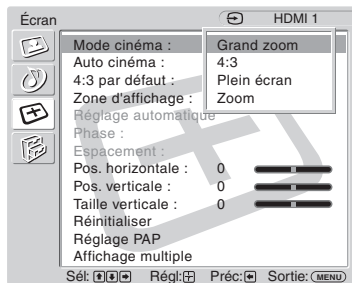
Si « Sortie haut-p. » est réglé sur « Non », « Mode du son », « Réinit. mode son », « Aigu », « Grave » et « Balance » ne peuvent pas être sélectionnés


Conseil


Vous pouvez régler les menus de qualité sonore (« Aigu » et « Grave ») lorsque « Mode du son » est réglé sur « Personnalisé ».

Réglages Écran

Pour l'entrée vidéo



Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur .

Appuyez sur  pour confirmer votre choix.

Les réglages « Écran » comprennent les options suivantes :

Mode cinéma

« Grand zoom » : sélectionnez pour agrandir l'image en plein écran avec un minimum de distorsions.


« 4:3 » : sélectionnez pour afficher une image 4:3 dans sa taille d'origine si la source d'origine est 4:3 (source en définition standard).

« Plein écran » : sélectionnez pour agrandir horizontalement l'image d'origine en plein écran si la source d'origine est 4:3 (source en définition standard). Si la source d'origine est 16:9 (source en Haute Définition), sélectionnez ce mode pour afficher l'image 16:9 dans son format d'origine.

« Zoom » : sélectionnez pour agrandir l'image d'origine sans générer de distorsions du format de l'image.

Voir page 14.

Conseils

- Pour passer de l'option « Mode cinéma » à une autre, vous pouvez aussi utiliser la touche  de la télécommande.
- Sélectionnez « Zoom » pour lire les films ou toute autre information et toute autre donnée du DVD avec des bandes noires en utilisant la totalité de la surface utile de l'écran.
- Vous pouvez régler « Pos. horizontale », « Pos. verticale » et « Taille verticale » pour les modes « Grand zoom » et « Zoom ». Voir page 26.

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler « Mode cinéma » en utilisant la fonction « PAP » ou « Affichage multiple ».
- « Grand zoom » et « 4:3 » ne peuvent pas être sélectionnés pour l'entrée des signaux 1080i, 720p ou 1080p vers les connecteurs HDMI ou composante.

Auto cinéma

« Oui » : sélectionnez pour détecter l'image et la modifier automatiquement afin d'obtenir le mode écran approprié.

« Non » : la modification du mode écran n'est pas automatique.

Remarques

- Lorsque des signaux RVB numériques et analogiques sont transmis, vous ne pouvez pas régler la fonction « Auto cinéma » car elle est inactive.
- Vous ne pouvez pas régler l'option « Auto cinéma » lors de l'utilisation de la fonction « PAP » ou « Affichage multiple ».

4:3 par défaut

« Grand zoom » : sélectionnez pour agrandir l'image 4:3 afin d'obtenir une image plein écran 16:9 tout en respectant l'image d'origine autant que possible.

« 4:3 » : sélectionnez cette option pour afficher l'image 4:3 sans modifier son format.

« Plein écran » : sélectionnez pour agrandir une image 4:3 horizontalement uniquement afin d'obtenir un plein écran 16:9.

« Zoom » : sélectionnez cette option pour agrandir l'image 4:3 de sorte à remplir l'écran tout en gardant le même format. Utile pour regarder des films au format Letterbox.

« Non » : sélectionnez pour continuer à utiliser le réglage écran cinéma sélectionné alors que l'entrée a changé.

Remarques

- Vous pouvez uniquement sélectionner « 4:3 par défaut » lorsque « Auto cinéma » est réglé sur « Oui ».
- Les fonctions « 4:3 par défaut » sont disponibles seulement lorsque l'écran reçoit des signaux NTSC, PAL, SECAM, 480i, 480p, 575i ou 576p.
- Si l'option « Mode cinéma » est modifiée après avoir réglé « 4:3 par défaut », elle est activée et le format de l'écran est ajusté. Cette modification effectuée après-coup avec « Mode cinéma » sera uniquement effective pour un signal d'entrée donné. Par conséquent, si le signal d'entrée est modifié, l'écran revient au réglage « 4:3 par défaut » initial. Pour conserver le format actuel même si le signal d'entrée change, réglez « 4:3 par défaut » sur « Non ».

Zone d'affichage

« Normal » : affiche une image au format standard.

« -1 »/« -2 » : vous permet d'ajuster la taille de l'image à visualiser. Si des parasites apparaissent autour de l'image, sélectionnez cette option pour les faire disparaître.

Pos. horizontale

Vous permet de bouger l'image vers la gauche ou la droite de l'écran. Disponible seulement en modes « Grand zoom » et « Zoom ». Appuyez sur ⇄ et ⊕ pour choisir un mode de correction.

Pos. verticale

Vous permet de bouger l'image vers le haut ou le bas de l'écran. Disponible seulement en modes « Grand zoom » et « Zoom ». Appuyez sur ⇅ et ⊕ pour choisir un mode de correction.

Taille verticale

Vous permet de régler la taille de l'image verticalement. Disponible seulement en modes « Grand zoom » et « Zoom ». Appuyez sur ⇅ et ⊕ pour choisir un mode de correction.

Réinitialiser

Réinitialise les réglages suivants : « Pos. horizontale », « Pos. verticale » et « Taille verticale » afin de revenir aux réglages par défaut.

Réglage PAP

Vous pouvez afficher deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un équipement vidéo, côte à côte. Seule la combinaison associant un signal analogique et un signal numérique est disponible.

« PAP » : « Oui » affiche deux images côte-à-côte en même temps et « Non » désactive la fonction « PAP ».

« Echanger » : « OK » permet d'intervertir la position des deux images et « Annuler » annule l'opération.

« Taille PAP » :

« Gauche + » : la largeur de l'image de gauche est supérieure à celle de l'image de droite.

Si le format de l'image de gauche est 4:3, sa hauteur sera égale à la taille de l'écran.

« Homogène » : la largeur de l'image de gauche est identique à celle de l'image de droite (moitié-moitié). La hauteur est réglée afin de correspondre au format de chaque image.

« Droite + » : la largeur de l'image de droite est supérieure à celle de l'image de gauche.

Si le format de l'image de droite est 4:3, sa hauteur sera égale à la taille de l'écran.

Remarques

- Vous pouvez afficher deux images uniquement si « Affichage multiple » est réglé sur « Non ».
- Lorsque deux images sont affichées les réglages « Image » définis lors de l'affichage d'une seule image sont appliqués.
- Pour plus d'informations sur les combinaisons de deux images disponibles, voir page 15.

Affichage multiple

Vous pouvez effectuer des réglages pour raccorder plusieurs écrans afin de former un mur vidéo.

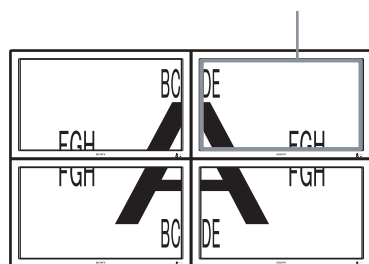
« Affichage multiple » : « Non » utilise un seul écran et « 2x2 » - « 4x4 » sélectionne la disposition requise pour créer un mur vidéo.

« Position » (fenêtre emplacement) : sélectionnez la position de cet écran en particulier lors de la création du mur vidéo à l'aide des touches $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$. Appuyez sur \oplus pour sélectionner la position.

« Format de sortie » : la sélection des deux formats de sortie de l'image est possible comme indiqué ci-dessous. En sélectionnant simplement l'un des formats, une image appropriée sera émise sans régler manuellement la position horizontale ou verticale. Sélectionnez soit « Tuiles » soit « Fenêtre ».

« Tuiles »

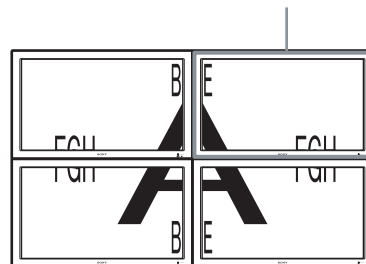
Scan uniquement



Pour afficher un signal complet sur chaque écran

« Fenêtre »

Via scan



Pour afficher une grande image sur plusieurs écrans de façon naturelle. Une partie du signal disparaît derrière l'encadrement.

« Activer LED » : avec « Oui », l'indicateur POWER/STANDBY sur le panneau avant (page 7) est allumé en continu et avec « Non », l'indicateur POWER/STANDBY sur le panneau avant est éteint en continu.

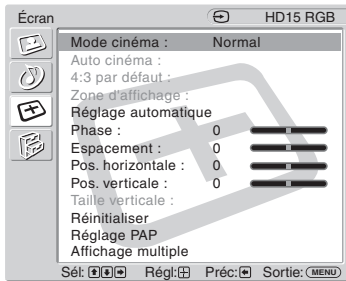
Remarques

- L'option « Affichage multiple » permet d'afficher une image agrandie en gardant le réglage « Mode cinéma » sélectionné pour une entrée vidéo, dans la mesure du possible, et permet d'afficher une image agrandie avec l'option « Mode cinéma » réglée sur « Plein écran 2 » pour l'entrée de l'ordinateur.
- Vous pouvez régler « Affichage multiple » uniquement si la fonction « PAP » est désactivée.
- Si l'option « Position » est positionnée vers le bas à droite, l'indicateur POWER/STANDBY s'allume même si l'option « Activer LED » est réglée sur « Non ». L'indicateur s'allume également même si l'écran est éteint (en veille) ; les erreurs sont détectées ou l'écran est en mode sommeil : ce qui inclut l'absence de signaux ou des signaux non supportés.

Remarques

- « Zone d'affichage », « Pos. horizontale », « Pos. verticale » et « Taille verticale » ne sont pas disponibles lors de l'utilisation de la fonction « PAP » ou de « Affichage multiple ».
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » et « Affichage multiple ».

Pour une entrée d'ordinateur



Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Écran » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Écran » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

Mode cinéma

- « Normal » : sélectionnez pour afficher l'image dans sa taille originale.
- « Plein écran 1 » : sélectionnez cette option pour agrandir l'image afin de remplir la zone d'affichage verticalement, tout en conservant le rapport horizontal/vertical d'origine. Un cadre noir apparaît autour de l'image.
- « Plein écran 2 » : sélectionnez pour agrandir l'image jusqu'à ce qu'elle remplisse la zone d'affichage.

Remarque

Vous ne pouvez pas régler « Mode cinéma » en utilisant la fonction « PAP » ou la fonction « Affichage multiple ».

Réglage automatique

Sélectionnez pour ajuster automatiquement la position et la phase d'affichage de l'image quand l'écran reçoit un signal d'entrée à partir de l'ordinateur raccordé. Notez que « Réglage automatique » peut ne pas fonctionner correctement avec certains signaux d'entrée. Si c'est le cas, réglez manuellement les options suivantes.

Phase

Sélectionnez pour ajuster la phase quand l'écran émet des papillotements.

Espacement

Sélectionnez pour ajuster l'espacement lorsque des bandes verticales indésirables apparaissent sur l'image.

Pos. horizontale

Vous permet de bouger l'image vers la gauche ou la droite de l'écran. Appuyez sur \leftarrow/\rightarrow et sur \oplus pour choisir un mode de correction.

Pos. verticale

Vous permet de bouger l'image vers le haut ou le bas de l'écran. Appuyez sur \uparrow/\downarrow et \oplus pour choisir un mode de correction.

Réinitialiser

Réinitialise les réglages suivants : « Phase », « Espacement », « Pos. horizontale » et « Pos. verticale » afin de revenir aux réglages par défaut.

Réglage PAP

Reportez-vous à « Réglage PAP » pour l'entrée vidéo (page 27).

Affichage multiple

Reportez-vous à « Affichage multiple » pour l'entrée vidéo (page 28).

Remarques

- « Auto cinéma », « 4:3 par défaut », « Zone d'affichage » et « Taille verticale » ne sont pas disponibles pour une entrée d'ordinateur.
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » ou « Affichage multiple ».
- Lorsque l'entrée se fait via HDMI 1/HDMI 2, les options « Réglage automatique », « Phase » et « Espacement » ne sont pas disponibles pour l'entrée d'ordinateur.

Réglages Réglage



Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Appuyez sur \oplus pour confirmer votre choix.

Les réglages « Réglage » comprennent les options suivantes :

Langue

Sélectionnez pour afficher tous les réglages à l'écran dans la langue de votre choix : « English », « Español », « Français », « Italiano », « Deutsch » ou « 日本語 ».

Régl. minuterie

Vous pouvez régler l'heure, afficher l'horloge intégrée ou régler la minuterie pour allumer ou éteindre l'écran à une heure préétablie.

« Régl. horloge » : règle l'heure et le jour.

« Aff. horloge » : permet d'afficher l'heure réglée actuellement à l'écran si « Oui » est sélectionné.

« Minuterie M/A » : règle l'heure à laquelle l'appareil sera automatiquement allumé ou éteint.

Remarque

Si l'horloge intégrée a tendance à retarder, il est possible que la pile interne soit épuisée. Contactez votre revendeur Sony agréé pour faire remplacer la pile.

Mode ECO

« Non » : sélectionnez pour visualiser l'image sans bénéficier du mode d'économie d'énergie.

« Bas »/« Haut » : sélectionnez pour visualiser l'image avec le mode réduction de consommation d'énergie. Ce réglage permet également d'augmenter le niveau de noir.

« Image désactivée » : sélectionnez pour faire disparaître l'image. Le son reste allumé et le réglage du volume reste tel que vous l'avez sélectionné.

Arrêt auto

« Oui » : L'écran passe automatiquement en mode de veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs vidéo ou S Video (S Vidéo) pendant plus de 5 minutes environ. L'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée composante/RVB ou HDMI pendant plus de 30 secondes environ.

« Non » : L'écran n'est pas mis hors tension automatiquement même si aucun signal n'est transmis à un connecteur.

Conseil

En mode de veille, appuyez sur le commutateur POWER de l'écran ou sur la touche POWER ON de la télécommande pour mettre l'écran sous tension. En mode d'économie d'énergie, l'écran s'allume automatiquement lorsqu'un signal est transmis.

Réglages avancés

« Standard couler » : sélectionnez le standard couleur pour les signaux vidéo entre « NTSC », « PAL », « SECAM », « NTSC4.43 », « PAL-M », « PAL-N », « PAL60 » ou sélectionnez « Automatique » pour régler automatiquement le standard couleur.

« Affichage statut » : « Oui » permet d'afficher des informations sur le signal d'entrée et le « Mode cinéma » à l'écran pendant environ 20 secondes lorsque l'écran est mis sous tension et les informations sur le signal d'entrée apparaissent pendant environ 5 secondes lorsque le signal d'entrée est commuté, tandis que « Non » désactive l'affichage des informations d'état.

Conseil

Pour afficher les informations concernant le signal d'entrée et les données « Mode cinéma », utilisez la touche DISPLAY de la télécommande, quel que soit le réglage « Affichage statut ».

« Éclairage » : « Oui » permet d'éclairer le logo Sony situé à l'avant de l'écran et « Non » désactive l'éclairage du logo.

« Réglage contrôle » : ce menu est utilisé pour les réglages des commandes de l'écran et de la télécommande.

« Index télécommande » : vous pouvez modifier le « Numéro d'index » de l'écran, si nécessaire. Sélectionnez cette option pour régler le « Numéro d'index » de l'écran à l'aide des touches \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur \oplus pour valider le réglage.

Remarque

Lorsque vous réglez le « Numéro d'index », utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas régler le « Numéro d'index » avec la télécommande.

« Mode de contrôle »

« Ecran+Télec. » : vous pouvez faire fonctionner l'écran à l'aide des touches de commande de l'écran et de la télécommande.

« Ecran seul » : désactive la fonction télécommande. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide des touches de commande de l'écran.

« Télécom. seule » : désactive les commandes de l'écran. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide de la télécommande.

« Tout désactivé » : désactive le fonctionnement de la télécommande et des touches de commande de l'écran. Vous pouvez commander l'écran au moyen de son connecteur REMOTE (BKM-FW20) et d'un adaptateur en option doté de fonctions de communication (tel que le BKM-FW32/FW50).

Remarques

- Lors du réglage de ce paramètre, les modes que vous pouvez sélectionner varient selon la touche utilisée. Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche \oplus de la télécommande, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Télec. » ou « Télécom. seule ». Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche \oplus de l'écran, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Télec. » ou « Ecran seul ».
- Si cette option est réglée sur « Tout désactivé », vous ne pouvez pas faire fonctionner l'écran à l'aide de la télécommande et des touches de commande de l'écran. Vous pouvez restaurer le réglage sur « Ecran+Télec. » en appuyant en même temps sur les touches MENU et \triangle + de l'écran pendant plus de 5 secondes.

Informations

Permet d'afficher le « Nom modèle », « Numéro de série », « Temps de fonct. », « Vers. logiciel » et « IP Address » de votre écran.

Remarque

L'« IP Address » n'apparaît pas si l'adaptateur en option doté de fonctions réseau n'est pas inséré.

Tout réinitialiser

Réinitialise toutes les options de « Réglage » aux réglages par défaut.

Remarque

Les éléments inclus dans l'option « Informations » et le « Numéro d'index » ne sont pas réinitialisés.

IP Address Setup

Définit une adresse IP afin de permettre la communication entre l'adaptateur en option avec fonctions de communication, tel que le BKM-FW32/FW50, installé sur l'écran et un appareil tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble LAN.
« DHCP », « OK » vous permet de définir automatiquement une adresse IP et « Cancel » annule la configuration automatique.

Remarque

Lorsque vous obtenez une adresse IP automatiquement à l'aide de DHCP, il est possible que l'adresse IP change à chaque fois que vous mettez l'écran sous ou hors tension.

« Manual » : sélectionnez pour définir manuellement une adresse IP.

- 1 Sélectionnez « IP Address », « Subnet Mask », « Default Gateway », « Primary DNS », « Secondary DNS » à régler manuellement au moyen de \uparrow/\downarrow et appuyez sur \oplus .
- 2 Définissez une valeur à trois chiffres (comprise entre 0 et 255) pour la première zone à l'aide des touches \uparrow/\downarrow de l'écran ou des touches numériques de la télécommande, puis appuyez sur \oplus ou \rightarrow .
- 3 Réglez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre boîtes et appuyez sur \oplus .
- 4 Sélectionnez le paramètre suivant qui doit être réglé manuellement au moyen de \uparrow/\downarrow ; répétez la même procédure et appuyez sur \oplus .
- 5 Une fois les valeurs réglées pour tous les paramètres souhaités, sélectionnez « Execute » au moyen de \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur \oplus .

Sélectionnez « OK » et appuyez sur \oplus . Une adresse IP est alors définie manuellement.

Remarque

Si une adresse IP n'est pas correctement définie, les codes d'erreur suivants apparaissent en fonction de la source de l'erreur.

Erreur 1 : Erreur de communication entre l'écran et un adaptateur en option tel que le BKM-FW32 ou le BKM-FW50

Erreur 2 : L'adresse IP spécifiée est déjà utilisée pour un autre appareil

Erreur 3 : Erreur adresse IP

Erreur 4 : Erreur adresse Gateway

Erreur 5 : Erreur adresse Primary DNS

Erreur 6 : Erreur adresse Secondary DNS

Erreur 7 : Erreur Subnet mask

Speed Setup

Définit une vitesse de communication entre l'adaptateur en option avec fonctions de communication, tel que le BKM-FW32/FW50, installé sur l'écran et un appareil tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble LAN.

« Speed » : sélectionnez « Auto » si vous souhaitez régler automatiquement une vitesse de communication adaptée à votre configuration réseau. Vous pouvez également sélectionner manuellement « 10Mbps Half », « 10Mbps Full », « 100Mbps Half » ou « 100Mbps Full ».

« Execute » : Sélectionnez « OK » et appuyez sur \oplus . Une vitesse de communication est définie.

Remarque


Les options « IP Address Setup » et « Speed Setup » ne sont pas disponibles si l'adaptateur en option doté de fonctions réseau n'est pas installé.

Dépannage

Vérifiez si l'indicateur POWER/STANDBY clignote en rouge.

Lorsqu'il clignote

La fonction d'auto-diagnostic est activée.

- 1 Comptez le nombre de fois où l'indicateur POWER/STANDBY clignote et mesurez la durée pendant laquelle il s'arrête de clignoter.
Par exemple, l'indicateur clignote 2 fois, s'arrête pendant 3 secondes, puis clignote de nouveau 2 fois.
- 2 Appuyez sur  sur l'écran (sur le côté en haut) pour le mettre hors tension, puis débranchez le cordon d'alimentation.
Contactez votre revendeur ou un centre de service Sony et indiquez la séquence de clignotement (nombre de clignotements et durée d'extinction).

Lorsqu'il ne clignote pas

- 1 Vérifiez les éléments dans le tableau ci-dessous.
- 2 Si le problème persiste, confiez votre écran à un personnel qualifié.



Problème	Solution possible
Le commutateur d'alimentation et les touches de commande de l'écran ne fonctionnent pas.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez « Réglage contrôle » (page 31).
Pas d'image.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez les réglages « Mode ECO » (page 30).
Pas d'image.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez les réglages « Mode ECO » (page 30).
L'écran se met automatiquement hors tension.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez si « Régl. minuterie » est activé (page 30).
Aucune image n'est émise à partir de certaines sources vidéo.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez le raccordement entre l'équipement vidéo et l'écran. • Commutez l'entrée à l'aide de la touche INPUT de l'écran ou de la télécommande (page 7, 12, 13).
Image de mauvaise qualité.	
Aucune couleur/Image sombre/Image trop lumineuse/Couleurs incorrectes	<ul style="list-style-type: none"> • Appuyez sur PICTURE pour sélectionner le « Mode de l'image » de votre choix (page 12). • Réglez les options du « Mode de l'image » dans les réglages « Image » (page 22). • Vérifiez l'état du câble de signal.
Pas de son/Son parasite.	
Image correcte, pas de son.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez la commande du volume. • Appuyez sur la touche  de la télécommande ou sur + de sorte que « Sourdine » disparaisse de l'écran (page 13). • Vérifiez les réglages « Sélect. son commun » (page 24). • Vérifiez les réglages « Sortie haut-p. » (page 24).
« Mode cinéma » change automatiquement.	<ul style="list-style-type: none"> • Le réglage « Mode cinéma » actuel passe automatiquement sur le réglage approprié pour l'entrée actuelle si l'option « Auto cinéma » des réglages « Écran » est réglée sur « Oui ». Lors de la modification des entrées, réglez l'option « Auto cinéma » sur « Non » dans les réglages « Écran » pour conserver le réglage « Mode cinéma » actuel (page 25).
La télécommande ne fonctionne pas.	<ul style="list-style-type: none"> • Vérifiez la polarité des piles ou changez les piles. • Dirigez la télécommande vers le capteur de télécommande de l'écran. • Ne placez pas d'obstacles dans la portée du capteur de télécommande. • Vérifiez « Réglage contrôle » (page 31). • Vérifiez si un câble est bien raccordé au connecteur CONTROL S IN. La télécommande est inopérante si l'écran est commandé via un raccordement CONTROL S. • Des lampes fluorescentes peuvent interférer avec le fonctionnement de la télécommande. Eteignez les lampes fluorescentes.

Tableau de référence des signaux d'entrée

Signaux d'ordinateur

	Résolution	Fréquence horizontale (kHz)	Fréquence verticale (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1 024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1 024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1 024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1 280 × 1 024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,5	60
13	848 × 480@75 Hz	37,7	75
14	1 280 × 768@60 Hz	47,8	60
15	1 280 × 768@60 Hz	47,4	60
16	1 360 × 768@60 Hz	47,7	60
17	1 360 × 768@60 Hz	47,4	60

Signaux TV/Vidéo

	Résolution	Entrées disponibles		
		Vidéo	Composante/ RVB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, États-Unis.
- b) VESA est une marque déposée de la Video Electronics Standards Association.
- c) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.

Remarques

- Pour les signaux HDTV, émettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches) sur le connecteur HD15 ou le BKM-FW12 (adaptateur en option).
- Si les couleurs sont très claires après avoir émis un signal DVD vers l'écran, réglez « Couleur » des réglages « Image ».
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.

Affichage à l'écran du signal d'entrée et du statut de l'écran

Affichage à l'écran	Signification
640 × 480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal d'ordinateur.
480 / 60i (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
Signal non pris en charge	Le signal d'entrée sélectionné n'est pas un signal pris en charge.
Pas de signal	Aucun signal d'entrée n'est reçu.
HD15	Le signal d'entrée sélectionné est un signal HD15.
HDMI 1	Le signal d'entrée sélectionné est un signal HDMI 1.
HDMI 2	Le signal d'entrée sélectionné est un signal HDMI 2.
Option 1	Le signal d'entrée sélectionné est OPTION 1.
Option 2	Le signal d'entrée sélectionné est OPTION 2.

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Système écran Écran LCD a-Si TFT Active Matrix
Résolution de l'écran

1 366 points (horizontale) × 768 lignes
(verticale)

Taux d'échantillonnage

13,5 MHz à 140 MHz

Standard couleur NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43,
PAL60, PAL-M, PAL-N

Signal d'entrée Voir page 34.

FWD-40LX2F/40LX2X :

Profondeur de pixels

0,648 (horizontale) × 0,648 (verticale) mm
($1/32 \times 1/32$ pouces)

Taille d'image 885 (horizontale) × 498 (verticale) mm
($34 \frac{7}{8} \times 19 \frac{5}{8}$ pouces)

Taille de l'écran 40 pouces (diagonale 1 016 mm)

FWD-32LX2F/32LX2X :

Profondeur de pixels

0,510 (horizontale) × 0,510 (verticale) mm
($1/32 \times 1/32$ pouces)

Taille d'image 698 (horizontale) × 392 (verticale) mm
($27 \frac{1}{2} \times 15 \frac{1}{2}$ pouces)

Taille de l'écran 32 pouces (diagonale 801 mm)

Entrées et sorties

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-sub à 15 broches (femelle) (× 1)
(Voir page 36.)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (compatible avec les
spécifications HDMI 1.1)

Adaptateur D'ENTRÉE VIDÉO BKM-FW10

VIDEO IN BNC (× 1)
Vidéo composite, 1 Vcc ± 2 dB sync
négative, 75 ohms (fin automatique)

VIDEO OUT BNC (× 1) boucle directe

S VIDEO IN Mini DIN à 4 broches (× 1)
Y (luminance) : 1 Vcc ± 2 dB sync
négative, 75 ohms terminé

C (chrominance) : salve
0,286 Vcc ± 2 dB (NTSC),
75 ohms terminé
salve 0,3 Vcc ± 2 dB (PAL),
75 ohms terminé

S VIDEO OUT Mini DIN à 4 broches (× 1) boucle
directe

AUDIO IN Prise à broches (× 2)
500 mVrms, haute impédance

Adaptateur COMMANDE MONITEUR BKM-FW20

REMOTE (RS-232C) D-sub à 9 broches (× 1)

CONTROL S IN/OUT Mini-prise (× 2)

Caractéristiques générales

Alimentation requise

100 V à 240 V AC, 50/60 Hz,

FWD-40LX2F/40LX2X :

2,3 A

FWD-32LX2F/32LX2X :

1,3 A

Consommation électrique

FWD-40LX2F/40LX2X :

200 W

FWD-32LX2F/32LX2X :

120 W

Sortie enceintes 7 W + 7 W (6 ohms)

Impédance de charge adaptée, de 6 à
16 ohms

Conditions d'utilisation

Température : 0 °C à 35 °C

(32 °F à 95 °F)

Humidité : 20 % à 90 %
(sans condensation)

Conditions de stockage/transport

Température : - 10 °C à + 40 °C

(14 °F à 104 °F)

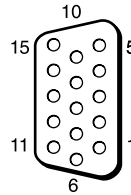
Humidité : 20 % à 90 %
(sans condensation)

Dimensions	FWD-40LX2F :
	988 × 591 × 125 mm (39 × 23 ³ / ₈ × 5 pouces)
	FWD-40LX2X :
	994 × 597 × 125 mm (39 ¹ / ₄ × 23 ⁵ / ₈ × 5 pouces)
	FWD-32LX2F :
	796 × 486 × 107 mm (31 ³ / ₈ × 19 ¹ / ₄ × 4 ¹ / ₄ pouces)
	FWD-32LX2X :
	802 × 492 × 107 mm (31 ⁵ / ₈ × 19 ³ / ₈ × 4 ¹ / ₄ pouces)
Poids	(l/h/p, parties saillantes non comprises)
	FWD-40LX2F :
	environ 25,0 kg (55 lb 2 oz)
	FWD-40LX2X :
	environ 26,0 kg (57 lb 6 oz)
	FWD-32LX2F :
	environ 16,0 kg (35 lb 5 oz)
	FWD-32LX2X :
Accessoires fournis	environ 17,0 kg (37 lb 8 oz)
	Cordon d'alimentation secteur (1)
	Support de prise secteur (2)
	Supports de câbles
	type 40 pouces (4), type
	32 pouces (6)
	Câble de signal vidéo composante
	(HD15 - RCA × 3) (1)
	Adaptateur BNC-RCA (1)
	Télécommande RM-FW001 (1)
	Piles AA (R6) (2)
	Mode d'emploi (1)
Accessoires en option	Support d'écran SU-42FW/32FW
	Enceintes SS-SP40FW/32FW
	Adaptateurs en option pour l'extension
	du système, série BKM-FW
Règlementations de sécurité	UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03
	(c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Affectation des broches

Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub à 15 broches)



N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou C _R /P _R
2	Vidéo verte ou Y
3	Vidéo bleue ou C _B /P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Sync H ou Vidéo composite
14	Sync V
15	SCL

Remarque

Lorsque de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

Index

Chiffres

4:3 14, 25, 26
4:3 par défaut 21, 26

A

Activer LED 28
Adaptateur COMMANDE MONITEUR 9
Adaptateur ENTRÉE VIDEO 9, 10
Aff. horloge 30
Affichage multiple 21, 28, 29
Affichage statut 31
Aigu 20, 24
Arrêt auto 21, 30
Auto cinéma 21, 25

B

Balance 20, 24

C

Cache-câbles (côté) 8, 18
Cache-câbles (partie inférieure) 18
Capteur de télécommande 7
CineMotion 20, 22
Commutateur POWER 7
Commutateur POWER ON 12
Connecteur AUDIO (COMMON AUDIO IN) 8
Connecteur AUDIO IN L/R 9
Connecteur CONTROL S IN/OUT 9
Connecteur HD15 (RGB/COMPONENT IN) 8
Connecteur HDMI 1/HDMI 2 IN 9
Connecteur REMOTE 9
Connecteur S VIDEO IN/OUT 9
Connecteur VIDEO IN/OUT 9
Contraste 20, 22, 23
Couleur 20, 22
Crochets d'installation du support 11

D

DHCP 32
Dynamique 24

E

Echanger 27
Emplacement OPTION 1/OPTION 2 9, 10
Espacement 21, 29

F

Fenêtre 28
Format de sortie 28

G

Grand zoom 14, 25, 26
Grave 20, 24

I

Index télécommande 31
Indicateur POWER/STANDBY 7

Informations 21, 31
IP Address Setup 21, 32

L

Langue 21, 30
Logo Sony 7, 31
Luminosité 20, 22, 23

M

Manual (IP Address Setup) 32
Minuterie M/A 30
Mode cinéma 14, 21, 25, 29
Mode de contrôle 31
Mode de l'image 20, 22, 23
Mode du son 20, 24
Mode ECO 16, 21, 30

N

Netteté 20, 22
Normal 14, 26, 29
Nuance 20, 22
Numéro d'index 13, 16, 31

P

Personnalisé 22, 23, 24
Phase 21, 29
Plein écran 14, 25, 26
Plein écran 1/Plein écran 2 14, 29
Pos. horizontale 21, 26, 29
Pos. verticale 21, 26, 29
Position 28
Prise AC IN 11, 17
Prise SPEAKER 11

R

Réduction du bruit 20, 22
Régl. horloge 30
Régl. minuterie 21, 30
Réglage automatique 21, 29
Réglage contrôle 31
Réglage PAP 15, 21, 27, 29
Réglages avancés 21, 31
Réglages Image 20, 22
Réglages Réglage 21, 30
Réglages Son 20, 24
Réglages Écran 21, 25
Réinit. mode image 20, 22, 23
Réinit. mode son 20, 24
Réinitialiser 21, 26, 29

S

Signal d'entrée 34
Sortie haut-p. 20, 24
Speed Setup 21, 32
SRS WOW 24
Standard 22, 23, 24
Standard couler 31
Support de câbles 19
Sélect. son commun 20, 24

T

Taille PAP 27
Taille verticale 21, 26
TC Control 22, 23
Temp. couleur 20, 22, 23
Touche contraste 13
Touche de volume 7, 13
Touche DISPLAY 13
Touche ECO 13, 16
Touche HD15 13
Touche HDMI 1/HDMI 2 12
Touche INPUT 7
Touche MENU 7, 12
Touche OPTION 1/OPTION 2 13
Touche PAP 12, 15
Touche PICTURE 12
Touche SOUND 12
Touche sourdine 13
Touche STANDBY 13
Touche Wide Mode 12, 14
Touches ID MODE 13, 16
Tout réinitialiser 21, 32
True Color Control 20, 23
Tuiles 28

Z

Zone d'affichage 21, 26
Zoom 14, 25

É

Éclairage 31
Éclatant 22, 23

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht.

Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

VORSICHT

WIRD DIE BATTERIE DURCH EINEN FALSCHEN TYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR. ENTSORGEN SIE VERBRAUCHTE BATTERIEN GEMÄSS DEN ÖRTLICHEN VORSCHRIFTEN.

Markenzeichen

WOW, SRS und das (●) Symbol sind Warenzeichen von SRS Labs, Inc. WOW Technologie wird unter Lizenz von SRS Labs, Inc. mit eingeschlossen.

Hergestellt unter der Lizenz von BBE Sound, Inc. Lizensiert von BBE Sound, Inc. unter USP5510752 und 5736897. BBE und das BBE-logo sind eingetragene Warenzeichen der BBE Sound, Inc.

Inhalt

Einführung

Sicherheitsmaßnahmen	4
Empfehlungen zur Aufstellung	6

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite	7
Seitlicher Anschlussbereich	8
Zusatzadapter	10
Rückseite	11
Fernbedienung	12
Beschreibung der Tasten	12
Sondertasten auf der Fernbedienung	14
Im Breitbildmodus	14
Beim Einstellen von PAP	15
Die Taste ID MODE	16
Die Funktion ECO-Modus	16

DE

Anschlüsse

Anschließen der Lautsprecher	17
Anschließen des Netzkabels	17
Umgang mit den Kabeln	18

Arbeiten mit den Menüeinstellungen

Übersicht über die Menüs	20
Bildeinstellungen	22
Toneinstellungen	24
Bildschirmeinstellungen	25
Grundeinstellungen	29

Weitere Informationen

Störungsbehebung	32
Diagramm der Eingangssignale	33
Technische Daten	34
Index	36

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn das Gerät auf dem Fußboden aufgestellt werden soll, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Monitorständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen.

LCD-Bildschirm

- Möglicherweise sind einige helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) oder schwarze Punkte auf dem Bildschirm zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Der LCD-Bildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch können einige wenige dunkle oder helle Pixel auftreten.
- Wenn der LCD-Bildschirm längere Zeit auf die Sonne gerichtet ist, wird der Bildschirm beschädigt. Berücksichtigen Sie dies bitte, wenn Sie das Gerät im Freien oder in der Nähe eines Fensters installieren.
- Stoßen Sie nicht gegen den Bildschirm, zerkratzen Sie ihn nicht und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Andernfalls kann es zu Unregelmäßigkeiten in der Bildanzeige oder zu einer Fehlfunktion des LCD-Bildschirms kommen.
- Wenn Sie das Gerät in kalter Umgebung verwenden, erscheint die Anzeige möglicherweise dunkler oder ein Nachbild ist zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Die Anzeige auf dem Bildschirm erscheint wieder normal, sobald die Umgebungstemperatur steigt.

- Wenn Sie längere Zeit ein Standbild anzeigen lassen, kann ein Nachbild zu sehen sein. Dieses verschwindet im Laufe der Zeit wieder, wenn Sie das Bild wechseln oder den ganzen Bildschirm weiß anzeigen. Wenn Sie ein und dasselbe Standbild jedoch sehr lange Zeit anzeigen lassen, lässt sich das Problem möglicherweise nicht mehr beheben.
- Die Anzeigefläche oder das Gehäuse kann sich während des Betriebs erwärmen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion.

Reinigen des Bildschirms

Anzeigefläche

- Ziehen Sie vor dem Reinigen des Bildschirms unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.
- Die Oberfläche des LCD-Bildschirms ist mit einer Spezialbeschichtung überzogen. Berühren Sie den LCD-Bildschirm möglichst nicht. Wenn Sie die Anzeigefläche reinigen, wischen Sie Verunreinigungen mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Verwenden Sie zum Reinigen auf keinen Fall Reinigungsalkohol, Benzin oder Verdüner. Andernfalls kann die Beschichtung der Anzeigefläche beschädigt werden.
- Wenn Sie ein chemisch behandeltes Reinigungstuch verwenden, beachten Sie bitte die entsprechenden Anweisungen.
- Sprühen Sie keine flüchtigen Lösungsmittel (wie z. B. Insektizide) auf das Gerät und legen Sie nicht längere Zeit Gummi- oder Kunststoffprodukte darauf. Andernfalls kann sich die Beschichtung lösen oder die Anzeigefläche angegriffen werden.

Gehäuse

- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie zum Reinigen auf keinen Fall Reinigungsalkohol, Benzin oder Verdüner. Andernfalls kann die Oberfläche des Gehäuses angegriffen werden oder die Markierungen darauf werden entfernt.

Hinweise zur Handhabung und Reinigung des Bildschirms

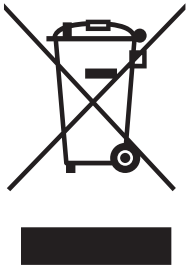
Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim Tragen und Reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Entsorgung von als Industriemüll anfallenden elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)



Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern im Rahmen des entsprechenden Rücknahmeprogramms für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss.

Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft, den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von der örtlichen Sony-Niederlassung oder auf der für Firmenkunden eingerichteten Website von Sony Europe: <http://www.sonybiz.net/environment>

Warnhinweis zum Netzanschluss					
Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.					
	USA, Kanada	Kontinentaleuropa		Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

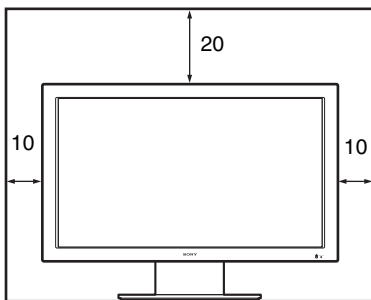
Empfehlungen zur Aufstellung

Lassen Sie um den Monitor herum viel Platz

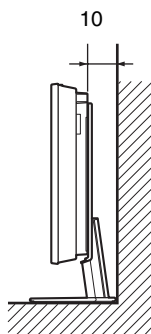
- Um einen internen Wärmestau durch Zustellen des Monitors zu verhindern, achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, indem Sie mindestens so viel Platz wie in der Abbildung unten dargestellt um den Monitor herum frei lassen.
- Die Umgebungstemperatur muss zwischen 0 °C und 35 °C betragen.
- Verwenden Sie ausschließlich den Monitorständer SU-42FW/32FW (nicht mitgeliefert), wenn Sie das Gerät aufstellen wollen.
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Montage ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Montage bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Bei eingeschaltetem Monitor kommt es im Inneren zu einer gewissen Wärmeentwicklung. Dadurch kann es zu Verbrennungen kommen. Berühren Sie den Monitor nicht an der Ober- oder Rückseite, wenn er eingeschaltet ist oder gerade erst in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Aufstellung mithilfe des Monitorständers

Vorderseite



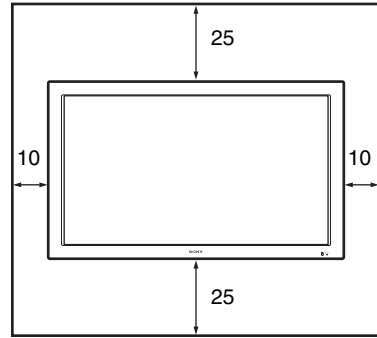
Seite



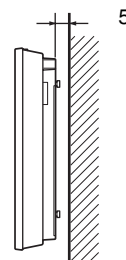
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal aufstellen

Vorderseite



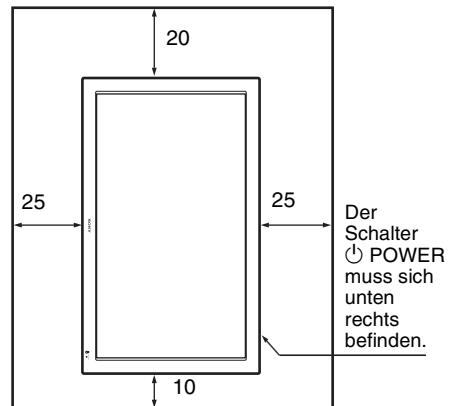
Seite



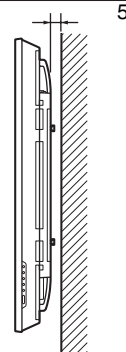
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor vertikal aufstellen

Vorderseite



Seite

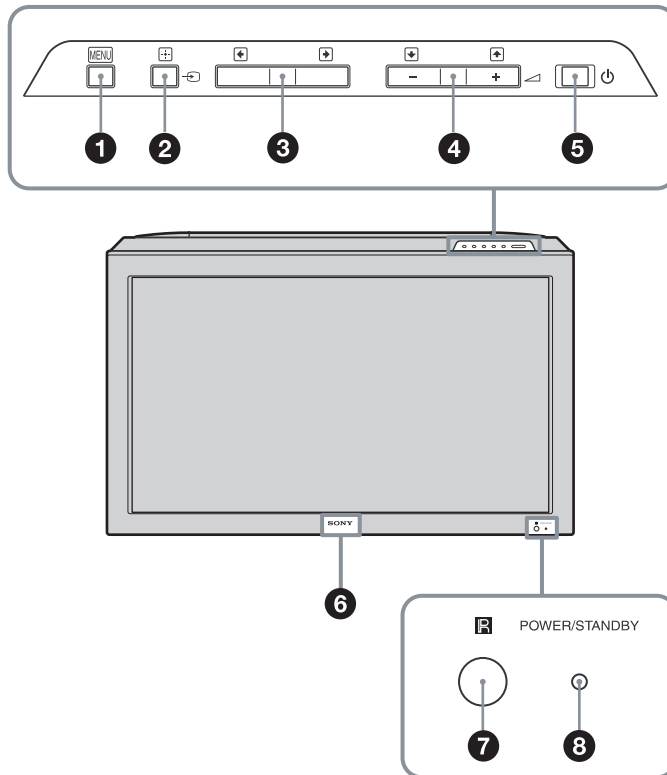


Einheit: cm

Hinweis

Wenn Sie den Monitor vertikal aufstellen, können Sie die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) nicht verwenden.

Vorderseite



1 MENU (Seite 20)

2 (INPUT)

- Wenn ein Menübildschirm angezeigt wird, fungiert diese Taste als Taste „Reg“.
- Wenn kein Menübildschirm angezeigt wird, dient diese Taste zum Umschalten des Eingangssignals. Dient zum Auswählen eines Eingangssignals vom Anschluss HD15, HDMI 1, HDMI 2, OPTION 1 oder OPTION 2.
Wenn am OPTION 1-/OPTION 2-Anschlussbereich kein Zusatzadapter installiert ist, werden OPTION 1 bzw. OPTION 2 übersprungen.

3

- Wenn ein Menübildschirm angezeigt wird, fungieren diese Tasten als Links-/Rechts-Tasten.
- Im Modus „PAP“ und wenn kein Menübildschirm angezeigt wird, dienen diese Tasten zum Wechseln des aktiven Bildes oder der Bildgröße.

4

- Dienen zum Erhöhen (+) oder Verringern (-) der Lautstärke.
- Wenn ein Menübildschirm angezeigt wird, fungieren diese Tasten als Auf-/Ab-Tasten ().

5

Dient zum Ein- und Ausschalten (Bereitschaftsmodus) des Bildschirms.

Hinweis

Zum Schutz des Bildschirms dauert es einige Sekunden, bis der Monitor ein- bzw. ausgeschaltet wird (Bereitschaftsmodus). Wenn Sie den Monitor gleich nach dem Ausschalten wieder einschalten wollen, warten Sie vor dem erneuten Einschalten etwa 5 Sekunden.

6 Sony-Logo

Das Sony-Logo kann beleuchtet werden. Im Menübildschirm können Sie zwischen „Ein“/„Aus“ umschalten. Näheres dazu finden Sie unter „Weitere Einstell.“ auf Seite 30.

7 Fernbedienungssensor

8 Anzeige POWER/STANDBY

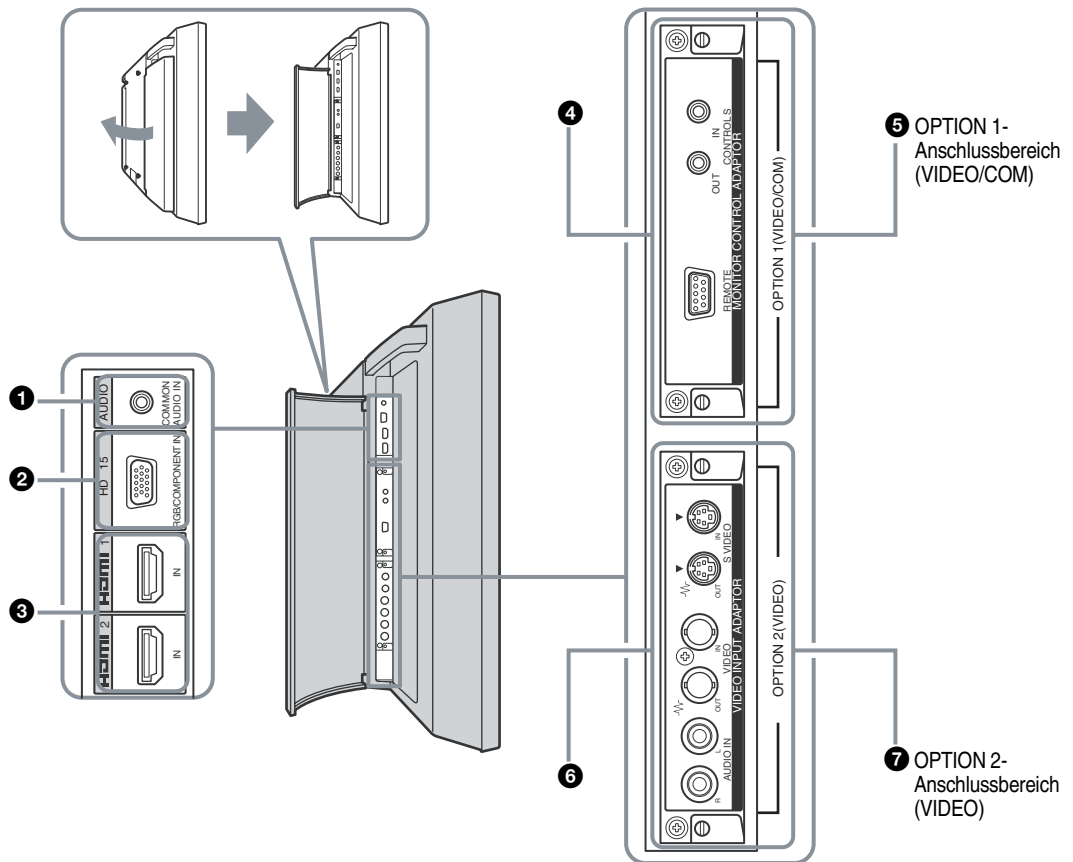
- Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist.
- Leuchtet rot, wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet.
- Leuchtet orange, wenn das aktuelle Eingangssignal kein Video- oder S-Video-Signal ist und der Monitor in den Energiesparmodus schaltet.

Hinweis

Wenn die Option „LED aktiviert“ unter „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt und für „Position“ etwas anderes als rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige beim Einschalten des Monitors nicht grün, es sei denn, dass kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.

Seitlicher Anschlussbereich

So öffnen Sie die Kabelabdeckung (seitlich)



Anschluss

1 AUDIO (COMMON AUDIO IN)

(Stereominibuchse)

2 HD15 (RGB/COMPONENT IN)

(D-Sub, 15-polig)

3 HDMI 1/HDMI 2 IN

Beschreibung

Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder PCs. Unterstützt Audiosignale entsprechend 2 und 3.

Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs. Siehe Seite 35.

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Stiften 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild unter Umständen nicht einwandfrei angezeigt.

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) bietet eine Schnittstelle zwischen dem Monitor und einem HDMI-fähigen Audio/Video-Gerät oder PC. Sie können Videos in verbesserter bzw. HD-Qualität und zweikanaligen Digitalton wiedergeben lassen. Darüber hinaus können Sie mit einem HDMI-zu-DVI-Kabel (nicht mitgeliefert) auch ein DVI-fähiges Gerät an den Monitor anschließen.

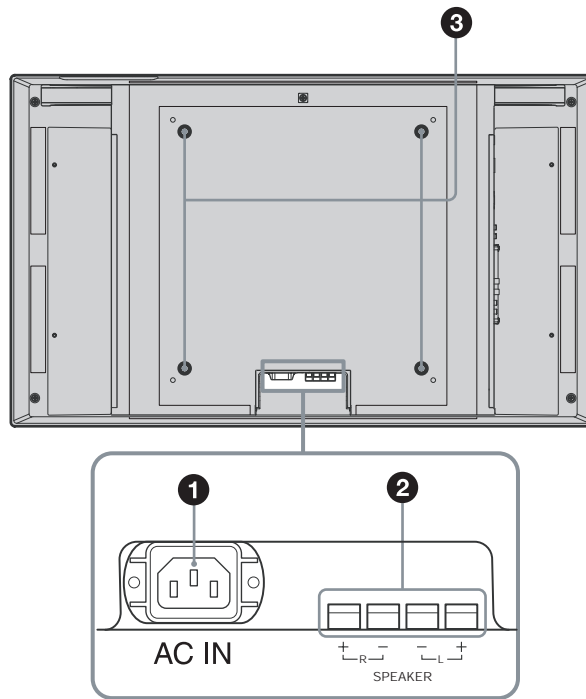
Der geeignete Modus für das angeschlossene Audio/Video-Gerät bzw. den PC wird automatisch ausgewählt.

Hinweis

Verwenden Sie ausschließlich HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) mit HDMI-Logo.

Anschluss	Beschreibung
<p>4 MONITOR CONTROL ADAPTOR (MONITORSTEUERUNGS-Adapter) (Der BKM-FW20 ist vorinstalliert.)</p>	<p>CONTROL S IN/OUT (Minibuchse): Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn der Monitor an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Monitors angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Monitor mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und den Anschluss CONTROL S IN an diesem Monitor mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.</p> <p>REMOTE (D-Sub, 9-polig): Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.</p> <p>Hinweis Dieser Adapter funktioniert nicht, wenn er im OPTION 2-Anschlussbereich installiert wird.</p>
<p>5 OPTION 1-Anschlussbereich (VIDEO/COM-Anschluss)</p>	<p>Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale und Kommunikationsfunktionen. Wenn Sie einen Zusatzadapter (der BKM-FW-Serie) in diesem Anschlussbereich installieren, können Sie die Eingangssignalanlüsse erweitern oder den Bildschirm über das Netzwerk steuern.</p>
<p>6 VIDEO INPUT ADAPTOR (VIDEINGANGS-Adapter) (Der BKM-FW10 ist vorinstalliert.)</p>	<p>S VIDEO IN (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den S-Video-Signalausgang eines Videogeräts.</p> <p>S VIDEO OUT (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den S-Video-Signalausgang eines Videogeräts.</p> <p>VIDEO IN (BNC): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts.</p> <p>AUDIO IN L/R (Stiftbuchse): Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.</p> <p>Das Video- oder das S-Video-Signal wird automatisch ausgewählt. Schließen Sie das Kabel (nicht mitgeliefert) an den Video- oder den S-Video-Anschluss an. Wenn Sie ein Videogerät mit S-Video-Ausgang anschließen, sollten Sie es an den S-Video-Anschluss anschließen, um eine bessere Videoqualität zu erzielen.</p>
<p>7 OPTION 2-Anschlussbereich (VIDEO-Anschluss)</p>	<p>Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale. In diesem Anschlussbereich können Sie einen Zusatzadapter mit Videosignalein-/ausgangsfunktion installieren. Den Zusatzadapter mit Kommunikationsfunktionen installieren Sie bitte im 5 OPTION 1-Anschlussbereich.</p>

Rückseite

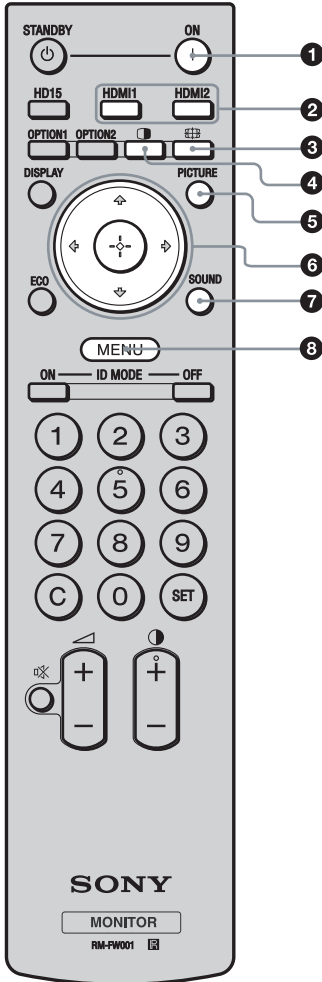













DE

Teile	Beschreibung
❶ Buchse AC IN	Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige POWER/STANDBY rot und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus. Siehe Seite 17.
❷ Buchse SPEAKER	Wenn Sie die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) an diese Buchse anschließen, können Sie den Ton zum Bild auf dem Monitor ausgeben und damit die Wirkung der Wiedergabe verstärken. Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 19.
❸ Haken für Ständerbefestigung	Befestigen Sie mit diesen Haken den Monitorständer SU-42FW/32FW (nicht mitgeliefert).


Fernbedienung

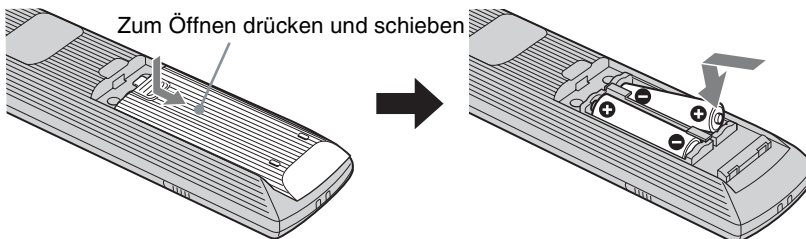
Beschreibung der Tasten

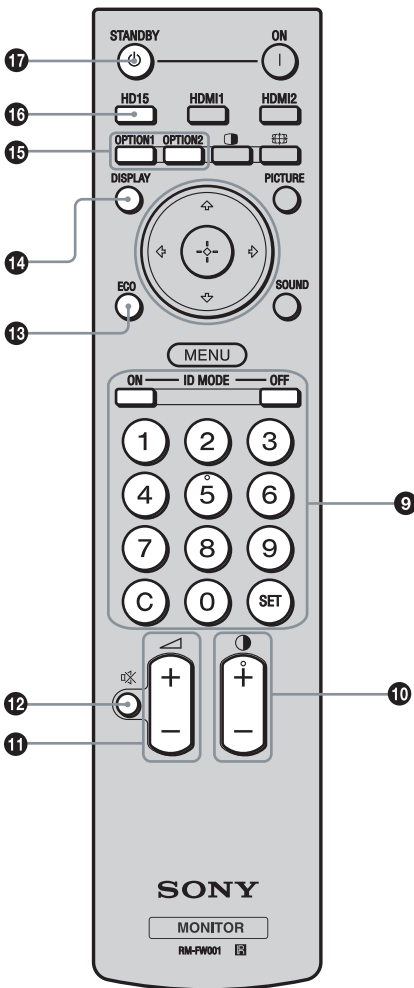


- 1 Schalter POWER ON**
Zum Einschalten des Monitors.
- 2 Tasten HDMI 1/HDMI 2**
Zum Auswählen des Signals, das am Anschluss HDMI 1 oder HDMI 2 eingespeist wird.
- 3 Taste **
Zum Wechseln des Bildformats in „Breitbildmodus“. Siehe Seite 14.
- 4 Taste **
Zum Auswählen des Modus „PAP“ (Picture And Picture). Mit jedem Tastendruck wird zwischen dem Bildschirm mit zwei Bildern und dem Bildschirm mit einem Bild gewechselt. Siehe Seite 15.
- 5 Taste PICTURE**
Zum Auswählen von „Bild-Modus“. Mit jedem Tastendruck wird zwischen „Brilliant“, „Standard“, „Anwender“ und „TC Control“ gewechselt.
- 6 Tasten    **
Die Tasten     dienen zum Bewegen des Cursors (gelb), zum Auswählen von Werten usw. Die Taste  dient zum Einstellen ausgewählter Menüs oder Menüoptionen.
Im Modus „PAP“ können Sie das aktive Bild mit   wechseln.
- 7 Taste SOUND**
Zum Auswählen des Ton-Modus. Zum Auswählen von „Ton-Modus“. Mit jedem Tastendruck wird zwischen „Dynamisch“, „Standard“, „SRS WOW“ und „Anwender“ gewechselt.
- 8 Taste MENU**
Zum Aufrufen von Menüs. Drücken Sie zum Ausblenden der Menüs die Taste erneut. Siehe Seite 20.

Hinweise

- Die Taste 5 und  sind mit einem fühlbaren Punkt gekennzeichnet. Verwenden Sie den fühlbaren Punkt als Anhaltspunkt beim Bedienen des Monitors.
- Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA (mitgeliefert) polaritätsrichtig in das Batteriefach der Fernbedienung ein: Plus- und Minus-Pol der Batterien müssen den Markierungen \oplus und \ominus im Batteriefach entsprechen.





9 Tasten ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

- Taste ON: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ am Bildschirm anzuzeigen.
- Taste 0-9: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ des zu bedienenden Monitors einzugeben.
- Taste SET: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu bestätigen.
- Taste C: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu löschen.
- Taste OFF: Drücken Sie diese Taste, um in den normalen Modus zurückzuschalten.

Siehe Seite 16.

10 Tasten +/-

Zum Einstellen des Bildkontrasts.

11 Tasten +/-

Zum Einstellen der Lautstärke.

12 Taste

Mit dieser Taste können Sie den Ton stummschalten. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie den Ton wieder hören wollen.

13 Taste ECO

Mit dieser Taste können Sie durch Anpassung der Hintergrundbeleuchtung den Stromverbrauch senken. Auch der Schwarzwert wird dadurch verbessert. Sie haben die Wahl zwischen „Aus“, „Niedrig“, „Hoch“ und „Bild aus“. Siehe Seite 16.

14 Taste DISPLAY

Drücken Sie diese Taste, um den ausgewählten Eingang, den Eingangssignaltyp und die Einstellung für „Breitbildmodus“ auf dem Bildschirm anzuzeigen. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Wenn die angezeigten Informationen kurze Zeit angezeigt werden, ohne dass Sie eine Funktion ausführen, werden sie automatisch wieder ausgeblendet.

15 Tasten OPTION 1/OPTION 2

Wenn ein Zusatzadapter installiert ist, wählen Sie hiermit ein Signal von dem an den Zusatzadapter angeschlossenen Gerät aus. Wählen Sie mit der Taste OPTION 1 das Eingangssignal vom Anschluss OPTION 1 und mit der Taste OPTION 2 das Eingangssignal vom Anschluss OPTION 2 aus.

16 Taste HD15

Zum Auswählen des Eingangssignals am Anschluss HD15. Das RGB- oder Farbdifferenzsignal wird je nach angeschlossenen Gerät automatisch ausgewählt.

17 Taste STANDBY

Mit dieser Taste wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

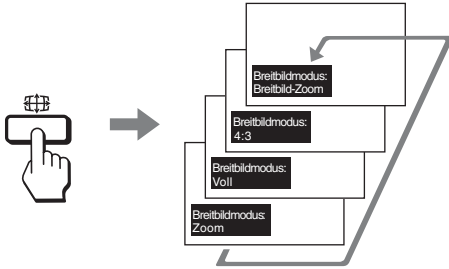
Sondertasten auf der Fernbedienung

Im Breitbildmodus

Sie können für die Anzeige am Bildschirm das Bildformat ändern.

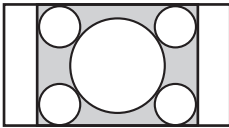
Tipp

Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „Breitbildmodus“ unter „Bildschirm“ vornehmen. Siehe Seite 25, 28.

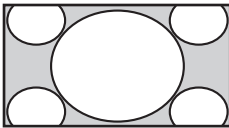


Bei Video-, DVD- oder HDMI-Eingangsquelle (außer bei einem PC als Eingangsquelle)

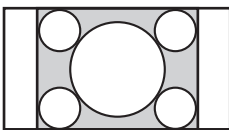
4:3-Originalbildquelle



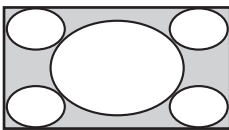
Breitbild-Zoom



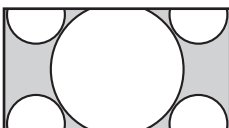
4:3



Voll



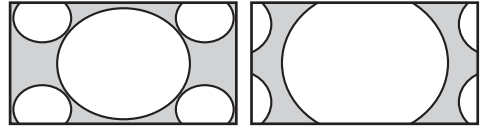
Zoom



16:9-Originalbildquelle



Breitbild-Zoom



4:3



Voll



Zoom

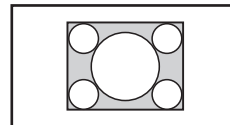


Hinweis

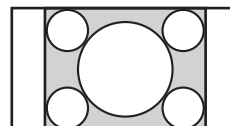
Bei Eingangssignalen im Format 1080i, 720p oder 1080p können „Breitbild-Zoom“ und „4:3“ nicht ausgewählt werden. Siehe Seite 25.

Bei einem PC als Eingangsquelle

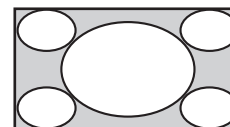
Normal



Voll 1



Voll 2



Beim Einstellen von PAP

Sie können zwei Bilder aus verschiedenen Signalquellen wie einem PC und einem Videogerät nebeneinander anzeigen lassen.

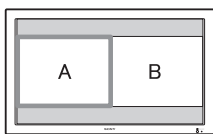
Darüber hinaus können Sie das rechte und linke Bild gegeneinander austauschen bzw. die Größe des rechten und linken Bildes verändern.

Tipp

Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „PAP einstellen“ unter „Bildschirm“ vornehmen. Siehe Seite 26.

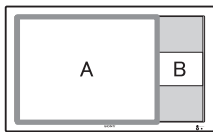


Cursor zeigt aktives Bild an



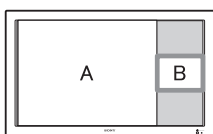
A und B haben die gleiche Breite. Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

Drücken Sie die Taste ⇐.



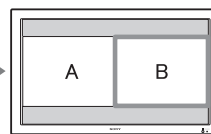
A ist breiter als B. Hat A das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von A der Bildschirmgröße.

Drücken Sie die Taste ⇨.



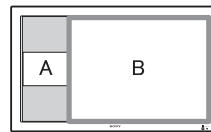
B auf der rechten Seite wird zum aktiven Bild.

Drücken Sie die Taste ⇨.



A und B haben die gleiche Breite. Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

Drücken Sie die Taste ⇨.



B ist breiter als A. Hat B das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von B der Bildschirmgröße.

DE

Mögliche Kombinationen bei zwei Bildern

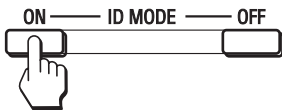
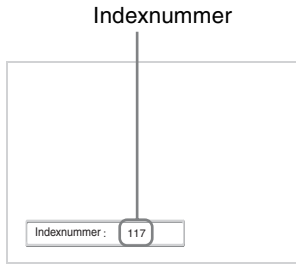
		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RGB	Farbdifferenz	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	Farbdifferenz	Video	S-Video
HD15	RGB			○	○				
	Farbdifferenz			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RGB			○	○				
	Farbdifferenz			○	○				
	Video			○	○				
	S-Video			○	○				

Die Taste ID MODE

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

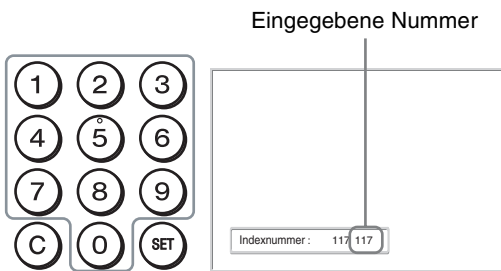
1 Drücken Sie die Taste ON.

Die „Indexnummer“ des Monitors erscheint in Schwarz im Bildschirmmenü unten links. (Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene „Indexnummer“ zwischen 1 und 255 zugeordnet.)



2 Geben Sie mit den Tasten 0 - 9 auf der Fernbedienung die „Indexnummer“ des Monitors ein, den Sie steuern wollen.

Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der „Indexnummer“ des jeweiligen Monitors.



3 Drücken Sie die Taste SET.

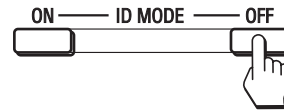
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.



Sie können nun ausschließlich den Monitor mit den grün angezeigten Zeichen bedienen. Nur der Netzschalter POWER ON und die Taste STANDBY/ID MODE-OFF funktionieren auch noch bei den anderen Monitoren.

4 Nachdem Sie alle gewünschten Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste OFF.

Auf dem Bildschirm erscheint wieder die normale Anzeige.



So korrigieren Sie die Indexnummer

Löschen Sie zunächst mit der Taste C die aktuelle „Indexnummer“. Geben Sie nun, wie in Schritt 2 erläutert, eine neue „Indexnummer“ ein.

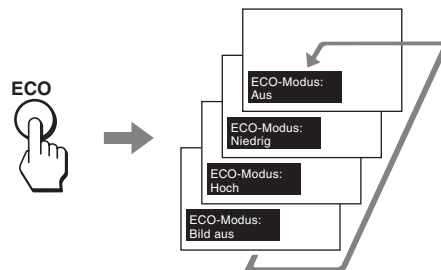


Tip

Wie Sie die „Indexnummer“ des Monitors ändern, erfahren Sie unter „Fernbed.index“ in „Steuerung einst.“ auf Seite 30.

Die Funktion ECO-Modus

Der Stromverbrauch des Monitors lässt sich reduzieren.



So deaktivieren Sie den ECO-Modus

Drücken Sie die Taste ECO so oft, bis „ECO-Modus : Aus“ angezeigt wird.

Tipps

- Wenn Sie den Monitor bei aktiviertem „ECO-Modus“ ausschalten, ist dieser Modus beim nächsten Einschalten des Monitors weiterhin aktiv (außer bei „Bild aus“).
- Sie können „ECO-Modus“ über „Grundeinstellungen“ einstellen. Wählen Sie „ECO-Modus“ unter „Grundeinstellungen“ und setzen Sie die Option auf „Aus“, „Niedrig“, „Hoch“ oder „Bild aus“.

Vorbereitungen

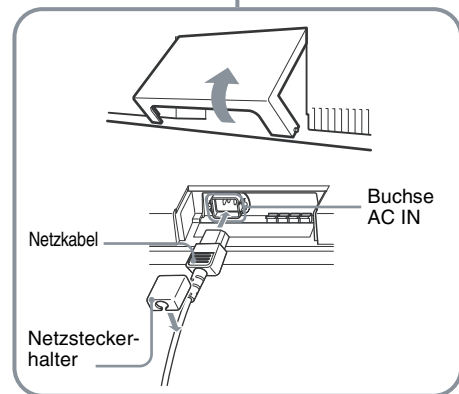
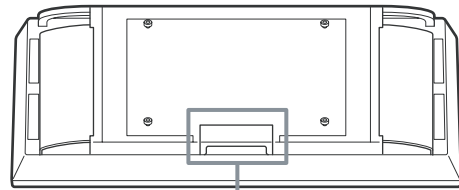
- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Schließen Sie die Kabel an, indem Sie die Stecker ganz in die Buchsen stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie bitte auch in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), damit der Netzstecker sicher hält.

Anschließen der Lautsprecher

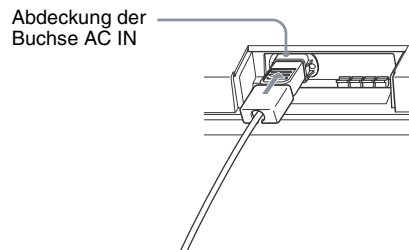
Sie können die Wirkung der Wiedergabe verstärken, indem Sie die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) anschließen. Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 19.

Anschließen des Netzkabels

- 1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.

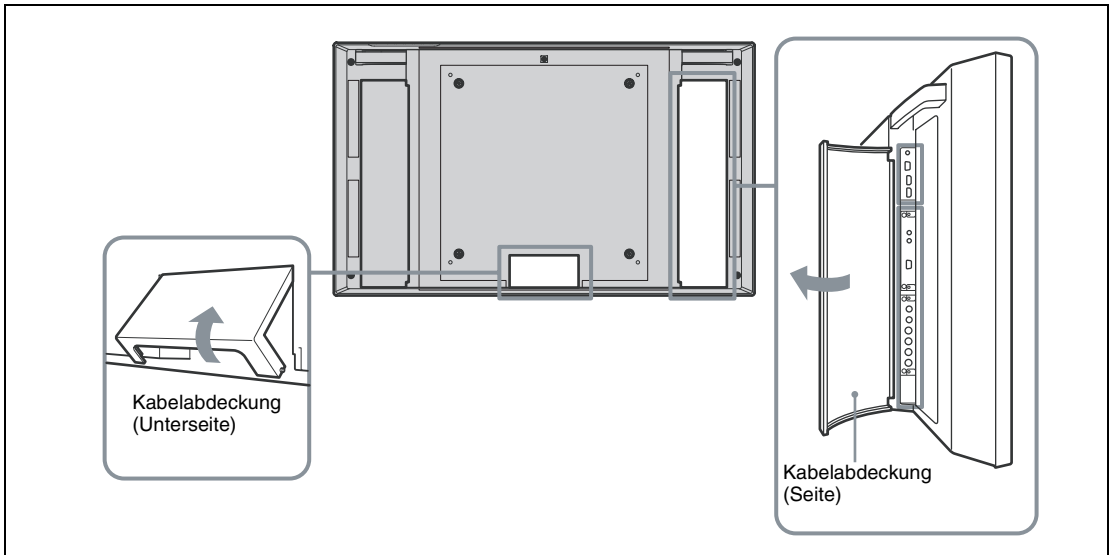


So nehmen Sie das Netzkabel ab

Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Umgang mit den Kabeln

Die Kabelabdeckungen befinden sich bei diesem Monitor auf der Rückseite, so dass die Kabel den optischen Eindruck nicht beeinträchtigen. Öffnen Sie vor dem Anschließen von Kabeln an den Monitor die Kabelabdeckungen wie unten abgebildet. Schließen Sie die Kabelabdeckungen nach dem Anschließen von Kabeln an den Monitor wieder.



Anbringen der Kabelhalter

Sie können die Kabel mit den mitgelieferten Kabelhaltern bündeln.
Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.

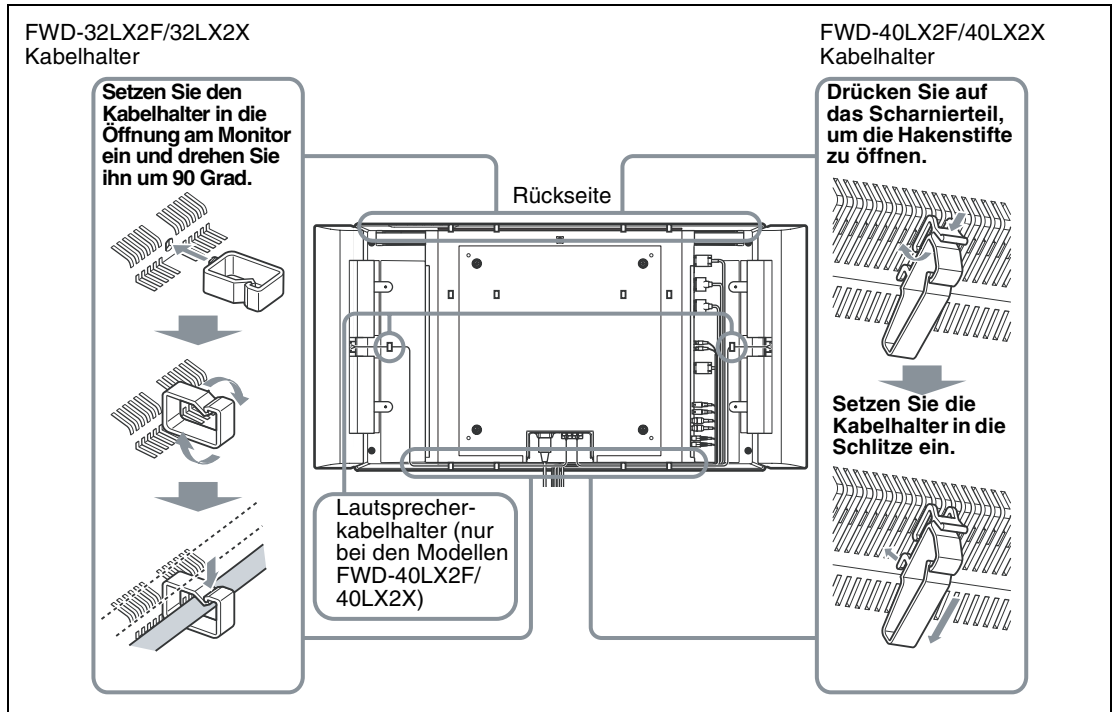
Beim FWD-40LX2F/40LX2X:

Bringen Sie zwei Kabelhalter (×4 mitgeliefert) an den Schlitzten oben und unten an.

Wenn Sie die Lautsprecher (nicht mitgeliefert) anschließen, führen Sie die Lautsprecherkabel durch die Lautsprecherkabelhalter an der Rückseite des Monitors.

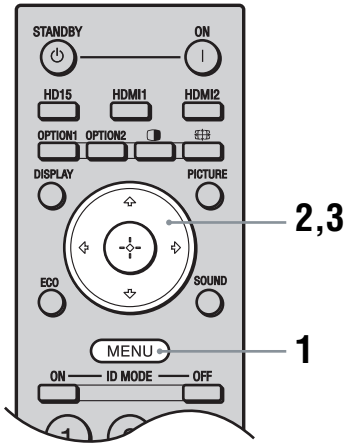
Beim FWD-32LX2F/32LX2X:

Wählen Sie zum Anbringen der Kabelhalter (×6 mitgeliefert) sechs der acht Öffnungen (4 oben und 4 unten). Die Lautsprecherkabelhalter werden nicht mitgeliefert.



DE

Übersicht über die Menüs



- 1 Drücken Sie die Taste MENU.
- 2 Heben Sie mit der Taste \uparrow/\downarrow die gewünschte Menüoption hervor.
- 3 Drücken Sie \leftarrow oder \rightarrow .
Um das Menü auszublenden, drücken Sie erneut die Taste MENU.

So wechseln Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen

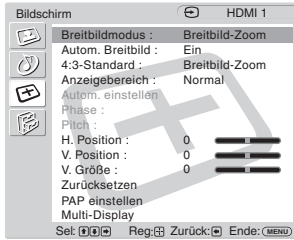
Sie können die gewünschte Sprache für die Menüs und Meldungen auf dem Bildschirm auswählen: „English“, „Español“, „Français“, „Italiano“, „Deutsch“ oder „日本語“.
Standardmäßig ist „English“ (Englisch) eingestellt.
Siehe Seite 29.

Über die Einstellungen in den einzelnen Menüs haben Sie Zugriff auf folgende Funktionen:

Menü	Auswählbare/einstellbare Optionen
Bild 	Bild-Modus (Seite 22, 23) Bild-Modus zurück (Seite 22, 23) Kontrast (Seite 22, 23) Helligkeit (Seite 22, 23) Farbe (Seite 22) Farbton (Seite 22) Farbtemperatur (Seite 22, 23) Bildschärfe (Seite 22) Rauschvermind. (Seite 22) CineMotion (Seite 22) True Color Control (Seite 23)
Ton 	Ton-Modus (Seite 24) Ton-Modus zurück (Seite 24) Höhen (Seite 24) Tiefen (Seite 24) Balance (Seite 24) Tonauswahl (Seite 24) Lautspr.ausgang (Seite 24)

Menü

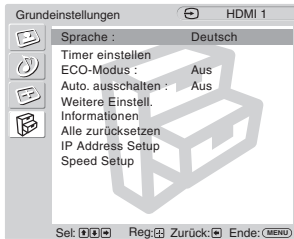
Bildschirm



Auswählbare/einstellbare Optionen

Breitbildmodus (Seite 25, 28)
Autom. Breitbild (Seite 25)
4:3-Standard (Seite 26)
Anzeigebereich (Seite 26)
Autom. einstellen (Seite 28)
Phase (Seite 28)
Pitch (Seite 28)
H. Position (Seite 26, 28)
V. Position (Seite 26, 28)
V. Größe (Seite 26)
Zurücksetzen (Seite 26, 28)
PAP einstellen (Seite 26)
Multi-Display (Seite 27)

Grundeinstellungen

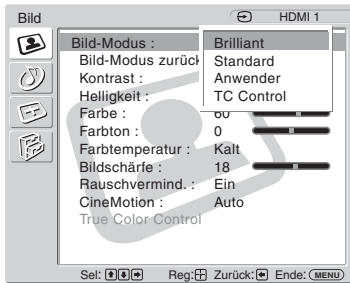


Sprache (Seite 29)
Timer einstellen (Seite 29)
ECO-Modus (Seite 29)
Auto. ausschalten (Seite 29)
Weitere Einstell. (Seite 30)
Informationen (Seite 30)
Alle zurücksetzen (Seite 30)
IP Address Setup (Seite 31)
Speed Setup (Seite 31)

* Je nach den Einstellungen stehen die Menüsymbole unten am Bildschirm unter Umständen nicht zur Verfügung.

Bildeinstellungen

Bei einem Videogerät als Eingangsquelle



Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Mit \oplus bestätigen Sie Ihre Auswahl.

Die Einstellungen unter „Bild“ enthalten folgende Optionen:

Bild-Modus

„Brilliant“: Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.

„Standard“: Für die Standardbildeinstellungen.

„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

„TC Control“: Diese Einstellung wird häufig zusammen mit „Brilliant“ verwendet. Außerdem können Sie die Funktion „True Color Control“ verwenden (weiter unten erläutert).

Tipps

- Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus“ können Sie stattdessen auch PICTURE auf der Fernbedienung verwenden.
- Sie können die Optionen unter „Bild-Modus“ für die einzelnen Eingänge getrennt einstellen.

Bild-Modus zurück

Setzt alle Einstellungen für den zurzeit ausgewählten „Bild-Modus“ („Brilliant“, „Standard“, „Anwender“, „TC Control“) auf die Standardwerte zurück (außer für die grau angezeigten Optionen).

Kontrast

Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.

Helligkeit

Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.

Farbe

Zum Verstärken oder Abschwächen der Farbintensität.

Farbton

Zum Einstellen der Farbtöne des Bildes.

Hinweis

„Farbton“ steht nicht zur Verfügung, wenn der Video- oder S-Video-Eingang verwendet wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt.

Farbtemperatur

„Kalt“: Weiß erhält einen bläulichen Stich.

„Neutral“: Weiß erscheint neutral.

„Warm“: Weiß erhält einen rötlichen Stich.

Bildschärfe

Zum Verstärken oder Abschwächen der Bildschärfe.

Rauschvermind.

Zum Verringern des Störrauschens von angeschlossenen Geräten. Sie haben die Wahl zwischen „Ein“ oder „Aus“.

CineMotion

Wenn Sie „Auto“ wählen, erkennt das Gerät automatisch Filme und optimiert die Anzeige, indem es einen umgekehrten 3-2- oder 2-2-Pull-Down-Prozess durchführt. Dadurch verbessert sich bei Filmen die Bildschärfe und sie wirken natürlicher. Mit „Aus“ deaktivieren Sie die automatische Filmerkennung.

True Color Control

Sie können Farbton und Sättigung bei jeder der 4 Farben Rot, Grün, Gelb und Blau fein einstellen und bestimmte Farben im Bild hervorheben.

Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und Sie können sehen, welche Farbe im Bild eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.

Hinweise

- Diese Option lässt sich einstellen, wenn „Bild-Modus“ auf „TC Control“ gesetzt ist.
- Im Modus „PAP“ können Sie diese Option nicht auswählen. Wenn nur ein Bild angezeigt wird und Sie diese Option einstellen, gilt die Einstellung im Modus „PAP“ möglicherweise nicht.

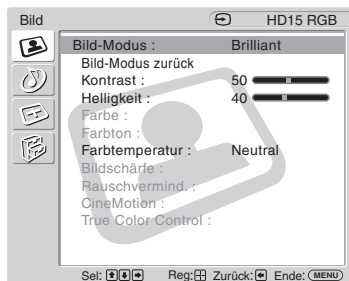
Tipps

Sie können die Einstellungen unter „Bild“ („Kontrast“, „Helligkeit“, „Farbe“ usw.) für jeden „Bild-Modus“ einzeln ändern.

Hinweise

- Im Modus „PAP“ können die Optionen unter „Bild“ nicht ausgewählt werden.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bild“ ausgewählt werden.

Bei einem PC als Eingangsquelle



Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bild“.

Die Einstellungen für einen PC unter „Bild“ enthalten folgende Optionen:

DE

Bild-Modus

„Brilliant“: Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.

„Standard“: Für die Standardbildeinstellungen.

„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

„TC Control“: Diese Einstellung wird häufig zusammen mit „Brilliant“ verwendet. Außerdem können Sie die Funktion „True Color Control“ verwenden (weiter unten erläutert).

Bild-Modus zurück

Setzt alle Einstellungen für den zurzeit ausgewählten „Bild-Modus“ („Brilliant“, „Standard“, „Anwender“, „TC Control“) auf die Standardwerte zurück (außer für die grau angezeigten Optionen).

Kontrast

Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.

Helligkeit

Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.

Farbtemperatur

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „Farbtemperatur“ nach (Seite 22).

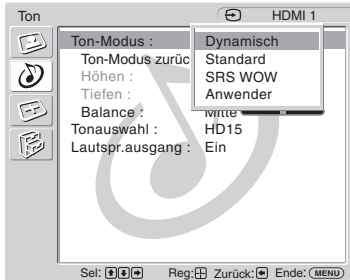
True Color Control

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „True Color Control“ nach (Seite 23).

Hinweise

- „Farbe“, „Farbton“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“ und „CineMotion“ stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- Im Modus „PAP“ können die Optionen unter „Bild“ nicht ausgewählt werden.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bild“ ausgewählt werden.

Toneinstellungen



Wenn die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) installiert sind, können Sie verschiedene Einstellungen für „Ton“ vornehmen.

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Mit \oplus bestätigen Sie Ihre Auswahl.

Die Einstellungen unter „Ton“ enthalten folgende Optionen:

Ton-Modus

„Dynamisch“: Zum Verstärken von Höhen und Tiefen.

„Standard“: Normale Einstellung ohne Verstärkung.

„SRS WOW“: Erzeugt ein Raumklangpanorama in Stereo. Die Tiefen werden besonders kraftvoll, die Höhen besonders klar wiedergegeben, so dass ein beeindruckendes Klangerlebnis, etwa wie im Kino, entsteht.

„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

Tipps

- Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Ton-Modus“ können Sie auch SOUND auf der Fernbedienung verwenden.
- Firmeneigene Technologien von BBE Sound, Inc., werden bei „Dynamisch“ und „Standard“ angewendet.

Ton-Modus zurück

Zum Zurücksetzen folgender Einstellungen auf die Standardwerte: „Höhen“, „Tiefen“ und „Balance“.

Höhen

Zum Verstärken oder Abschwächen hoher Töne.

Tiefen

Zum Verstärken oder Abschwächen tiefer Töne (Bässe).

Balance

Zum Einstellen der Balance zwischen linkem und rechtem Lautsprecher.

Tonauswahl

„HD15“: Zum Ausgeben des Tons von einem Videogerät oder PC, das bzw. der an den Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT IN) bzw. AUDIO (COMMON AUDIO IN) angeschlossen ist.

„HDMI 1“/„HDMI 2“: Wählen Sie diese Option, wenn Sie ein Gerät über ein HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) oder ein HDMI-zu-DVI-Kabel und gleichzeitig über das entsprechende Audiokabel anschließen wollen.

Siehe Seite 8.

Hinweise

- Wenn Sie ein HDMI-zu-DVI-Kabel (nicht mitgeliefert) verwenden, schließen Sie das Audiokabel an den Anschluss AUDIO (COMMON AUDIO IN) an.
- Wenn Sie „HDMI 1“/„HDMI 2“ wählen, wird über die HDMI-Anschlüsse kein Digitalton ausgegeben. Wenn Sie ein Videogerät mit HDMI-Anschluss an HDMI 1/HDMI 2 anschließen, setzen Sie „Tonauswahl“ auf „HD15“.
(„HD15“ ist die Standardeinstellung.)

Lautspr.ausgang

„Ein“: Der Ton wird über die Lautsprecher ausgegeben.

„Aus“: Der Ton wird nicht über die Lautsprecher ausgegeben.

Hinweis

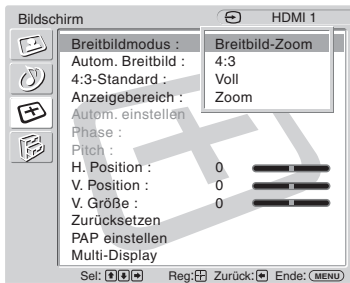
Wenn „Lautspr.ausgang“ auf „Aus“ gesetzt ist, können „Ton-Modus“, „Ton-Modus zurück“, „Höhen“, „Tiefen“ und „Balance“ nicht ausgewählt werden.

Tipps

Sie können Einstellungen in den Menüs für die Tonqualität („Höhen“ und „Tiefen“) vornehmen, wenn „Ton-Modus“ auf „Anwender“ gesetzt ist.

BildschirmEinstellungen

Bei einem Videogerät als Eingangsquelle



Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Mit \oplus bestätigen Sie Ihre Auswahl.

Die Einstellungen unter „Bildschirm“ enthalten folgende Optionen:

Breitbildmodus

„Breitbild-Zoom“: Das Bild wird vergrößert und füllt den Bildschirm, wobei Verzerrungen auf ein Minimum beschränkt werden.

„4:3“: Zum Anzeigen eines 4:3-Bildes von einer 4:3-Bildquelle (Standard Definition-Bildquelle) im Originalformat.

„Voll“: Zum Verbreitern eines Originalbildes von einer 4:3-Bildquelle (Standard Definition-Bildquelle), so dass es den Bildschirm füllt. Handelt es sich bei der Originalbildquelle um eine 16:9-Bildquelle (High Definition-Bildquelle), so wird das 16:9-Bild in diesem Modus im Originalformat angezeigt.

„Zoom“: Zum Vergrößern des Originalbildes, ohne das Bildseitenverhältnis zu verändern.

Siehe Seite 14.

Tipps

- Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Breitbildmodus“ können Sie auch \oplus auf der Fernbedienung verwenden.
- Wählen Sie „Zoom“, wenn Sie Filme und andere DVD-Inhalte mit schwarzen Balken so anzeigen lassen wollen, dass sie den gesamten Anzeigebereich auf dem Bildschirm füllen.
- In den Modi „Breitbild-Zoom“ und „Zoom“ können Sie „H. Position“, „V. Position“ und „V. Größe“ einstellen. Siehe Seite 26.

Hinweise

- Der „Breitbildmodus“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.
- „Breitbild-Zoom“ und „4:3“ lassen sich für 1080i-, 720p- oder 1080p-Signale, die am Farbdifferenzsignalanschluss oder an den HDMI-Anschlüssen eingehen, nicht auswählen.

Autom. Breitbild

„Ein“: Zum automatischen Einstellen des Bildes auf den passenden Bildschirmmodus.

„Aus“: Der Bildschirmmodus wird nicht automatisch gewechselt.

Hinweise

- Wenn digitale und analoge RGB-Signale eingespeist werden, lässt sich „Autom. Breitbild“ nicht einstellen, da in diesem Fall die Funktion „Autom. Breitbild“ nicht zur Verfügung steht.
- „Autom. Breitbild“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.

4:3-Standard

„Breitbild-Zoom“: Zum Vergrößern eines 4:3-Bildes, so dass es den 16:9-Bildschirm füllt und dabei so weit wie möglich erhalten bleibt.
„4:3“: Zum Anzeigen eines 4:3-Bildes, ohne das Bildseitenverhältnis zu verändern.
„Voll“: Zum Dehnen eines 4:3-Bildes ausschließlich in horizontaler Richtung, so dass es den 16:9-Bildschirm füllt.
„Zoom“: Zum Vergrößern eines 4:3-Bildes unter Beibehaltung des Bildseitenverhältnisses. Diese Option eignet sich zur Anzeige von Filmen im Letterbox-Format.
„Aus“: Zum Beibehalten des aktuellen Breitbildmodus auch bei einem Wechsel des Eingangs.

Hinweise

- „4:3-Standard“ können Sie nur auswählen, wenn „Autom. Breitbild“ auf „Ein“ gesetzt ist.
- „4:3-Standard“ funktioniert nur, wenn am Bildschirm NTSC-, PAL-, SECAM-, 480i-, 480p-, 575i- oder 576p-Signale eingehen.
- Wenn Sie „4:3-Standard“ einstellen und dann die Einstellung für „Breitbildmodus“ ändern, wird die entsprechende Einstellung für „Breitbildmodus“ wirksam und das Bildseitenverhältnis ändert sich. Diese nachträglich über die Option „Breitbildmodus“ vorgenommene Einstellung gilt jedoch nur für das aktuelle Eingangssignal. Wenn das Eingangssignal gewechselt wird, gilt für den Bildschirm wieder die ursprüngliche Einstellung für „4:3-Standard“. Wenn das aktuelle Bildseitenverhältnis auch nach einem Wechsel des Eingangssignals beibehalten werden soll, setzen Sie „4:3-Standard“ auf „Aus“.

Anzeigebereich

„Normal“: Zum Anzeigen eines Bildes im Standardformat.
„-1/-,-2“: Zum Einstellen des Anzeigebereichs. Wenn der Bereich um das Bild verrauscht ist, können Sie mit dieser Einstellung den verrauschten Bereich ausblenden.

H. Position

Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Steht nur in den Modi „Breitbild-Zoom“ und „Zoom“ zur Verfügung. Nehmen Sie die Korrektur mit \leftarrow/\rightarrow vor und bestätigen Sie sie mit \oplus .

V. Position

Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Steht nur in den Modi „Breitbild-Zoom“ und „Zoom“ zur Verfügung. Nehmen Sie die Korrektur mit \updownarrow vor und bestätigen Sie sie mit \oplus .

V. Größe

Zum Einstellen der Bildhöhe. Steht nur in den Modi „Breitbild-Zoom“ und „Zoom“ zur Verfügung. Nehmen Sie die Korrektur mit \updownarrow vor und bestätigen Sie sie mit \oplus .

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen folgender Einstellungen auf die Standardwerte: „H. Position“, „V. Position“ und „V. Größe“.

PAP einstellen

Zum Anzeigen von zwei Bildern aus verschiedenen Signalquellen, zum Beispiel einem PC und einem Videogerät, nebeneinander. Dabei ist ausschließlich eine Kombination aus Analogsignal und Digitalsignal möglich.
„PAP“: Bei „Ein“ werden zwei Bilder gleichzeitig nebeneinander angezeigt, mit „Aus“ wird „PAP“ deaktiviert.
„Tauschen“: Mit „OK“ wird die Position der beiden Bilder vertauscht, mit „Abbrechen“ wird der Vorgang abgebrochen.
„PAP-Größe“:
„Links groß“: Das linke Bild ist breiter als das rechte.
Hat das linke Bild das Format 4:3, entspricht seine Höhe der Bildschirmgröße.
„Gleich groß“: Das linke und das rechte Bild haben die gleiche Breite (halb & halb). Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.
„Rechts groß“: Das rechte Bild ist breiter als das linke.
Hat das rechte Bild das Format 4:3, entspricht seine Höhe der Bildschirmgröße.

Hinweise

- Sie können nur dann zwei Bilder anzeigen, wenn „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt ist.
- Werden zwei Bilder angezeigt, gelten für „Bild“ die Einstellungen, die für die Anzeige eines einzelnen Bildes festgelegt wurden.
- Einzelheiten zu den möglichen Kombinationen bei zwei Bildern finden Sie auf Seite 15.

Multi-Display

Sie können aus mehreren Monitoren eine Videowand zusammenstellen und hier die entsprechenden Einstellungen dafür vornehmen.

„Multi-Display“: Bei „Aus“ wird nur ein Bildschirm verwendet, mit „2x2“ bis „4x4“ wählen Sie das gewünschte Arrangement für die Videowand aus.

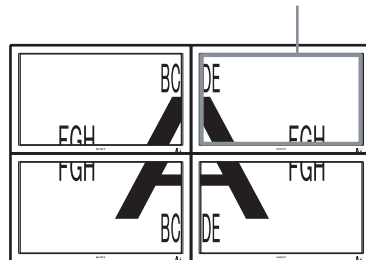
„Position“ (Positions-Popup): Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Position des einzelnen Monitors innerhalb der Videowand aus. Bestätigen Sie die Position mit \oplus .

„Ausgabeformat“: Sie haben die Wahl zwischen zwei Bildausgabeformaten, wie in den Abbildungen gezeigt. Sie wählen einfach das gewünschte Format aus und das Bild wird in geeigneter Weise angezeigt, ohne dass Sie die horizontale und vertikale Bildposition von Hand einstellen müssen.

Sie haben die Wahl zwischen „Fliesen“ und „Fenster“.

„Fliesen“

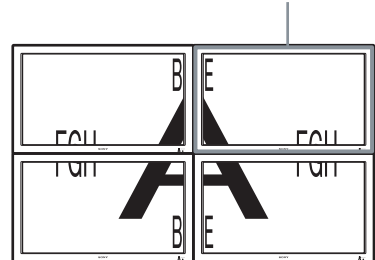
Ohne Overscan



Das gesamte Bildsignal erscheint auf den einzelnen Bildschirmen.

„Fenster“

Mit Overscan



Zur Anzeige des Bildes als ein einziges, großes Bild. Ein Teil des Bildsignals verschwindet hinter den Blenden.

„LED aktiviert“: Bei „Ein“ leuchtet die Anzeige POWER/STANDBY an der Vorderseite (Seite 7) ständig, bei „Aus“ leuchtet sie nicht.

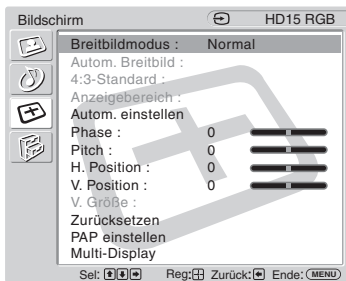
Hinweise

- Bei einem Videogerät als Eingangsquelle kann mit „Multi-Display“ ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei die aktuelle Einstellung für „Breitbildmodus“ weitgehend beibehalten wird. Bei einem PC als Eingangsquelle kann ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei „Breitbildmodus“ auf „Voll 2“ gesetzt wird.
- Sie können „Multi-Display“ nur einstellen, wenn „PAP“ deaktiviert ist.
- Wenn als „Position“ rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige POWER/STANDBY auch dann, wenn die Option „LED aktiviert“ auf „Aus“ gesetzt ist. Die Anzeige leuchtet auch, wenn der Monitor ausgeschaltet (im Bereitschaftsmodus) ist, Fehler erkannt werden oder sich das Gerät im Energiesparmodus befindet, ebenso wenn kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.

Hinweise

- „Anzeigebereich“, „H. Position“, „V. Position“ und „V. Größe“ stehen nicht zur Verfügung, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, können die Optionen unter „Bildschirm“ mit Ausnahme von „PAP einstellen“ und „Multi-Display“ nicht ausgewählt werden.

Bei einem PC als Eingangsquelle



Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bildschirm“. Die Einstellungen für einen PC unter „Bildschirm“ enthalten folgende Optionen:

Breitbildmodus

„Normal“: Zum Anzeigen eines Bildes im Originalformat.

„Voll 1“: Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich in der Vertikalen füllt, wobei das ursprüngliche Bildseitenverhältnis (horizontal-vertikal) erhalten bleibt. Um das Bild erscheint ein schwarzer Rand.

„Voll 2“: Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich füllt.

Hinweis

Der „Breitbildmodus“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „PAP“ oder „Multi-Display“ verwendet wird.

Autom. einstellen

Zum automatischen Einstellen von Anzeigeposition und Phase des Bildes, wenn ein angeschlossener PC als Eingangsquelle dient.

Beachten Sie bitte, dass „Autom. einstellen“ nicht bei allen Eingangssignalen optimal funktioniert. Stellen Sie die folgenden Optionen in solchen Fällen von Hand ein.

Phase

Zum Einstellen der Phase, falls das Bild flimmert.

Pitch

Zum Einstellen des Pitch, wenn das Bild unerwünschte vertikale Streifen aufweist.

H. Position

Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Nehmen Sie die Korrektur mit \leftarrow/\rightarrow vor und bestätigen Sie sie mit \oplus .

V. Position

Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Nehmen Sie die Korrektur mit \updownarrow vor und bestätigen Sie sie mit \oplus .

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen folgender Einstellungen auf die Standardwerte: „Phase“, „Pitch“, „H. Position“ und „V. Position“.

PAP einstellen

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „PAP einstellen“ nach (Seite 26).

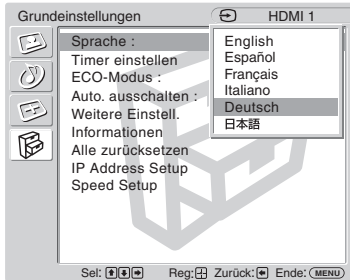
Multi-Display

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „Multi-Display“ nach (Seite 27).

Hinweise

- „Autom. Breitbild“, „4:3-Standard“, „Anzeigebereich“ und „V. Größe“ stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, können die Optionen unter „Bildschirm“ mit Ausnahme von „PAP einstellen“ und „Multi-Display“ nicht ausgewählt werden.
- Wenn Signale über HDMI 1/HDMI 2 eingespeist werden, stehen „Autom. einstellen“, „Phase“ und „Pitch“ bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.

Grundeinstellungen



Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Mit \oplus bestätigen Sie Ihre Auswahl.

Die Einstellungen unter „Grundeinstellungen“ enthalten folgende Optionen:

Sprache

Zum Auswählen der Sprache, in der die Bildschirmanzeigen erscheinen sollen: „English“, „Español“, „Français“, „Italiano“, „Deutsch“ oder „日本語“.

Timer einstellen

Zum Einstellen der Uhrzeit, zum Aufrufen der integrierten Uhrzeitanzeige oder zum Einstellen des Timers für das Ein-/Ausschalten des Monitors zu einer im Voraus festgelegten Zeit.

„Uhr einstellen“: Zum Einstellen von Uhrzeit und Tag.

„Uhrzeitanzeige“: Zum Anzeigen der aktuellen Uhrzeit am Bildschirm, wenn die Option auf „Ein“ gesetzt ist.

„Ein/Aus-Timer“: Zum Festlegen der Uhrzeit, zu der sich das Gerät automatisch ein- oder ausschalten soll.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

ECO-Modus

„Aus“: Zur Bildanzeige ohne Energiesparmodus.

„Niedrig“/„Hoch“: Zur Bildanzeige mit reduziertem Stromverbrauch. Auch der Schwarzwert wird dadurch verbessert.

„Bild aus“: Zum Ausschalten des Bildes. Der Ton wird weiterhin in der ausgewählten Lautstärke wiedergegeben.

Auto. ausschalten

„Ein“: Der Monitor wechselt automatisch in den Bereitschaftsmodus, wenn über 5 Minuten lang kein Signal an den Video- oder S-Video-Eingängen eingeht. Der Monitor wechselt automatisch in den Energiesparmodus, wenn über 30 Sekunden lang am Eingang HDMI bzw. am RGB-/Farbdifferenzsignaleingang kein Signal eingeht.

„Aus“: Der Monitor schaltet sich nicht automatisch aus, auch wenn an keinem Anschluss ein Signal eingespeist wird.

Tipp

Wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit dem Schalter \odot POWER am Monitor oder dem Schalter POWER ON auf der Fernbedienung einschalten. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch ein, wenn ein Signal eingespeist wird.

DE

Weitere Einstell.

„Farbsystem“: Zum Auswählen des Farbsystems für Videosignale. Die Optionen sind „NTSC“, „PAL“, „SECAM“, „NTSC4.43“, „PAL-M“, „PAL-N“ und „PAL60“. Bei „Automatisch“ wird das Farbsystem automatisch ausgewählt.

„Statusanzeige“: Bei „Ein“ erscheinen beim Einschalten des Monitors etwa 20 Sekunden lang Informationen zum Eingangssignal und „Breitbildmodus“-Informationen auf dem Bildschirm. Beim Umschalten des Eingangssignals erscheinen sie etwa 5 Sekunden lang. Bei „Aus“ erscheinen keine Statusinformationen.

Tipp

Mit DISPLAY auf der Fernbedienung können Sie Eingangssignal- und „Breitbildmodus“-Informationen unabhängig von der Einstellung für „Statusanzeige“ aufrufen.

„Beleuchtung“: Bei „Ein“ kann das Sony-Logo an der Vorderseite des Geräts aufleuchten, bei „Aus“ ist die Funktion deaktiviert.

„Steuerung einst.“: Über dieses Menü können Sie die Bedienung des Monitors und die Fernbedienung einstellen.

„Fernbed.index“: Bei Bedarf können Sie die „Indexnummer“ des Monitors ändern. Stellen Sie die „Indexnummer“ mit \uparrow/\downarrow ein und drücken Sie zur Bestätigung \oplus .

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der „Indexnummer“ die Tasten am Monitor. Mit der Fernbedienung lässt sich die „Indexnummer“ nicht einstellen.

„Steuerung“

„Display+Fernbed.“: Sie können den Monitor mit den Bedienelementen am Monitor und mit der Fernbedienung bedienen.

„Nur Display“: Zum Deaktivieren der Fernbedienungsfunktion. In diesem Fall können Sie Einstellungen nur noch mit den Bedienelementen am Monitor vornehmen.

„Nur Fernbed.“: Zum Deaktivieren der Bedienelemente am Monitor. In diesem Fall können Sie zum Bedienen des Geräts nur noch die Fernbedienung verwenden.

„Alle aus“: Zum Deaktivieren der Fernbedienung und der Steuertasten am Monitor. Sie können den Monitor über den Anschluss REMOTE am Monitor (BKM-FW20) und über einen Zusatzadapter mit Kommunikationsfunktionen (z. B. BKM-FW32/FW50) steuern.

Hinweise

- Welche Einstellungen Sie auswählen können, hängt bei dieser Option davon ab, mit welcher Taste Sie die Einstellung vornehmen. Wenn Sie die Option mit \oplus auf der Fernbedienung einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit $\left[\begin{smallmatrix} + \\ - \end{smallmatrix} \right]$ am Monitor einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Display“ auswählen.
- Wenn diese Option auf „Alle aus“ gesetzt ist, können Sie den Monitor nicht mit der Fernbedienung und den Steuertasten am Monitor bedienen. Sie können die Option wieder auf „Display+Fernbed.“ setzen, indem Sie MENU und $\triangleleft +$ am Monitor gleichzeitig länger als 5 Sekunden drücken.

Informationen

Zum Anzeigen von „Modellname“, „Seriennummer“, „Betriebsdauer“, „Software-Ver.“ und „IP Address“ des Monitors.

Hinweis

Die „IP Address“ wird nur angezeigt, wenn der Zusatzadapter mit Netzwerkfunktionen installiert ist.

Alle zurücksetzen

Zum Zurücksetzen aller Werte unter „Grundeinstellungen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweis

Die Angaben unter „Informationen“ und die „Indexnummer“ werden nicht zurückgesetzt.

IP Address Setup

Zum Festlegen einer IP-Adresse für die Kommunikation zwischen einem im Monitor installierten Zusatzadapter mit Kommunikationsfunktion wie dem BKM-FW32/FW50 und einem Gerät wie einem PC, das über ein LAN-Kabel angeschlossen ist.

„DHCP“: Bei „OK“ wird die IP-Adresse automatisch festgelegt, bei „Cancel“ wird die automatische Konfiguration abgebrochen.

Hinweis

Wenn die IP-Adresse automatisch über DHCP abgerufen wird, erhält der Monitor jedes Mal eine neue IP-Adresse, wenn er aus- und wieder eingeschaltet wird.

„Manual“: Festlegen einer IP-Adresse von Hand.

- 1 Wählen Sie „IP Address“, „Subnet Mask“, „Default Gateway“, „Primary DNS“, „Secondary DNS“ aus, stellen Sie die Optionen mit \uparrow/\downarrow ein und drücken Sie dann \oplus .
- 2 Geben Sie mit \uparrow/\downarrow am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) in das erste Feld ein und drücken Sie \oplus oder \Rightarrow .
- 3 Stellen Sie den dreistelligen Wert (0 bis 255) für jedes der vier Felder ein und drücken Sie \oplus .
- 4 Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow den nächsten Wert, den Sie von Hand einstellen wollen, stellen Sie ihn wie oben erläutert ein und drücken Sie \oplus .
- 5 Wenn Sie alle erforderlichen Werte eingestellt haben, wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option „Execute“ und drücken Sie \oplus .

Wählen Sie „OK“ und drücken Sie \oplus . Damit haben Sie die IP-Adresse manuell festgelegt.

Hinweis

Wurde die IP-Adresse nicht korrekt festgelegt, werden je nach Art des Fehlers folgende Fehlercodes angezeigt.

Fehler 1: Kommunikationsfehler zwischen dem Monitor und einem Zusatzadapter, wie z. B. dem BKM-FW32 oder BKM-FW50

Fehler 2: Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät benutzt

Fehler 3: IP-Adressfehler

Fehler 4: Gateway-Adressfehler

Fehler 5: Fehler in der primären DNS-Adresse

Fehler 6: Fehler in der sekundären DNS-Adresse

Fehler 7: Fehler in der Subnetzmaske

Speed Setup

Zum Festlegen der Kommunikationsgeschwindigkeit zwischen einem im Monitor installierten Zusatzadapter mit Kommunikationsfunktion wie dem BKM-FW32/FW50 und einem Gerät wie einem PC, das über ein LAN-Kabel angeschlossen ist.

„Speed“: Wählen Sie „Auto“, wenn für Ihre Netzwerkconfiguration automatisch eine geeignete Kommunikationsgeschwindigkeit festgelegt werden soll. Alternativ dazu können Sie eine der Geschwindigkeiten „10Mbps Half“, „10Mbps Full“, „100Mbps Half“ oder „100Mbps Full“ manuell festlegen.

„Execute“: Wählen Sie „OK“ und drücken Sie \oplus . Damit ist die Kommunikationsgeschwindigkeit festgelegt.

Hinweis


„IP Address Setup“ und „Speed Setup“ stehen nur zur Verfügung, wenn der Zusatzadapter mit Netzwerkfunktionen installiert ist.

Störungsbehebung

Notieren Sie, wie oft und wie lange die Anzeige POWER/STANDBY blinkt.

Wenn sie blinkt

Die Selbstdiagnosefunktion wurde aktiviert.

- Überprüfen Sie, wie oft die Anzeige POWER/STANDBY blinkt und wie lange sie nicht blinkt.
Beispiel: Die Anzeige blinkt 2-mal, blinkt 3 Sekunden lang nicht und blinkt erneut 2-mal.
- Schalten Sie den Monitor mit  (Oberseite) aus und lösen Sie das Netzkabel.
Teilen Sie Ihrem Händler oder dem Sony-Kundendienst mit, wie die Anzeige blinkt (Häufigkeit und Intervall).

Wenn sie nicht blinkt

- Gehen Sie nach der folgenden Tabelle vor.
- Wenn das Problem dennoch bestehen bleibt, lassen Sie den Monitor von qualifiziertem Fachpersonal reparieren.



Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Der Netzschalter und die Steuertasten am Monitor funktionieren nicht.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 30).
Es wird kein Bild angezeigt.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie die Einstellungen unter „ECO-Modus“ (Seite 29).
Der Bildschirm schaltet sich automatisch aus.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie, ob „Timer einstellen“ aktiviert ist (Seite 29).
Von einigen Videoquellen geht kein Bild ein.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie die Verbindung zwischen dem angeschlossenen Videogerät und dem Monitor. Wechseln Sie mit der Taste INPUT am Monitor oder mit der Fernbedienung den Eingang (Seite 7, 12, 13).
Die Bildqualität ist schlecht.	
Keine Farbe/Bild zu dunkel/Bild zu hell/Farbe fehlerhaft	<ul style="list-style-type: none"> Wählen Sie mit PICTURE den gewünschten „Bild-Modus“ (Seite 12). Stellen Sie die Optionen für „Bild-Modus“ unter den Einstellungen für „Bild“ ein (Seite 22). Überprüfen Sie den Zustand des Signalkabels.
Es ist kein Ton zu hören oder der Ton ist verwascht.	
Das Bild ist gut, aber es ist kein Ton zu hören.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie die Lautstärkeeinstellung. Drücken Sie  auf der Fernbedienung oder , so dass „Stummschaltung“ nicht mehr am Bildschirm angezeigt wird (Seite 13). Überprüfen Sie die Einstellungen unter „Tonauswahl“ (Seite 24). Überprüfen Sie die Einstellungen unter „Lautspr.ausgang“ (Seite 24).
Die Einstellung für „Breitbildmodus“ wechselt automatisch.	<ul style="list-style-type: none"> Die aktuelle Einstellung für „Breitbildmodus“ wechselt automatisch zur geeigneten Einstellung für den aktuellen Eingang, wenn „Autom. Breitbild“ in den Einstellungen unter „Bildschirm“ auf „Ein“ gesetzt ist. Soll die aktuelle Einstellung für „Breitbildmodus“ auch bei einem Wechsel des Videoeingangs beibehalten werden, setzen Sie „Autom. Breitbild“ in den Einstellungen unter „Bildschirm“ auf „Aus“ (Seite 25).
Die Fernbedienung funktioniert nicht.	<ul style="list-style-type: none"> Überprüfen Sie, ob die Batterien polaritätsrichtig eingelegt sind, oder tauschen Sie die Batterien aus. Richten Sie die Fernbedienung auf den Fernbedienungssensor am Monitor. Achten Sie darauf, dass sich vor dem Fernbedienungssensor keine Hindernisse befinden. Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 30). Überprüfen Sie, ob ein Kabel an den Anschluss CONTROL S IN angeschlossen ist. Die Fernbedienung kann nicht verwendet werden, solange der Monitor über eine CONTROL S-Verbindung gesteuert wird. Leuchtstoffröhren können die Funktion der Fernbedienung stören. Schalten Sie solche Röhren aus.

Diagramm der Eingangssignale

PC-Signale

	Auflösung	Horizontal- frequenz (kHz)	Vertikal- frequenz (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,5	60
13	848 × 480@75 Hz	37,7	75
14	1280 × 768@60 Hz	47,8	60
15	1280 × 768@60 Hz	47,4	60
16	1360 × 768@60 Hz	47,7	60
17	1360 × 768@60 Hz	47,4	60

Fernseh-/Videosignale

	Auflösung	Verfügbare Eingänge		
		Video	Farbdifferenz/ RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA ist ein eingetragenes Markenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
- b) VESA ist ein eingetragenes Markenzeichen der Video Electronics Standards Association.
- c) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Markenzeichen der Apple Computer, Inc.

Hinweise

- Speisen Sie bei HDTV-Signalen das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig) am HD15-Anschluss oder am BKM-FW12 (Zusatzadapter) ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Farbe“ unter „Bild“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.

Anzeigen zum Eingangssignal und zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeigen	Bedeutung
640 × 480 / 60 (Beispiel)	Das ausgewählte Eingangssignal ist ein PC-Signal.
480 / 60i (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
Signal nicht unterstützt	Das ausgewählte Eingangssignal wird nicht unterstützt.
Kein Signal	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
HD15	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein HD15-Signal.
HDMI 1	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein HDMI 1-Signal.
HDMI 2	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein HDMI 2-Signal.
Option 1	Das ausgewählte Eingangssignal stammt von OPTION 1.
Option 2	Das ausgewählte Eingangssignal stammt von OPTION 2.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Bildschirmsystem	LCD-Bildschirm mit a-Si-TFT-Aktivmatrix
Anzeigeauflösung	1.366 Punkte (horizontal) × 768 Zeilen (vertikal)
Abtastrate	13,5 MHz bis 140 MHz
Farbsystem	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N
Eingangssignal	Siehe Seite 33.
FWD-40LX2F/40LX2X:	
Pixelgröße	0,648 (horizontal) × 0,648 (vertikal) mm
Bildgröße	885 (horizontal) × 498 (vertikal) mm
Bildschirmgröße	40 Zoll (Diagonale 1.016 mm)
FWD-32LX2F/32LX2X:	
Pixelgröße	0,510 (horizontal) × 0,510 (vertikal) mm
Bildgröße	698 (horizontal) × 392 (vertikal) mm
Bildschirmgröße	32 Zoll (Diagonale 801 mm)

Eingänge und Ausgänge

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1)
(Siehe Seite 35.)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (kompatibel mit HDMI-Spezifikationen 1.1)

VIDEOEINGANGS-Adapter BKM-FW10

VIDEO IN	BNC (× 1) FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ± 2 dB, sync-negativ, 75 Ohm (automatischer Abschluss)
VIDEO OUT	BNC (× 1), Durchschleifung
S VIDEO IN	Mini-DIN, 4-polig (× 1) Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p ± 2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-Abschlusswiderstand C-Signal (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75-Ohm-Abschlusswiderstand Burst, 0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
S VIDEO OUT	Mini-DIN, 4-polig (× 1), Durchschleifung
AUDIO IN	Stiftbuchse (× 2) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

MONITORSTEUERUNGS-Adapter BKM-FW20

REMOTE (RS-232C)	D-Sub, 9-polig (× 1)
CONTROL S IN/OUT	Minibuchse (× 2)

Allgemeines

Betriebsspannung	100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
FWD-40LX2F/40LX2X:	2,3 A
FWD-32LX2F/32LX2X:	1,3 A
Leistungsaufnahme	FWD-40LX2F/40LX2X: 200 W FWD-32LX2F/32LX2X: 120 W
Lautsprecherleistung	7 W + 7 W (6 Ohm) Geeignete Lastimpedanz, 6 - 16 Ohm
Betriebsbedingungen	Temperatur: 0 °C bis 35 °C Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90 % (nicht kondensierend)
Lager-/Transportbedingungen	Temperatur: -10 °C bis +40 °C Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90 % (nicht kondensierend)

Abmessungen	FWD-40LX2F:
	988 × 591 × 125 mm
	FWD-40LX2X:
	994 × 597 × 125 mm
	FWD-32LX2F:
	796 × 486 × 107 mm
	FWD-32LX2X:
	802 × 492 × 107 mm
Gewicht	(B/H/T, ohne vorstehende Teile)
	FWD-40LX2F:
	ca. 25,0 kg
	FWD-40LX2X:
	ca. 26,0 kg
	FWD-32LX2F:
	ca. 16,0 kg
	FWD-32LX2X:
	ca. 17,0 kg

Mitgeliefertes Zubehör	Netz kabel (1)
	Netzsteckerhalter (2)
	Kabelhalter 40-Zoll-Modell (4),
	32-Zoll-Modell (6)
	Farbdifferenzvideosignalkabel
	(HD15 - RCA × 3) (1)
	BNC-RCA-Adapter (1)
	Fernbedienung RM-FW001 (1)
	R6-Batterien der Größe AA (2)
	Bedienungsanleitung (1)

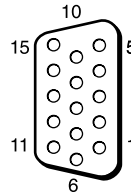
Sonderzubehör	Monitorständer SU-42FW/32FW
	Lautsprecher SS-SP40FW/32FW
	Zusatzadapter zur Systemerweiterung,
	BKM-FW-Serie

Sicherheitsbestimmungen	UL 60950-1, CSA Nr. 60950-1-03
	(c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B,
	EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

HD15-Anschluss (RGB/COMPONENT) (D-Sub, 15-polig)



Stift-Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder C_R/P_R
2	Videosignal Grün oder Y
3	Videosignal Blau oder C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht verwendet
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales Synchronisations- oder FBAS-Videosignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den Stiften 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild unter Umständen nicht einwandfrei angezeigt.

Index

Numerisch

4:3 14, 25, 26
4:3-Standard 21, 26

A

AC IN, Buchse 11, 17
Alle zurücksetzen 21, 30
Anwender 22, 23, 24
Anzeigebereich 21, 26
AUDIO (COMMON AUDIO IN), Anschluss 8
AUDIO IN L/R, Anschluss 9
Ausgabeformat 27
Auto. ausschalten 21, 29
Autom. Breitbild 21, 25
Autom. einstellen 21, 28

B

Balance 20, 24
Beleuchtung 30
Bildeinstellungen 20, 22
Bild-Modus 20, 22, 23
Bild-Modus zurück 20, 22, 23
Bildschirmeinstellungen 21, 25
Bildschärfe 20, 22
Breitbildmodus 14, 21, 25, 28
Breitbildmodus, Taste 12, 14
Breitbild-Zoom 14, 25, 26
Brilliant 22, 23

C

CineMotion 20, 22
CONTROL S IN/OUT, Anschluss 9

D

DHCP 31
DISPLAY, Taste 13
Dynamisch 24

E

ECO, Taste 13, 16
ECO-Modus 16, 21, 29
Ein/Aus-Timer 29
Eingangssignal 33

F

Farbe 20, 22
Farbsystem 30
Farbtemperatur 20, 22, 23
Farbton 20, 22
Fenster 27
Fernbed.index 30
Fernbedienungssensor 7
Fliesen 27

G

Grundeinstellungen 21, 29

H

H. Position 21, 26, 28
Haken für Ständerbefestigung 11

HD15 (RGB/COMPONENT IN)-Anschluss 8
HD15, Taste 13
HDMI 1/HDMI 2 IN-Anschluss 8
HDMI 1/HDMI 2, Tasten 12
Helligkeit 20, 22, 23
Höhen 20, 24

I

ID MODE, Tasten 13, 16
Indexnummer 13, 16, 30
Informationen 21, 30
INPUT, Taste 7
IP Address Setup 21, 31

K

Kabelabdeckung (Seite) 8, 18
Kabelabdeckung (Unterseite) 18
Kabelhalter 19
Kontrast 20, 22, 23
Kontrast, Taste 13

L

Lautspr.ausgang 20, 24
Lautstärke, Tasten 7, 13
LED aktiviert 27

M

Manual (IP Address Setup) 31
MENU, Taste 7, 12
MONITORSTEUERUNGS-Adapter 9
Multi-Display 21, 27, 28

N

Normal 14, 26, 28

O

OPTION 1/OPTION 2, Tasten 13
OPTION 1/OPTION 2-Anschlussbereich 9, 10

P

PAP einstellen 15, 21, 26, 28
PAP, Taste 12, 15
PAP-Größe 26
Phase 21, 28
PICTURE, Taste 12
Pitch 21, 28
Position 27
POWER ON, Schalter 12
POWER, Schalter 7
POWER/STANDBY, Anzeige 7

R

Rauschvermind. 20, 22
REMOTE, Anschluss 9

S

S VIDEO IN/OUT, Anschluss 9
Sony-Logo 7, 30
SOUND, Taste 12

SPEAKER, Buchse 11
Speed Setup 21, 31
Sprache 21, 29
SRS WOW 24
Standard 22, 23, 24
STANDBY, Taste 13
Statusanzeige 30
Steuerung 30
Steuerung einst. 30
Stummschalt, Taste 13

T

Tauschen 26
TC Control 22, 23
Tiefen 20, 24
Timer einstellen 21, 29
Tonauswahl 20, 24
Toneinstellungen 20, 24
Ton-Modus 20, 24
Ton-Modus zurück 20, 24
True Color Control 20, 23

U

Uhr einstellen 29
Uhrzeitanzeige 29

V

V. Größe 21, 26
V. Position 21, 26, 28
VIDEO IN/OUT, Anschluss 9
VIDEoeINGANGS-Adapter 9, 10
Voll 14, 25, 26
Voll 1/Voll 2 14, 28

W

Weitere Einstell. 21, 30

Z

Zoom 14, 25
Zurücksetzen 21, 26, 28

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendios o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

PRECAUCIÓN

EXISTE RIESGO DE EXPLOSIÓN SI SE SUSTITUYE LA BATERÍA POR OTRA DE UN TIPO INCORRECTO.
DESECHE LAS BATERÍAS USADAS SIGUIENDO LA NORMATIVA LOCAL.

Información sobre marcas comerciales

WOW, SRS y (●) el símbolo es una marca registrada de SRS Labs, Inc. WOW tecnología esta incorporada bajo licencia de SRS Labs, Inc,

Bajo licencia de BBE Sound, Inc. Licenciado de BBE Sound, Inc. sobre el numero USP5510752 y 5736897. BBE y el simbolo de BBE son marcas registradas de BBE Sound, Inc.

Índice

Introducción

Precauciones	4
Recomendaciones para la instalación	6

Ubicación y función de componentes y controles

Panel frontal	7
Panel lateral	8
Adaptadores opcionales.....	10
Panel posterior	11
Mando a distancia	12
Descripción de los botones	12
Botones especiales del mando a distancia	14
Utilización del modo ancho	14
Utilización del ajuste de PAP	15
Utilización del botón ID MODE	16
Utilización de la función Modo ECO	16

Conexiones

Conexión de los altavoces	17
Conexión del cable de alimentación de ca.....	17
Organización de los cables	18

Uso de los ajustes

Descripción general de los menús	20
Ajustes de Imagen	22
Ajustes de Sonido	24
Ajustes de Pantalla	25
Ajustes de Ajustes	30

Otra información

Solución de problemas.....	33
Tabla de referencia de señal de entrada	34
Especificaciones	35
Índice alfabético	37

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Cuando instale la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte de pantalla opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del Control remoto, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.

Panel de cristal líquido

- Es posible que aparezcan en la pantalla algunos puntos brillantes rojos, azules o verdes o puntos oscuros. Esto no indica un fallo de funcionamiento. A pesar de que el panel de cristal líquido está fabricado con tecnología de alta precisión, puede crear algunos píxeles oscuros o brillantes.
- El panel de cristal líquido puede dañarse si se deja orientado al sol durante un período de tiempo prolongado. Téngalo en cuenta cuando instale la unidad en el exterior o cerca de una ventana.
- No presione ni raye el panel, ni coloque objetos pesados encima de él, ya que podría provocar irregularidades en la pantalla o producir un fallo en el funcionamiento del panel de cristal líquido.
- Es posible que la pantalla se vea más oscura o se produzca una imagen residual al utilizar la unidad en un ambiente más frío. Esto no indica un fallo de funcionamiento. La pantalla volverá a funcionar con normalidad cuando la temperatura aumente.
- Si se visualiza una imagen fija de forma continua, es posible que se produzcan imágenes espectrales. Este problema se resolverá gradualmente al cambiar la imagen o al visualizar toda la pantalla en color blanco. Además, si visualiza la misma imagen fija durante un período de tiempo prolongado, es posible que no se solucione el efecto de imagen espectral.

- La superficie del panel o la unidad pueden calentarse durante su uso. No se trata de un fallo de funcionamiento.

Limpieza del monitor

Superficie del panel

- Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.
- La superficie del panel de cristal líquido tiene un acabado especial. Procure no tocar la pantalla de cristal líquido. Cuando limpie la superficie del panel, elimine las manchas con un paño suave y seco.
- No utilice nunca alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la superficie del panel.
- Cuando utilice para la limpieza un paño tratado químicamente, siga las instrucciones.
- Si pulveriza la unidad con disolventes volátiles (como insecticidas) o deja que esté en contacto durante un período de tiempo prolongado con productos de caucho o plástico, puede eliminar el revestimiento o estropear la unidad.

Unidad

- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice nunca alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la unidad o eliminar las marcas que presenta.

Acerca de la manipulación y la limpieza de la pantalla

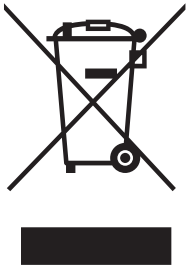
La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice un paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Tratamiento de equipos eléctricos y electrónicos de uso comercial al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)



Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales. En su lugar, deben entregarse conforme al correspondiente plan de recogida para el reciclaje de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado

correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para obtener información detallada sobre el reciclaje de este producto, contacte con su oficina local de Sony o visite la página Web europea de Sony para empresas:

<http://www.sonybiz.net/environment>

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

	Estados Unidos, Canadá	Europa continental		Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.

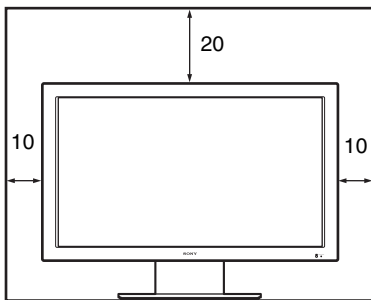
Recomendaciones para la instalación

Deje espacio suficiente alrededor de la pantalla

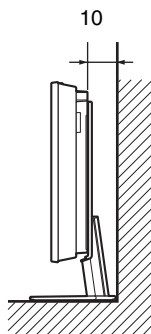
- Para evitar que el encierro de la unidad produzca un recalentamiento interno, asegúrese de permitir una ventilación adecuada dejando alrededor de la pantalla un espacio mínimo, como se muestra en la ilustración.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a 35 °C.
- Cuando utilice un soporte, asegúrese de utilizar el soporte adecuado modelo SU-42FW/32FW (no suministrados).
- El fabricante no puede especificar los productos correspondientes a la instalación de las piezas de montaje como, por ejemplo, abrazaderas, tornillos o pernos. Los distribuidores locales autorizados se encargarán de realizar la instalación adecuada de dichos componentes. Póngase en contacto con personal cualificado de Sony para realizar la instalación.
- Mientras la pantalla está encendida, se genera una cierta cantidad de calor en el interior. Esto podría causar quemaduras. Evite tocar la parte superior o posterior de la pantalla cuando esté encendida o justo después de haber entrado en el modo de espera.

Utilización del soporte de pantalla

Frontal



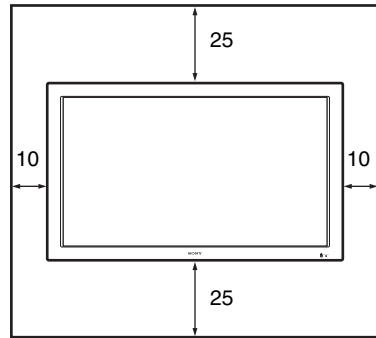
Lateral



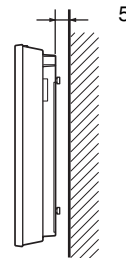
Unidad: cm

Montaje de la pantalla en posición horizontal

Frontal



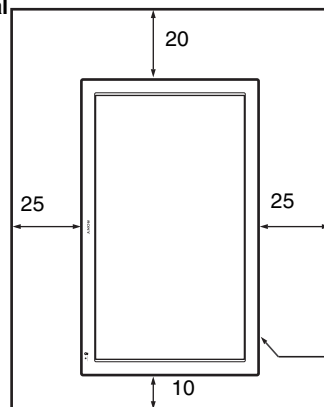
Lateral




Unidad: cm

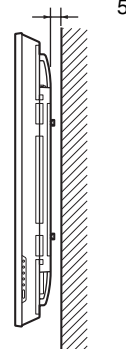
Montaje de la pantalla en posición vertical

Frontal



Asegúrese de que el interruptor  POWER queda en la parte inferior derecha.

Lateral

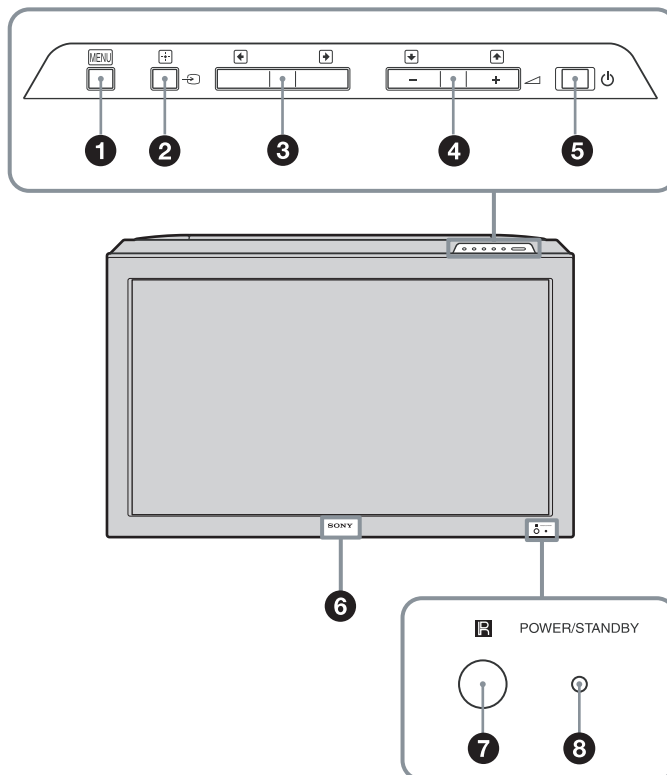


Unidad: cm

Nota

Cuando coloque la pantalla en posición vertical, no podrá utilizar los altavoces modelo SS-SP40FW/32FW (no suministrados).

Panel frontal



1 MENU (página 20)

2 (INPUT)

- En la pantalla de menú, este botón funciona como botón “Pon”.
- Este botón permite cambiar la señal de entrada cuando no se encuentra en la pantalla de menú. Selecciona una señal de entrada de entre los conectores HD15/HDMI 1/HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2. Si no hay un adaptador opcional en la ranura OPTION 1/OPTION 2, OPTION 1/OPTION 2 se omitirán.

3

- En la pantalla de menú, estos botones funcionan como botones de dirección izquierda/derecha.
- En el modo “PAP”, estos botones funcionan para cambiar la imagen activa o cambiar el tamaño de la imagen cuando se muestra una pantalla distinta de la pantalla de menú.

4

- Aumenta (+) o disminuye (–) el volumen.
- En la pantalla de menú, estos botones funcionan como botones de dirección arriba/abajo (/).

5

Enciende o apaga (modo en espera) la pantalla.

Nota

Para proteger el panel, se necesita una determinada cantidad de tiempo para activar/desactivar (en espera) la pantalla. Espere unos 5 segundos para encender la pantalla de nuevo justo después de haberla apagado.

6 Logotipo de Sony

El logotipo de Sony se ilumina. Puede alternar entre “Sí”/“No” en la pantalla de menú. Consulte la sección “Config. avanzada” en la página 31.

7 Sensor del mando a distancia

8 Indicador POWER/STANDBY

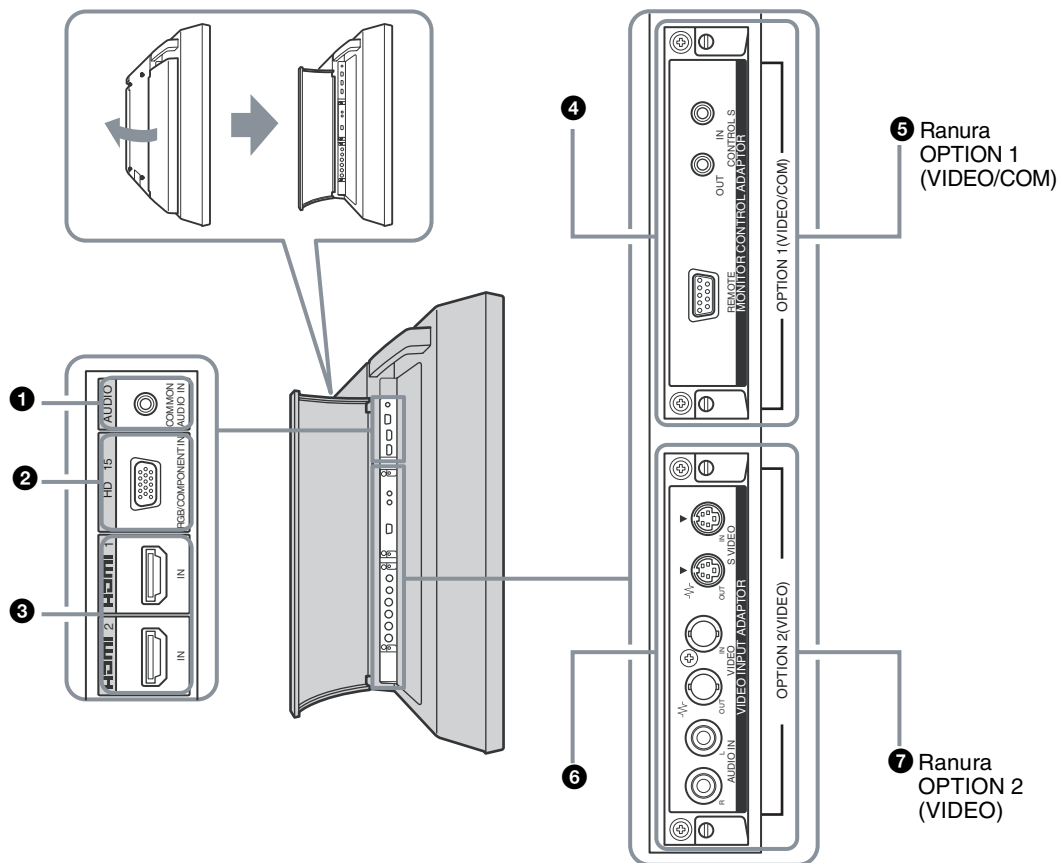
- Se ilumina en verde cuando la pantalla está encendida.
- Se ilumina en rojo cuando la pantalla se encuentra en modo de espera.
- Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía cuando la entrada actual no es video ni S Video (S Vídeo).

Nota

Si la opción “Activar LED” de los ajustes de “Pantalla múltiple” está ajustada en “No” y la opción “Posición” no está ajustada en el botón derecho, el indicador no se iluminará en verde aunque la pantalla esté encendida, excepto en caso de que no haya señal o ésta no sea compatible.

Panel lateral

Para abrir la cubierta de cables (lateral)



Conector

1 AUDIO (COMMON AUDIO IN)
(minitoma estéreo)

2 HD15 (RGB/COMPONENT IN)
(D-sub de 15 contactos)

Descripción

Recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador. Compatible con las señales de audio que corresponden a **2** y **3**.

Se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente de un ordenador o de un equipo de vídeo. Consulte la página 36.

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

Conector	Descripción
3 HDMI 1/HDMI 2 IN	<p>HDMI (High-Definition Multimedia Interface) ofrece una interfaz entre la pantalla y cualquier equipo de audio/vídeo con HDMI, así como un ordenador. Podrá disfrutar del vídeo mejorado o de alta definición y de audio digital de dos canales. También es posible conectar un dispositivo equipado con DVI a la pantalla mediante un cable HDMI a DVI (no suministrado).</p> <p>El modo adecuado para un equipo de audio/vídeo u ordenador se selecciona automáticamente de acuerdo con el equipo conectado.</p> <p>Nota</p> <p>Asegúrese de utilizar únicamente un cable HDMI (no suministrado) que contenga el logotipo de HDMI.</p>
4 MONITOR CONTROL ADAPTADOR (Adaptador de CONTROL DEL MONITOR) (El modelo BKM-FW20 viene preinstalado.)	<p>CONTROL S IN/OUT (minitoma): es posible controlar varios equipos con un solo mando a distancia cuando la pantalla está conectada al conector CONTROL S del equipo de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de la pantalla al conector CONTROL S IN del otro equipo y, a continuación, conecte el conector CONTROL S IN de la pantalla al conector CONTROL S OUT del otro equipo.</p> <p>REMOTE (D-sub de 9 contactos): este conector permite controlar a distancia la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener más información, póngase en contacto con un distribuidor Sony autorizado.</p> <p>Nota</p> <p>Este adaptador no funcionará si se instala en la ranura OPTION 2.</p>
5 Ranura OPTION 1 (puerto VIDEO/COM)	<p>Esta ranura admite señales de vídeo y funciones de comunicación. Si instala un adaptador opcional (serie BKM-FW) en esta ranura, es podrá ampliar los conectores de señal de entrada o controlar la pantalla a través de la red.</p>
6 VIDEO INPUT ADAPTADOR (Adaptador de ENTRADA DE VÍDEO) (El modelo BKM-FW10 viene preinstalado.)	<p>S VIDEO IN (mini DIN de 4 contactos): permite establecer una conexión con la salida de S Video (S Vídeo) de un equipo de vídeo.</p> <p>S VIDEO OUT (mini DIN de 4 contactos): permite establecer una conexión con la entrada de S Video (S Vídeo) de un equipo de vídeo.</p> <p>VIDEO IN (BNC): permite establecer una conexión con la salida de vídeo de un equipo de vídeo.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): permite establecer una conexión con la entrada de vídeo de un equipo de vídeo.</p> <p>AUDIO IN L/R (toma de pines): se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo. La señal de vídeo o de S Video (S Vídeo) se selecciona automáticamente. Conecte el cable (no suministrado) al conector de vídeo o de S Video (S Vídeo).</p> <p>Si conecta un equipo de vídeo equipado con conector de salida de S Video (S Vídeo), podrá disfrutar de un mejor rendimiento de vídeo mediante la conexión de éste al conector de S Video (S Vídeo).</p>
7 Ranura OPTION 2 (puerto VIDEO)	<p>Esta ranura admite señales de vídeo. En esta ranura se puede instalar un adaptador opcional con función de entrada y salida de señal de vídeo. El adaptador opcional con función de comunicación debe instalarse en la ranura 5 OPTION 1.</p>

Adaptadores opcionales

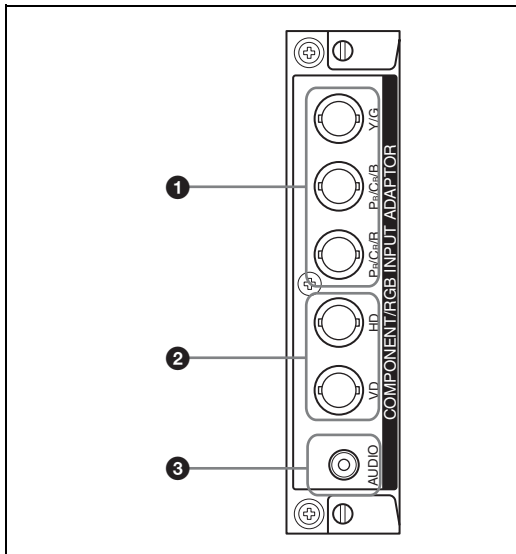
Los conectores marcados con los números 5 y 7 en el panel lateral son de ranura y pueden utilizarse con cualquiera de los siguientes adaptadores opcionales (no suministrados).

Para obtener más información acerca de la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony.

Adaptador de ENTRADA DE VÍDEO modelo BKM-FW10

Se trata del mismo adaptador que el opcional preinstalado en la ranura 7 OPTION 2. Consulte la página 8.

Adaptador de ENTRADA DE COMPONENTE O RGB modelo BKM-FW11



1 **Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC):** se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente de un ordenador o de un equipo de vídeo.

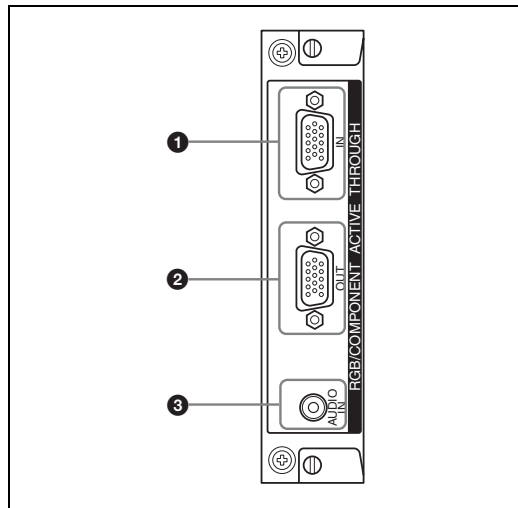
2 **HD VD IN (BNC):** se conecta a la salida de la señal de sincronización de un ordenador.

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los conectores HD y VD, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

3 **AUDIO (minitoma estéreo):** recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de audio de un equipo de vídeo u ordenador.

Adaptador de RGB O COMPONENTE ACTIVO modelo BKM-FW12



1 **RGB/COMPONENT IN (D-sub de 15 contactos):** se conecta a la salida de señal de componente o a la salida de señal RGB analógica de un equipo de vídeo o de un ordenador. Para obtener más información sobre la recepción de una señal de componente a través del conector, consulte “Asignación de contactos” en la página 36.

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

2 **RGB/COMPONENT OUT (D-sub de 15 contactos):** se conecta a la entrada de señal de componente o a la entrada de señal RGB analógica de un equipo de vídeo o de un ordenador.

3 **AUDIO IN (minitoma estéreo):** recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador.

Nota

Cuando la pantalla no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite ninguna señal a través de la toma RGB/COMPONENT OUT.

Adaptador de ADMINISTRACIÓN DE RED modelo BKM-FW32

Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del modelo BKM-FW32.

Adaptador del RECEPTOR DE TRANSMISIÓN modelo BKM-FW50

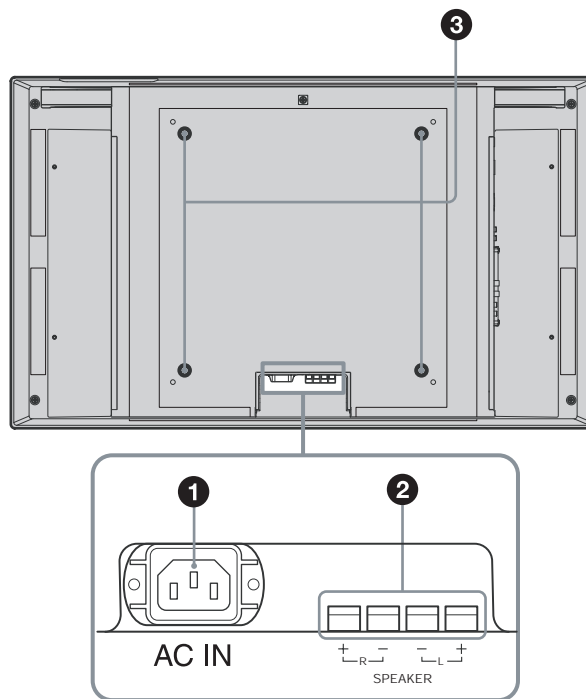
Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del modelo BKM-FW50.

Nota

Cuando utilice un cable de red para el modelo BKM-FW32/50, asegúrese de que está protegido para evitar la radiación de las ondas radiofónicas no deseadas. Para obtener más información acerca de la conexión, consulte cada manual de instrucciones.

Para obtener más información acerca de los adaptadores opcionales para la ampliación del sistema de la serie BKM-FW, consulte los manuales de instrucciones correspondientes.

Panel posterior

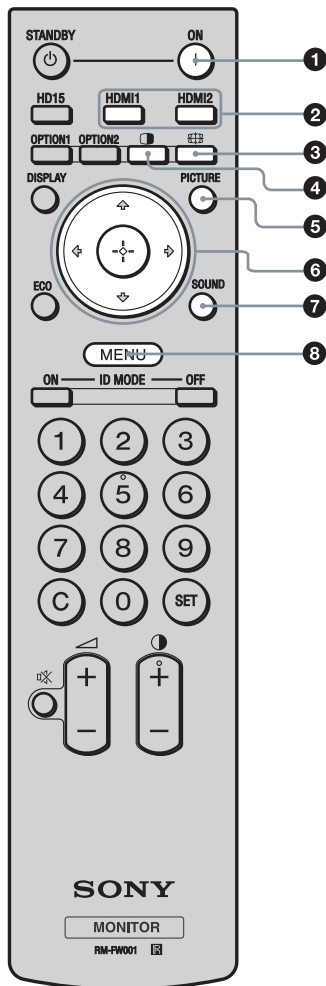


ES

Componentes	Descripción
❶ Toma AC IN	Conecte el cable de alimentación de ca a esta toma y a la toma de pared. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador POWER/STANDBY se ilumina en rojo y la pantalla entra en modo de espera. Consulte la página 17.
❷ Toma SPEAKER	Al conectar los altavoces modelo SS-SP40FW/32FW (no suministrados) a esta toma, podrá emitir el audio de forma que coincida con la señal mostrada en la pantalla, así como disfrutar de una mayor presencia. Asegúrese de conectar los altavoces correctamente. Para obtener más información acerca de la conexión de los altavoces, consulte el manual de instrucciones que acompaña a los altavoces. Para obtener más información acerca de cómo pasar los cables del altavoz, consulte la página 19.
❸ Ganchos para la instalación del soporte	Utilice estos ganchos para instalar el soporte de pantalla modelo SU-42FW/32FW (no suministrado).

Mando a distancia

Descripción de los botones



1 Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.

2 Botón HDMI 1/HDMI 2

Púlselo para seleccionar la señal recibida a través del conector HDMI 1 o HDMI 2.

3 Botón

Púlselo para cambiar el formato a “Modo ancho”. Consulte la página 14.

4 Botón

Selecciona el modo “PAP” (Picture And Picture). Cada vez que lo pulse alternará entre la pantalla de dos imágenes y la pantalla de una imagen. Consulte la página 15.

5 Botón PICTURE

Selecciona “Modo imagen”. Cada vez que lo pulse cambiará entre “Vívido”, “Estándar”, “Personalizado” y “TC Control”.

6 Botones

Los botones desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Al pulsar se entra en el menú seleccionado o se fija el elemento de ajuste. En el modo “PAP”, es posible cambiar la imagen activa con .

7 Botón SOUND

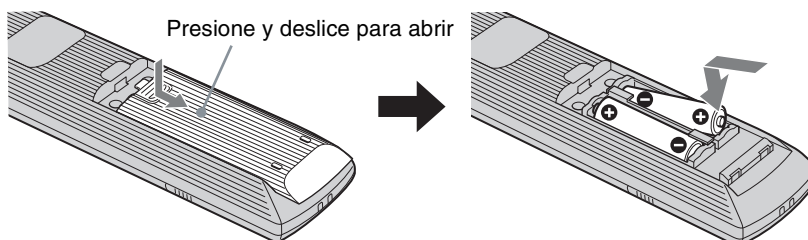
Selecciona “Modo sonido”. Cada vez que lo pulse cambiará entre “Dinámico”, “Estándar”, “SRS WOW” y “Personalizado”.

8 Botón MENU

Púlselo para mostrar los menús. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Consulte la página 20.

Notas

- El botón 5 y tienen un punto táctil. Utilice el punto táctil como referencia cuando utilice la pantalla.
- Introduzca dos pilas AA (R6) (suministradas) haciendo coincidir los polos \oplus y \ominus de las pilas con el dibujo que se encuentra en el interior del compartimento de las pilas del mando a distancia.





9 Botones ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

- Botón ON: Púlselo para mostrar el “Número índice” en la pantalla.
- Botón 0-9: púlselo para introducir el “Número índice” de la pantalla que desea utilizar.
- Botón SET: Púlselo para ajustar el “Número índice” introducido.
- Botón C: Púlselo para borrar el “Número índice” introducido.
- Botón OFF: púlselo para volver al modo normal.

Consulte la página 16.

10 Botón +/-

Ajusta el nivel de contraste de la imagen.

11 Botón +/-

Púlselo para ajustar el volumen.

12 Botón

Púlselo para silenciar el sonido. Púlselo de nuevo para restablecer el sonido.

13 Botón ECO

Púlselo para reducir el consumo de energía mediante el ajuste del brillo de la iluminación de fondo. Además, esta función también realza el nivel de negro. Los posibles ajustes son “No”, “Bajo”, “Alto” y “Imagen desactiva”. Consulte la página 16.

14 Botón DISPLAY

Púlselo para visualizar la entrada seleccionada en estos momentos, el tipo de señal de entrada y el ajuste de “Modo ancho” de la pantalla. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

15 Botón OPTION 1/OPTION 2

Si se instala un adaptador opcional, permite seleccionar una señal de entrada del equipo conectado a dicho adaptador. Pulse el botón OPTION 1 para seleccionar la señal que se recibe a través del conector OPTION 1, y pulse el botón OPTION 2 para seleccionar la señal que se recibe a través del conector OPTION 2.

16 Botón HD15

Púlselo para seleccionar la señal de entrada del conector HD15. La señal RGB o la señal de componente se seleccionan automáticamente de acuerdo con el equipo conectado.

17 Botón STANDBY

Púlselo para cambiar la pantalla al modo de espera.

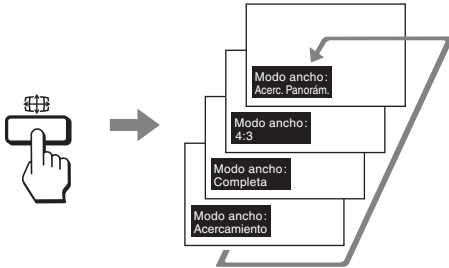
Botones especiales del mando a distancia

Utilización del modo ancho

Es posible cambiar el formato de la pantalla.

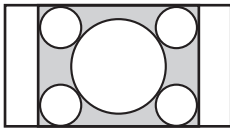
Sugerencia

Es posible acceder a los ajustes de "Modo ancho" en los ajustes de "Pantalla". Consulte la página 25, 29.

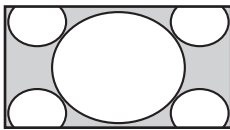


En las entradas Video, DVD o HDMI (excepto la entrada PC)

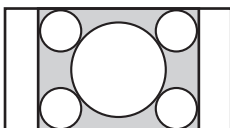
Fuente original 4:3



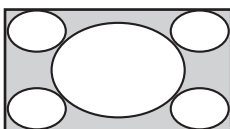
Acerc. Panorám.



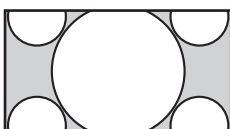
4:3



Completa



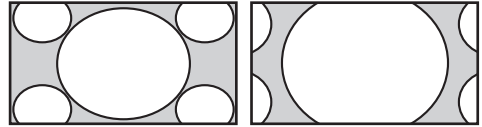
Acercamiento



Fuente original 16:9



Acerc. Panorám.



4:3



Completa



Acercamiento

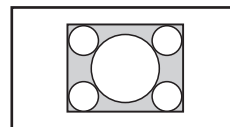


Nota

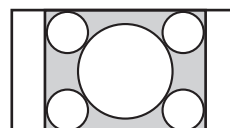
Si la señal de entrada es 1080i, 720p o 1080p, no es posible seleccionar "Acerc. Panorám." ni "4:3". Consulte la página 25.

Para entrada de ordenador

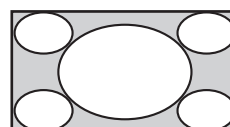
Normal



Completa 1



Completa 2



Utilización del ajuste de PAP

Puede mostrar dos imágenes procedentes de dos fuentes de señales distintas, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.

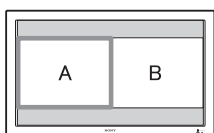
Además, es posible intercambiar las imágenes de izquierda/derecha o la proporción del tamaño de las mismas.

Sugerencia

Es posible acceder a "Ajuste de PAP" en los ajustes de "Pantalla". Consulte la página 27.

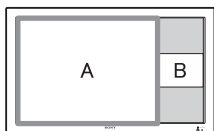


El cursor muestra la imagen activa



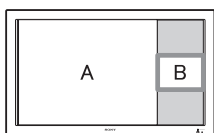
El ancho de A y B es el mismo. La altura se ajustará para que coincida con el formato de cada imagen.

↓ Pulse el botón ⇄.



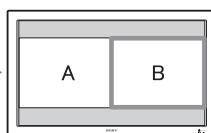
El ancho de A es superior al de B. Si el formato de A es 4:3, la altura de éste será equivalente al tamaño del panel.

↓ Pulse el botón ⇄.



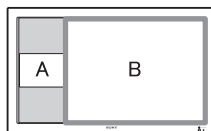
B, que se encuentra en el lado derecho, pasa a ser la imagen activa.

↓ Pulse el botón ⇄.



El ancho de A y B es el mismo. La altura se ajustará para que coincida con la del formato de cada imagen.

↓ Pulse el botón ⇄.



El ancho de A es superior al de B. Si el formato de B es 4:3, la altura de éste será equivalente al tamaño del panel.

ES

Combinación disponible de dos imágenes

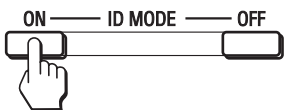
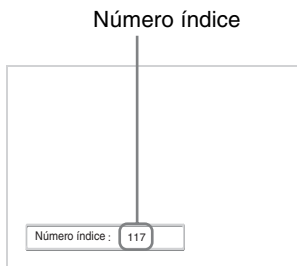
		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 y 2			
		RGB	Componente	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	Componente	Vídeo	S Vídeo (S Vídeo)
HD15	RGB			○	○				
	Componente			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 y 2	RGB			○	○				
	Componente			○	○				
	Vídeo			○	○				
	S Vídeo (S Vídeo)			○	○				

Utilización del botón ID MODE

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

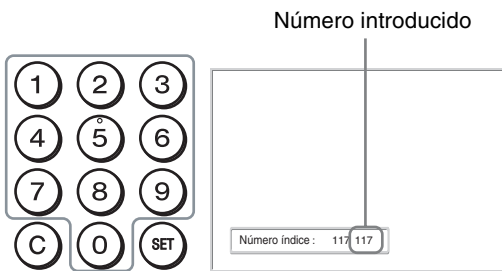
1 Pulse el botón ON.

El “Número índice” de la pantalla aparece con caracteres en negro en el menú inferior izquierdo de la pantalla (a cada pantalla se le asigna un “Número índice” individual predefinido del 1 al 255).



2 Introduzca el “Número índice” de la pantalla que desea utilizar mediante los botones 0 - 9 del mando a distancia.

El número introducido aparece al lado del “Número índice” de cada pantalla.



3 Pulse el botón SET.

Los caracteres de la pantalla seleccionada cambian a verde mientras que los otros cambian a rojo.

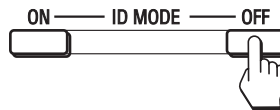


Puede utilizar sólo la pantalla específica indicada con caracteres verdes.

Sólo el funcionamiento del interruptor POWER ON y los botones STANDBY e ID MODE-OFF resulta efectivo también en otras pantallas.

4 Cuando haya terminado de cambiar los ajustes, pulse el botón OFF.

La visualización vuelve a la pantalla normal.



Para corregir el Número índice

Pulse el botón C para borrar el “Número índice” introducido actual. Vuelva al paso 2 e introduzca un nuevo “Número índice”.

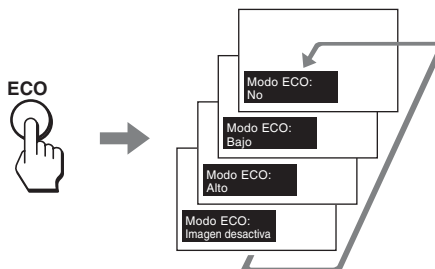


Sugerencia

Para cambiar el “Número índice” de la pantalla, consulte “Índice remoto” en “Ajuste de control” en la página 31.

Utilización de la función Modo ECO

Es posible reducir el consumo de energía de la pantalla.



Para cancelar el Modo ECO

Pulse el botón ECO varias veces hasta que aparezca “Modo ECO : No”.

Sugerencias

- Si apaga la pantalla mientras está activado el “Modo ECO”, dicho modo permanecerá activado la próxima vez que la encienda excepto con el ajuste “Imagen desactiva”.
- Es posible ajustar el “Modo ECO” mediante la configuración de “Ajustes”. Seleccione “Modo ECO” en los ajustes de “Ajustes” y, a continuación, ajústelo en “No”, “Bajo”, “Alto” o “Imagen desactiva”.

Antes de comenzar

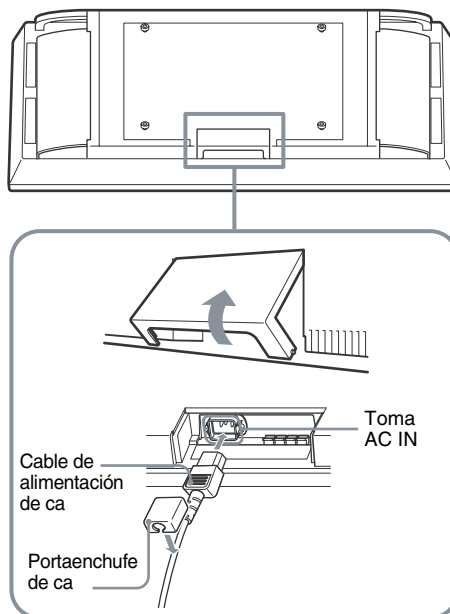
- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables adecuados para el equipo que vaya a conectar.
- Inserte los cables completamente en los conectores o las tomas para realizar la conexión. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, pero nunca del cable.
- Asimismo, consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.
- Inserte la clavija firmemente en la toma AC IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) para sujetar la clavija de ca firmemente.

Conexión de los altavoces

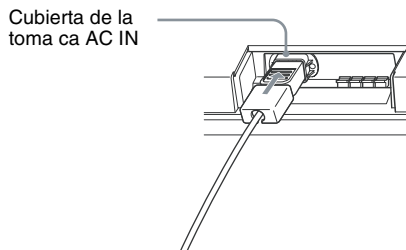
Si conecta los altavoces SS-SP40FW/32FW (no suministrados), podrá disfrutar de una experiencia audiovisual de mayor calidad. Asegúrese de conectar los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos. Para obtener información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 19.

Conexión del cable de alimentación de ca

- 1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.



- 2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma de ca AC IN.



Para retirar el cable de alimentación de ca

Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

Uso de los portacables

Es posible agrupar los cables con los portacables suministrados.

Coloque los portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.

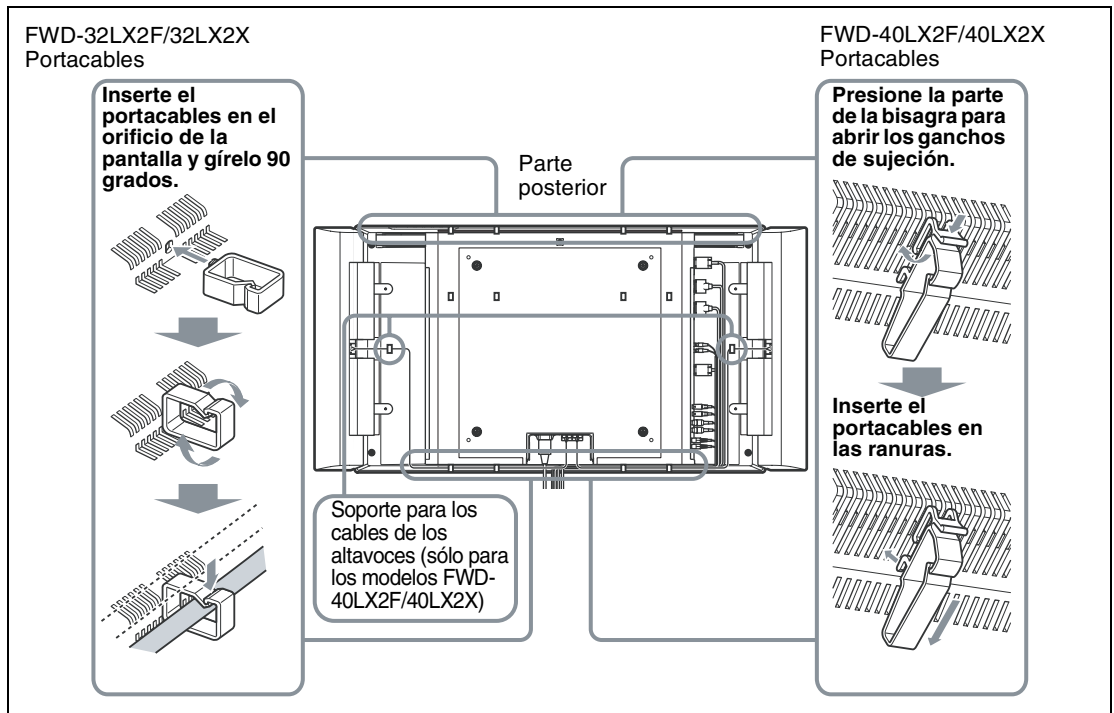
Para el modelo FWD-40LX2F/40LX2X:

Coloque los dos portacables (×4 suministrados) en las ranuras situadas en la parte superior e inferior respectivamente.

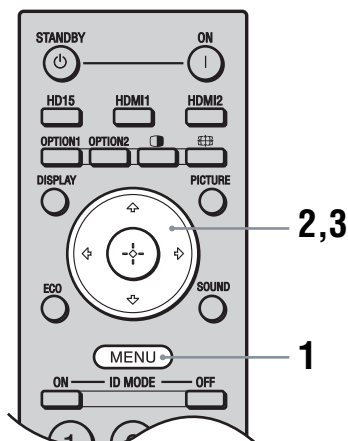
Cuando conecte los altavoces (no suministrados), pase los cables de los altavoces a través de los soportes para cables situados en la parte posterior de la pantalla.

Para el modelo FWD-32LX2F/32LX2X:

Escoja seis de los ocho orificios (4 en la parte superior y 4 en la parte inferior) y coloque los portacables (×6 suministrados). Los soportes para cables no se suministran.



Descripción general de los menús



- 1 Pulse el botón MENU.
- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para resaltar el icono de menú deseado.
- 3 Pulse \leftarrow o \rightarrow .
Para salir del menú, pulse el botón MENU.

Para cambiar el idioma en pantalla

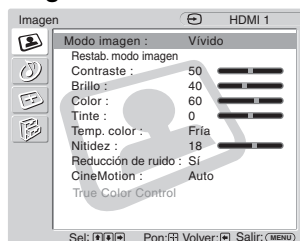
Seleccione el idioma deseado (“English”, “Español”, “Français”, “Italiano”, “Deutsch” o “日本語”) para los ajustes y mensajes en pantalla. “English” (inglés) está establecido como el ajuste predeterminado. Consulte la página 30.

Los ajustes le proporcionan acceso a las siguientes funciones:

Ajustes

Le permite ajustar/cambiar

Imagen



Modo imagen (página 22, 23)
Restab. modo imagen (página 22, 23)
Contraste (página 22, 23)
Brillo (página 22, 23)
Color (página 22)
Tinte (página 22)
Temp. color (página 22, 23)
Nitidez (página 22)
Reducción de ruido (página 22)
CineMotion (página 22)
True Color Control (página 23)

Sonido

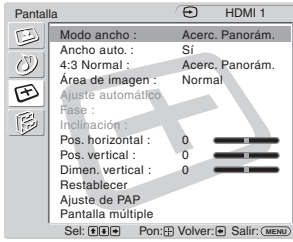


Modo sonido (página 24)
Restab. modo sonido (página 24)
Agudos (página 24)
Graves (página 24)
Balance (página 24)
Selec. audio común (página 24)
Salida altavoz (página 24)

Ajustes

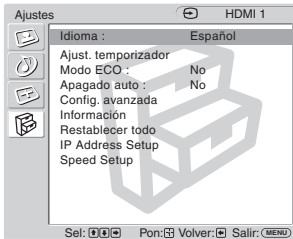
Le permite ajustar/cambiar

Pantalla



Modo ancho (página 25, 29)
Ancho auto. (página 25)
4:3 Normal (página 26)
Área de imagen (página 26)
Ajuste automático (página 29)
Fase (página 29)
Inclinación (página 29)
Pos. horizontal (página 26, 29)
Pos. vertical (página 26, 29)
Dimen. vertical (página 26)
Restablecer (página 26, 29)
Ajuste de PAP (página 27)
Pantalla múltiple (página 28)

Ajustes

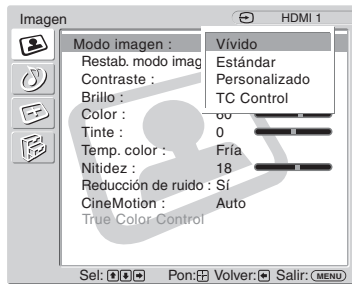


Idioma (página 30)
Ajust. temporizador (página 30)
Modo ECO (página 30)
Apagado auto (página 30)
Config. avanzada (página 31)
Información (página 31)
Restablecer todo (página 32)
IP Address Setup (página 32)
Speed Setup (página 32)

* En función de los ajustes realizados, es posible que los iconos del menú que se visualizan en la parte inferior de la pantalla no funcionen.

Ajustes de Imagen

Para la entrada de vídeo



Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Pulse \oplus para confirmar la selección.

Los ajustes de “Imagen” incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

“Vívido”: mejora el contraste y la nitidez de la imagen.

“Estándar”: permite aplicar los ajustes estándar de la imagen.

“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.

“TC Control”: el ajuste es común con “Vívido”. Además, es posible utilizar la función “True Color Control” (mencionada posteriormente).

Sugerencias

- Para cambiar de una opción de “Modo imagen” a otra, utilice PICTURE en el mando a distancia en su lugar.
- Es posible cambiar las opciones de “Modo imagen” para cada entrada.

Restab. modo imagen

Restablece todos los valores predeterminados de las configuraciones y ajustes del “Modo imagen” seleccionado actualmente (“Vívido”, “Estándar”, “Personalizado”, “TC Control”) (excepto para las opciones atenuadas).

Contraste

Permite aumentar o disminuir el contraste de la imagen.

Brillo

Permite oscurecer o aclarar la imagen.

Color

Permite aumentar o disminuir la intensidad del color.

Tinte

Permite ajustar los tonos de color de la imagen.

Nota

“Tinte” no está disponible si la entrada seleccionada es video o S Video (S Vídeo) y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC.

Temp. color

“Fría”: permite dar a los colores blancos un tinte azul.

“Neutra”: permite dar a los colores blancos un tinte neutro.

“Cálida”: permite dar a los colores blancos un tinte rojo.

Nitidez

Permite avivar o atenuar la imagen.

Reducción de ruido

Permite disminuir el nivel de ruido del equipo conectado. Seleccione entre “Sí” u “No”.

CineMotion

Seleccione “Auto” para optimizar la pantalla de visualización mediante la detección automática del contenido de la película y la aplicación del proceso de conversión inversa 3-2 ó 2-2 (pull down). La imagen en movimiento aparecerá con un aspecto más claro y natural. Seleccione “No” para desactivar la detección.

True Color Control

Es posible ajustar los detalles de la tonalidad y de la saturación de cada uno de los 4 colores: rojo, verde, amarillo, azul y es posible resaltar colores específicos de la imagen.

Seleccione el color que desee ajustar y podrá comprobar qué parte de la imagen actual se ajustará. A continuación, podrá ajustarla mediante el diálogo de matriz.

Notas

- Es posible ajustar esta opción cuando “Modo imagen” está ajustado en “TC Control”.
- En el modo “PAP”, no es posible seleccionar esta opción. Aunque seleccione esta opción en la pantalla de una imagen, el ajuste no se aplicará en el modo “PAP”.

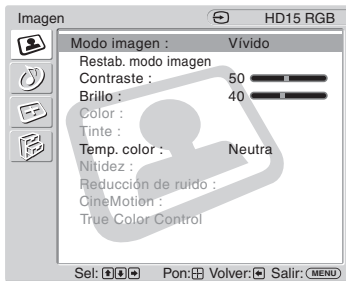
Sugerencia

Es posible cambiar los ajustes de “Imagen” (“Contraste”, “Brillo”, “Color”, etc.) para cada “Modo imagen”.

Notas

- El modo “PAP” no permite seleccionar ninguna de las opciones de los ajustes de “Imagen”.
- Si no se está recibiendo ninguna señal, no será posible seleccionar ninguna de las opciones de los ajustes de “Imagen”.

Para la entrada de ordenador



Cuando la entrada se cambia a un fuente de entrada de ordenador, se le aplicarán los ajustes de “Imagen” específicos.

Los ajustes “Imagen” del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

“Vívido”: permite mejorar el contraste y la nitidez de la imagen.

“Estándar”: permite aplicar los ajustes estándar de la imagen.

“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.

“TC Control”: el ajuste es común con “Vívido”. Además, es posible utilizar la función “True Color Control” (mencionada posteriormente).

Restab. modo imagen

Restablece todos los valores predeterminados de las configuraciones y ajustes del “Modo imagen” seleccionado actualmente (“Vívido”, “Estándar”, “Personalizado”, “TC Control”) (excepto para las opciones atenuadas).

Contraste

Permite aumentar o disminuir el contraste de la imagen.

Brillo

Permite oscurecer o aclarar la imagen.

Temp. color

Consulte “Temp. color” de la entrada de vídeo (página 22).

True Color Control

Consulte “True Color Control” de la entrada de vídeo (página 23).

Notas

- “Color”, “Tinte”, “Nitidez”, “Reducción de ruido” y “CineMotion” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- El modo “PAP” no permite seleccionar ninguna de las opciones de los ajustes de “Imagen”.
- Si no se está recibiendo ninguna señal, no será posible seleccionar ninguna de las opciones de los ajustes de “Imagen”.

Ajustes de Sonido



Una vez instalados los altavoces SS-SP40FW/32FW (no suministrados), es posible configurar varios ajustes de “Sonido”.

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Pulse \oplus para confirmar la selección.

Los ajustes de “Sonido” incluyen las siguientes opciones:

Modo sonido

“Dinámico”: permite mejorar la calidad de los agudos y graves.

“Estándar”: ajuste plano.

“SRS WOW”: ofrece una experiencia acústica panorámica y estereofónica al generar tonos graves profundos y potentes y tonos agudos claros, lo que le permitirá disfrutar de efectos de sonido tan intensos como los de una sala de cine.

“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.

Sugerencias

- Para cambiar de una opción de “Modo sonido” a otra, también puede utilizar el botón SOUND del mando a distancia.
- Las tecnologías patentadas de BBE Sound, Inc. se aplican a “Dinámico” y “Estándar”.

Restab. modo sonido

Restablece los siguientes ajustes a su valor predeterminado: “Agudos”, “Graves” y “Balance”.

Agudos

Permite aumentar o disminuir los sonidos más agudos.

Graves

Permite aumentar o disminuir los sonidos más graves.

Balance

Permite acentuar el balance del altavoz izquierdo o derecho.

Selec. audio común

“HD15”: emite el audio procedente de un equipo de vídeo u ordenador conectado a los conectores HD15 (RGB/COMPONENT IN) y AUDIO (COMMON AUDIO IN).
“HDMI 1”/“HDMI 2”: permite conectar un dispositivo a través de un cable HDMI (no suministrado) o un cable HDMI a DVI y el cable de audio correspondiente, todo al mismo tiempo.

Consulte la página 8.

Notas

- Cuando utilice un cable HDMI a DVI (no suministrado), conecte el cable de audio al conector AUDIO (COMMON AUDIO IN).
- Si está seleccionado “HDMI 1”/“HDMI 2”, no se emitirá el audio digital a través de los conectores HDMI. Si se ha conectado un equipo de vídeo provisto de un conector HDMI a los conectores HDMI 1/HDMI 2, ajuste “Selec. audio común” en “HD15”. (El ajuste predeterminado es “HD15”).

Salida altavoz

“Si”: permite que el sonido se emita desde los altavoces.

“No”: desactiva la emisión del sonido desde los altavoces.

Nota

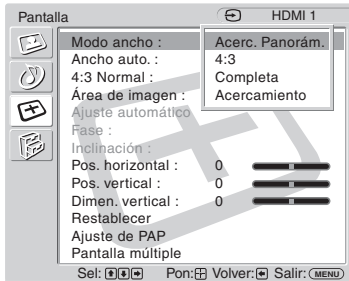
Si “Salida altavoz” está ajustado en “No”, no se pueden seleccionar las opciones “Modo sonido”, “Restab. modo sonido”, “Agudos”, “Graves” ni “Balance”.





Sugerencia


Es posible ajustar los menús de calidad de sonido (“Agudos” y “Graves”) cuando “Modo sonido” está ajustado en “Personalizado”.

Ajustes de Pantalla

Para la entrada de vídeo



Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ///.

Pulse  para confirmar la selección.

Los ajustes de “Pantalla” incluyen las siguientes opciones:

Modo ancho

“Acerc. Panorám.”: permite ampliar la imagen hasta llenar la pantalla con una distorsión mínima.


“4:3”: permite visualizar imágenes 4:3 en tamaño original siempre que la fuente original sea 4:3 (fuente de definición estándar).

“Completa”: permite ampliar la imagen original horizontalmente hasta llenar la pantalla siempre que la fuente original sea 4:3 (fuente de definición estándar).

Cuando la fuente original sea 16:9 (fuente de alta definición), seleccione este modo para visualizar las imágenes de 16:9 en su tamaño original.

“Acercamiento”: permite ampliar la imagen original sin distorsionar el formato. Consulte la página 14.

Sugerencias

- Para cambiar de una opción de “Modo ancho” a otra, también puede utilizar el botón  del mando a distancia.
- Seleccione “Acercamiento” para visualizar películas y otros contenidos en DVD con franjas negras en toda el área visible de la pantalla.
- En los modos “Acerc. Panorám.” y “Acercamiento”, es posible ajustar “Pos. horizontal”, “Pos. vertical” y “Dimen. vertical”. Consulte la página 26.

Notas

- No es posible ajustar el modo “Modo ancho” mientras se utiliza la función “PAP” o la “Pantalla múltiple”.
- No es posible seleccionar “Acerc. Panorám.” ni “4:3” para la entrada de las señales 1080i, 720p o 1080p a los conectores de componente o HDMI.

Ancho auto.

“Sí”: permite detectar la imagen y cambiarla automáticamente al modo de pantalla adecuado.

“No”: el modo pantalla no se cambia de manera automática.

Notas

- Mientras se reciben señales digitales o RGB analógicas, no podrá ajustar “Ancho auto.” porque la función “Ancho auto.” no funciona.
- No es posible ajustar la función “Ancho auto.” mientras se utiliza la función “PAP” o “Pantalla múltiple”.

ES

4:3 Normal	<p>“Acerc. Panorám.”: permite ampliar la imagen de 4:3 hasta llenar la pantalla de 16:9 tratando de conservar la imagen lo más parecida a la original posible.</p> <p>“4:3”: permite visualizar la imagen de formato 4:3 sin modificar el formato.</p> <p>“Completa”: permite ampliar la imagen de 4:3 sólo horizontalmente hasta llenar la pantalla de 16:9.</p> <p>“Acercamiento”: permite ampliar una imagen de formato 4:3 a pantalla completa sin modificar el formato. Resulta de utilidad para mirar películas en formato buzón.</p> <p>“No”: permite continuar utilizando el ajuste actual de pantalla panorámica cuando cambia la entrada.</p>
Notas	<ul style="list-style-type: none"> • Sólo es posible seleccionar “4:3 Normal” si “Ancho auto.” está ajustado en “Sí”. • “4:3 Normal” sólo funciona cuando la pantalla recibe señales NTSC, PAL, SECAM, 480i, 480p, 575i o 576p. • Si el ajuste “Modo ancho” se cambia después de ajustar “4:3 Normal”, el “Modo ancho” se activará y el formato de la pantalla se modificará. Este cambio de ajuste de “Modo ancho” se activará sólo para cada señal de entrada, por tanto, al cambiar la señal de entrada, la pantalla volverá al ajuste original “4:3 Normal”. Para conservar el formato actual aún después de cambiar la señal de entrada, ajuste “4:3 Normal” en “No”.
Área de imagen	<p>“Normal”: muestra una imagen de tamaño estándar.</p> <p>“-1”/“-2”: permite ajustar el tamaño del área de la imagen visible. Cuando aparece ruido alrededor de la imagen, seleccione esta opción para hacerlo desaparecer.</p>
Pos. horizontal	<p>Permite mover la posición de la imagen a la izquierda y a la derecha en la ventana. Sólo se encuentra disponible en los modos “Acerc. Panorám.” y “Acercamiento”. Pulse ⇄ y ⊕ para elegir una corrección.</p>
Pos. vertical	<p>Permite mover la posición de la imagen hacia arriba y abajo en la ventana. Sólo se encuentra disponible en los modos “Acerc. Panorám.” y “Acercamiento”. Pulse ⇄/↕ y ⊕ para elegir una corrección.</p>
Dimen. vertical	<p>Permite ajustar la dimensión vertical de la imagen. Sólo se encuentra disponible en los modos “Acerc. Panorám.” y “Acercamiento”. Pulse ⇄/↕ y ⊕ para elegir una corrección.</p>
Restablecer	<p>Restablece los siguientes ajustes a sus valores predeterminados: “Pos. horizontal”, “Pos. vertical” y “Dimen. vertical”.</p>

Ajuste de PAP

Permite mostrar dos imágenes procedentes de distintas fuentes de señal, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra. Sólo se encuentra disponible la combinación de una señal analógica y una digital.

“PAP”: “Sí” muestra dos imágenes una al lado de la otra a la vez y “No” desactiva la función “PAP”.

“Cambiar”: “Aceptar” intercambia la posición de ambas imágenes y “Cancelar” aborta la ejecución.

“Tamaño PAP”:

“Grande izquierda”: el ancho de la imagen de la izquierda es superior al de la derecha.

Si el formato de la imagen izquierda es 4:3, la altura de la imagen izquierda será igual al tamaño del panel.

“Uniforme”: el ancho de las imágenes izquierda y derecha es el mismo (mitad & mitad). La altura se ajustará para que coincida con el formato de cada imagen.

“Grande derecha”: el ancho de la imagen de la derecha es superior al de la izquierda.

Si el formato de la imagen derecha es 4:3, la altura de la imagen derecha será igual al tamaño del panel.

Notas

- Puede mostrar dos imágenes sólo cuando “Pantalla múltiple” se encuentre ajustado en “No”.
- Al mostrarse dos imágenes, se aplican los ajustes de “Imagen” establecidos al mostrarse una sola imagen.
- Para obtener más información sobre la combinación disponible de dos imágenes, consulte la página 15.

Pantalla múltiple

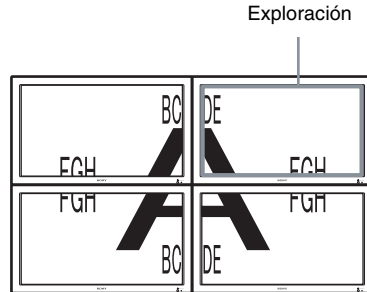
Es posible realizar ajustes para conectar varios monitores y formar un mural de vídeo.

“Pantalla múltiple”: “No” utiliza una única pantalla y “2x2”-“4x4” selecciona la disposición que se utilizará para construir el mural de vídeo.

“Posición” (cuadro emergente de ubicación): seleccione la posición de esta pantalla en particular en la disposición del mural de vídeo mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$. Pulse \oplus para ajustar la posición.

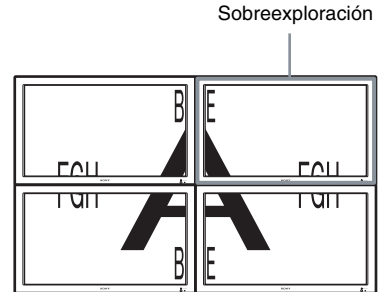
“Formato de salida”: podrá seleccionar dos formatos distintos de salida de la imagen como se muestra en las figuras. Simplemente con seleccionar uno de los formatos, tendrá disponible una imagen adecuada sin necesidad de ajustar el desplazamiento horizontal y vertical manualmente. Seleccione “Azulejos” o “Ventana”.

“Azulejos”



Muestra la señal completa de cada pantalla.

“Ventana”



Muestra una imagen de gran tamaño con pantalla múltiple de manera natural. Parte de la señal se encontrará detrás del área del marco.

“Activar LED”: “Sí” hace que el indicador POWER/STANDBY que se encuentra en el panel frontal (página 7) esté encendido continuamente y “No” que dicho indicador esté siempre apagado.

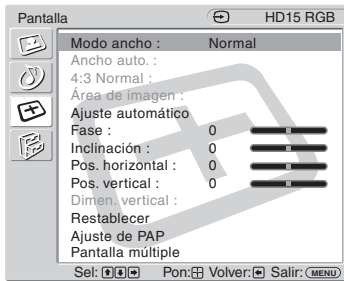
Notas

- “Pantalla múltiple” puede mostrar una imagen ampliada manteniendo el ajuste actual de “Modo ancho” en la medida de lo posible para la entrada de vídeo, y puede mostrar una imagen ampliada de qué “Modo ancho” está ajustado en “Completa 2” para la entrada del ordenador.
- Es posible ajustar “Pantalla múltiple” sólo cuando la función “PAP” está desactivada.
- Cuando la opción “Posición” se ajusta en el extremo inferior derecho, el indicador POWER/STANDBY se ilumina incluso si la opción “Activar LED” se ajusta en “No”. El indicador también se ilumina aunque la pantalla esté apagada (modo de espera), se hayan detectado errores o la pantalla esté en modo de reposo, incluido en el caso de ausencia de señal o señal no compatible.

Notas

- “Área de imagen”, “Pos. horizontal”, “Pos. vertical” y “Dimen. vertical” no están disponibles mientras se utiliza la función “PAP” o la “Pantalla múltiple”.
- Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajustes de “Pantalla”, excepto “Ajuste de PAP” y “Pantalla múltiple”.

Para la entrada de ordenador



Al cambiar la entrada al origen de entrada del ordenador, se aplican los ajustes de “Pantalla” específicos de la entrada del ordenador. Los ajustes “Pantalla” del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Modo ancho

“Normal”: permite visualizar la imagen en su tamaño original.
“Completa 1”: seleccione esta opción para ampliar la imagen para que ocupe el área de visualización en dirección vertical, manteniendo el formato horizontal-a-vertical. Aparecerá un marco negro alrededor de la imagen.
“Completa 2”: permite ampliar la imagen hasta llenar el área de la pantalla.

Nota

No es posible ajustar el “Modo ancho” mientras se utilizan las funciones “PAP” o “Pantalla múltiple”.

Ajuste automático

Permite ajustar automáticamente la posición de la pantalla y la fase de la imagen cuando la pantalla reciba una señal de entrada procedente del ordenador conectado. Tenga en cuenta que es posible que “Ajuste automático” no funcione correctamente con determinadas señales de entrada. En esos casos, ajuste manualmente las siguientes opciones.

Fase

Permite ajustar la fase cuando la pantalla titila.

Inclinación

Permite ajustar la inclinación cuando la imagen presenta rayas verticales no deseadas.

Pos. horizontal

Permite mover la posición de la imagen a la izquierda y a la derecha en la ventana. Pulse \leftarrow/\rightarrow y \oplus para elegir una corrección.

Pos. vertical

Permite mover la posición de la imagen hacia arriba y abajo en la ventana. Pulse \updownarrow y \oplus para elegir una corrección.

Restablecer

Restablece los siguientes ajustes a sus valores predeterminados: “Fase”, “Inclinación”, “Pos. horizontal” y “Pos. vertical”.

Ajuste de PAP

Consulte “Ajuste de PAP” de la entrada de vídeo (página 27).

Pantalla múltiple

Consulte “Pantalla múltiple” de la entrada de vídeo (página 28).

Notas

- “Ancho auto.”, “4:3 Normal”, “Área de imagen” y “Dimen. vertical” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajustes de “Pantalla”, excepto “Ajuste de PAP” y “Pantalla múltiple”.
- Cuando se reciben señales a través de HDMI 1/HDMI 2, “Ajuste automático”, “Fase” e “Inclinación” no están disponibles para la entrada de ordenador.

Ajustes de Ajustes



Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Pulse \oplus para confirmar la selección.

Los ajustes de “Ajustes” incluyen las siguientes opciones:

Idioma

Permite visualizar todos los ajustes en pantalla en el idioma que elija: “English”, “Español”, “Français”, “Italiano”, “Deutsch” o “日本語”.

Ajust. temporizador

Es posible ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o ajustar el temporizador para hacer que la unidad se encienda o se apague a una hora predeterminada.

“Config. reloj”: ajusta la hora y el día.

“Pantalla reloj”: muestra la hora ajustada en estos momentos en la pantalla si está ajustada en “Sí”.

“Tempor. sí/no”: ajusta la hora en la que se encenderá o apagará la alimentación de forma automática.

Nota

Si el reloj incorporado tiende a atrasarse, es posible que se deba a que la pila interna esté agotada. Póngase en contacto con su distribuidor autorizado de Sony para sustituir la batería.

Modo ECO

“No”: permite visualizar imágenes sin activar la función de ahorro de energía.

“Bajo”/“Alto”: permite visualizar imágenes con un consumo de energía reducido.

Además, este modo aumenta el nivel de negro.

“Imagen desactiva”: permite apagar la imagen. El audio permanece activado con el ajuste de volumen seleccionado.

Apagado auto

“Sí”: la pantalla entra automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada de video o S Video (S Vídeo) durante más de 5 minutos. La pantalla entra automáticamente en el modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada HDMI o RGB/ componente durante más de aproximadamente 30 segundos.

“No”: la pantalla no se apaga automáticamente aunque no se reciba ninguna señal a través de ningún conector.

Sugerencia

En el modo de espera, pulse el interruptor ⏻ POWER de la pantalla o POWER ON del mando a distancia para encender la pantalla. En el modo de ahorro de energía, la pantalla se encenderá automáticamente al recibir una señal.

Config. avanzada

“Sistema de color”: seleccione uno de los siguientes sistemas de color de las señales de video: “NTSC”, “PAL”, “SECAM”, “NTSC4.43”, “PAL-M”, “PAL-N”, “PAL60”, o seleccione “Automático” para ajustar el sistema de color automáticamente.

“Pantalla de estado”: “Sí” permite que la señal de entrada y la información de “Modo ancho” aparezcan en la pantalla durante aproximadamente 20 segundos si la pantalla está encendida, y la información de la señal de entrada durante aproximadamente 5 segundos al cambiar la señal de entrada, mientras que “No” desactiva la visualización de la información de estado.



Sugerencia

Para mostrar la información sobre la señal de entrada y “Modo ancho”, utilice DISPLAY en el mando a distancia independientemente del ajuste de “Pantalla de estado”.

“Iluminación”: “Sí” hace que se ilumine el logotipo de Sony situado en la parte frontal de la pantalla y “No” desactiva esta función.

“Ajuste de control”: este menú se utiliza para establecer ajustes sobre el funcionamiento de la pantalla y del mando a distancia.

“Índice remoto”: Si fuera necesario, es posible cambiar el “Número índice” de la pantalla.

Seleccione la opción para ajustar el “Número índice” de la pantalla mediante  y pulse  para confirmar el ajuste.

Nota

Para ajustar el “Número índice”, utilice los botones de la pantalla. El “Número índice” no se puede ajustar con el mando a distancia.

“Modo control”




“Monitor+Remoto”: permite controlar la pantalla con los botones de control en la pantalla y el mando a distancia.

“Sólo monitor” desactiva la función de mando a distancia. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con los botones de control de la pantalla.

“Sólo remoto”: desactiva los controles de la pantalla. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con el mando a distancia.

“Desactivar todo”: desactiva el funcionamiento del mando a distancia y los botones de control de la pantalla. Es posible utilizar la pantalla mediante el conector REMOTE (modelo BKM-FW20) o el adaptador opcional con funciones de comunicación (como los modelos BKM-FW32/FW50).

Notas

- Al utilizar este elemento, los modos que puede seleccionar variarán en función del botón que utilice. Al ajustar este elemento mediante  del mando a distancia, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo remoto”. Al ajustar este elemento mediante  en la pantalla, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo monitor”.
- Si ajusta esta opción en “Desactivar todo”, no será posible utilizar la pantalla mediante el mando a distancia ni los botones de control de la pantalla. Para volver a establecer el ajuste en “Monitor+Remoto”, pulse MENU y + en la pantalla simultáneamente durante más de 5 segundos.

Información

Muestra el “Nombre modelo”, “Número serie”, “Tiempo función”, “Versión soft” y “IP Address” de la pantalla.

Nota

No se mostrará la “IP Address” si no se ha instalado el adaptador opcional con funciones de red.

Restablecer todo

Restablece la configuración de “Ajustes” a los valores predeterminados.

Nota

No se restablecerán los elementos que se incluyen en la opción “Información” ni el “Número índice”.

IP Address Setup

Permite ajustar una dirección IP para habilitar la comunicación entre el adaptador opcional con funciones de comunicación, como el BKM-FW32/FW50 instalado en la pantalla y el equipo, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN. “DHCP”: “OK” permite ajustar una dirección IP de manera automática, y “Cancel” aborta la configuración automática.

Nota

Cuando se obtiene una dirección IP automáticamente mediante DHCP, es posible que ésta varíe cada vez que se enciende y apaga la pantalla.

“Manual”: permite ajustar una dirección IP manualmente.

- 1 Seleccione la “IP Address”, “Subnet Mask”, “Default Gateway”, “Primary DNS” y “Secondary DNS” que desea ajustar manualmente mediante \uparrow/\downarrow y pulse \oplus .
- 2 Ajuste el valor de tres dígitos (de 0 a 255) para el primer cuadro mediante \uparrow/\downarrow en la pantalla o bien mediante las teclas numéricas del mando a distancia y pulse \oplus o \rightarrow .
- 3 Ajuste el valor de tres dígitos (de 0 a 255) para cada uno de los cuatro cuadros y pulse \oplus .
- 4 Seleccione el siguiente elemento que desee ajustar manualmente con \uparrow/\downarrow , repita el procedimiento y pulse \oplus .
- 5 Cuando haya ajustado los valores para todos los elementos, seleccione “Execute” con \uparrow/\downarrow y, a continuación, pulse \oplus .

Seleccione “OK” y pulse \oplus . Se habrá ajustado manualmente una dirección IP.

Nota

Si no se ajusta correctamente una dirección IP, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.

Error 1: Error de comunicación entre la pantalla de visualización y un adaptador opcional como el BKM-FW32 o el BKM-FW50

Error 2: Otro equipo ya utiliza la dirección IP especificada

Error 3: Error en la dirección IP

Error 4: Error en la dirección de Gateway

Error 5: Error en la dirección DNS primaria

Error 6: Error en la dirección DNS secundaria

Error 7: Error en la máscara de subred

Speed Setup

Permite ajustar la velocidad de comunicación entre el adaptador opcional con funciones de comunicación, como el BKM-FW32/FW50 instalado en la pantalla y el equipo, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN. “Speed”: Seleccione “Auto” si desea ajustar automáticamente la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red. También puede seleccionar “10Mbps Half”, “10Mbps Full”, “100Mbps Half” o “100Mbps Full” manualmente. “Execute”: Seleccione “OK” y pulse \oplus . Se habrá ajustado una velocidad de comunicación.

Nota


“IP Address Setup” y “Speed Setup” no están disponibles si no se ha instalado el adaptador opcional con funciones de red.

Solución de problemas

Verifique si el indicador POWER/STANDBY está parpadeando con una luz roja.

Cuando parpadea

La función de autodiagnóstico está activada.

- 1 Compruebe el número de veces que el indicador POWER/STANDBY parpadea y el intervalo de tiempo entre parpadeos.
Por ejemplo, el indicador parpadea 2 veces, deja de parpadear durante 3 segundos y parpadea 2 veces.
- 2 Pulse  en la pantalla (parte superior) para apagarla y desconecte el cable de alimentación.
Informe a su distribuidor o centro de servicio Sony sobre el modo de parpadear del indicador (el número de parpadeos y la duración del período sin luz).

Cuando no parpadea

- 1 Verifique los elementos en la tabla a continuación.
- 2 Si el problema persiste, haga reparar el monitor por personal capacitado.



Problema	Posibles soluciones
El interruptor de encendido y los botones de control de la pantalla no funcionan.	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe “Ajuste de control” (página 31).
No aparece ninguna imagen.	
No aparece ninguna imagen.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique los ajustes de “Modo ECO” (página 30).
El monitor se apaga automáticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique si la función “Ajust. temporizador” está activada (página 30).
Algunas fuentes de vídeo no muestran ninguna imagen.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique la conexión entre el equipo de vídeo y el monitor. • Pruebe a cambiar la fuente de entrada mediante el botón INPUT de la pantalla o el mando a distancia. (página 7, 12, 13).
Mala calidad de imagen.	
Imagen sin color/oscura/ La imagen tiene demasiado brillo/ El color de la imagen no es adecuado	<ul style="list-style-type: none"> • Pulse PICTURE para seleccionar el “Modo imagen” deseado (página 12). • Seleccione las opciones de “Modo imagen” en los ajustes de “Imagen” (página 22). • Verifique el estado del cable de la señal.
No se emite ningún sonido/El sonido que se emite es muy ruidoso.	
Buena imagen, sin sonido.	<ul style="list-style-type: none"> • Verifique el control del volumen. • Pulse  en el mando a distancia o  + para que “Silenciamiento” desaparezca de la pantalla (página 13). • Verifique los ajustes de “Selec. audio común” (página 24). • Compruebe los ajustes de “Salida altavoz” (página 24).
El ajuste de “Modo ancho” cambia automáticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Si “Ancho auto.” en los ajustes de “Pantalla” está ajustado en “SI”, el ajuste actual de “Modo ancho” cambia automáticamente al ajuste adecuado para la entrada actual. Si desea conservar el ajuste de “Modo ancho” actual cuando cambien las entradas, ajuste “Ancho auto.” en “No” en los ajustes de “Pantalla” (página 25).
El mando a distancia no funciona.	<ul style="list-style-type: none"> • Compruebe la polaridad de las pilas o reemplácelas. • Apunte el mando a distancia al sensor del monitor. • Mantenga el área del sensor del mando a distancia libre de obstáculos. • Compruebe “Ajuste de control” (página 31). • Verifique si hay un cable conectado al conector CONTROL S IN. El mando a distancia no se puede utilizar si el monitor está siendo controlado a través de una conexión CONTROL S. • Los tubos fluorescentes pueden causar interferencias en el funcionamiento del mando a distancia; pruebe a apagar los tubos fluorescentes.

Tabla de referencia de señal de entrada

Señales del ordenador

	Resolución	Frecuencia horizontal (kHz)	Frecuencia vertical (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,5	60
13	848 × 480@75 Hz	37,7	75
14	1280 × 768@60 Hz	47,8	60
15	1280 × 768@60 Hz	47,4	60
16	1360 × 768@60 Hz	47,7	60
17	1360 × 768@60 Hz	47,4	60

Señales de televisión/vídeo

	Resolución	Entradas disponibles		
		Vídeo	Componente/RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA es una marca comercial de International Business Machines Corporation, EE. UU.
 b) VESA es una marca comercial de Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) es una marca comercial de Apple Computer, Inc.

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo pin de RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines) del conector HD15 o el BKM-FW12 (adaptador opcional).
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste "Color" en los ajustes de "Imagen".
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.

Indicaciones en pantalla sobre la señal de entrada y el estado de la pantalla

Indicación en pantalla	Significado
640 × 480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es una señal de ordenador.
480 / 60i (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
Señal no compatible	La señal de entrada seleccionada no es compatible.
No hay señal	No hay señal de entrada.
HD15	La señal de entrada seleccionada es HD15.
HDMI 1	La señal de entrada seleccionada es HDMI 1.
HDMI 2	La señal de entrada seleccionada es HDMI 2.
Option 1	La señal de entrada seleccionada es OPTION 1.
Option 2	La señal de entrada seleccionada es OPTION 2.

Especificaciones

Procesamiento de vídeo

Sistema de paneles	Panel LCD a-Si TFT de matriz activa
Resolución de pantalla	1.366 puntos (horizontal) × 768 líneas (vertical)
Índice de muestreo	De 13,5 MHz a 140 MHz
Sistema de color	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N
Señal de entrada	Consulte la página 34.
FWD-40LX2F/40LX2X:	
Densidad de píxel	0,648 (horizontal) × 0,648 (vertical) mm
Tamaño de imagen	885 (horizontal) × 498 (vertical) mm
Tamaño de panel	40 pulgadas (diagonal 1.016 mm)
FWD-32LX2F/32LX2X:	
Densidad de píxel	0,510 (horizontal) × 0,510 (vertical) mm
Tamaño de imagen	698 (horizontal) × 392 (vertical) mm
Tamaño de panel	32 pulgadas (diagonal 801 mm)

Entradas y salidas

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-sub de 15 contactos (hembra)
(× 1) (Consulte la página 36.)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (compatible con las especificaciones HDMI 1.1)

Adaptador de ENTRADA DE VÍDEO modelo BKM-FW10

VIDEO IN	BNC (× 1) Vídeo compuesto, 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
VIDEO OUT	Tipo BNC (× 1) derivada
S VIDEO IN	Tipo Mini DIN de 4 contactos (× 1) Y (luminancia): 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios
S VIDEO OUT	Tipo Mini DIN de 4 contactos (× 1) derivada
AUDIO IN	Toma de pines (× 2) 500 mVrms, alta impedancia

Adaptador de CONTROL DEL MONITOR modelo BKM-FW20

REMOTE (RS-232C)	D-sub de 9 contactos (× 1)
CONTROL S IN/OUT	Minitoma (× 2)

Generales

Requisitos de alimentación	De 100 a 240 V ca, 50/60 Hz, FWD-40LX2F/40LX2X: De 2,3 A FWD-32LX2F/32LX2X: De 1,3 A
Consumo de energía	FWD-40LX2F/40LX2X: 200 W FWD-32LX2F/32LX2X: 120 W
Salida de altavoz	7 W + 7 W (6 ohmios) Impedancia de carga adecuada, de 6 a 16 ohmios
Condiciones de funcionamiento	Temperatura: De 0 °C a 35 °C Humedad: Del 20% al 90% (sin condensación)
Condiciones de almacenamiento/transporte	Temperatura: De -10 °C a +40 °C Humedad: Del 20% al 90% (sin condensación)

ES

Dimensiones	FWD-40LX2F:
	988 × 591 × 125 mm
	FWD-40LX2X:
	994 × 597 × 125 mm
	FWD-32LX2F:
	796 × 486 × 107 mm
	FWD-32LX2X:
	802 × 492 × 107 mm
Peso	(an/al/prf, partes salientes excluidas)
	FWD-40LX2F:
	Aprox. 25,0 kg
	FWD-40LX2X:
	Aprox. 26,0 kg
	FWD-32LX2F:
	Aprox. 16,0 kg
	FWD-32LX2X:
	Aprox. 17,0 kg

Accesorios suministrados
Cable de alimentación de ca (1)
Portaenchufe de ca (2)
Portacables tipo de 40 pulgadas (4),
tipo de 32 pulgadas (6)
Cable de señal de vídeo componente
(HD15 - RCA × 3) (1)
Adaptador BNC-RCA (1)
Mando a distancia RM-FW001 (1)
Pilas de tamaño AA (R6) (2)
Manual de instrucciones (1)

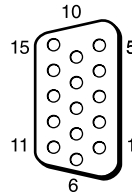
Accesorios opcionales
Soporte de pantalla SU-42FW/32FW
Altavoces SS-SP40FW/32FW
Adaptadores de opción para ampliación
del sistema, serie BKM-FW

Normas de seguridad
UL 60950-1, CSA N° 60950-1-03
(c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN
60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de contactos

Conector HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub de 15 contactos)



N° de contacto	Señal
1	Vídeo rojo o C _R /P _R
2	Vídeo verde o Y
3	Vídeo azul o C _B /P _B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o Vídeo compuesto
14	Sincronización V
15	SCL

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

Índice alfabético

Números

4:3 14, 25, 26
4:3 Normal 21, 26

A

Acerc. Panorám. 14, 25, 26
Acercamiento 14, 25
Activar LED 28
Adaptador de CONTROL DEL MONITOR 9
Adaptador de ENTRADA DE VÍDEO 9, 10
Agudos 20, 24
Ajust. temporizador 21, 30
Ajuste automático 21, 29
Ajuste de control 31
Ajuste de PAP 15, 21, 27, 29
Ajustes de Ajustes 21, 30
Ajustes de Imagen 20, 22
Ajustes de Pantalla 21, 25
Ajustes de Sonido 20, 24
Ancho auto. 21, 25
Apagado auto 21, 30
Área de imagen 21, 26
Azulejos 28

B

Balance 20, 24
Botón de contraste 13
Botón de volumen 7, 13
Botón DISPLAY 13
Botón ECO 13, 16
Botón HD15 13
Botón HDMI 1/HDMI 2 12
Botón INPUT 7
Botón MENU 7, 12
Botón Modo ancho 12, 14
Botón OPTION 1/OPTION 2 13
Botón PAP 12, 15
Botón PICTURE 12
Botón silenciador 13
Botón SOUND 12
Botón STANDBY 13
Botones ID MODE 13, 16
Brillo 20, 22, 23

C

Cambiar 27
CineMotion 20, 22
Color 20, 22
Completa 14, 25, 26
Completa 1/Completa 2 14, 29
Conector AUDIO (COMMON AUDIO IN) 8
Conector AUDIO IN L/R 9
Conector CONTROL S IN/OUT 9
Conector HD15 (RGB/COMPONENT IN) 8
Conector HDMI 1/HDMI 2 IN 9

Conector REMOTE 9
Conector S VIDEO IN/OUT 9
Conector VIDEO IN/OUT 9
Config. avanzada 21, 31
Config. reloj 30
Contraste 20, 22, 23
Cubierta de cables (inferior) 18
Cubierta de cables (lateral) 8, 18

D

DHCP 32
Dimen. vertical 21, 26
Dinámico 24

E

Estándar 22, 23, 24

F

Fase 21, 29
Formato de salida 28

G

Ganchos para la instalación del soporte 11
Graves 20, 24

I

Idioma 21, 30
Iluminación 31
Inclinación 21, 29
Indicador POWER/STANDBY 7
Índice remoto 31
Información 21, 31
Interruptor POWER 7
Interruptor POWER ON 12
IP Address Setup 21, 32

L

Logotipo de Sony 7, 31

M

Manual (IP Address Setup) 32
Modo ancho 14, 21, 25, 29
Modo control 31
Modo ECO 16, 21, 30
Modo imagen 20, 22, 23
Modo sonido 20, 24

N

Nitidez 20, 22
Normal 14, 26, 29
Número índice 13, 16, 31

P

Pantalla de estado 31
Pantalla múltiple 21, 28, 29
Pantalla reloj 30
Personalizado 22, 23, 24
Portacables 19
Pos. horizontal 21, 26, 29
Pos. vertical 21, 26, 29
Posición 28

R

Ranura OPTION 1/OPTION 2 9, 10
Reducción de ruido 20, 22
Restab. modo imagen 20, 22, 23
Restab. modo sonido 20, 24
Restablecer 21, 26, 29
Restablecer todo 21, 32

S

Salida altavoz 20, 24
Selec. audio común 20, 24
Sensor del mando a distancia 7
Señal de entrada 34
Sistema de color 31
Speed Setup 21, 32
SRS WOW 24

T

Tamaño PAP 27
TC Control 22, 23
Temp. color 20, 22, 23
Tempor. sí/no 30
Tinte 20, 22
Toma AC IN 11, 17
Toma SPEAKER 11
True Color Control 20, 23

V

Vívido 22, 23
Ventana 28

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendio o di scossa elettrica, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l'apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall'apparecchio e che quest'ultimo cada provocando ferite.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

ATTENZIONE

PERICOLO DI ESPLOSIONE SE SI SOSTITUISCE LA PILA CON UNA DI TIPO DIVERSO.
SMALTIRE LE PILE USATE SECONDO LE
NORMATIVE LOCALI.

Informazioni sui marchi di fabbrica

WOW, SRS e (●) il simbolo è un marchio dei laboratori di SRS Labs, Inc. La tecnologia WOW è registrata su licenza di SRS Labs, Inc.

Prodotto con Licenza della BBE Sound, Inc.
Su licenza della BBE Sound, Inc., patenti n.
USP5510752 e n. 5736897. BBE e il simbolo BBE
sono marchi di fabbrica della BBE Sound, Inc.

Indice

Introduzione

Precauzioni	4
Consigli relativi all'installazione	6

Posizione e funzione delle parti e dei comandi

Pannello anteriore	7
Pannello laterale	8
Adattatori opzionali.....	10
Pannello posteriore	11
Telecomando	12
Descrizione dei tasti	12
Tasti speciali del telecomando	14
Uso del Modo ampio	14
Uso dell'impostazione PAP	15
Uso del tasto ID MODE.....	16
Uso della funzione Modo ECO.....	16

Collegamenti

Collegamento dei diffusori.....	17
Collegamento del cavo di alimentazione CA.....	17
Sistemazione dei cavi	18

IT

Uso delle impostazioni

Panoramica dei menu	20
Impostazioni del menu Immagine	22
Impostazioni del menu Audio	24
Impostazioni del menu Schermo	25
Impostazioni del menu Impostazione	30

Altre informazioni

Guida alla soluzione dei problemi	33
Tabella di riferimento dei segnali di ingresso	34
Caratteristiche tecniche.....	35
Indice.....	37

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto per monitor opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.

Informazioni sul pannello LCD

- È possibile che sullo schermo appaiano punti luminosi rossi, blu o verdi oppure punti neri. Non si tratta di un problema di funzionamento. Sebbene il pannello LCD sia stato costruito adottando una tecnologia ad altissima precisione, è possibile che siano visibili alcuni pixel chiari o scuri.
- L'esposizione prolungata del pannello LCD alla luce solare potrebbe danneggiarlo. Pertanto, prestare attenzione se l'apparecchio viene installato in esterni o in prossimità di una finestra.
- Non esercitare pressione, graffiare o posizionare oggetti pesanti sul pannello. Diversamente, è possibile che si verifichino irregolarità dello schermo o problemi di funzionamento del pannello LCD.
- Se l'apparecchio viene utilizzato in un ambiente freddo, è possibile che lo schermo risulti più scuro o che su di esso appaia un'immagine residua. Non si tratta di un problema di funzionamento. Con l'aumentare della temperatura, lo schermo torna alle condizioni normali.
- Se viene visualizzato un fermo immagine in modo continuo, è possibile che appaia un'immagine residua. Tale problema scompare gradualmente cambiando l'immagine o visualizzando in bianco il display dello schermo. Inoltre, se lo stesso fermo immagine viene visualizzato per un periodo di tempo prolungato, è possibile che l'immagine residua non scompaia.

- Durante l'uso, è possibile che la superficie del pannello o il rivestimento si riscaldino. Non si tratta di un problema di funzionamento.

Pulizia del display

Superficie del pannello

- Prima di procedere alla pulizia del display, assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione.
- La superficie del pannello LCD è dotata di una finitura speciale. Evitare di toccare lo schermo LCD. Per rimuovere eventuali macchie dal pannello, utilizzare un panno morbido e asciutto.
- Per la pulizia, non utilizzare in alcun caso alcol, benzina o solventi, in quanto potrebbero danneggiare la finitura del pannello.
- Se viene utilizzato un panno di pulizia trattato chimicamente, seguire le relative istruzioni.
- Il contatto dell'apparecchio con solventi volatili (quali insetticidi) o il contatto prolungato con materiali plastici o in gomma potrebbe causare la rimozione del rivestimento o danneggiare l'apparecchio stesso.

Rivestimento

- Per la pulizia, utilizzare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti, utilizzare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte con un panno morbido e asciutto.
- Per la pulizia, non utilizzare in alcun caso alcol, benzina o solventi, in quanto potrebbero danneggiare la finitura del rivestimento o rimuovere le indicazioni presenti su di esso.

Note sull'uso e sulla pulizia dello schermo

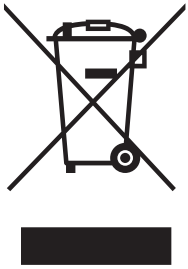
Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Smaltimento del dispositivo elettrico ed elettronico per uso aziendale a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)



Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve essere consegnato presso il centro di raccolta appropriato per il riciclaggio di apparecchiature elettriche ed elettroniche. Assicurandovi che questo prodotto sia

smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per ulteriori informazioni sul riciclaggio di questo prodotto, contattare l'ufficio Sony locale oppure visitare il sito Web europeo di Sony per i clienti aziendali all'indirizzo:

<http://www.sonybiz.net/environment>

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

	Stati Uniti, Canada	Europa continentale		Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.

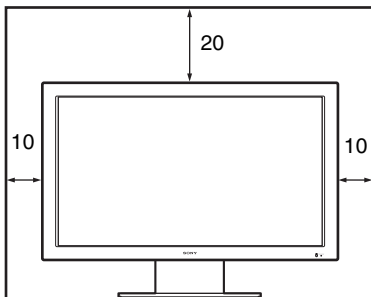
Consigli relativi all'installazione

Installare il monitor in un luogo spazioso

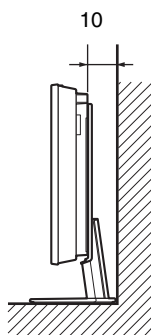
- Per evitare il surriscaldamento interno, assicurarsi che lo spazio che circonda il monitor sia sufficiente per garantire la ventilazione corretta, come illustrato nella figura riportata di seguito.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e 35 °C.
- Durante l'uso del supporto, assicurarsi di utilizzare il supporto corretto per il monitor SU-42FW/32FW (non in dotazione).
- Per l'installazione di materiali, quali staffe, viti o bulloni, non è possibile specificare il nome dei prodotti. Per l'installazione di tali materiali, rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l'installazione, rivolgersi a personale qualificato Sony.
- Quando il monitor è acceso, le relative parti interne si surriscaldano, causando eventuali ustioni. Quando il monitor è acceso o appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o posteriore dell'apparecchio.

Installazione con il supporto per monitor

Parte anteriore



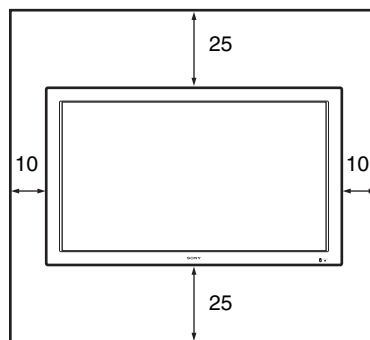
Parte laterale



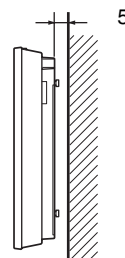
Unità: cm

Installazione del monitor in posizione orizzontale

Parte anteriore



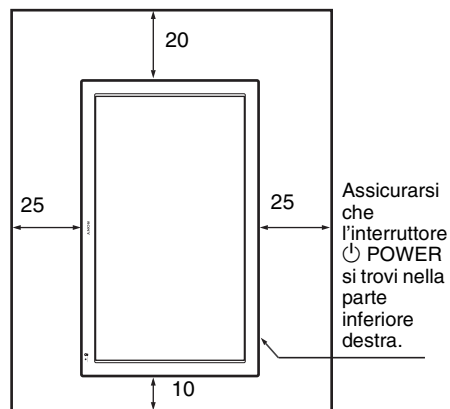
Parte laterale



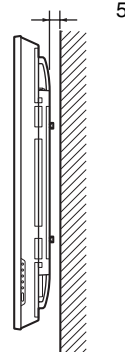
Unità: cm

Installazione del monitor in posizione verticale

Parte anteriore



Parte laterale

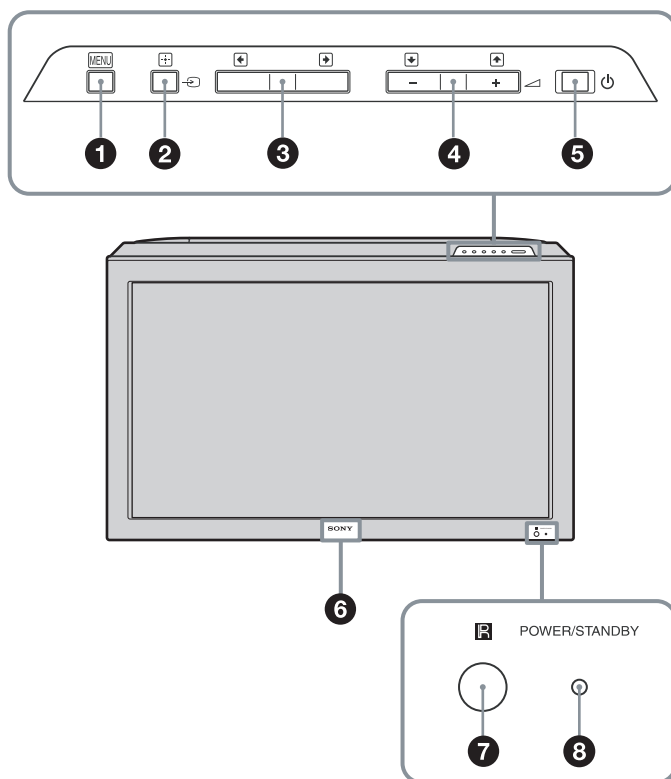


Unità: cm

Nota

Durante l'installazione del monitor in posizione verticale, non è possibile utilizzare i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione).

Pannello anteriore



1 MENU (pagina 20)

2 (INPUT)

- Nella schermata dei menu, questo tasto ha le stesse funzioni di “Imp”.
- Questo tasto consente di attivare il segnale di ingresso quando non è visualizzata la schermata dei menu. Consente di selezionare un segnale di ingresso da trasmettere tramite i connettori HD15/HDMI 1/ HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2. Se nella sezione dei connettori OPTION 1/OPTION 2 non è stato installato un adattatore opzionale, OPTION 1/OPTION 2 verranno saltati.

3

- Nella schermata dei menu, questi tasti funzionano come tasti di spostamento verso sinistra/destra.
- Nel modo “PAP”, questi tasti consentono di modificare l’immagine attiva o le dimensioni dell’immagine se è visualizzata una schermata diversa da quella dei menu.

4

- Consente di aumentare (+) o ridurre (-) il volume.
- Nella schermata dei menu, questi tasti funzionano come tasti di spostamento verso l’alto/il basso (/).

5

Consente di accedere o spegnere il monitor (attesa).

Nota

Ai fini della protezione del pannello, l’accensione e lo spegnimento (attesa) del monitor richiede alcuni istanti. Se il monitor viene acceso subito dopo essere stato spento, attendere circa 5 secondi, quindi accenderlo di nuovo.

6 Logo Sony

Il logo Sony si illumina.

Nella schermata dei menu, è possibile impostare su “SI”/“NO”. Vedere la voce “Impost. avanzate” a pagina 31.

7 Sensore dei comandi a distanza

8 Indicatore POWER/STANDBY

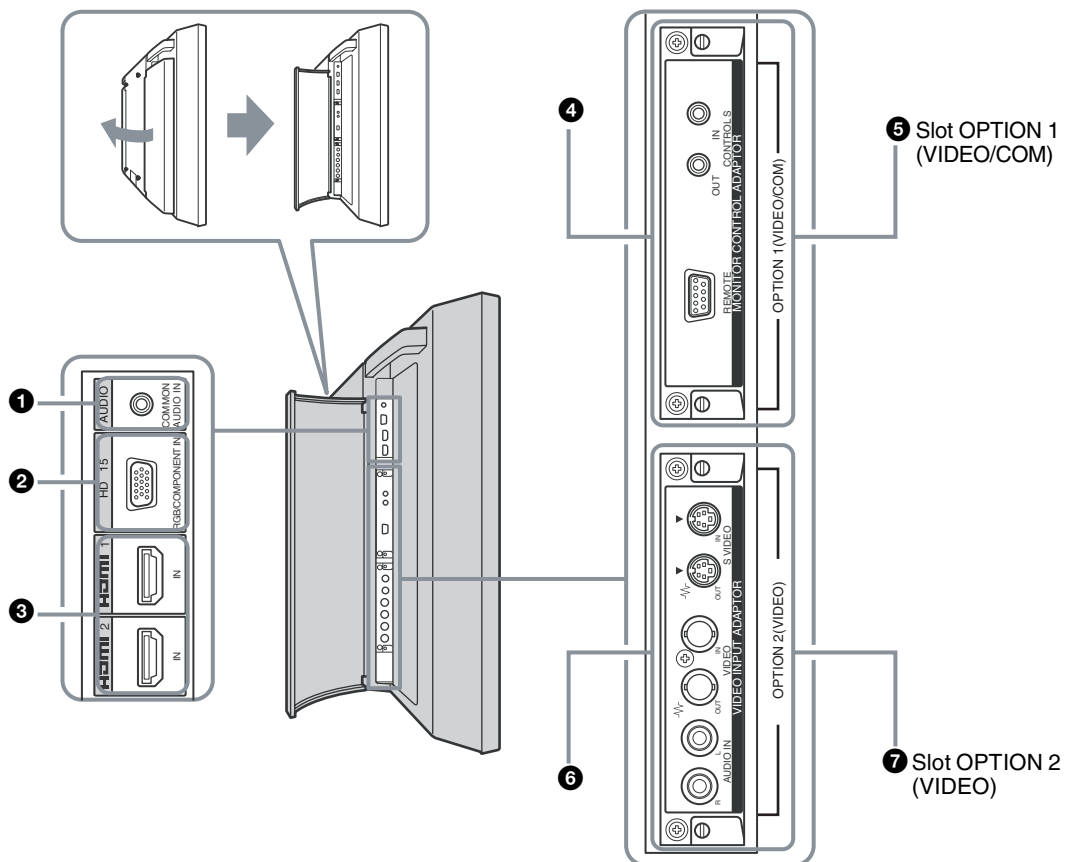
- Si illumina in verde quando il monitor è acceso.
- Si illumina in rosso quando il monitor si trova nel modo di attesa.
- Si illumina in arancione quando il monitor entra nel modo di risparmio energetico durante l’immissione di un segnale diverso da video o S Video.

Nota

Se l’opzione “Attiva LED” nelle impostazioni “Display multiplo” è impostata su “No” e l’opzione “Posizione” non è impostata sulla parte inferiore destra, l’indicatore non si illumina in verde anche se il monitor è acceso, tranne in caso di assenza di segnale o di un segnale non supportato.

Pannello laterale

Per aprire il coperchio dei cavi (laterale)



Connettore

1 AUDIO (COMMON AUDIO IN) (Minipresa stereo)

2 HD15 (RGB/COMPONENT IN) (D-sub a 15 piedini)

Descrizione

Immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC. Supporta i segnali audio corrispondenti a **2** e **3**.

Consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente di un apparecchio video o di un PC. Vedere pagina 36.

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai piedini 13 e 14. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

Connettore	Descrizione
3 HDMI 1/HDMI 2 IN	<p>HDMI (High-Definition Multimedia Interface) è un'interfaccia tra il monitor e qualsiasi apparecchio audio/video dotato di HDMI, nonché PC. Questa interfaccia supporta i segnali video potenziati o ad alta definizione e l'audio digitale a due canali. È inoltre possibile collegare al monitor un apparecchio dotato di DVI utilizzando un cavo da HDMI a DVI (non in dotazione).</p> <p>Il modo più appropriato per un dispositivo audio/video o un PC viene selezionato automaticamente in base al dispositivo collegato.</p> <p>Nota</p> <p>Accertarsi di utilizzare esclusivamente un cavo HDMI (non in dotazione) su cui sia riportato il logo HDMI.</p>
4 MONITOR CONTROL ADAPTOR (Adattatore PER CONTROLLO MONITOR) (BKM-FW20 preinstallato.)	<p>CONTROL S IN/OUT (minipresa): è possibile controllare più dispositivi con un unico telecomando quando il monitor è collegato al connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un altro monitor. Collegare il connettore CONTROL S OUT del monitor al connettore CONTROL S IN dell'altro dispositivo, quindi collegare il connettore CONTROL S IN del monitor al connettore CONTROL S OUT dell'altro dispositivo.</p> <p>REMOTE (D-sub a 9 piedini): questo connettore consente il controllo a distanza del monitor mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.</p> <p>Nota</p> <p>Questo adattatore non funziona se installato nello slot OPTION 2.</p>
5 Slot OPTION 1 (porta VIDEO/COM)	<p>Questo slot supporta i segnali video e le funzioni di comunicazione. Se in questo slot viene installato un adattatore opzionale (serie BKM-FW), è possibile espandere i connettori del segnale di ingresso o controllare il monitor tramite la rete.</p>
6 VIDEO INPUT ADAPTOR (Adattatore di INGRESSO VIDEO) (BKM-FW10 preinstallato.)	<p>S VIDEO IN (Mini DIN a 4 piedini): consente di effettuare il collegamento all'uscita S Video di un apparecchio video.</p> <p>S VIDEO OUT (Mini DIN a 4 piedini): consente di effettuare il collegamento all'ingresso S Video di un apparecchio video.</p> <p>VIDEO IN (BNC): consente di effettuare il collegamento all'uscita video di un apparecchio video.</p> <p>VIDEO OUT (BNC): consente di effettuare il collegamento all'ingresso video di un apparecchio video.</p> <p>AUDIO IN L/R (presa a piedini): consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video.</p> <p>Il segnale video o S Video viene selezionato automaticamente. Collegare il cavo (non in dotazione) ai connettori video o S Video.</p> <p>Se viene collegato un apparecchio video dotato del connettore di uscita S Video, è possibile ottenere prestazioni video migliori collegandolo al connettore S Video.</p>
7 Slot OPTION 2 (porta VIDEO)	<p>Questo slot supporta i segnali video. In questo slot è possibile installare un adattatore opzionale dotato di funzione di ingresso/uscita del segnale video. Installare l'adattatore opzionale dotato delle funzioni di comunicazione in 5, sezione connettori OPTION 1.</p>

Adattatori opzionali

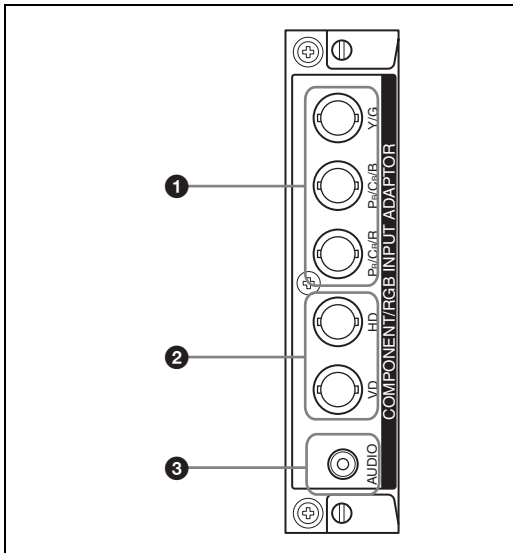
I connettori contrassegnati dai numeri 5 e 7 sul pannello laterale sono di tipo a inserimento e sono compatibili con tutti i seguenti adattatori opzionali (non in dotazione).

Per ulteriori informazioni sull'installazione, contattare il rivenditore Sony.

Adattatore di INGRESSO VIDEO BKM-FW10

Questo adattatore corrisponde all'adattatore opzionale preinstallato nello slot 7 OPTION 2. Vedere pagina 8.

Adattatore di INGRESSO COMPONENTE/RGB BKM-FW11



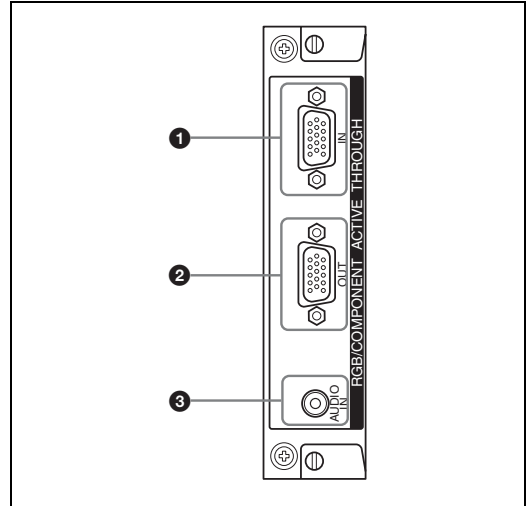
- 1 **Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC)**: consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente di un apparecchio video o di un PC.
- 2 **HD VD IN (BNC)**: consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale di sincronizzazione di un PC.

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai connettori HD e VD. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

- 3 **AUDIO (minipresa stereo)**: consente di immettere un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video o di un PC.

Adattatore ACTIVE THROUGH RGB/COMPONENTE BKM-FW12



- 1 **RGB/COMPONENT IN (D-sub a 15 piedini)**: consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale componente o all'uscita del segnale RGB analogico di un apparecchio video o di un PC. Per ulteriori informazioni sull'immissione di un segnale componente al connettore, vedere la sezione "Assegnazione dei piedini" a pagina 36.

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai piedini 13 e 14. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

- 2 **RGB/COMPONENT OUT (D-sub a 15 piedini)**: consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale componente o all'ingresso del segnale RGB analogico di un apparecchio video o di un PC.
- 3 **AUDIO IN (minipresa stereo)**: consente di immettere un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC.

Nota

Quando il monitor non è collegato a un alimentatore CA o si trova nel modo di attesa, da RGB/COMPONENT OUT non viene emesso alcun segnale.

Adattatore per GESTIONE DI RETE BKM-FW32

Per ulteriori informazioni, consultare il manuale di istruzioni del modello BKM-FW32.

Adattatore per RICEVITORE STREAMING BKM-FW50

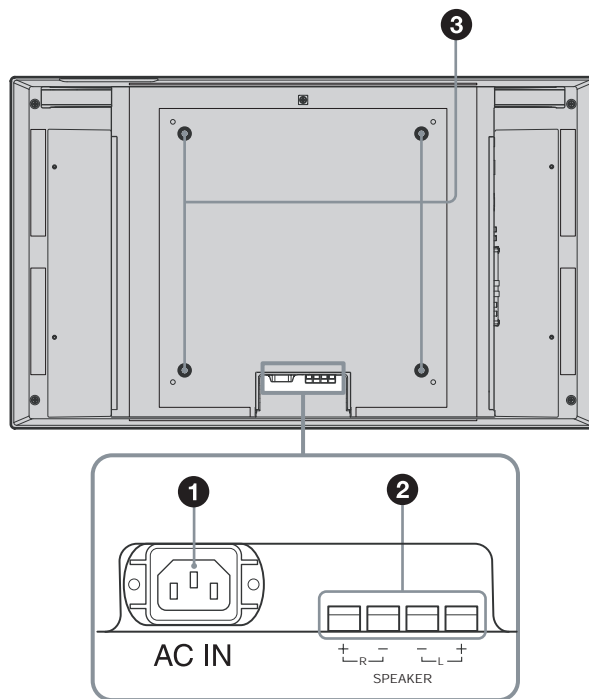
Per ulteriori informazioni, consultare il manuale di istruzioni del modello BKM-FW50.

Nota

Se per il modello BKM-FW32/50 viene utilizzato un cavo di rete, assicurarsi che quest'ultimo sia schermato, per evitare la radiazione di onde radio indesiderate. Per ulteriori informazioni sul collegamento, consultare ciascun manuale delle istruzioni.

Per ulteriori informazioni sugli adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW, consultare ciascun manuale delle istruzioni.

Pannello posteriore

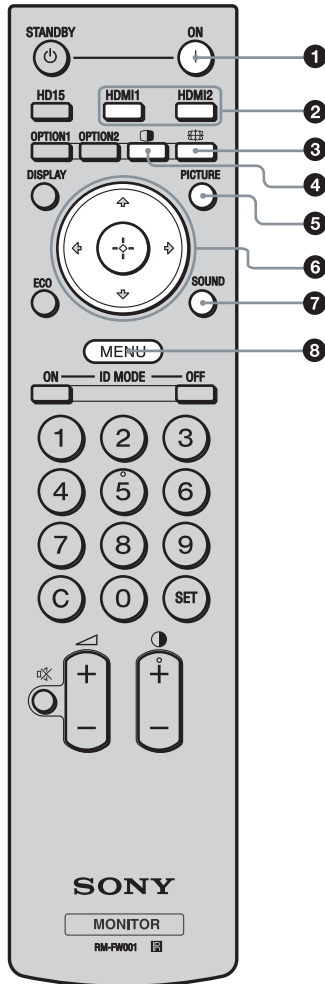


IT

Parti	Descrizione
❶ Presa AC IN	Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa e a una presa a muro. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore POWER/STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa. Vedere pagina 17.
❷ Presa SPEAKER	Collegando i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione) a questa presa, è possibile trasmettere l'audio corrispondente al segnale visualizzato sullo schermo con una maggiore qualità sonora. Assicurarsi di collegare i diffusori in modo corretto. Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori, vedere pagina 19.
❸ Ganci per l'installazione del supporto	Utilizzare questi ganci per installare il supporto per monitor SU-42FW/32FW (non in dotazione).

Telecomando

Descrizione dei tasti



1 Interruttore POWER ON

Premere questo tasto per accendere il monitor.

2 Tasto HDMI 1/HDMI 2

Premere questo tasto per selezionare il segnale trasmesso al connettore HDMI 1 o HDMI 2.

3 Tasto

Premere questo tasto per modificare il rapporto di formato impostandolo su “Modo ampio”. Vedere pagina 14.

4 Tasto

Consente di selezionare il modo “PAP” (Picture And Picture). Ad ogni pressione, la visualizzazione passa dalla schermata a due immagini alla schermata a immagine singola e viceversa. Vedere pagina 15.

5 Tasto PICTURE

Consente di selezionare “Modo immagine”. Ad ogni pressione, il modo si alterna tra “Vivido”, “Standard”, “Personalizzato” e “TC Control”.

6 Tasti

I tasti consentono di spostare il cursore del menu (giallo), impostare i valori e così via. Premendo , è possibile impostare il menu o le voci di impostazione selezionati.

Nel modo “PAP”, è possibile selezionare l’immagine attiva mediante .

7 Tasto SOUND

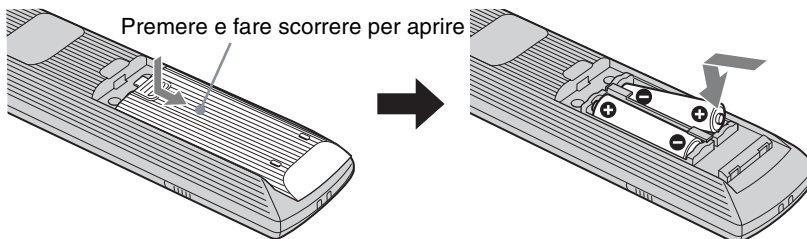
Consente di selezionare “Modo audio”. Ogni pressione del tasto, è possibile alternare tra “Dinamico”, “Standard”, “SRS WOW” e “Personalizzato”.

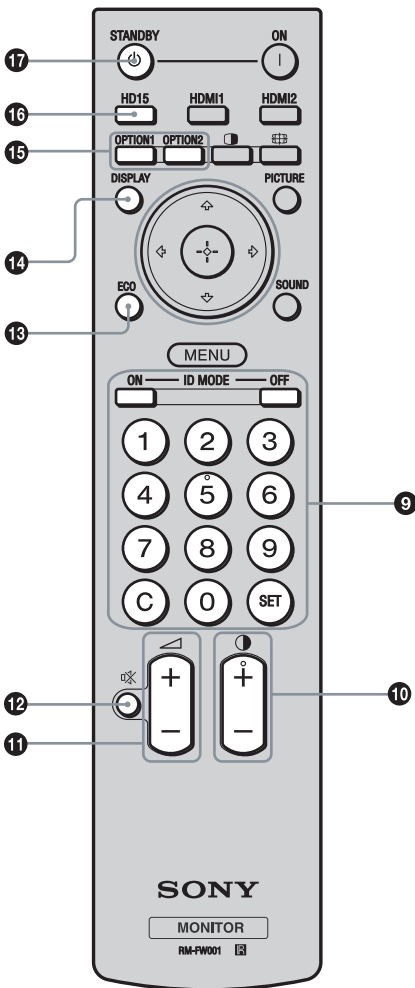
8 Tasto MENU

Premere questo tasto per visualizzare i menu. Premerlo di nuovo per disattivare la visualizzazione dei menu. Vedere pagina 20.

Note

- Sui tasti 5 e è presente un punto tattile, che è possibile utilizzare come riferimento durante l’uso del monitor.
- Inserire due pile formato AA (R6) (in dotazione) allineando i simboli e sulle pile allo schema riportato all’interno dello scomparto pile del telecomando.





9 Tasti ID MODE (ON/O-9/SET/C/OFF)

È possibile utilizzare un monitor specifico senza influenzare altri monitor installati contemporaneamente.

- Tasto ON: premere questo tasto per visualizzare il “Numero indice” sulla schermata.
- Tasti da 0 a 9: premere questi tasti per immettere il “Numero indice” del monitor che si desidera utilizzare.
- Tasto SET: premere questo tasto per impostare il “Numero indice”.
- Tasto C: premere questo tasto per cancellare il “Numero indice” immesso.
- Tasto OFF: premere questo tasto per tornare al modo normale. Vedere pagina 16.

10 Tasto +/-

Consente di regolare il livello (contrasto) dell’immagine.

11 Tasto +/-

Premere questo tasto per regolare il volume.

12 Tasto

Premere questo tasto per disattivare l’audio. Premerlo di nuovo per ripristinare l’audio.

13 Tasto ECO

Premere questo tasto per ridurre il consumo energetico regolando la luminosità della retroilluminazione. Questo tasto consente inoltre di aumentare il livello del nero. Selezionare “No”, “Basso”, “Alto” o “Immagine Off”. Vedere pagina 16.

14 Tasto DISPLAY

Premere questo tasto per visualizzare sullo schermo l’ingresso correntemente selezionato e il tipo di segnale di ingresso, nonché l’impostazione “Modo ampio”. Premerlo di nuovo per disattivare la visualizzazione di tali dati. Le informazioni visualizzate scompaiono automaticamente dopo alcuni secondi.

15 Tasto OPTION 1/OPTION 2

Se è installato un adattatore opzionale, consente di selezionare un segnale di ingresso proveniente dal dispositivo collegato all’adattatore stesso. Premere il tasto OPTION 1 per selezionare il segnale di ingresso del connettore OPTION 1, quindi premere il tasto OPTION 2 per selezionare il segnale di ingresso del connettore OPTION 2.

16 Tasto HD15

Premere questo tasto per selezionare il segnale di ingresso del connettore HD15. I segnali RGB o componente vengono selezionati automaticamente, in base all’apparecchio collegato.

17 Tasto STANDBY

Premere questo tasto per impostare il monitor sul modo di attesa.

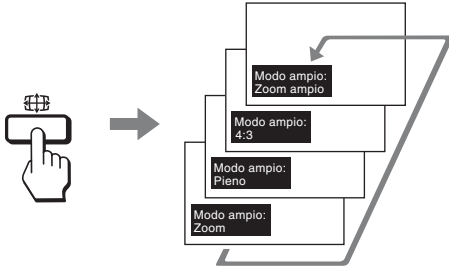
Tasti speciali del telecomando

Uso del Modo ampio

È possibile modificare il rapporto di formato dello schermo.

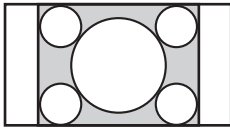
Suggerimento

È inoltre possibile accedere alle impostazioni “Modo ampio” nelle impostazioni “Schermo”. Vedere pagina 25, 29.

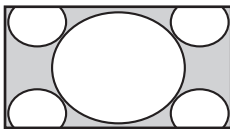


Per l'ingresso Video, DVD o HDMI (diversi dall'ingresso del PC)

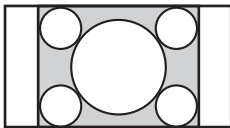
Sorgente di origine 4:3



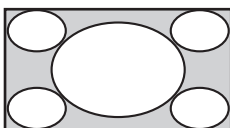
Zoom ampio



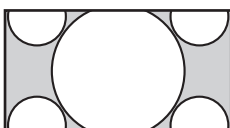
4:3



Pieno



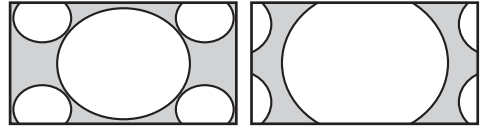
Zoom



Sorgente di origine 16:9



Zoom ampio



4:3



Pieno



Zoom

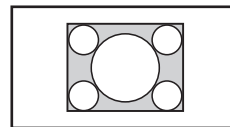


Nota

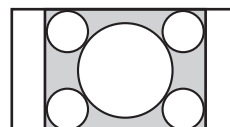
Se viene trasmesso il segnale 1080i, 720p o 1080p, non è possibile selezionare l'opzione “Zoom ampio” o “4:3”. Vedere pagina 25.

Per l'ingresso del PC

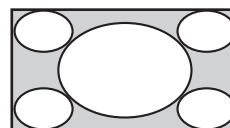
Normale



Pieno 1



Pieno 2



Uso dell'impostazione PAP

È possibile visualizzare una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video.

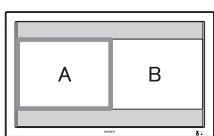
È inoltre possibile invertire la posizione delle immagini sinistra/destra o modificare il bilanciamento delle dimensioni delle immagini sinistra/destra.

Suggerimento

È inoltre possibile accedere alle "Impostazione PAP" nelle impostazioni "Schermo". Vedere pagina 27.

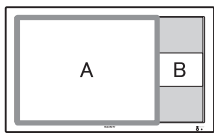


Cursore che indica l'immagine attiva



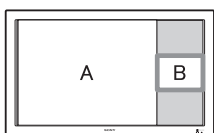
La larghezza di A e B è uguale. L'altezza viene impostata in modo da corrispondere al rapporto di formato di ciascuna immagine.

↓ Premere il tasto ⇐.



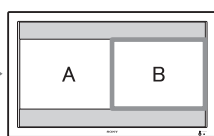
La larghezza di A è superiore a quella di B. Se il rapporto di formato di A è 4:3, la relativa altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

↓ Premere il tasto ⇐.



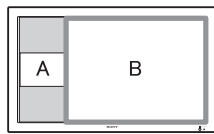
B sul lato destro diventa l'immagine attiva.

↓ Premere il tasto ⇐.



La larghezza di A e B è uguale. L'altezza viene impostata in modo da corrispondere al rapporto di formato di ciascuna immagine.

↓ Premere il tasto ⇒.



La larghezza di B è superiore a quella di A. Se il rapporto di formato di B è 4:3, la relativa altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

Combinazione disponibile di due immagini

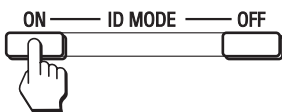
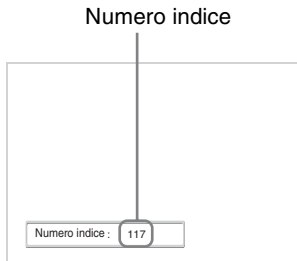
		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RGB	Componente	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	Componente	Video	S Video
HD15	RGB			○	○				
	Componente			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RGB			○	○				
	Componente			○	○				
	Video			○	○				
	S Video			○	○				

Uso del tasto ID MODE

È possibile utilizzare un monitor specifico senza influenzare altri monitor installati contemporaneamente.

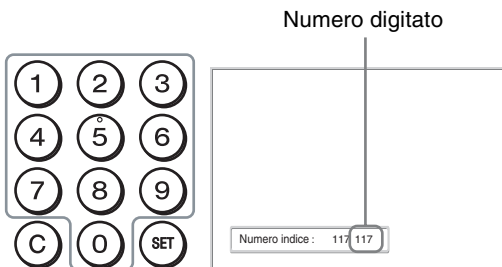
1 Premere il tasto ON.

Il “Numero indice” del monitor viene visualizzato in caratteri neri nel menu nella parte inferiore sinistra della schermata. (Ad ogni monitor è assegnato un “Numero indice” preimpostato compreso tra 1 e 255.)



2 Immettere il “Numero indice” del monitor che si desidera utilizzare mediante i tasti 0 – 9 del telecomando.

Il numero immesso viene visualizzato accanto al “Numero indice” di ogni monitor.



3 Premere il tasto SET.

I caratteri relativi al monitor selezionato diventano di colore verde, mentre gli altri diventano di colore rosso.

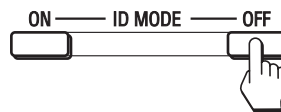


È possibile utilizzare esclusivamente il monitor specificato indicato dai caratteri verdi.

Per gli altri monitor, sono operativi soltanto l'interruttore POWER ON e il tasto STANDBY/ID MODE-OFF.

4 Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto OFF.

Sul monitor viene visualizzata di nuovo la schermata normale.



Per correggere il Numero indice

Premere il tasto **C** per cancellare il “Numero indice” immesso per ultimo. Tornare al punto 2, quindi immettere un nuovo “Numero indice”.

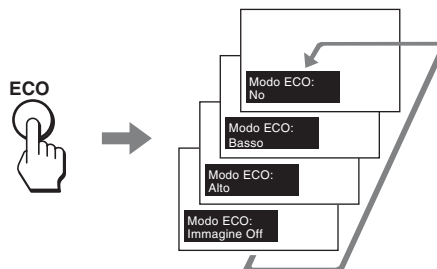


Suggerimento

Per modificare il “Numero indice” del monitor, vedere “Indice telecomando” in “Impostaz. controllo” a pagina 31.

Uso della funzione Modo ECO

È possibile ridurre il consumo energetico del monitor.



Per annullare il Modo ECO

Premere più volte il tasto ECO fino a visualizzare “Modo ECO : No”.

Suggerimenti

- Se il monitor viene spento mentre è attivato “Modo ECO”, alla successiva accensione questo modo rimane attivo, ad eccezione del caso in cui sia impostata l'opzione “Immagine Off”.
- È possibile impostare “Modo ECO” utilizzando le opzioni di “Impostazione”. Selezionare “Modo ECO” in “Impostazione”, quindi impostarlo su “No”, “Basso”, “Alto” o “Immagine Off”.

Operazioni preliminari

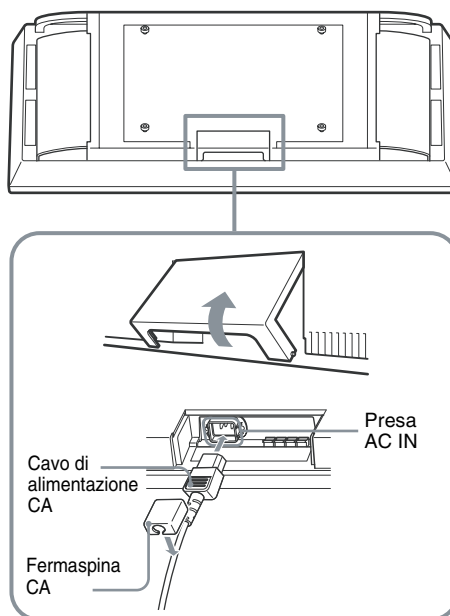
- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi adatti all'apparecchio da collegare.
- Collegare i cavi inserendoli completamente nei connettori o nelle prese. Diversamente, potrebbero verificarsi disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare inoltre riferimento al manuale delle istruzioni del dispositivo da collegare.
- Inserire in modo saldo la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento dei diffusori

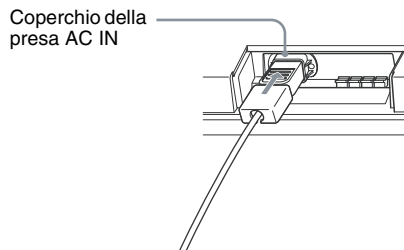
Collegando i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione), è possibile potenziare la visualizzazione mediante effetti sonori realistici. Assicurarsi di collegare i diffusori in modo corretto. Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori, consultare il relativo manuale delle istruzioni. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori, vedere pagina 19.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il fermaspina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



- 2 Fare scorrere il fermaspina CA sul cavo per inserirlo nel coperchio della presa AC IN.

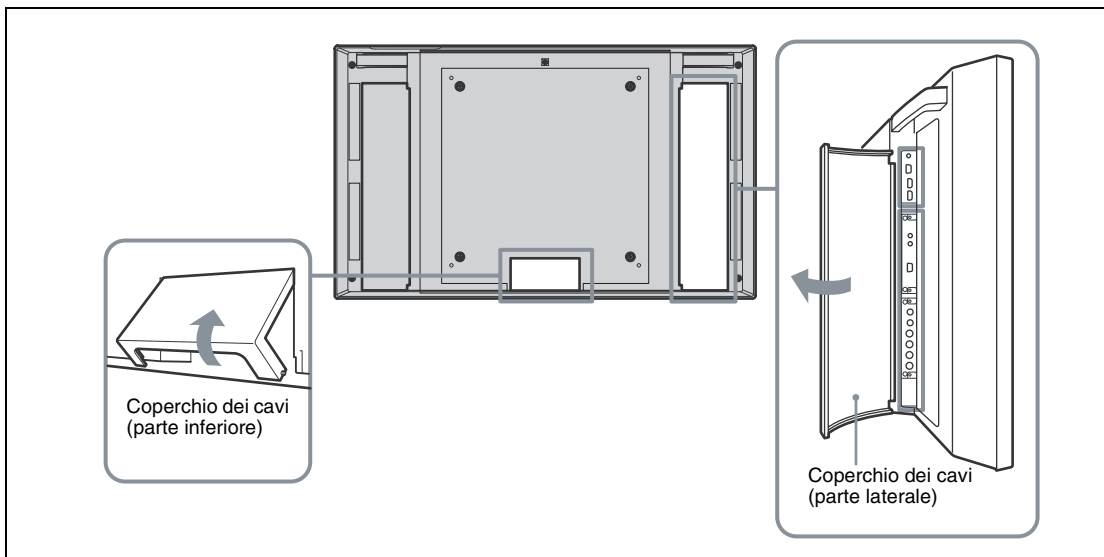


Per scollegare il cavo di alimentazione CA

Dopo avere sbloccato il fermaspina CA premendolo ai lati, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Sistemazione dei cavi

Il monitor dispone di copricavi posti nella parte posteriore, che consente di nascondere i cavi. Prima di collegare i cavi al monitor, aprire i copricavi come illustrato di seguito. Una volta collegati i cavi al monitor, chiudere di nuovo i copricavi.



Uso dei fermacavi

È possibile sistemare i cavi mediante i fermacavi in dotazione.

Applicare i fermacavi come illustrato nella figura riportata di seguito.

Per FWD-40LX2F/40LX2X:

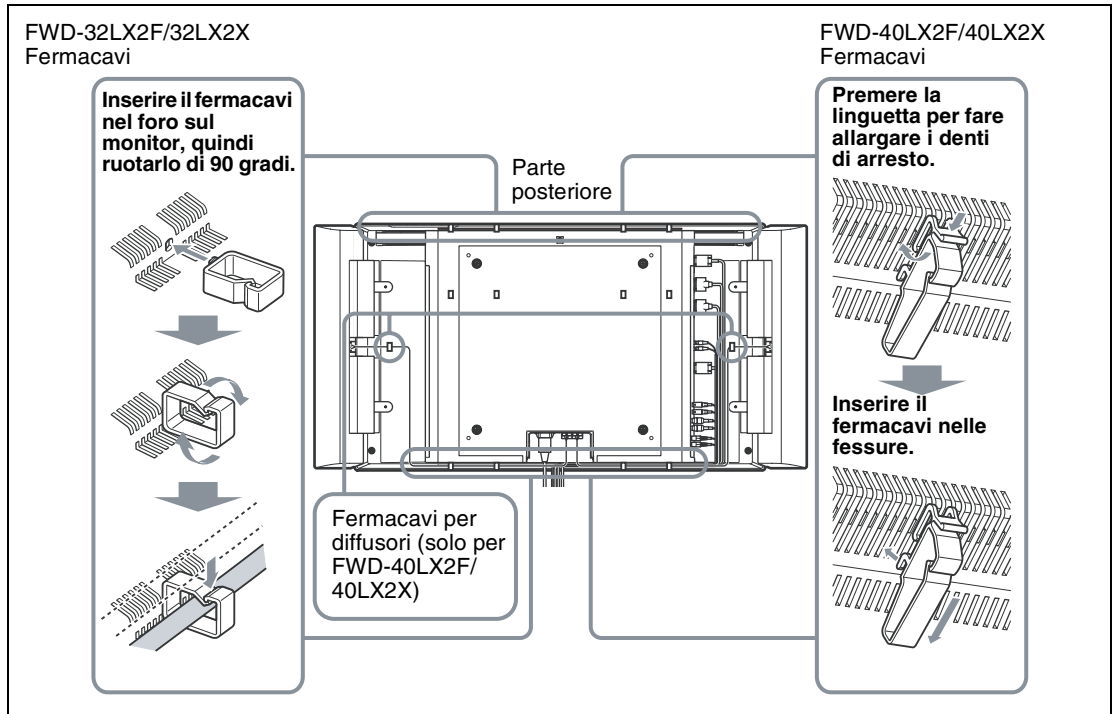
Applicare i due fermacavi (x4 in dotazione) alle fessure situate rispettivamente nelle parti superiore e inferiore.

Per collegare i diffusori (non in dotazione), fare passare i cavi dei diffusori attraverso gli appositi fermacavi nella parte posteriore del monitor.

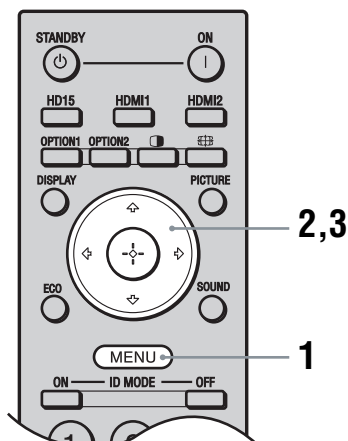
Per FWD-32LX2F/32LX2X:

Scegliere sei degli otto fori (4 nella parte superiore e 4 nella parte inferiore) e applicare i fermacavi (x6 in dotazione).

I fermacavi dei diffusori non sono in dotazione.



Panoramica dei menu



- 1** Premere il tasto MENU.
- 2** Premere \leftarrow/\rightarrow per evidenziare l'icona del menu desiderata.
- 3** Premere \oplus o \rightarrow .
Per uscire dal menu, premere il tasto MENU.

Per modificare la lingua delle indicazioni a schermo

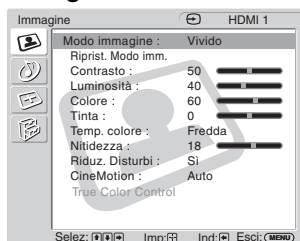
Per le impostazioni e i messaggi a schermo, è possibile selezionare la lingua desiderata: "English", "Español", "Français", "Italiano", "Deutsch" o "日本語".
"English" (inglese) è l'impostazione predefinita.
Vedere pagina 30.

Tramite le impostazioni, è possibile accedere alle funzioni riportate di seguito:

Impostazioni

Consente di impostare/modificare

Immagine



- Modo immagine (pagina 22, 23)
- Riprist. Modo imm. (pagina 22, 23)
- Contrasto (pagina 22, 23)
- Luminosità (pagina 22, 23)
- Colore (pagina 22)
- Tinta (pagina 22)
- Temp. colore (pagina 22, 23)
- Nitidezza (pagina 22)
- Riduz. Disturbi (pagina 22)
- CineMotion (pagina 22)
- True Color Control (pagina 23)

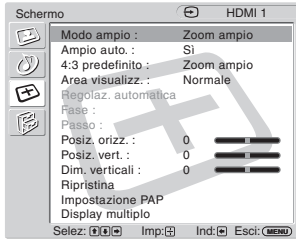
Audio



- Modo audio (pagina 24)
- Riprist. Modo audio (pagina 24)
- Acuti (pagina 24)
- Bassi (pagina 24)
- Bilanciamento (pagina 24)
- Selez. audio comune (pagina 24)
- Uscita Diffusori (pagina 24)

Impostazioni

Schermo



Consente di impostare/modificare

Modo ampio (pagina 25, 29)
Ampio auto. (pagina 25)
4:3 predefinito (pagina 26)
Area visualizz. (pagina 26)
Regolaz. automatica (pagina 29)
Fase (pagina 29)
Passo (pagina 29)
Posiz. orizz. (pagina 26, 29)
Posiz. vert. (pagina 26, 29)
Dim. verticali (pagina 26)
Ripristina (pagina 26, 29)
Impostazione PAP (pagina 27)
Display multiplo (pagina 28)

Impostazione



Lingua (pagina 30)
Impostazione timer (pagina 30)
Modo ECO (pagina 30)
Spegnimento autom. (pagina 30)
Impost. avanzate (pagina 31)
Informazioni (pagina 31)
Ripristina tutto (pagina 32)
IP Address Setup (pagina 32)
Speed Setup (pagina 32)

* A seconda delle impostazioni, è possibile che le icone di menu visualizzate nella parte inferiore della schermata non siano disponibili.



Impostazioni del menu Immagine

Per l'ingresso video



Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Premere \oplus per confermare la selezione.

Nelle impostazioni "Immagine" sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": consente di ottenere immagini con una nitidezza e un contrasto migliori.

"Standard": consente di regolare le impostazioni standard delle immagini.

"Personalizzato": consente di memorizzare le impostazioni preferite.

"TC Control": impostazione in comune con "Vivido". È inoltre possibile utilizzare la funzione "True Color Control" (indicata di seguito).

Suggerimenti

- Per alternare tra le opzioni di "Modo immagine", è inoltre possibile utilizzare PICTURE sul telecomando.
- È possibile modificare le opzioni di "Modo immagine" per ciascun ingresso.

Riprist. Modo imm.

Consente di reimpostare tutte le regolazioni e le impostazioni sui valori predefiniti per il "Modo immagine" correntemente selezionato ("Vivido", "Standard", "Personalizzato", "TC Control") (ad eccezione delle opzioni non disponibili).

Contrasto

Consente di aumentare o ridurre il contrasto delle immagini.

Luminosità

Consente di rendere più chiare o più scure le immagini.

Colore

Consente di aumentare o ridurre l'intensità del colore.

Tinta

Consente di regolare le tonalità di colore dell'immagine.

Nota

La voce "Tinta" non è disponibile se viene selezionato l'ingresso video o S Video e il sistema di colore del segnale video non è di tipo NTSC.

Temp. colore

"Fredda": consente di ottenere colori bianchi con una tinta bluastra.

"Neutra": consente di ottenere colori bianchi con una tinta neutra.

"Calda": consente di ottenere colori bianchi con una tinta rossastra.

Nitidezza

Consente di rendere più o meno nitide le immagini.

Riduz. Disturbi

Consente di ridurre il livello di disturbo dell'apparecchio collegato. Selezionare "Sì" o "No".

CineMotion

Selezionare "Auto" per ottimizzare automaticamente la visualizzazione rilevando contenuti quali filmati e applicando il processo reverse pull down 3-2 o pull down 2-2. In questo modo, le immagini in movimento risultano più nitide e naturali. Selezionare "No" per disattivare la funzione di rilevamento.

True Color Control

È possibile regolare i dettagli relativi alla tinta e alla saturazione di ciascuna dei 4 colori: rosso, verde, giallo, blu, nonché evidenziare colori specifici dell'immagine. Selezionare il colore che si desidera regolare e controllare la parte dell'immagine corrente da regolare. Quindi, è possibile regolare tale colore utilizzando la finestra di dialogo matrice.

Note

- Questa opzione può essere regolata quando "Modo immagine" è impostato su "TC Control".
- Nel modo "PAP", non è possibile selezionare questa opzione. Se si seleziona questa opzione nella schermata a immagine singola, è possibile che la relativa impostazione non venga applicata nel modo "PAP".

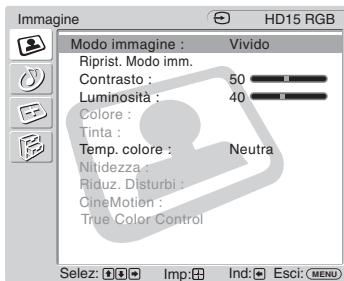
Suggerimento

È possibile modificare le impostazioni del menu "Immagine" ("Contrasto", "Luminosità", "Colore" e così via) per ciascun "Modo immagine".

Note

- Nel modo "PAP", non è possibile selezionare alcuna opzione del menu "Immagine".
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu "Immagine" non sono disponibili.

Per l'ingresso del PC



Se come sorgente di ingresso viene selezionato un PC, vengono visualizzate le impostazioni di "Immagine" specifiche dell'ingresso del PC.

Nel menu "Immagine" per l'ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": consente di ottenere immagini con una nitidezza e un contrasto migliori.
"Standard": consente di regolare le impostazioni standard delle immagini.
"Personalizzato": consente di memorizzare le impostazioni preferite.
"TC Control": impostazione in comune con "Vivido". È inoltre possibile utilizzare la funzione "True Color Control" (indicata di seguito).

Riprist. Modo imm.

Consente di reimpostare tutte le regolazioni e le impostazioni sui valori predefiniti per il "Modo immagine" correntemente selezionato ("Vivido", "Standard", "Personalizzato", "TC Control") (ad eccezione delle opzioni non disponibili).

Contrasto

Consente di aumentare o ridurre il contrasto delle immagini.

Luminosità

Consente di rendere più chiare o più scure le immagini.

Temp. colore

Per l'ingresso video, vedere la voce "Temp. colore" (pagina 22).

True Color Control

Per l'ingresso video, vedere la voce "True Color Control" (pagina 23).

Note

- "Colore", "Tinta", "Nitidezza", "Riduz. Disturbi" e "CineMotion" non sono disponibili per l'ingresso del PC.
- Nel modo "PAP", non è possibile selezionare alcuna opzione del menu "Immagine".
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu "Immagine" non sono disponibili.

Impostazioni del menu Audio



Se sono stati installati i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione), è possibile regolare varie impostazioni “Audio”.

Per evidenziare un’opzione e modificare le impostazioni, premere $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Premere \oplus per confermare la selezione.

Nelle impostazioni “Audio” sono incluse le seguenti opzioni:

Modo audio

“Dinamico”: consente di potenziare gli acuti e i bassi.

“Standard”: impostazione standard.

“SRS WOW”: consente di ottenere un audio stereo particolarmente “ampio” riproducendo toni bassi notevolmente dettagliati e potenti e toni acuti estremamente nitidi, permettendo di ottenere gli effetti audio potenti tipici delle sale cinematografiche.

“Personalizzato”: consente di memorizzare le impostazioni preferite.

Suggerimenti

- Per alternare tra le opzioni di “Modo audio”, è inoltre possibile utilizzare SOUND sul telecomando.
- A “Dinamico” e “Standard” sono applicate le tecnologie proprietarie di BBE Sound, Inc.

Riprist. Modo audio

Consente di ripristinare sui valori predefiniti le impostazioni “Acuti”, “Bassi” e “Bilanciamento”.

Acuti

Consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni alti.

Bassi

Consente di aumentare o ridurre i suoni caratterizzati da toni bassi.

Bilanciamento

Consente di enfatizzare il bilanciamento dei diffusori sinistro o destro.

Selez. audio comune

“HD15”: consente di trasmettere l’audio da un apparecchio video o un PC collegati al connettore HD15 (RGB/COMPONENT IN) e al connettore AUDIO (COMMON AUDIO IN).

“HDMI 1”/“HDMI 2”: consente di collegare un dispositivo utilizzando un cavo HDMI (non in dotazione) o un cavo da HDMI a DVI e contemporaneamente il cavo audio corrispondente.

Vedere pagina 8.

Note

- Se viene utilizzato un cavo da HDMI a DVI (non in dotazione), collegare il cavo audio al connettore AUDIO (COMMON AUDIO IN).
- Se viene selezionato “HDMI 1”/“HDMI 2”, l’audio digitale non viene trasmesso dai connettori HDMI. Se ai connettori HDMI 1/HDMI 2 viene collegato un apparecchio video dotato di un connettore HDMI, impostare “Selez. audio comune” su “HD15”. (L’impostazione predefinita è “HD15”.)

Uscita Diffusori

“Si”: consente di trasmettere l’audio dai diffusori.

“No”: consente di disattivare la trasmissione dell’audio dai diffusori.

Nota

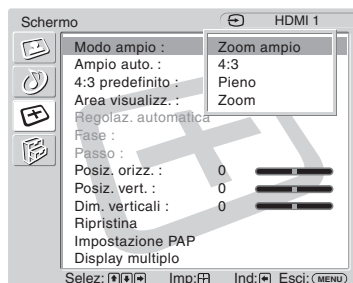
Se “Uscita Diffusori” è impostato su “No”, non è possibile selezionare “Modo audio”, “Riprist. Modo audio”, “Acuti”, “Bassi” e “Bilanciamento”.

Suggerimento

È possibile regolare i menu relativi alla qualità audio (“Acuti” e “Bassi”) quando “Modo audio” è impostato su “Personalizzato”.

Impostazioni del menu Schermo

Per l'ingresso video



Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.
Premere \oplus per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Schermo" sono incluse le seguenti opzioni:

Modo ampio

"Zoom ampio": consente di ingrandire le immagini in modo da riempire lo schermo causando solo una distorsione minima.

"4:3": consente di visualizzare le immagini con rapporto di formato 4:3 nelle dimensioni originali qualora la sorgente di origine sia di tipo 4:3 (sorgente a definizione standard).

"Pieno": consente di ingrandire le immagini originali orizzontalmente in modo da riempire lo schermo qualora la sorgente di origine sia di tipo 4:3 (sorgente a definizione standard). Se la sorgente di origine è di tipo 16:9 (sorgente ad alta definizione), selezionare questo modo per visualizzare le immagini con rapporto di formato 16:9 nelle dimensioni originali.

"Zoom": consente di ingrandire le immagini originali senza causare alcuna distorsione del rapporto di formato.

Vedere pagina 14.

Suggerimenti

- Per alternare tra le opzioni di "Modo ampio", è inoltre possibile utilizzare $\left[\oplus\right]$ sul telecomando.
- Selezionare "Zoom" per visualizzare i filmati e altro contenuto dei DVD utilizzando l'intera area di visualizzazione dello schermo.
- Per i modi "Zoom ampio" e "Zoom", è possibile regolare le voci "Posiz. orizz.", "Posiz. vert." e "Dim. verticali". Vedere pagina 26.

Note

- Non è possibile impostare "Modo ampio" durante l'uso della funzione "PAP" o dell'opzione "Display multiplo".
- "Zoom ampio" e "4:3" non possono essere selezionati per i segnali 1080i, 720p o 1080p trasmessi ai connettori componente o HDMI.

Ampio auto.

"SI": consente di individuare le immagini e modificarle automaticamente impostandole sul modo di visualizzazione appropriato.

"No": il modo di visualizzazione non viene modificato automaticamente.

Note

- Durante l'immissione dei segnali RGB digitali e analogici, non è possibile impostare "Ampio auto." in quanto questa funzione non è disponibile.
- Non è possibile impostare "Ampio auto." durante l'uso delle funzioni "PAP" o "Display multiplo".

4:3 predefinito

“Zoom ampio”: consente di ingrandire le immagini con rapporto di formato 4:3 in modo da riempire lo schermo 16:9, mantenendo il più possibile le caratteristiche delle immagini originali.

“4:3”: consente di visualizzare le immagini 4:3 senza modificarne il rapporto di formato.

“Pieno”: consente di ingrandire le immagini con rapporto di formato 4:3 solo orizzontalmente, in modo da riempire lo schermo 16:9.

“Zoom”: consente di ingrandire le immagini 4:3 in modo da riempire l’area di visualizzazione, mantenendone il rapporto di formato. Questa opzione risulta utile per la visualizzazione dei filmati in formato Letterbox.

“No”: consente di continuare ad utilizzare l’impostazione corrente del modo ampio anche se viene modificato l’ingresso.

Note

- È possibile selezionare “4:3 predefinito” solo se “Ampio auto.” è impostato su “Sì”.
- “4:3 predefinito” è disponibile solo se vengono ricevuti segnali NTSC, PAL, SECAM, 480i, 480p, 575i o 576p.
- Se l’impostazione di “Modo ampio” viene modificata dopo che è stato impostato “4:3 predefinito”, tale impostazione di “Modo ampio” diventa effettiva e il rapporto di formato dello schermo viene modificato. Una successiva modifica dell’impostazione mediante “Modo ampio” diventa effettiva soltanto per ciascun segnale di ingresso, pertanto quando il segnale di ingresso viene cambiato lo schermo torna all’impostazione “4:3 predefinito” originale. Per mantenere il rapporto di formato corrente anche in seguito al cambiamento di segnale di ingresso, impostare “4:3 predefinito” su “No”.

Area visualizz.

“Normale”: consente di visualizzare le immagini con dimensioni standard.

“-1”/“-2”: consente di regolare le dimensioni dell’area di visualizzazione.

Selezionare questa voce per eliminare gli eventuali disturbi che appaiono attorno all’immagine.

Posiz. orizz.

Consente di modificare la posizione delle immagini spostandole verso sinistra o verso destra all’interno della finestra di visualizzazione. Disponibile solo per i modi “Zoom ampio” e “Zoom”. Premere ⇄, quindi ⊕ per scegliere un tipo di correzione.

Posiz. vert.

Consente di modificare la posizione delle immagini spostandole verso l’alto o verso il basso all’interno della finestra di visualizzazione. Disponibile solo per i modi “Zoom ampio” e “Zoom”. Premere ⇅, quindi ⊕ per scegliere un tipo di correzione.

Dim. verticali

Consente di regolare le dimensioni verticali delle immagini. Disponibile solo per i modi “Zoom ampio” e “Zoom”. Premere ⇅, quindi ⊕ per scegliere un tipo di correzione.

Ripristina

Consente di ripristinare sui valori predefiniti le impostazioni “Posiz. orizz.”, “Posiz. vert.” e “Dim. verticali”.

Impostazione PAP

Consente di visualizzare una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video. È disponibile soltanto la combinazione di un segnale analogico e un segnale digitale.

“PAP”: “Sì” consente di visualizzare contemporaneamente due immagini una accanto all'altra; “No” consente di disattivare la funzione “PAP”.

“Inverti”: “Esegui” consente di invertire la posizione delle due immagini; “Annulla” consente di annullare l'azione.

“Dimens. PAP”:

“Ampio sinistra”: la larghezza dell'immagine a sinistra è superiore a quella dell'immagine a destra.

Se il rapporto di formato dell'immagine a sinistra è 4:3, l'altezza della stessa corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

“Pari”: la larghezza delle due immagini è uguale (metà e metà). L'altezza viene impostata in modo da corrispondere al rapporto di formato di ciascuna immagine.

“Ampio destra”: la larghezza dell'immagine a destra è superiore a quella dell'immagine a sinistra.

Se il rapporto di formato dell'immagine a destra è 4:3, l'altezza della stessa corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

Note

- È possibile visualizzare due immagini soltanto se “Display multiplo” è impostato su “No”.
 - Se sono visualizzate due immagini, vengono applicate le impostazioni “Immagine” regolate durante la visualizzazione di una singola immagine.
 - Per ulteriori informazioni sulle combinazioni di due immagini disponibili, vedere a pagina 15.
-

Display multiplo

È possibile eseguire le impostazioni per il collegamento di più monitor che formano un videowall.

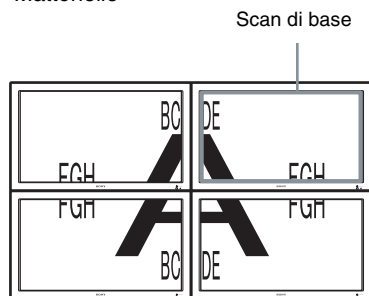
“Display multiplo”: “No” per utilizzare un singolo schermo; “2x2”-“4x4” consente di selezionare la disposizione da impiegare per creare il videowall.

“Posizione” (presente monitor): consente di selezionare la posizione del presente monitor nella disposizione del videowall mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$. Premere \oplus per impostare la posizione.

“Formato uscita”: è possibile selezionare due formati di trasmissione delle immagini, come illustrato nelle figure. È sufficiente selezionare uno dei formati affinché venga effettuata la trasmissione adatta dell’immagine senza necessità di regolare manualmente le posizioni orizzontale e verticale.

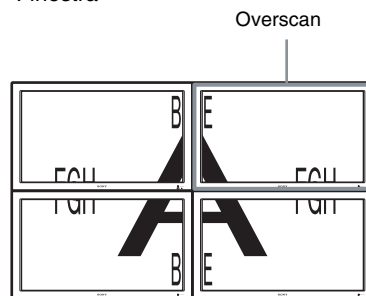
Selezionare “Mattonelle” o “Finestra”.

“Mattonelle”



Per visualizzare il segnale completo su ciascun monitor.

“Finestra”



Per visualizzare su più monitor un'immagine di grandi dimensioni con un effetto naturale. Parte del segnale si estende al di fuori dell'area di visualizzazione.

“Attiva LED”: “Sì”, l’indicatore POWER/STANDBY sul pannello anteriore (pagina 7) rimane costantemente illuminato; “No”, l’indicatore POWER/STANDBY sul pannello anteriore rimane disattivato.

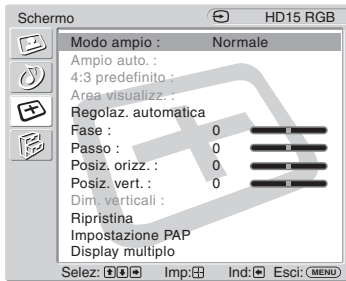
Note

- Mediante l’opzione “Display multiplo”, è possibile visualizzare un’immagine ingrandita mantenendo in modo ottimale l’impostazione “Modo ampio” corrente per l’ingresso video, nonché visualizzare un’immagine ingrandita per cui il “Modo ampio” è impostato su “Pieno 2” per l’ingresso PC.
- È possibile impostare “Display multiplo” solo se la funzione “PAP” è disattivata.
- Se è stata selezionata una “Posizione” inferiore destra, l’indicatore POWER/STANDBY si illumina anche se l’opzione “Attiva LED” viene impostata su “No”. L’indicatore si illumina anche nei seguenti casi: monitor disattivato (attesa), errori rilevati, monitor in modo di sospensione, nessun segnale trasmesso o segnale trasmesso non supportato.

Note

- “Area visualizz.,” “Posiz. orizz.,” “Posiz. vert.” e “Dim. verticali” non sono disponibili durante l’uso della funzione “PAP” o dell’opzione “Display multiplo”.
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu “Schermo” non sono disponibili, ad eccezione di “Impostazione PAP” e “Display multiplo”.

Per l'ingresso del PC



Se come sorgente di ingresso viene selezionato un PC, vengono visualizzate le impostazioni “Schermo” specifiche dell’ingresso del PC.

Nel menu “Schermo” per l’ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Modo ampio

“Normale”: consente di visualizzare le immagini nelle dimensioni originali.

“Pieno 1”: consente di ingrandire le immagini in modo da riempire l’area di visualizzazione in senso verticale, mantenendo il rapporto di formato da orizzontale a verticale originale. Attorno alle immagini viene visualizzata una cornice nera.

“Pieno 2”: consente di ingrandire le immagini in modo da riempire l’area di visualizzazione.

Nota

Non è possibile impostare “Modo ampio” durante l’uso della funzione “PAP” o dell’opzione “Display multiplo”.

Regolaz. automatica

Consente di regolare automaticamente la posizione di visualizzazione e la fase delle immagini quando il monitor riceve un segnale di ingresso dal PC collegato.

È possibile che “Regolaz. automatica” non funzioni correttamente con alcuni segnali di ingresso. In tali casi, regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.

Fase

Consente di regolare la fase nel caso si verificano sfarfallii.

Passo

Consente di regolare il passo qualora sull’immagine vengano visualizzate strisce verticali indesiderate.

Posiz. orizz.

Consente di modificare la posizione delle immagini spostandole verso sinistra o verso destra all’interno della finestra di visualizzazione. Premere \leftarrow/\rightarrow , quindi \oplus per scegliere un tipo di correzione.

Posiz. vert.

Consente di modificare la posizione delle immagini spostandole verso l’alto o verso il basso all’interno della finestra di visualizzazione. Premere \uparrow/\downarrow , quindi \oplus per scegliere un tipo di correzione.

Ripristina

Consente di ripristinare sui valori predefiniti le impostazioni “Fase”, “Passo”, “Posiz. orizz.” e “Posiz. vert.”.

Impostazione PAP

Per l’ingresso video, vedere la voce “Impostazione PAP” (pagina 27).

Display multiplo

Per l’ingresso video, vedere la voce “Display multiplo” (pagina 28).

Note

- “Ampio auto.”, “4:3 predefinito”, “Area visualizz.” e “Dim. verticali” non sono disponibili per l’ingresso del PC.
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale, le opzioni del menu “Schermo” non sono disponibili, ad eccezione di “Impostazione PAP” e “Display multiplo”.
- Se il segnale viene immesso tramite HDMI 1/HDMI 2, le opzioni “Regolaz. automatica”, “Fase” e “Passo” non sono disponibili per l’ingresso PC.

Impostazioni del menu Impostazione



Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni, premere $\leftarrow/\rightarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Premere \oplus per confermare la selezione.

Nelle impostazioni "Impostazione" sono incluse le seguenti opzioni:

Lingua

Consente di visualizzare tutte le impostazioni nella lingua selezionata: "English", "Español", "Français", "Italiano", "Deutsch" o "日本語".

Impostazione timer

È possibile regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato oppure impostare il timer affinché il monitor si accenda/spenga ad un'ora preimpostata.

"Impostaz. ora": consente di impostare l'ora e il giorno.

"Display ora": consente di mostrare l'ora corrente sullo schermo se la relativa visualizzazione è impostata su "Sì".

"Timer Sì/No": consente di impostare l'ora in cui si desidera che l'apparecchio venga attivato o disattivato automaticamente.

Nota

Se l'orologio incorporato non funziona correttamente, è possibile che la batteria interna sia scarica. Per la sostituzione della batteria, rivolgersi ad un rivenditore Sony autorizzato.

Modo ECO

"No": consente di visualizzare le immagini senza utilizzare la funzione di risparmio energetico.

"Basso"/"Alto": consente di visualizzare le immagini riducendo il consumo energetico. Questa impostazione consente inoltre di aumentare il livello del nero.

"Immagine Off": consente di disattivare la visualizzazione delle immagini. L'audio rimane attivo con il livello di volume selezionato.

Spegnimento autom.

"Sì": nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso video o S Video per oltre 5 minuti circa, il monitor entra automaticamente nel modo di attesa. Se non viene immesso alcun segnale ai connettori di ingresso HDMI o RGB/componente per oltre 30 secondi circa, il monitor entra automaticamente nel modo di risparmio energetico.

"No": il monitor non si spegne automaticamente, anche se ai connettori non viene trasmesso alcun segnale.

Suggerimento

Per accendere il monitor nel modo di attesa, premere l'interruttore ⏻ POWER posto sul monitor oppure il tasto POWER ON sul telecomando. Nel modo di risparmio energetico, il monitor si accende automaticamente all'immissione di un segnale.

Impost. avanzate

“Standard colore”: selezionare il sistema di colore dei segnali video tra “NTSC”, “PAL”, “SECAM”, “NTSC4.43”, “PAL-M”, “PAL-N”, “PAL60”; in alternativa, selezionare “Automatico” affinché il sistema di colore venga impostato automaticamente.

“Display di stato”: “Sì” consente di visualizzare per circa 20 secondi il segnale di ingresso e le informazioni del “Modo ampio” all’accensione del monitor e per circa 5 secondi le informazioni sul segnale di ingresso quando questo viene cambiato, mentre “No” consente di disattivare la visualizzazione delle informazioni di stato.

Suggerimento

È possibile visualizzare il segnale di ingresso e le informazioni relative a “Modo ampio” utilizzando DISPLAY sul telecomando, indipendentemente dall’impostazione di “Display di stato”.

“Illuminazione”: “Sì” per illuminare il logo Sony sulla parte anteriore del monitor e “No” per disattivare la funzione.

“Impostaz. controllo”: consente di regolare le impostazioni di funzionamento del monitor e del telecomando.

“Indice telecomando”: è possibile modificare il “Numero indice” del monitor, se necessario. Selezionare per impostare il “Numero indice” del monitor mediante \uparrow/\downarrow , quindi premere \oplus per confermare l’impostazione.

Nota

Per l’impostazione del “Numero indice”, utilizzare i tasti sul monitor. Non è possibile impostare il “Numero indice” mediante il telecomando.

“Modo controllo”

“Display+Telecom.”: è possibile utilizzare il monitor tramite i tasti di comando sul monitor e sul telecomando.

“Solo display”: consente di disattivare l’uso del telecomando. È possibile regolare le impostazioni del monitor soltanto utilizzando i tasti di controllo sull’apparecchio.

“Solo telecom.”: per disattivare i comandi sull’apparecchio. È possibile regolare le impostazioni del monitor soltanto utilizzando il telecomando.

“Tutto Off”: consente di disattivare il funzionamento del telecomando e dei tasti di comando del monitor. È possibile utilizzare il monitor tramite il connettore REMOTE del monitor (BKM-FW20) e l’adattatore opzionale con funzioni di comunicazione (ad esempio BKM-FW32/FW50).

Note

- Durante l’uso di questa voce, i modi selezionabili variano in base al tasto che viene utilizzato. Se per l’impostazione viene utilizzato \oplus sul telecomando, è possibile selezionare soltanto “Display+Telecom.” o “Solo telecom.”. Se per l’impostazione viene utilizzato \uparrow/\downarrow sul monitor, è possibile selezionare soltanto “Display+Telecom.” o “Solo display”.
- Se questa opzione è impostata su “Tutto Off”, non è possibile utilizzare il monitor mediante il telecomando e i tasti di comando del monitor stesso. È possibile tornare all’impostazione “Display+Telecom.” premendo contemporaneamente MENU e \triangleleft sul monitor per oltre 5 secondi.

Informazioni

Consente di visualizzare il “Nome modello”, il “Numero di serie”, il “Tempo funzionam.”, la “Vers. Software” e l’“IP Address” del monitor.

Nota

L’“IP Address” non è visualizzato se non è installato l’adattatore opzionale con funzioni di rete.

Ripristina tutto

Consente di ripristinare tutte le voci del menu “Impostazione” sui valori predefiniti.

Nota

Le voci dell’opzione “Informazioni” e il “Numero indice” non vengono ripristinati.

IP Address Setup

Consente di impostare un indirizzo IP per abilitare la comunicazione tra un adattatore opzionale dotato di funzioni di comunicazione (quale BKM-FW32/FW50) installato nel monitor, e un apparecchio quale un PC collegato tramite il cavo LAN.

“DHCP”: “OK” consente di impostare automaticamente l’indirizzo IP; “Cancel” consente di annullare la configurazione automatica.

Nota

Se un indirizzo IP è stato ottenuto automaticamente utilizzando DHCP, ogni volta che si spegne e si riaccende il monitor è possibile che l’indirizzo IP non corrisponda.

“Manual”: consente di impostare manualmente l’indirizzo IP.

- 1 Selezionare “IP Address”, “Subnet Mask”, “Default Gateway”, “Primary DNS” e “Secondary DNS” da impostare manualmente tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere \oplus .
- 2 Impostare il valore a tre cifre (da 0 a 255) per la prima casella utilizzando \uparrow/\downarrow sul monitor o i tasti numerici sul telecomando, quindi premere \oplus o \leftrightarrow .
- 3 Impostare il valore a tre cifre (da 0 a 255) per ciascuna delle quattro caselle, quindi premere \oplus .
- 4 Selezionare la voce successiva da impostare manualmente utilizzando \uparrow/\downarrow , ripetere la stessa procedura, quindi premere \oplus .
- 5 Una volta impostati i valori per tutte le voci desiderate, selezionare “Execute” con \uparrow/\downarrow , quindi premere \oplus .

Selezionare “OK”, quindi premere \oplus . L’indirizzo IP è stato impostato manualmente.

Nota

Se un l’indirizzo IP non è stato impostato correttamente, vengono visualizzati i seguenti codici di errore in base alla causa del problema.

Errore 1: errore di comunicazione tra il monitor e un adattatore opzionale quale BKM-FW32 o BKM-FW50.

Errore 2: l’indirizzo IP specificato è già in uso per un altro dispositivo

Errore 3: errore dell’indirizzo IP.

Errore 4: errore dell’indirizzo del Gateway.

Errore 5: errore dell’indirizzo del Primary DNS.

Errore 6: errore dell’indirizzo del Secondary DNS.

Errore 7: errore della Subnet mask.

Speed Setup

Consente di impostare una velocità di comunicazione tra un adattatore opzionale dotato di funzioni di comunicazione (quale BKM-FW32/FW50) installato nel monitor, e un apparecchio quale un PC collegato tramite il cavo LAN.

“Speed”: selezionare “Auto” per impostare automaticamente una velocità di comunicazione appropriata per la configurazione della rete. È inoltre possibile selezionare manualmente “10Mbps Half”, “10Mbps Full”, “100Mbps Half” o “100Mbps Full”.

“Execute”: selezionare “OK”, quindi premere \oplus . La velocità di comunicazione è stata impostata.

Nota


“IP Address Setup” e “Speed Setup” non sono disponibili se non è installato l’adattatore opzionale con funzioni di rete.

Guida alla soluzione dei problemi

Verificare se l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia in rosso.

Se lampeggia

La funzione di autodiagnostica è attivata.

- 1 Verificare il numero di volte in cui l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia e l'intervallo di tempo in cui smette di lampeggiare.
Ad esempio, l'indicatore lampeggia 2 volte, smette di lampeggiare per 3 secondi, quindi lampeggia 2 volte.
- 2 Premere  sul monitor (parte superiore) per disattivarlo e scollegare il cavo di alimentazione.
Rivolgersi al proprio rivenditore di fiducia o ad un centro di assistenza Sony riferendo le informazioni sull'indicatore (numero di lampeggiamenti e intervalli).

Se non lampeggia

- 1 Controllare la tabella riportata di seguito.
- 2 Se il problema persiste, fare riparare il monitor da personale qualificato.



Problema	Soluzioni possibili
L'interruttore di alimentazione e i tasti di comando sul monitor non funzionano.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare "Impostaz. controllo" (pagina 31).
Assenza di immagini.	
Le immagini non vengono visualizzate.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare le impostazioni di "Modo ECO" (pagina 30).
Il monitor si disattiva automaticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare se "Impostazione timer" è attivato (pagina 30).
Le sorgenti video non trasmettono alcuna immagine.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare il collegamento tra l'apparecchio video e il monitor. • Impostare l'ingresso utilizzando il tasto INPUT del monitor o il telecomando (pagina 7, 12, 13).
Qualità scarsa delle immagini.	
Assenza di colore/Immagine scura/Immagine eccessivamente chiara/Colori errati.	<ul style="list-style-type: none"> • Premere PICTURE per selezionare il "Modo immagine" desiderato (pagina 12). • Regolare le opzioni del "Modo immagine" nel menu "Immagine" (pagina 22). • Verificare le condizioni del cavo del segnale.
Assenza di audio/Audio disturbato.	
La qualità delle immagini è buona, ma l'audio non viene trasmesso.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare la regolazione del volume. • Premere  sul telecomando oppure + affinché l'indicazione "Muting" scompaia (pagina 13). • Verificare le impostazioni di "Selez. audio comune" (pagina 24). • Verificare le impostazioni "Uscita Diffusori" (pagina 24).
L'impostazione "Modo ampio" cambia automaticamente.	<ul style="list-style-type: none"> • L'impostazione "Modo ampio" corrente passa automaticamente all'impostazione appropriata per l'ingresso corrente se "Ampio auto." nel menu "Schermo" è impostato su "Sì". Per mantenere l'impostazione "Modo ampio" corrente anche se l'ingresso viene cambiato, impostare "Ampio auto." su "No" nel menu "Schermo" (pagina 25).
Il telecomando non funziona.	<ul style="list-style-type: none"> • Verificare la polarità delle pile oppure sostituirle. • Puntare il telecomando in direzione del sensore dei comandi a distanza del monitor. • Accertarsi che non vi siano ostacoli nell'area attorno al sensore dei comandi a distanza. • Verificare "Impostaz. controllo" (pagina 31). • Verificare che al connettore CONTROL S IN sia collegato un cavo. Non è possibile utilizzare il telecomando durante il controllo del monitor tramite un collegamento CONTROL S. • Le fonti di illuminazione a fluorescenza possono interferire con il funzionamento del telecomando. Spegnerne eventuali lampade a fluorescenza.

Tabella di riferimento dei segnali di ingresso

Segnali del PC

	Risoluzione	Frequenza orizzontale (kHz)	Frequenza verticale (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29,5	60
13	848 × 480@75 Hz	37,7	75
14	1280 × 768@60 Hz	47,8	60
15	1280 × 768@60 Hz	47,4	60
16	1360 × 768@60 Hz	47,7	60
17	1360 × 768@60 Hz	47,4	60

Segnali video/televisore

	Risoluzione	Ingressi disponibili		
		Video	Componente/RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

- a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, U.S.A.
 b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.

Note

- Per i segnali HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al 2° piedino di RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini) sul connettore HD15 o a BKM-FW12 (adattatore opzionale).
- Se dopo avere trasmesso un segnale DVD al monitor i colori risultano eccessivamente chiari, regolare l'opzione "Colore" nel menu "Immagine".
- Se la fase viene regolata di nuovo, la risoluzione verrà ridotta.

Indicazioni a schermo del segnale di ingresso e dello stato del monitor

Indicazione a schermo	Significato
640 × 480 / 60 (ad es.)	È stato selezionato un segnale di ingresso PC.
480 / 60i (ad es.)	È stato selezionato un segnale di ingresso video componente.
NTSC (ad es.)	È stato selezionato un segnale di ingresso NTSC.
Segnale non supportato	Non è supportato il segnale di ingresso.
Nessun segnale	Non è stato trasmesso alcun segnale di ingresso.
HD15	È stato selezionato un segnale di ingresso HD15.
HDMI 1	È stato selezionato un segnale di ingresso HDMI 1.
HDMI 2	È stato selezionato un segnale di ingresso HDMI 2.
Option 1	È stato selezionato un segnale di ingresso OPTION 1.
Option 2	È stato selezionato un segnale di ingresso OPTION 2.

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Sistema del monitor

Display LCD a matrice attiva TFT a-Si

Risoluzione dello schermo

1.366 punti (orizzontale) × 768 linee
(verticale)

Frequenza di campionamento

da 13,5 MHz a 140 MHz

Sistema di colore NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43,

PAL60, PAL-M, PAL-N

Segnale di ingresso

Vedere pagina 34.

FWD-40LX2F/40LX2X:

Passo pixel 0,648 (orizzontale) × 0,648 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

885 (orizzontale) × 498 (verticale) mm

Dimensioni del monitor

40" (diagonale 1.016 mm)

FWD-32LX2F/32LX2X:

Passo pixel 0,510 (orizzontale) × 0,510 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

698 (orizzontale) × 392 (verticale) mm

Dimensioni del monitor

32" (diagonale 801 mm)

Ingressi e uscite

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-sub a 15 piedini (femmina) (× 1)
(vedere pagina 36)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms, impedenza elevata

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (conforme alle specifiche
HDMI 1.1)

Adattatore di INGRESSO VIDEO BKM-FW10

VIDEO IN

BNC (× 1)

Video composito, 1 Vp-p ± 2 dB
sincronismo negativo, 75 ohm
(terminazione automatica)

VIDEO OUT

BNC (× 1) collegamento ad anello

S VIDEO IN

Mini DIN a 4 piedini (× 1)

Y (luminanza): 1 Vp-p ± 2 dB
sincronismo negativo, terminazione
da 75 ohm

C (crominanza): segnale di
sincronizzazione

0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC),

terminazione da 75 ohm

Segnale di sincronizzazione 0,3 Vp-p

± 2 dB (PAL), terminazione da

75 ohm

S VIDEO OUT

Mini DIN a 4 piedini (× 1) collegamento
ad anello

AUDIO IN

Presa a piedini (× 2)

500 mVrms, impedenza elevata

Adattatore PER CONTROLLO MONITOR BKM-FW20

REMOTE (RS-232C) D-sub a 9 piedini (× 1)

CONTROL S IN/OUT Minipresa (× 2)

Generali

Requisiti di alimentazione

100-240 V CA, 50/60 Hz,

FWD-40LX2F/40LX2X:

2,3 A

FWD-32LX2F/32LX2X:

1,3 A

Consumo energetico

FWD-40LX2F/40LX2X:

200 W

FWD-32LX2F/32LX2X:

120 W

Uscita diffusori

7 W + 7 W (6 ohm)

Impedenza di carico adeguata, da 6 a
16 ohm

Condizioni di utilizzo

Temperatura: da 0 °C a 35 °C

Umidità: da 20% a 90%

(senza formazione di condensa)

Condizioni di deposito/trasporto

Temperatura: da -10 °C a +40 °C

Umidità: da 20% a 90%

(senza formazione di condensa)

Dimensioni	FWD-40LX2F: 988 × 591 × 125 mm
	FWD-40LX2X: 994 × 597 × 125 mm
	FWD-32LX2F: 796 × 486 × 107 mm
	FWD-32LX2X: 802 × 492 × 107 mm
Peso	(l/a/p, escluse le parti sporgenti)
	FWD-40LX2F: Circa 25,0 kg
	FWD-40LX2X: Circa 26,0 kg
	FWD-32LX2F: Circa 16,0 kg
	FWD-32LX2X: Circa 17,0 kg

Accessori in dotazione

- Cavo di alimentazione CA (1)
- Fermaspina CA (2)
- Fermacavi Tipo da 40" (4), tipo da 32" (6)
- Cavo del segnale video componente (HD15 - RCA × 3) (1)
- Adattatore BNC-RCA (1)
- Telecomando RM-FW001 (1)
- Pile formato AA (R6) (2)
- Istruzioni per l'uso (1)

Accessori opzionali

- Supporto per monitor SU-42FW/32FW
- Diffusori SS-SP40FW/32FW
- Adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW

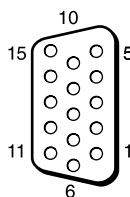
Normative sulla sicurezza

- UL 60950-1, CSA N. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Connettore HD15 (RGB/COMPONENT) (D-sub a 15 piedini)



N. piedino	Segnale
1	Video rosso o C _R /P _R
2	Video verde o Y
3	Video blu o C _B /P _B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non utilizzato
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o video composito
14	Sincronismo V
15	SCL

Nota

Durante l'immissione di un segnale componente, assicurarsi di non immettere segnali sincronici ai piedini 13 e 14. Diversamente, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente.

Indice

Numeri

4:3 14, 25, 26
4:3 predefinito 21, 26

A

Acuti 20, 24
Adattatore di INGRESSO VIDEO 9, 10
Adattatore PER CONTROLLO MONITOR 9
Ampio auto. 21, 25
Area visualizz. 21, 26
Attiva LED 28

B

Bassi 20, 24
Bilanciamento 20, 24

C

CineMotion 20, 22
Colore 20, 22
Connettore AUDIO (COMMON AUDIO IN) 8
Connettore AUDIO IN L/R 9
Connettore CONTROL S IN/OUT 9
Connettore HD15 (RGB/COMPONENT IN) 8
Connettore HDMI 1/HDMI 2 IN 9
Connettore REMOTE 9
Connettore S VIDEO IN/OUT 9
Connettore VIDEO IN/OUT 9
Contrasto 20, 22, 23
Coperchio dei cavi (parte inferiore) 18
Coperchio dei cavi (parte laterale) 8, 18

D

DHCP 32
Dim. verticali 21, 26
Dimens. PAP 27
Dinamico 24
Display di stato 31
Display multiplo 21, 28, 29
Display ora 30

F

Fase 21, 29
Fermacavi 19
Finestra 28
Formato uscita 28

G

Ganci per l'installazione del supporto 11

I

Illuminazione 31
Impost. avanzate 21, 31
Impostaz. controllo 31
Impostaz. ora 30

Impostazione PAP 15, 21, 27, 29
Impostazione timer 21, 30
Indicatore POWER/STANDBY 7
Indice telecomando 31
Informazioni 21, 31
Interruttore POWER 7
Interruttore POWER ON 12
Inverti 27
IP Address Setup 21, 32

L

Lingua 21, 30
Logo Sony 7, 31
Luminosità 20, 22, 23

M

Manual (IP Address Setup) 32
Mattonelle 28
Menu Audio 20, 24
Menu Immagine 20, 22
Menu Impostazione 21, 30
Menu Schermo 21, 25
Modo ampio 14, 21, 25, 29
Modo audio 20, 24
Modo controllo 31
Modo ECO 16, 21, 30
Modo immagine 20, 22, 23

N

Nitidezza 20, 22
Normale 14, 26, 29
Numero indice 13, 16, 31

P

Passo 21, 29
Personalizzato 22, 23, 24
Pieno 14, 25, 26
Pieno 1/Pieno 2 14, 29
Posiz. orizz. 21, 26, 29
Posiz. vert. 21, 26, 29
Posizione 28
Presa AC IN 11, 17
Presa SPEAKER 11

R

Regolaz. automatica 21, 29
Riduz. Disturbi 20, 22
Riprist. Modo audio 20, 24
Riprist. Modo imm. 20, 22, 23
Ripristina 21, 26, 29
Ripristina tutto 21, 32

S

Segnale di ingresso 34
Selez. audio comune 20, 24
Sensore dei comandi a distanza 7
Slot OPTION 1/OPTION 2 9, 10
Speed Setup 21, 32
Spegnimento autom. 21, 30
SRS WOW 24
Standard 22, 23, 24

Standard colore 31

T

Tasti ID MODE 13, 16
Tasto del contrasto 13
Tasto del modo ampio 12, 14
Tasto di disattivazione dell'audio 13
Tasto di regolazione del volume 7, 13
Tasto DISPLAY 13
Tasto ECO 13, 16
Tasto HD15 13
Tasto HDMI 1/HDMI 2 12
Tasto INPUT 7
Tasto MENU 7, 12
Tasto OPTION 1/OPTION 2 13
Tasto PAP 12, 15
Tasto PICTURE 12
Tasto SOUND 12
Tasto STANDBY 13
TC Control 22, 23
Temp. colore 20, 22, 23
Timer Sì/No 30
Tinta 20, 22
True Color Control 20, 23

U

Uscita Diffusori 20, 24

V

Vivido 22, 23

Z

Zoom 14, 25
Zoom ampio 14, 25, 26

平板宽屏监视器

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

为避免触电，请勿打开机壳。只可让有资格的专业人员进行维修事项。

关于搬运

搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

插座应安装于本装置附近且易于插拔之处。

警告

如果更换的电池型号不正确有爆炸危险。
请按照当地法规废弃用过的电池。

商标信息

WOW、SRS 及 (●) 标志是 SRS Labs, Inc. 的注册商标。本产品已获 SRS Labs, Inc. 授权使用 WOW 技术。

此产品经 BBE 公司授权制造
根据 USP5510752 及 5736897 条例而获得 BBE
Sound 公司的特许
BBE 及 BBE 标志乃 BBE Sound 公司之注册商标

目录

介绍

使用前须知	4
关于安装的建议	6

部件和控制器的位置和功能

前面板	7
侧面板	8
选购的适配器	10
后面板	11
遥控器	12
按键说明	12
遥控器上的特殊键	14
使用 Wide Mode	14
使用 PAP 设定	15
使用 ID MODE 键	16
使用 ECO Mode 功能	16

连接

连接扬声器	17
连接交流电源线	17
电缆布置	18

CS

使用设定

菜单概述	19
Picture 设定	21
Sound 设定	23
Screen 设定	24
Setup 设定	28

其它信息

故障排除	31
输入信号参照表	32
规格	33
索引	35

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机内，请拔下本机的电源插头，并经维修人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从墙上电源输出插座拔下本机的电源插头。
- 拔取电源线时，请拿住插头拔出，切勿拉扯电源线。
- 将本机落地安装时，务必使用选购的显示器支架。

安装方面

- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、幔幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源之处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 显示器电源打开期间，内部会集聚一定量的热量。这会导致灼伤。在显示器电源打开时或刚进入待机模式时，应避免触摸显示器的顶部或背面。

在液晶显示屏上

- 您能看到屏幕上出现红色、兰色、绿色的亮点或者暗点。这并不表示故障。虽然液晶显示屏是用极高精度的工艺技术制造而成，它仍会产生少量暗的或亮的像素点。
- 如果让液晶显示屏长时间面朝太阳，将会损坏屏面。当您在户外或窗口旁安装设备时要考虑到这一点。
- 请勿推压、擦伤屏面或在上放置重物。否则会造成屏幕显示不正常或液晶显示屏故障。
- 当在较冷的环境中使用该装置，屏幕可能变暗或者出现残留影像。这并非表示故障。温度上升以后屏幕显示会恢复正常。
- 如果持续显示一个静止图像，则可能发生重影。此症状可通过改变图像或让整个屏幕显示白色来逐渐解决。另外，如果长期显示同一个静止图像，则重影现象可能无法解决。
- 在使用时，屏面表面或机壳会升温变热，这并不表示故障。

显示器的清洁方法

屏面表面

- 在清洁显示器之前务必拔掉电源线。
- 液晶显示屏的表面经过特殊的表面涂层处理，要避免接触液晶屏面。清洁时，请使用干燥的软布擦除污斑。
- 决不能使用外用酒精、苯或稀释剂进行清洁。这些溶剂会损伤屏面上的表面涂层。
- 当使用经过化学处理的布进行清洁时，要遵循使用说明。
- 若在设备上喷雾挥发性的溶剂（例如某种杀虫剂），或者使设备长时间接触橡胶或塑料制品，会导致涂层的脱落或设备损坏。

机壳

- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。要擦除肮脏的污迹，需要将布在中性洗涤剂中稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 决不要用外用酒精、苯或稀释剂进行清洁。这些溶剂会损伤机壳的表面涂层或者消褪机壳上的标记。

关于显示屏的使用和清洁

当使用或清洁电视机时应特别当心显示屏特殊的表面涂层。清洁时，请用干净的软布擦拭，避免直接接触显示屏。

重新包装方面

请保存原装的纸箱和包装填料，它们是您搬运本机的理想包装箱。将本机搬运到其他地方时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

制造商：索尼公司

日本东京都港区港南1-7-1

产地：中国

电源连接警告

请使用适合当地电源的电源线。

	美国、 加拿大	欧共体		英国、爱尔兰、 澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
阴性端子	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
电线类型	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (0.C)	HVCTF
额定电流和电压	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) 注：请使用适合所在国用的电源插头。

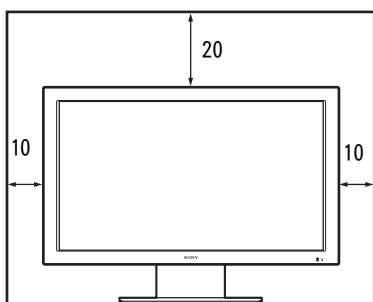
关于安装的建议

在显示器周围留出充足的空间

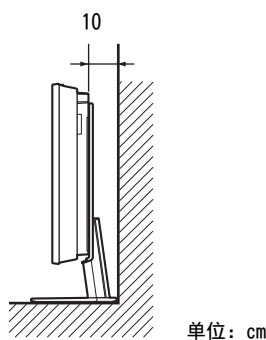
- 为防止因密闭显示器导致内部积热，必须确保在显示器周围至少留出下图所示的最小空间以保证正常的通风。
- 环境温度必须在 0 °C 至 35 °C 之间。
- 使用支架时，必须使用适用的显示器支架 SU-42FW/32FW（未附带）。
- 关于五金件的安装，例如托架、螺钉或螺栓，此处无法指定产品。实际安装取决于当地授权经销商。安装方面请咨询 Sony 维修人员。
- 显示器电源打开期间，内部会集聚一定量的热量。这会导致灼伤。在显示器电源打开时或刚进入待机模式时，应避免触摸显示器的顶部或背面。

使用显示器支架

前视图

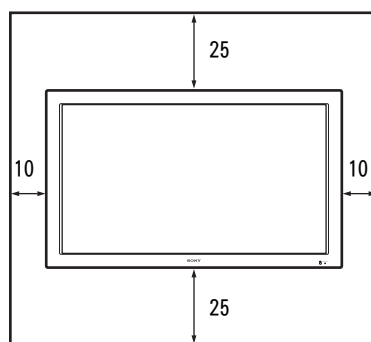


侧视图

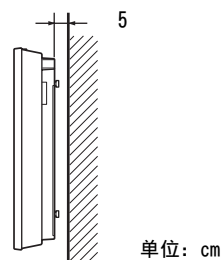


水平安装显示器

前视图

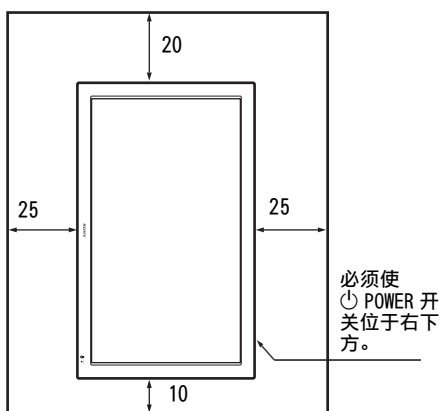


侧视图

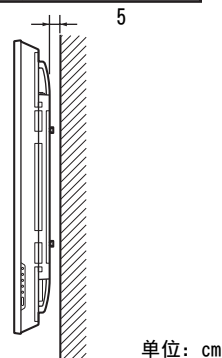


垂直安装显示器

前视图



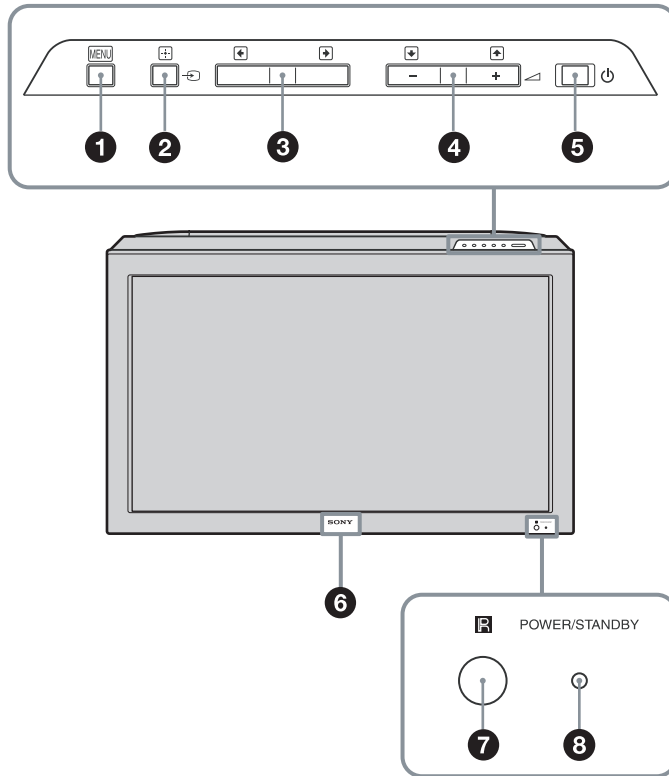
侧视图



注

垂直安装显示器时，无法使用扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带）。

前面板



1 MENU (第 19 页)

2 (INPUT)

- 在菜单画面中，此键起“Set”键的作用。
- 不在菜单画面中时，此键可切换输入信号。从 HD15/HDMI 1/HDMI 2/OPTION 1/OPTION 2 连接器中选择一个输入信号。当 OPTION 1/OPTION 2 插槽中未安装选购适配器时，OPTION 1/OPTION 2 将被跳过。

3

- 在菜单画面中，这些键起“左/右”键的作用。
- 在“PAP”模式中，当显示菜单画面之外的其它画面时，这些键可改变活动画面或改变图像尺寸。

4

- 增大 (+) 或减小 (-) 音量。
- 在菜单画面中，这些键起“上/下”键的作用 ()。

5

打开或关闭 (待机) 显示器。

注

为了保护面板，打开或关闭显示器 (待机) 需经过一段时间。当需要在关闭显示器后马上再打开显示器时，请等待 5 秒钟左右，然后再打开显示器。

6 Sony 标志

Sony 标志点亮。
您可在菜单画面中切换“On”/“Off”。
请参阅第 29 页上的“Advanced Setup”。

7 遥控传感器

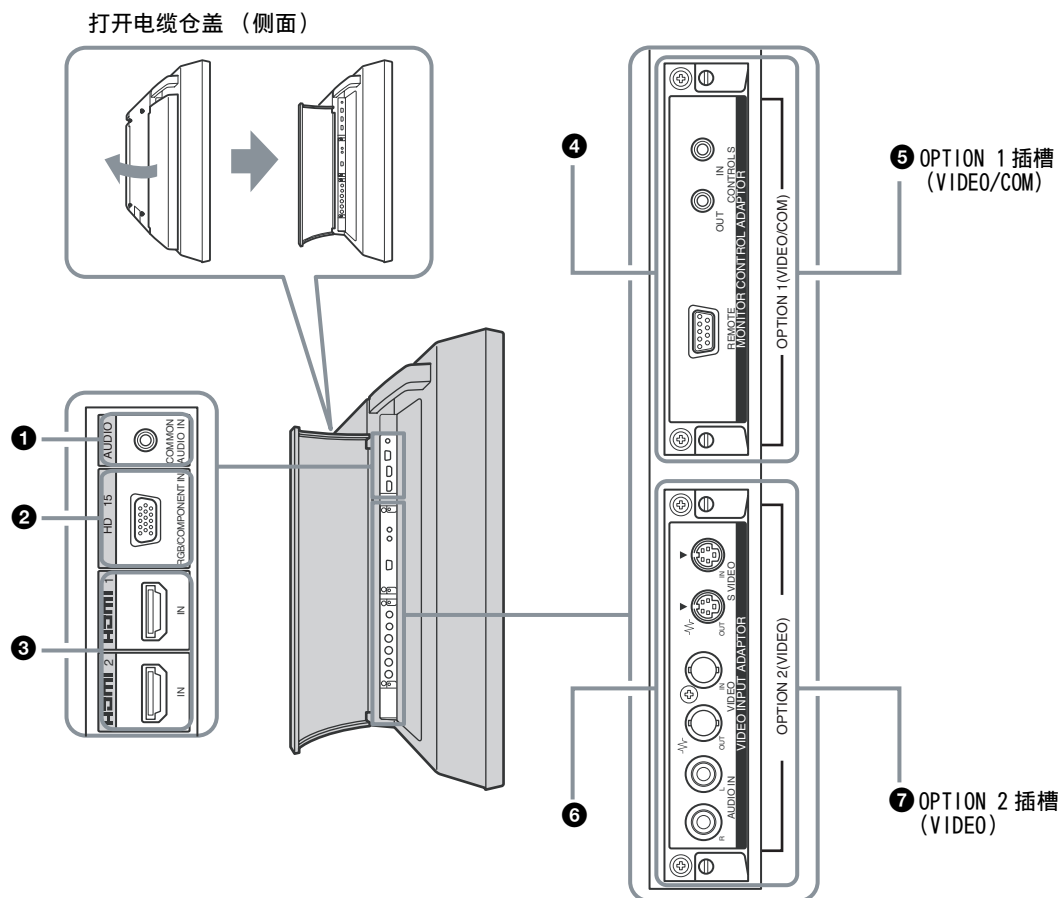
8 POWER/STANDBY 指示灯

- 当显示器打开时点亮为绿色。
- 处于待机模式时点亮为红色。
- 若当前输入非视频或 S Video (S 视频)，则在显示器进入节电模式时点亮为橘红色。

注

当“Multi Display”设定中的“LED”选项设定为“Off”并且“Position”选项未设定到右下方，则即使显示器已打开，该指示灯也不会点亮为绿色，除非在没有信号或不支持该信号的情况下。

侧面板



连接器

① AUDIO (COMMON AUDIO IN) (立体声微型插孔)

说明

输入音频信号。连接至一台视频装置或电脑的音频信号输出。支持与 ② 和 ③ 对应的音频信号。

② HD15 (RGB/COMPONENT IN) (D-sub 15 芯)

连接至一台视频装置或电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。请参阅第 34 页。

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入到引脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。

③ HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 在本显示器和电脑以及任何带有 HDMI 的音频 / 视频装置之间提供接口。可欣赏到增强或高清晰的视频，以及双声道数字音频。另外还可通过一根 HDMI-DVI 转换电缆（未附带）将一台带有 DVI 的设备连接至本显示器。

会依照所连接的装置自动选择音频 / 视频装置或电脑的适当模式。

注

请务必仅使用带有 HDMI 标志的 HDMI 电缆（未附带）。

连接器	说明
4 MONITOR CONTROL ADAPTOR (显示器控制适配器) (BKM-FW20 已预装。)	<p>CONTROL S IN/OUT (微型插孔): 当显示器连接至视频装置或另一显示器的 CONTROL S 连接器时, 可通过单个遥控器控制多个装置中的各个装置。将显示器上的 CONTROL S OUT 连接器连接至其它装置的 CONTROL S IN 连接器, 然后将显示器上的 CONTROL S IN 连接器连接至其它装置的 CONTROL S OUT 连接器。</p> <p>REMOTE (D-sub 9 芯): 此连接器允许采用 RS-232C 协议遥控本显示器。有关详细说明, 请联系授权的 Sony 经销商。</p> <p>注</p> <p>此适配器安装在 OPTION 2 插槽中时不工作。</p>
5 OPTION 1 插槽 (VIDEO/COM 端口)	<p>此插槽支持视频信号和通信功能。通过在此插槽中安装一个选购适配器 (BKM-FM 系列), 可经由网络扩展输入信号连接器或控制显示器。</p>
6 VIDEO INPUT ADAPTOR (视频输入适配器) (BKM-FW10 已预装。)	<p>S VIDEO IN (微型 DIN 4 芯): 连接至视频设备的 S Video (S 视频) 输出端。</p> <p>S VIDEO OUT (微型 DIN 4 芯): 连接至视频设备的 S Video (S 视频) 输入端。</p> <p>VIDEO IN (BNC): 连接至视频设备的视频输出端。</p> <p>VIDEO OUT (BNC): 连接至视频设备的视频输入端。</p> <p>AUDIO IN L/R (针式插孔): 连接至视频装置上的音频输出。</p> <p>自动选择视频信号或 S Video (S 视频) 信号。将电缆 (未附带) 连接至视频连接器或 S Video (S 视频) 连接器。</p> <p>当连接配备有 S Video (S 视频) 输出连接器的视频设备时, 您可通过将其连接至 S Video (S 视频) 连接器欣赏更好的视频效果。</p>
7 OPTION 2 插槽 (VIDEO 端口)	<p>此插槽支持视频信号。可将带有视频信号输入 / 输出功能的选购适配器安装到此插槽中。带有通信功能的选购适配器应安装到 5 OPTION 1 插槽。</p>

选购的适配器

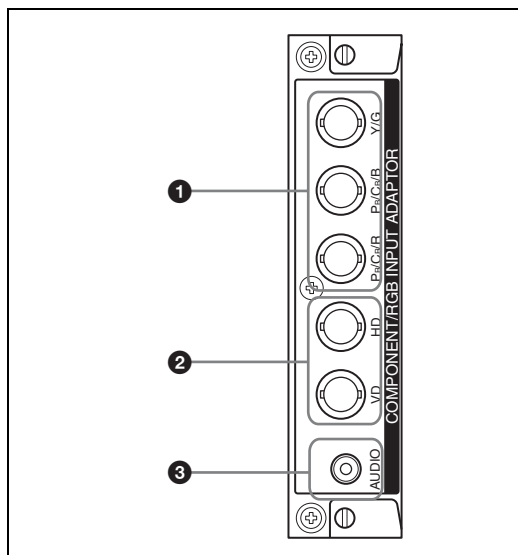
侧面板上标记有 ⑤ 和 ⑦ 的连接器为插槽型连接器，可与下列任一选购适配器（未附带）配合使用。

关于安装的详细说明，请咨询 Sony 经销商。

视频输入适配器 BKM-FW10

此选购适配器与 ⑦ OPTION 2 插槽中预装的适配器相同。请参阅第 8 页。

分量 /RGB 输入适配器 BKM-FW11



① Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC)：连接至一台视频装置或电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。

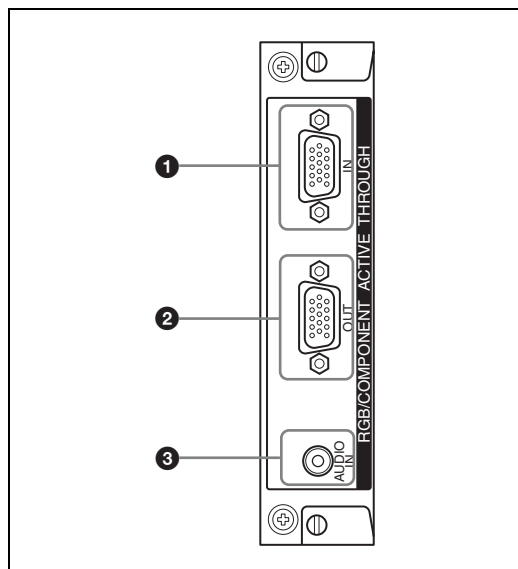
② HD VD IN (BNC)：连接至电脑的同步信号输出。

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入到 HD 和 VD 连接器。否则，可能无法正确显示图像。

③ AUDIO IN (立体声微型插孔)：输入音频信号。连接至一台视频装置或电脑的音频输出。

RGB/ 分量活动传递适配器 BKM-FW12



① RGB/COMPONENT IN (D-sub 15 芯)：

连接至一台视频装置或电脑的分量信号输出或模拟 RGB 信号输出。关于将分量信号输入至连接器的详细说明，请参阅第 34 页上的“管脚配置”。

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入到管脚 13 和 14。

② RGB/COMPONENT OUT (D-sub 15 芯)：

连接至一台视频装置或电脑的分量信号输入或模拟 RGB 信号输入。

③ AUDIO IN (立体声微型插孔)：

输入音频信号。连接至一台视频装置或电脑的音频信号输出。

注

当显示器未连接至交流电源或处于待机模式时，没有信号从 RGB/COMPONENT OUT 输出。

网络管理适配器 BKM-FW32

详细说明，请参阅 BKM-FW32 的说明书。

信号流接收器适配器 BKM-FW50

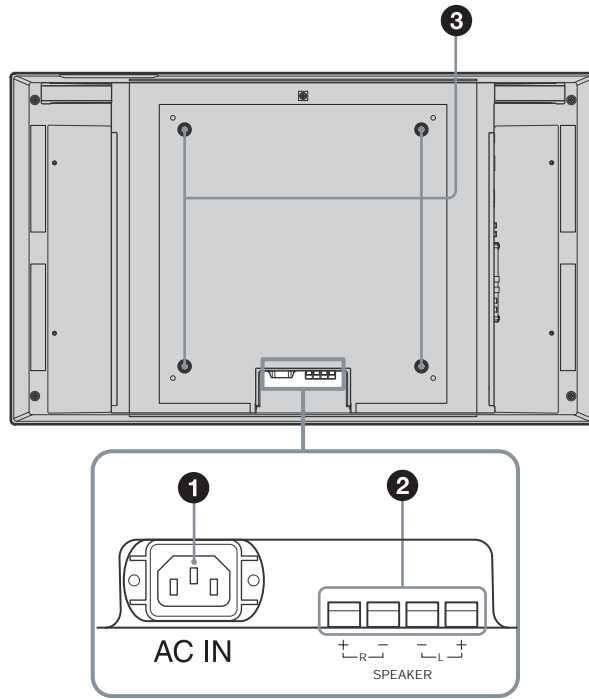
详细说明，请参阅 BKM-FW50 的说明书。

注

当为 BKM-FW32/50 选用网络电缆时，必须使用屏蔽电缆以防来自干扰无线电波的射线。关于连接的详细说明，请参阅各使用说明书。

关于 BKM-FW 系列系统扩展用选购适配器的详细说明，请参阅其各自的说明手册。

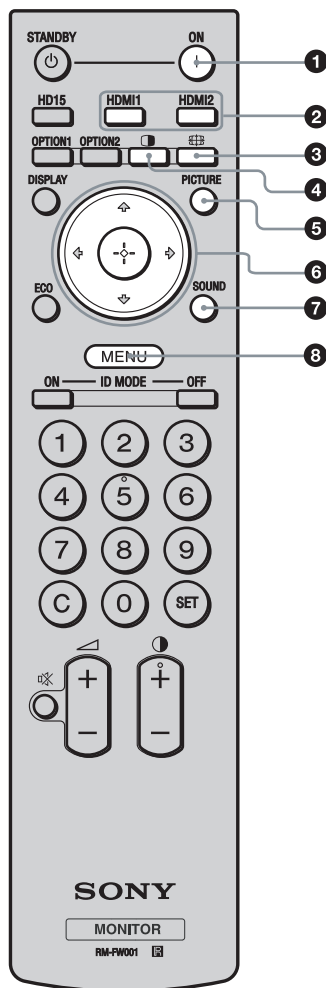
后面板



部件	说明
❶ AC IN 插座	将附带的交流电源线连接至此插座及墙壁插座。一旦连接了交流电源线，则 POWER/STANDBY 指示灯会点亮为红色并且显示器会进入待机模式。请参阅第 17 页。
❷ SPEAKER 插座	通过将扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带）连接至此插槽，可输出与显示于屏幕上的信号匹配的音频，并享受身临其境般的观看效果。必须正确连接扬声器。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器附带的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参阅第 18 页。
❸ 支架安装挂钩	使用这些挂钩安装显示器支架 SU-42FW/32FW（未附带）。

遥控器

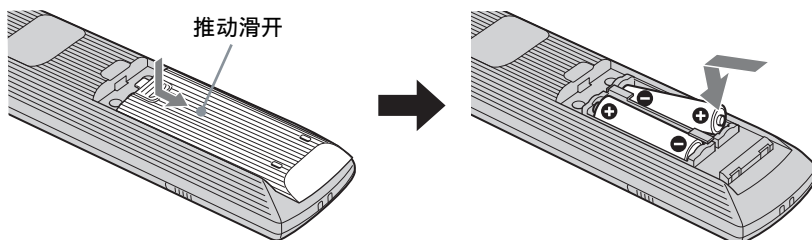
按键说明

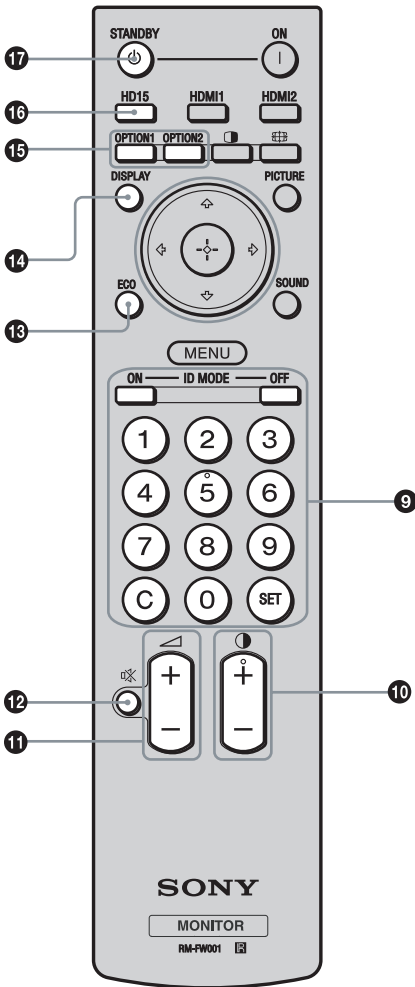


- 1 POWER ON 开关**
按此键打开显示器电源。
- 2 HDMI 1/HDMI 2 键**
按此键选择将信号输入到 HDMI 1 或 HDMI 2 连接器。
- 3 键**
按此键在“Wide Mode”中改变纵横比。请参阅第 14 页。
- 4 键**
选择“PAP”（Picture And Picture）模式。每按一次在双图像画面和单图像画面之间切换。请参阅第 15 页。
- 5 PICTURE 键**
选择“Picture Mode”。每按一次在“Vivid”、“Standard”、“Custom”和“TC Control”之间切换。
- 6 键**
↔/↕/↔/↕/⊕ 键
↔/↕/↔/↕ 键用于移动菜单光标（黄色）和设定值等。按 ⊕ 设定所选的菜单或设定项目。
处于“PAP”模式时，可使用 ↔/↕ 切换活动图像。
- 7 SOUND 键**
选择“Sound Mode”。每按一次在“Dynamic”、“Standard”、“SRS WOW”和“Custom”之间切换。
- 8 MENU 键**
按此键显示菜单。再按一次可将其隐藏。请参阅第 19 页。

注

- 5 键和 1 键有一个触觉点。在操作显示器时可使用触觉点作为参照。
- 将两节 AA（R6）尺寸电池（附带）装入使电池上的 ⊕ 和 ⊖ 与遥控器电池舱内的图示匹配。





9 ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) 键

可操作某个特定显示器而不影响其它同时安装的显示器。

- ON 键：按此键可在画面上显示“Index Number”。
- 0 - 9 键：按此键输入想要操作的显示器的“Index Number”。
- SET 键：按此键设定输入的“Index Number”。
- C 键：按此键清除输入的“Index Number”。
- OFF 键：按此键返回正常模式。

请参阅第 16 页。

10 +/- 键

调节图像（对比度）等级。

11 +/- 键

按此键调节音量。

12 静音键

按此键消音。再按一次恢复声音。

13 ECO 键

按此键以调节背光亮度的方式降低能耗。这样会同时增强黑色电平。从“Off”、“Low”、“High”或“Picture Off”中进行选择。请参阅第 16 页。

14 DISPLAY 键

按此键在屏幕上显示当前选定的输入、输入信号的类型以及“Wide Mode”设定。再按一次可将其隐藏。如果在短时间内没有动过这些显示的信息，则这些信息会自动消失。

15 OPTION 1/OPTION 2 键

当安装了选购适配器时，从与装置相连的选购适配器中选择一个输入信号。按 OPTION 1 键选择 OPTION 1 连接器的输入信号，按 OPTION 2 键选择 OPTION 2 连接器的输入信号。

16 HD15 键

按此键选择 HD15 连接器的输入信号。显示器将根据连接的设备自动选择 RGB 信号或分量信号。

17 STANDBY 键

按此键将显示器变为待机模式。

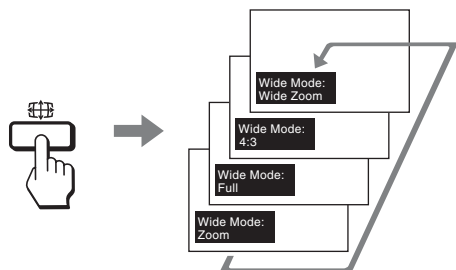
遥控器上的特殊键

使用 Wide Mode

您可改变画面的纵横比。

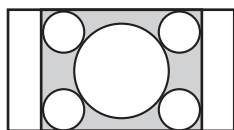
提示

另外也可访问“Screen”设定中的“Wide Mode”设定。请参阅第 24, 27 页。

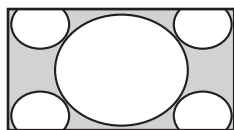


对于 Video、DVD 或 HDMI 输入（电脑输入除外）

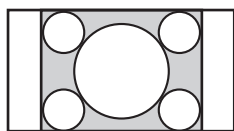
4:3 原始输入源



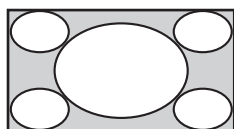
Wide Zoom



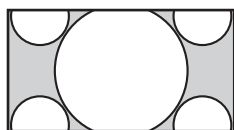
4:3



Full



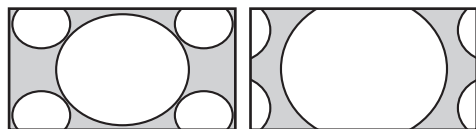
Zoom



16:9 原始输入源



Wide Zoom



4:3



Full



Zoom

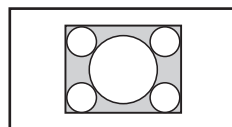


注

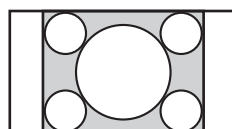
当输入信号为 1080i、720p 或 1080p 时，无法选择“Wide Zoom”和“4:3”。请参阅第 24 页。

对于电脑输入

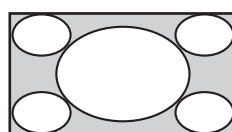
Normal



Full 1



Full 2



使用 PAP 设定

可并排显示两幅来自不同信号源，如电脑和视频的图像。

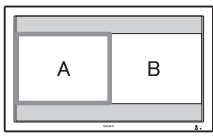
还可交换左 / 右图像，或改变左 / 右图像的尺寸平衡。

提示

另外也可访问“Screen”设定中的“PAP Setting”。请参阅第 25 页。

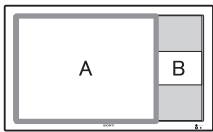


光标显示活动图像



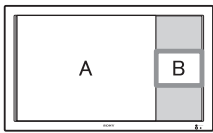
A和B的宽度是相同的。高度将配合每幅图像各自的纵横比进行设定。

按 ⇨ 键。



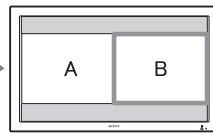
A的宽度大于B的宽度。如果A的纵横比为4:3，则它的高度将与面板尺寸相同。

按 ⇨ 键。



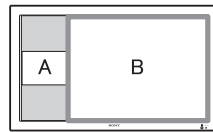
位于右边的 B 变为活动图像。

按 ⇨ 键。



A 和 B 的宽度是相同的。高度将设定为匹配各图像的纵横比。

按 ⇨ 键。



B的宽度大于A的宽度。如果B的纵横比为4:3，则它的高度将与面板尺寸相同。

CS

两幅图像的有效组合

		HD15		HDMI 1	HDMI 2	OPTION 1 & 2			
		RGB	分量	HDMI/DVI	HDMI/DVI	RGB	分量	视频	S Video (S 视频)
HD15	RGB			○	○				
	分量			○	○				
HDMI 1	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
HDMI 2	HDMI/DVI	○	○			○	○	○	○
OPTION 1 & 2	RGB			○	○				
	分量			○	○				
	视频			○	○				
	S Video (S 视频)			○	○				

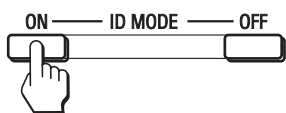
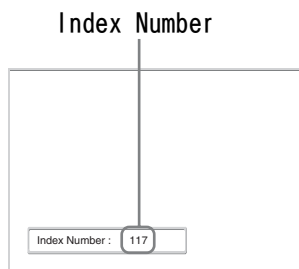
使用 ID MODE 键

可操作某个特定显示器而不影响其它同时安装的显示器。

1 按 ON 键。

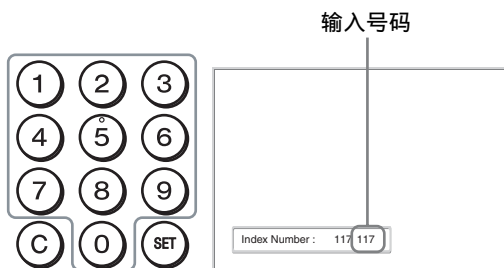
显示器的“Index Number”（索引号码）在屏幕的左下角菜单中以黑色字符显示。

（每个显示器均分配有从 1 到 255 的单独预设“Index Number”。）



2 用遥控器上的 0 - 9 键输入想要操作的显示器的“Index Number”。

输入号码出现在各显示器的“Index Number”旁边。



3 按 SET 键。

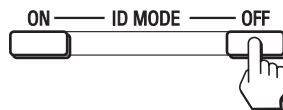
所选择的显示器上的字符变为绿色而其它的则变为红色。



只可操作以绿色字符指示的显示器。

同样，仅 POWER ON 开关和 STANDBY/ID MODE-OFF 键对其它显示器有效。

4 当完成所有设定变更后，按 OFF 键。 显示返回正常画面。



若要更正 Index Number

按 C 键清除当前输入的“Index Number”。

返回步骤 2，然后输入一个新的“Index Number”。

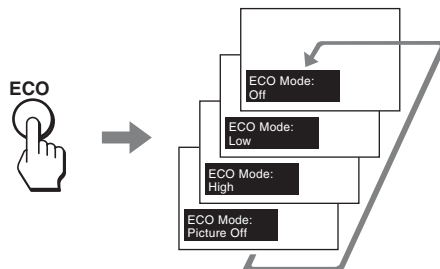


提示

若要改变显示器的“Index Number”，请参阅第 29 页的“Control Setting”中的“Remote Index”。

使用 ECO Mode 功能

可降低显示器的能耗。



若要取消 ECO Mode

反复按 ECO 键直到出现“ECO Mode: Off”。

提示

- 当启用“ECO Mode”时若关闭显示器电源，则在下次打开显示器时，除“Picture Off”之外此模式仍然保留。
- 可使用“Setup”设定来设定“ECO Mode”。在“Setup”设定中选择“ECO Mode”，然后将其设定为“Off”、“Low”、“High”或“Picture Off”。

连接

开始之前

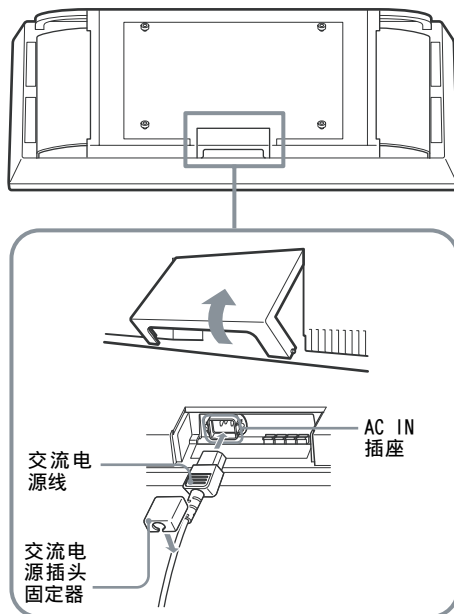
- 首先请确认各装置的电源已关闭。
- 请使用适合要连接的装置的电缆。
- 连接电缆，将其完全插入连接器或插孔。松动的连接可能会引起嗡嗡声和其它噪音。
- 断开电缆连接时，请抓住插头拔出。切勿拉拽电缆本身。
- 也可参阅要连接的装置的使用说明书。
- 请将插头牢牢插入 AC IN 插座。
- 请使用两个交流插头固定器（附带）之一以便牢牢固定交流插头。

连接扬声器

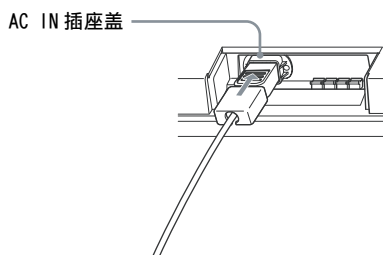
通过连接扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带），可享受身临其境般的观看效果。必须正确连接扬声器。关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器的操作手册。关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参阅第 18 页。

连接交流电源线

- 1 将交流电源线插入 AC IN 插座中。然后，将交流电源插头固定器（附带）装在交流电源线上。



- 2 将交流电源插头固定器沿电源线滑动直至其连接到 AC IN 插座盖上。

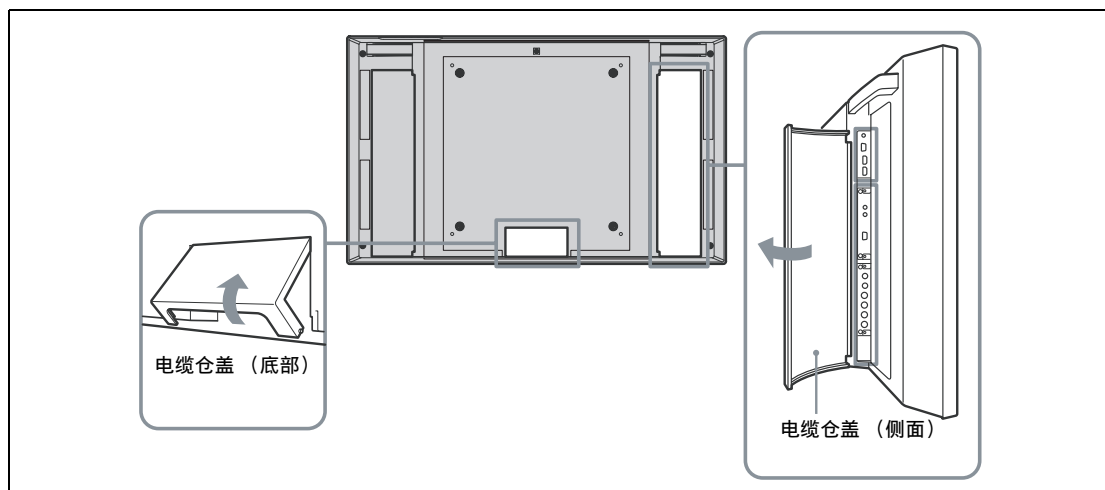


若要拔下交流电源线

捏住交流电源插头固定器并将其释放，然后抓住插头并拔下交流电源线。

电缆布置

显示器在其背面有电缆仓盖，可使其外表整洁。如下所示，先将电缆仓盖打开，然后将电缆连接到显示器上。将电缆连接到显示器后，请关闭电缆仓盖。



使用电缆夹

您可用自带的电缆固定器固定电缆。

如下图所示安装电缆固定器。

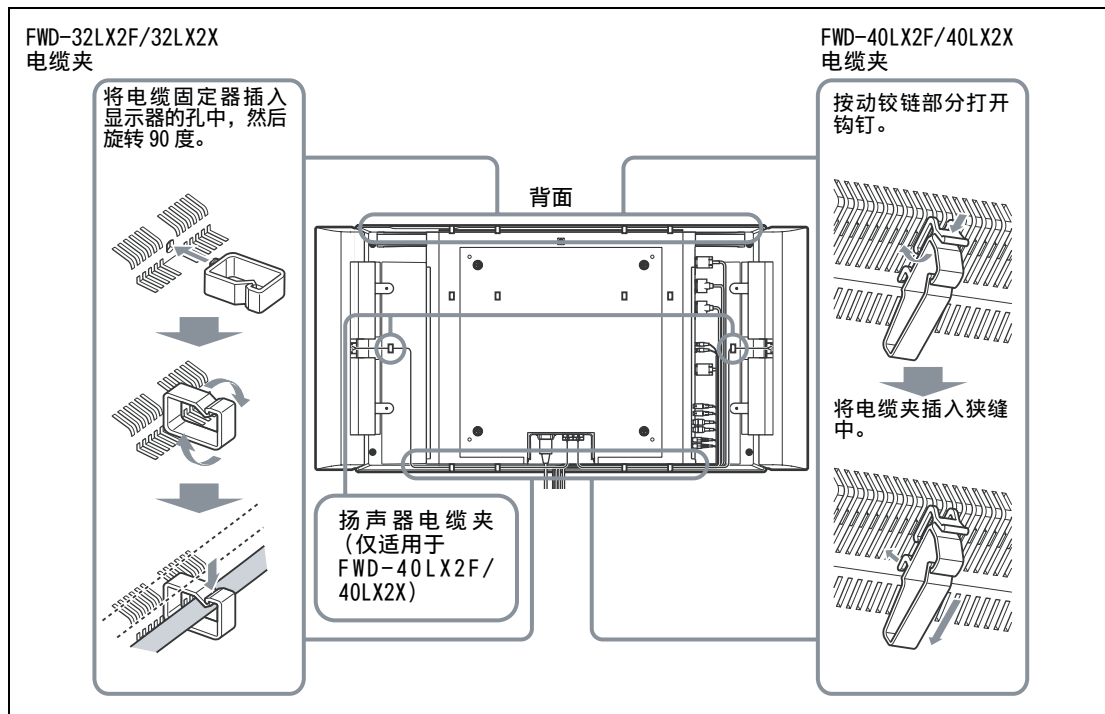
对于 FWD-40LX2F/40LX2X:

将 2 个电缆固定器 (× 4 附带) 分别安装到顶部和底部的狭缝中。

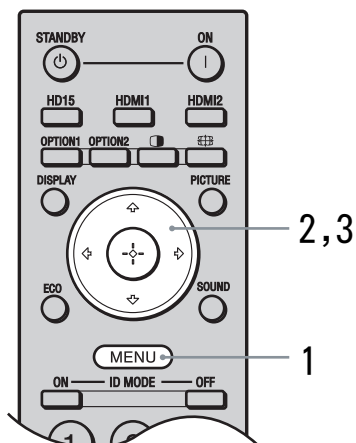
当您连接扬声器 (未附带) 时, 请将扬声器导线穿过显示器背面的扬声器导线固定器。

对于 FWD-32LX2F/32LX2X:

从 8 个孔 (4 个在顶部, 4 个在底部) 中选择 6 个, 然后安装电缆固定器 (× 6 附带)。未附带扬声器导线固定器。



菜单概述



- 1 按 MENU 键。
- 2 按 \uparrow/\downarrow 加亮显示想要的菜单图标。
- 3 按 \leftarrow 或 \rightarrow 。
若要退出菜单，按 MENU 键。

若要改变屏幕显示语言

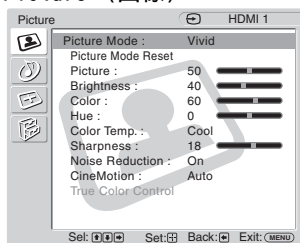
从“English”（英语）、“Español”（西班牙语）、“Français”（法语）、“Italiano”（意大利语）、“Deutsch”（德语）或“日本語”（日语）中选择想要用于在屏幕上显示设定和信息语言。“English”（英语）被设定为默认设置。请参阅第 28 页。

这些设定使您可使用下列功能：

设定

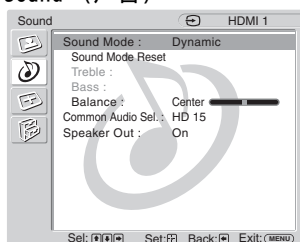
用于设定 / 更改的功能

Picture (图像)



- Picture Mode (图像模式) (第 21, 22 页)
- Picture Mode Reset (图像模式预设) (第 21, 22 页)
- Picture (对比度) (第 21, 22 页)
- Brightness (亮度) (第 21, 22 页)
- Color (颜色) (第 21 页)
- Hue (色调) (第 21 页)
- Color Temp. (色温) (第 21, 22 页)
- Sharpness (锐度) (第 21 页)
- Noise Reduction (降噪) (第 21 页)
- CineMotion (电影) (第 21 页)
- True Color Control (第 22 页)

Sound (声音)

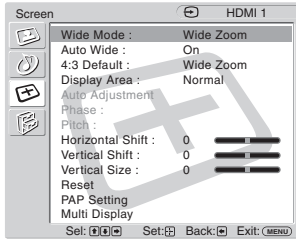


- Sound Mode (声音模式) (第 23 页)
- Sound Mode Reset (声音模式预设) (第 23 页)
- Treble (高音) (第 23 页)
- Bass (低音) (第 23 页)
- Balance (平衡) (第 23 页)
- Common Audio Sel. (通用音频选择) (第 23 页)
- Speaker Out (扬声器输出) (第 23 页)

设定

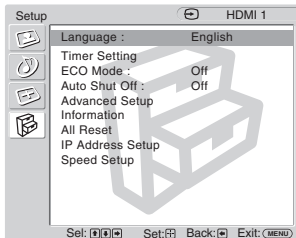
用于设定 / 更改的功能

Screen (屏幕)



Wide Mode (屏显模式) (第 24, 27 页)
Auto Wide (自动屏显模式) (第 24 页)
4:3 Default (4:3 预设屏显模式) (第 25 页)
Display Area (显示区域) (第 25 页)
Auto Adjustment (自动调节) (第 27 页)
Phase (相位) (第 27 页)
Pitch (像素频率调节) (第 27 页)
Horizontal Shift (水平位置调节) (第 25, 27 页)
Vertical Shift (垂直位置调节) (第 25, 27 页)
Vertical Size (宽荧幕垂直高度调节) (第 25 页)
Reset (初始化) (第 25, 27 页)
PAP Setting (双画面设定) (第 25 页)
Multi Display (多项显示设定) (第 26 页)

Setup (设置)

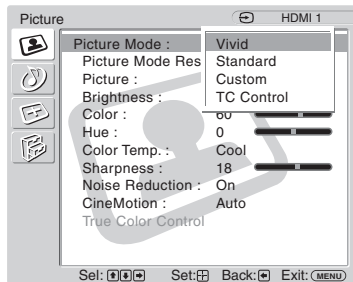


Language (语言) (第 28 页)
Timer Setting (定时器设定) (第 28 页)
ECO Mode (经济模式) (第 28 页)
Auto Shut Off (自动关闭) (第 28 页)
Advanced Setup (高级设定) (第 29 页)
Information (信息) (第 29 页)
All Reset (全部预设) (第 29 页)
IP Address Setup (IP 地址设定) (第 30 页)
Speed Setup (速度设定) (第 30 页)

* 视设定而定，显示于画面底部的菜单图标可能不起作用。

Picture 设定

用于视频输入



若要加亮显示某个选项并更改设定，按 $\leftarrow/\rightarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 。

按 \oplus 确认选择。

“Picture” 设定中包括下列选项：

Picture Mode	<p>“Vivid”：选择此项增强图像对比度和锐度。</p> <p>“Standard”：选择此项设定为标准图像设定。</p> <p>“Custom”：存储用户喜欢的设定。</p> <p>“TC Control”：此设定与“Vivid”通用。此外，您可使用“True Color Control”功能（下文中有说明）。</p> <p>提示</p> <ul style="list-style-type: none">若要从“Picture Mode”的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE。可为每个输入改变“Picture Mode”选项。
Picture Mode Reset	将当前选定的“Picture Mode”（“Vivid”，“Standard”，“Custom”，“TC Control”）的所有设定和调节复位至默认设定（以灰色显示的选项除外）。
Picture	调节此项提高或降低图像对比度。
Brightness	调节此项增亮或调暗图像。
Color	调节此项提高或降低色彩浓度。
Hue	调节图像的色调。
	注 当输入为视频或 S Video (S 视频) 且视频信号的色彩制式非 NTSC 时，不可使用“Hue”。
Color Temp.	<p>“Cool”：选择此项使白色偏蓝。</p> <p>“Neutral”：选择此项使白色为中性。</p> <p>“Warm”：选择此项使白色偏红。</p>
Sharpness	调节此项使图像变锐利或柔和。
Noise Reduction	选择此项降低所连接装置的噪音水平。从“On”或“Off”中进行选择。
CineMotion	选择“Auto”可通过自动检测电影内容并应用反转 3-2 降格或 2-2 降格处理进而优化画面显示。移动的图像看上去将显得更为清晰与自然。选择“Off”禁用检测。

True Color Control

您可调节 4 种色彩（红、绿、黄、蓝）各自的色调和饱和度细节，您还可在图像中突出指定的色彩。选择您想要调节的色彩，然后您可查看当前图像的哪部分需要调节。接着您可使用矩阵对话框进行调节。

注

- 当“Picture Mode”被设为“TC Control”时，可对此项进行调节。
- 在“PAP”模式中，无法选择此项。即使在单图像屏幕中选择此项，此项的设定也可能不会被应用于“PAP”模式。

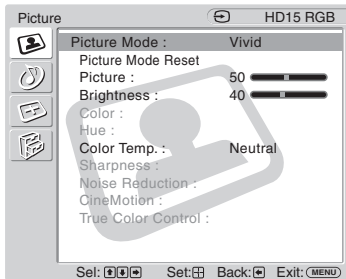
提示

可为每一“Picture Mode”更改其“Picture”设定（“Picture”、“Brightness”、“Color”等等）。

注

- 在“PAP”模式中，“Picture”设定中的所有选项均无法被选择。
- 如果当前没有信号输入，则“Picture”设定中的所有选项均无法被选择。

对于电脑输入



当输入切换至电脑输入源时，应用电脑输入专用的“Picture”设定。

电脑的“Picture”设定包括以下选项：

Picture Mode

“Vivid”：选择此项增强图像对比度和锐度。
“Standard”：选择此项设定为标准图像设定。
“Custom”：存储用户喜欢的设定。
“TC Control”：此设定与“Vivid”通用。此外，您可使用“True Color Control”功能（下文中有说明）。

Picture Mode Reset

将当前选定的“Picture Mode”（“Vivid”，“Standard”，“Custom”，“TC Control”）的所有设定和调节复位至默认设定（以灰色显示的选项除外）。

Picture

调节此项提高或降低图像对比度。

Brightness

调节此项增亮或调暗图像。

Color Temp.

请参阅视频输入的“Color Temp.”（第 21 页）。

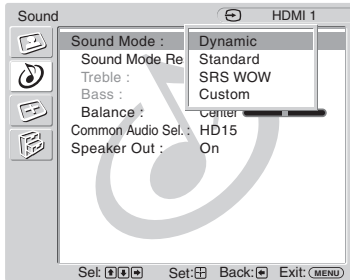
True Color Control

请参阅视频输入的“True Color Control”（第 22 页）。

注

- 对于电脑输入，“Color”、“Hue”、“Sharpness”、“Noise Reduction”和“CineMotion”不可用。
- 在“PAP”模式中，则“Picture”设定中的所有选项均无法被选择。
- 如果当前没有信号输入，则“Picture”设定中的所有选项均无法被选择。

Sound 设定



当安装了 SS-SP40FW/32FW 扬声器（未附带）时，您可设定各种“Sound”设定。若要加亮显示某个选项并更改设定，按 \triangle / ∇ / \leftarrow / \rightarrow 。

按 \oplus 确认选择。

“Sound”设定中包括下列选项：

Sound Mode

“Dynamic”：选择此项增强高音和低音。

“Standard”：适中设定。

“SRS WOW”：通过产生低沉而雄厚的低音音调以及清晰的高音音调，提供了全景立体声音频图像，从而能够使用户欣赏到如同在电影院中一样的雄浑声效。

“Custom”：存储用户喜欢的设定。

提示

- 若要从一个“Sound Mode”选项切换到另一个，您也可使用遥控器上的 SOUND 键。
- BBE Sound, Inc. 所拥有的技术应用于“Dynamic”和“Standard”。

Sound Mode Reset

将下列设定：“Treble”、“Bass”和“Balance”重置为默认设定。

Treble

调节此项提高或降低高音的音高。

Bass

调节此项提高或降低低音的音高。

Balance

调节此项增强左侧或右侧扬声器的均衡。

Common Audio Sel.

“HD15”：从一台连接至 HD15 (RGB/COMPONENT IN) 连接器和 AUDIO (COMMON AUDIO IN) 连接器的视频装置或电脑输出音频。

“HDMI 1” / “HDMI 2”：选择此项使用 HDMI 电缆（未附带）或 HDMI-DVI 转换电缆，同时使用相应的音频电缆连接设备。

请参阅第 8 页。

注

- 当使用 HDMI-DVI 转换电缆（未附带）时，应将音频电缆连接至 AUDIO (COMMON AUDIO IN) 连接器。
- 当选择了“HDMI 1” / “HDMI 2”时，数字音频不从 HDMI 连接器输出。当一台带有 HDMI 连接器的视频装置连接到了 HDMI 1/HDMI 2 连接器时，请将“Common Audio Sel.”设定为“HD15”。（默认设定为“HD15”。）

Speaker Out

“On”：使声音从扬声器输出。

“Off”：使声音不从扬声器输出。

注

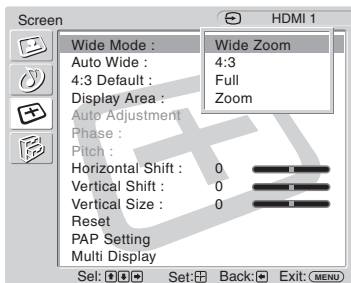
当“Speaker Out”设定为“Off”时，“Sound Mode”、“Sound Mode Reset”、“Treble”、“Bass”和“Balance”无法被选择。

提示

当“Sound Mode”被设定为“Custom”时，可调节音质菜单（“Treble”和“Bass”）。

Screen 设定

用于视频输入



若要加亮显示某个选项并更改设定，按 \triangle / ∇ / \leftarrow / \rightarrow 。

按 \odot 确认选择。

“Screen” 设定中包括下列选项：

Wide Mode

“Wide Zoom”：选择此项以最小的失真放大填充屏幕。

“4:3”：选择此项，当原始源为 4:3（标准清晰源）时以其原始尺寸显示 4:3 图像。

“Full”：选择此项，当原始源为 4:3（标准清晰源）时水平放大原始图像填充屏幕。当原始源为 16:9（高清晰源）时，选择此模式可以其原始尺寸显示 16:9 图像。

“Zoom”：选择此项放大原始图像而不改变纵横比。

请参阅第 14 页。

提示

- 若要从一个“Wide Mode”选项切换到另一个，您也可使用遥控器上的 \square 键。
- 选择“Zoom”可使用屏幕上的整个可观看区域带黑带显示动画和其它 DVD 内容。
- 在“Wide Zoom”和“Zoom”模式中，您可调节“Horizontal Shift”、“Vertical Shift”和“Vertical Size”。请参阅第 25 页。

注

- 在使用“PAP”功能或“Multi Display”的同时，无法设定“Wide Mode”。
- 无法为输入到分量 HDMI 连接器的 1080i、720p 或 1080p 信号选择“Wide Zoom”和“4:3”。

Auto Wide

“On”：选择此项自动检测图像并将其改变为合适的屏幕模式。

“Off”：屏幕模式不会自动改变。

注

- 在输入数字或模拟 RGB 信号时，由于“Auto Wide”功能不起作用，您无法设定“Auto Wide”。
- 在使用“PAP”功能或“Multi Display”功能时，您无法设定“Auto Wide”。

4:3 Default	<p>“Wide Zoom”：选择此项将 4:3 图像放大到填充 16:9 屏幕，同时尽可能使图像保持原样。</p> <p>“4:3”：选择此项显示 4:3 图像而不改变其纵横比。</p> <p>“Full”：选择此项，将 4:3 图像仅在水平方向放大至填充 16:9 屏幕。</p> <p>“Zoom”：选择此项将 4:3 图像放大以填满屏幕，同时保持其纵横比。此设定在观看信箱尺寸的动画时有用。</p> <p>“Off”：选择此项，在输入改变时仍继续使用当前宽屏幕模式设定。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仅当 “Auto Wide” 设定为 “On” 时，才可选择 “4:3 Default”。 • “4:3 Default” 仅当显示器接收 NTSC、PAL、SECAM、480i、480p、575i 或 576p 信号时起作用。 • 如果在设定了 “4:3 Default” 之后更改 “Wide Mode” 设定，则该 “Wide Mode” 设定将生效，且画面的纵横比将改变。通过 “Wide Mode” 事后所作的设定更改将仅对各个输入信号有效，因此当输入信号更改后，画面将返回原先的 “4:3 Default” 设定。若要在即使输入改变后仍保持当前纵横比，请将 “4:3 Default” 设定为 “Off”。
Display Area	<p>“Normal”：显示标准尺寸图像。</p> <p>“-1” / “-2”：可调节用于观看图像的区域尺寸。当图像周围出现噪点时，选择此项可消除噪点。</p>
Horizontal Shift	<p>可将图像位置在窗口中左右移动。仅在 “Wide Zoom” 和 “Zoom” 模式中有效。按 ←/→，然后按 ⊕ 选择某项修正。</p>
Vertical Shift	<p>可将图像位置在窗口中上下移动。仅在 “Wide Zoom” 和 “Zoom” 模式中有效。按 ⇅，然后按 ⊕ 选择某项修正。</p>
Vertical Size	<p>可调节图像的水平尺寸。仅在 “Wide Zoom” 和 “Zoom” 模式中有效。按 ⇅，然后按 ⊕ 选择某项修正。</p>
Reset	<p>将如下设定：“Horizontal Shift”、“Vertical Shift” 和 “Vertical Size” 重置为默认设定。</p>
PAP Setting	<p>可并排显示两幅来自不同信号源，如电脑和视频的图像。仅一个模拟信号和一个数字信号的组合可用。</p> <p>“PAP”：“On” 同时并排显示两幅图像，而 “Off” 禁用 “PAP” 功能。</p> <p>“Swap”：“OK” 交换两幅图像的位置，而 “Cancel” 则取消此操作。</p> <p>“PAP Size”：</p> <p>“Large Left”：左图像的宽度大于右图像的宽度。 如果左图像的纵横比为 4:3，则左图像的高度将与面板尺寸相同。</p> <p>“Even”：左图像和右图像的宽度相同（各占一半）。高度将配合每幅图像各自的纵横比进行设定。</p> <p>“Large Right”：右图像的宽度大于左图像的宽度。 如果右图像的纵横比为 4:3，则右图像的高度将与面板尺寸相同。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仅当 “Multi Display” 设定为 “Off” 时，可显示两幅图像。 • 当显示 2 幅图像时，将应用显示单个图像时的 “Picture” 设定。 • 关于两幅图像的有效组合的详细说明，请参阅第 15 页。

Multi Display

可为连接多个显示器进行设定，以形成一个视频墙。

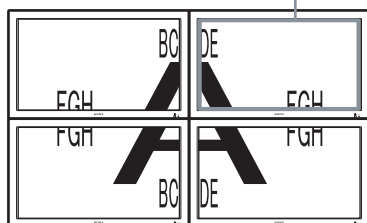
“Multi Display”：“Off”使用单个屏幕，而“2 × 2” - “4 × 4”选择用于构成视频墙的布置。

“Position”（位置上弹）：用 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 在视频墙布置中选择此特定显示器的位置。按 \oplus 确认位置。

“Output Format”：如下图所示，有两种图像输出格式可供选择。只需轻松选择其中一种格式，即可输出合适的图像而无需手动调节水平和垂直偏移。从“Tiles”或“Window”中选择其一。

“Tiles”

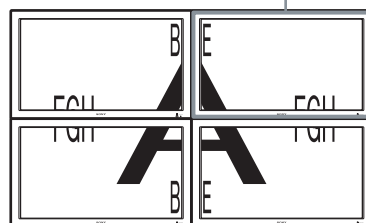
满屏扫描



在各个显示器上显示全部信号。

“Window”

溢出扫描



用多个显示器自然地显示一幅大图像。
部分信号会进入面板边框区域后面。

“LED”：“On”使得前面板上的 POWER/STANDBY 指示灯（第 7 页）持续打开，而“Off”使得前面板上的 POWER/STANDBY 指示灯持续关闭。

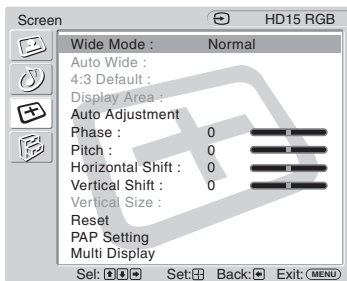
注

- “Multi Display”可显示放大的图像，尽量使视频输入的当前“Wide Mode”设定保持在较大水平，可显示放大的图像，该图像的“Wide Mode”设定为用于电脑输入的“Full 2”。
- 仅当“PAP”功能被禁用时，方可设定“Multi Display”。
- 当“Position”选项设为右下方时，即使“LED”选项被设定为“Off”，POWER/STANDBY 指示灯点亮。即使当显示器关闭（待机）时，此指示灯仍点亮，则说明检测到错误，或显示器处于睡眠模式，包括无信号和不支持该信号的情况在内。

注

- 在使用“PAP”功能或“Multi Display”的同时，“Display Area”、“Horizontal Shift”、“Vertical Shift”和“Vertical Size”不可用。
- 如果当前没有信号输入，则除“PAP Setting”和“Multi Display”之外的任何其它“Screen”设定选项均无法被选择。

对于电脑输入



当输入切换至电脑输入源时，应用电脑输入专用的“Screen”设定。

电脑的“Screen”设定包括以下选项：

Wide Mode

“Normal”：选择此项以原始尺寸显示图像。

“Full 1”：选择此项放大图像在垂直方向充满显示区域，保持原来的水平—垂直纵横比。在图像的四周会出现一个黑框。

“Full 2”：选择此项将图像放大到填充显示区域。

注

在使用“PAP”功能或“Multi Display”的同时，无法设定“Wide Mode”。

Auto Adjustment

选择此项，可在显示器接收来自相连电脑的输入信号时自动调整显示位置和图像的相位。

请注意，对于某些输入信号，“Auto Adjustment”可能无法工作。此时，请手动调整下列选项。

Phase

选择此项，在屏幕抖动时调整相位。

Pitch

选择此项，在图像有垂直条纹干扰时调节音高。

Horizontal Shift

可将图像位置在窗口中左右移动。按 \leftarrow/\rightarrow ，然后按 \oplus 选择某项修正。

Vertical Shift

可将图像位置在窗口中上下移动。按 \uparrow/\downarrow ，然后按 \oplus 选择某项修正。

Reset

将如下设定：“Phase”、“Pitch”、“Horizontal Shift”和“Vertical Shift”重置为默认设定。

PAP Setting

请参阅视频输入的“PAP Setting”（第 25 页）。

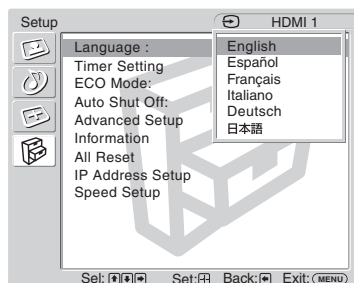
Multi Display

请参阅视频输入的“Multi Display”（第 26 页）。

注

- 对于电脑输入“Auto Wide”、“4:3 Default”、“Display Area”和“Vertical Size”不可用。
- 如果当前没有信号输入，则除“PAP Setting”和“Multi Display”之外的任何其它“Screen”设定选项均无法被选择。
- 当经由 HDMI 1/HDMI 2 输入时，“Auto Adjustment”、“Phase”和“Pitch”对于电脑输入无效。

Setup 设定



若要加亮显示某个选项并更改设定，按 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ 。

按 \oplus 确认选择。

“Setup” 设定中包括下列选项：

Language

选择此项，可以所选择的语言显示所有屏幕上的设定：“English”、“Español”、“Français”、“Italiano”、“Deutsch”或“日本語”。

Timer Setting

可调整时间、显示内置时钟或设定定时器使显示器电源在预设的时刻打开/关闭。

“Clock Set”：设定时间和星期。

“Clock Display”：设定为“On”时在屏幕上显示当前设定的时间。

“On/Off Timer”：设定电源自动打开或关闭的时刻。

注

如果内置时钟走时不准，内置电池可能会耗尽。请联系经授权的 Sony 经销商来更换电池。

ECO Mode

“Off”：选择此项，以不节电的方式观看图像。

“Low” / “High”：选择此项，可以减少能耗的方式观看图像。这样会同时增强黑色电平。

“Picture Off”：选择此项关闭图像。音频仍以所选定的音量设定保留。

Auto Shut Off

“On”：当信号未输入视频或 S Video（S 视频）输入连接器 5 分钟以上，显示器将自动进入待机模式。当信号未输入 HDMI 或 RGB/ 分量输入连接器 30 秒以上，显示器将自动进入节电模式。

“Off”：即使没有信号输入至任何连接器时，显示器也不自动关闭。

提示

在待机模式中，按显示器上的 POWER 开关或遥控器上的 POWER ON 开关打开显示器。处于节电模式时，当有信号输入时显示器自动打开电源。

Advanced Setup

“Color System”：从“NTSC”、“PAL”、“SECAM”、“NTSC4.43”、“PAL-M”、“PAL-N”和“PAL60”中选择视频信号的色彩制式，或者选择“Auto”自动设定色彩制式。

“Status Display”：“On”使得在显示器电源打开时输入信号和“Wide Mode”信息在屏幕上显示 20 秒钟左右，当输入信号被切换时输入信号显示 5 秒钟左右，而“Off”则禁用状态信息的显示。

提示

不管“Status Display”设定如何，通过使用遥控器上的 DISPLAY，均可显示输入信号和“Wide Mode”信息。

“Illumination”：“On”使得显示器前面的 Sony 标志点亮，而“Off”禁用此功能。

“Control Setting”：此菜单用于操作显示器和遥控器时的设定。

“Remote Index”：必要时可改变显示器的“Index Number”。

用 \uparrow/\downarrow 选择此项设定显示器的“Index Number”，然后按 \oplus 确认设定。

注

设定“Index Number”时，可使用显示器上的键。无法使用遥控器设定“Index Number”。

“Control Mode”

“Display+Remote”：可使用显示器上的控制键和遥控器操作显示器。

“Display Only”：禁用遥控功能。只能使用显示器装置上的控制键进行显示器设定。

“Remote Only”：禁用显示器上的控制键。仅可使用遥控器为显示器进行设定。

“All Off”：同时禁用遥控器和显示器上控制键的操作。可通过显示器（BKM-FW20）上的 REMOTE 连接器和带通信功能的选购适配器（例如 BKM-FW32/FW50）来操作显示器。

注

- 操作此项时，可选择的模式视正在使用的键而异。用遥控器上的 \oplus 设定此项目时，您仅可选择“Display+Remote”或“Remote Only”。用显示器上的 \oplus 设定此项目时，您仅可选择“Display+Remote”或“Display Only”。
- 当此选项被设定为“All Off”时，无法使用遥控器和显示器上的控制键来操作显示器。通过同时按显示器上的 MENU 和 \triangle + 5 秒钟以上，可将设定返回至“Display+Remote”。

CS

Information

显示该显示器的“Model Name”、“Serial Number”、“Operation Time”、“Software Version”以及“IP Address”。

注

如果未安装带网络功能的选购适配器，则不显示“IP Address”。

All Reset

将所有“Setup”设定重置为默认设定。

注

“Information”选项中包含的项目以及“Index Number”不会被重置。

IP Address Setup

设定 IP 地址以启用具有通信功能的选购适配器（如安装在显示器上的 BKM-FW32/FW50）与使用 LAN 电缆连接的设备（如电脑）之间的通信。

“DHCP”：“OK”可自动设定 IP 地址，而“Cancel”取消自动配置。

注

当使用 DHCP 自动获取 IP 地址时，每次关闭显示器的电源再打开时，IP 地址可能会不同。

“Manual”：选择此项手动设定 IP 地址。

- 1 通过 \uparrow/\downarrow 选择要手动设定的“IP Address”、“Subnet Mask”、“Default Gateway”、“Primary DNS”和“Secondary DNS”，然后按 \oplus 。
- 2 用显示器上的 \uparrow/\downarrow 或遥控器上的数字键为第一个格子设定三位数的值（0 至 255），然后按 \oplus 或 \rightarrow 。
- 3 为四个格子各设定一个三位数的值（0 至 255）然后按 \oplus 。
- 4 用 \uparrow/\downarrow 选择下一个想要手动设定的项目，重复相同的步骤，然后按 \oplus 。
- 5 设定好所有想要的项目之后，用 \uparrow/\downarrow 选择“Execute”，然后按 \oplus 。选择“OK”，然后按 \oplus 。一个 IP 地址即手动设定好了。

注

当 IP 地址未能正确设定时，将根据错误原因显示下列出错代码：

错误 1：显示器和 BKM-FW32 或 BKM-FW50 等选购适配器之间通信错误

错误 2：指定的 IP 地址已被其它装置使用

错误 3：IP 地址错误

错误 4：Gateway 地址错误

错误 5：Primary DNS 地址错误

错误 6：Secondary DNS 地址错误

错误 7：Subnet mask 错误

Speed Setup

设定具有通信功能的选购适配器（如安装在显示器上的 BKM-FW32/FW50）与使用 LAN 电缆连接的设备（如电脑）之间的通信速度。

“Speed”：当想要为网络配置自动设定一个适当的通信速度时，选择“Auto”。还可手动选择“10Mbps Half”、“10Mbps Full”、“100Mbps Half”或“100Mbps Full”之一。

“Execute”：选择“OK”，然后按 \oplus 。通信速度即被设定。

注


如果未安装带网络功能的选购适配器，则“IP Address Setup”和“Speed Setup”无效。

故障排除

检查 POWER/STANDBY 指示灯是否以红色闪烁。

闪烁时

自检功能启用。

- 1 检查 POWER/STANDBY 指示闪烁的次数和停止闪烁的时间长度。
例如，指示灯闪烁 2 次，停止闪烁 3 秒，然后再闪烁 2 次。
- 2 按显示器（顶部）上的  将其关闭，断开电源线的连接。
将指示灯闪烁的方式（闪烁次数和点亮的持续时间）告知您的经销商或 Sony 服务中心。

不闪烁时

- 1 检查下表中的项目。
- 2 如果问题仍然存在，请将显示器交给有资格的专业人员进行维修。

问题	可能的解决方法
显示器上的电源开关和控制键不工作。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查“Control Setting”（第 29 页）。
没有图像。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查“ECO Mode”设定（第 28 页）。
没有图像。	<ul style="list-style-type: none"> • 检测“Timer Setting”是否已启用（第 28 页）。
显示器自动关闭。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查视频装置和显示器之间的连接。 • 用显示器的 INPUT 键或遥控器尝试切换输入（第 7、12、13 页）。
某些视频源没有图像传过来。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查信号电缆是否完好无损。
图像质量差。	<ul style="list-style-type: none"> • 按 PICTURE 选择想要的“Picture Mode”（第 12 页）。 • 调节“Picture”设定中的“Picture Mode”选项（第 21 页）。 • 检查信号电缆是否完好无损。
无彩色 / 图像暗 / 图像太亮 / 色彩不正确	<ul style="list-style-type: none"> • 按 PICTURE 选择想要的“Picture Mode”（第 12 页）。 • 调节“Picture”设定中的“Picture Mode”选项（第 21 页）。 • 检查信号电缆是否完好无损。
无声音 / 声音嘈杂。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查音量控制。 • 按遥控器上的  或  + 使“Muting”（消音）从屏幕上消失（第 13 页）。 • 检查“Common Audio Sel.”设定（第 23 页）。 • 检查“Speaker Out”设定（第 23 页）。
“Wide Mode”设定自动改变。	<ul style="list-style-type: none"> • 如果“Screen”设定中的“Auto Wide”被设定为“On”，则当前的“Wide Mode”设定自动改变为适合于当前输入的设置。若要在输入改变后保留当前的“Wide Mode”被设定，请将“Screen”设定中的“Auto Wide”设定为“Off”（第 24 页）。
遥控器无法操作。	<ul style="list-style-type: none"> • 检查电池的极性或更换电池。 • 将遥控器指向显示器上的遥控传感器。 • 保持遥控传感器区域无障碍物阻挡。 • 检查“Control Setting”（第 29 页）。 • 检查电缆是否连接至 CONTROL S IN 连接器。在显示器经由 CONTROL S 连接进行控制时，遥控器无法使用。 • 荧光灯会干扰遥控器操作；尝试关闭荧光灯。

输入信号参照表

电脑信号

	分辨率	水平频率 (kHz)	垂直频率 (Hz)
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5	60
3	Mac ^{c)} 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
11	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29.8	60
12	848 × 480@60 Hz (VESA STD)	29.5	60
13	848 × 480@75 Hz	37.7	75
14	1280 × 768@60 Hz	47.8	60
15	1280 × 768@60 Hz	47.4	60
16	1360 × 768@60 Hz	47.7	60
17	1360 × 768@60 Hz	47.4	60

电视 / 视频信号

	分辨率	可用输入		
		视频	分量 /RGB	HDMI
1	480/60i	○	○	○
2	480/60p		○	○
3	575/50i	○	○	○
4	576/50p		○	○
5	720/50p		○	○
6	720/60p		○	○
7	1080/50i		○	○
8	1080/60i		○	○
9	1080/50p			○
10	1080/60p			○

a) VGA 是美国 International Business Machines Corporation 的注册商标。

b) VESA 是 Video Electronics Standards Association 的注册商标。

c) Mac (Macintosh) 是 Apple Computer, Inc. 的注册商标。

注

- 对于HDTV信号,将3级同步信号输入至HD15连接器上的RGB/COMPONENT (D-sub 15 芯)的第二引脚或BKM-FW12 (选购适配器)。
- 如果将DVD信号输入至显示器后色彩显得太淡,可调整“Picture”设定中的“Color”。
- 如果相位经过了调整,则分辨率将会降低。

输入信号和显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	意义
640 × 480/60 (例)	所选择的输入信号为电脑信号。
480/60I (例)	所选择的输入信号为分量视频。
NTSC (例)	所选择的输入信号为 NTSC。
Not Supported Signal	所选的输入信号为不支持的信号。
No Signal	无输入信号。
HD15	所选择的输入信号为 HD15。
HDMI 1	所选择的输入信号为 HDMI 1。
HDMI 2	所选择的输入信号为 HDMI 2。
Option 1	所选择的输入信号为 OPTION 1。
Option 2	所选择的输入信号为 OPTION 2。

规格

视频处理

面板系统	a-Si TFT 有效矩阵液晶显示屏
显示分辨率	1366 点 (水平) × 768 线 (垂直)
采样率	13.5 MHz 至 140 MHz
色彩制式	NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N
输入信号	请参阅第 32 页。

FWD-40LX2F/40LX2X:

像素间距	0.648 (水平) × 0.648 (垂直) mm
图像尺寸	885 (水平) × 498 (垂直) mm
面板尺寸	40 英寸 (对角 1016 mm)

FWD-32LX2F/32LX2X:

像素间距	0.510 (水平) × 0.510 (垂直) mm
图像尺寸	698 (水平) × 392 (垂直) mm
面板尺寸	32 英寸 (对角 801 mm)

输入和输出

HD15 (RGB/COMPONENT IN)

D-sub 15 芯 (阴性) (× 1)
(请参阅第 34 页。)

AUDIO (COMMON AUDIO IN)

立体声微型插孔 (× 1)
500 mVrms, 高阻抗

HDMI 1/HDMI 2 IN

HDMI (符合 HDMI 规格 1.1)

视频输入适配器 BKM-FW10

VIDEO IN	BNC (× 1) 复合视频, 1 Vp-p ± 2 dB 同步负, 75 欧姆 (自动终端)
VIDEO OUT	BNC (× 1) 环通
S VIDEO IN	微型 DIN 4 芯 (× 1) Y (亮度): 1 Vp-p ± 2 dB 同步负, 75 欧姆终端 C (色度): 脉冲 0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75 欧姆终端 脉冲 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75 欧姆终端
S VIDEO OUT	微型 DIN 4 芯 (× 1) 环通
AUDIO IN	针式插孔 (× 2) 500 mVrms, 高阻抗

显示器控制适配器 BKM-FW20

REMOTE (RS-232C)	D-sub 9 芯 (× 1)
CONTROL S IN/OUT	微型插孔 (× 2)

总体

电源要求	100 V 至 240 V 交流, 50/60 Hz, FWD-40LX2F/40LX2X: 2.3 A FWD-32LX2F/32LX2X: 1.3 A
功率消耗	FWD-40LX2F/40LX2X: 200 W FWD-32LX2F/32LX2X: 120 W
扬声器输出	7 W + 7 W (6 欧姆) 安全负载阻抗, 6 - 16 欧姆
工作条件	温度: 0 °C 至 35 °C 湿度: 20% 至 90% (无湿气凝结)
储存 / 搬运条件	温度: -10 °C 至 +40 °C 湿度: 20% 至 90% (无湿气凝结)

尺寸 FWD-40LX2F:
988 × 591 × 125 mm
FWD-40LX2X:
994 × 597 × 125 mm
FWD-32LX2F:
796 × 486 × 107 mm
FWD-32LX2X:
802 × 492 × 107 mm
(宽 / 高 / 厚, 不包括突出部分)

重量 FWD-40LX2F: 约 25.0 kg
FWD-40LX2X: 约 26.0 kg
FWD-32LX2F: 约 16.0 kg
FWD-32LX2X: 约 17.0 kg

附件 交流电源线 (1)
交流电源插头固定器 (2)
电缆夹 40 英寸类型 (4),
32 英寸类型 (6)
分量视频信号电缆
(HD15 - RCA × 3) (1)
BNC-RCA 适配器 (1)
遥控器 RM-FW001 (1)
AA 尺寸 (R6) 电池 (2)
使用说明书 (1)

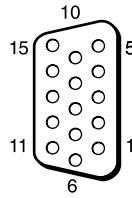
选购件 显示器支架 SU-42FW/32FW
扬声器 SS-SP40FW/32FW
用于系统扩展的选购适配器,
BKM-FW 系列

安全规则 UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-
UL), FCC Class B, IC Class B, EN
60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

设计和规格若要变更, 恕不另行通知。

管脚配置

HD15 (RGB/COMPONENT) 连接器 (D-sub 15 芯)



管脚编号	信号
1	红色视频或 C _R /P _R
2	绿色视频或 Y
3	蓝色视频或 C _B /P _B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步或复合视频
14	V 同步
15	SCL

注

当输入分量信号时, 切勿将同步信号输入到管脚 13 和 14。否则, 可能无法正确显示图像。

索引

数字

4:3 14, 24, 25

4:3 Default (4:3 预设屏显模式) 20, 25

A

AC IN 插座 11, 17

Advanced Setup (高级设定) 20, 29

All Reset (全部预设) 20, 29

AUDIO (COMMON AUDIO IN) 连接器 8

AUDIO IN L/R 连接器 9

Auto Adjustment (自动调节) 20, 27

Auto Shut Off (自动关闭) 20, 28

Auto Wide (自动屏显模式) 20, 24

B

Balance (平衡) 19, 23

Bass (低音) 19, 23

Brightness (亮度) 19, 21, 22

C

CineMotion (电影) 19, 21

Clock Display 28

Clock Set 28

Color System 29

Color Temp. (色温) 19, 21, 22

Color (颜色) 19, 21

Common Audio Sel. (通用音频选择) 19, 23

Control Mode 29

CONTROL S IN/OUT 连接器 9

Control Setting 29

Custom 21, 22, 23

D

DHCP 30

电缆仓盖 (侧面) 8, 18

电缆仓盖 (底部) 18

电缆夹 18

Display Area (显示区域) 20, 25

DISPLAY 键 13

对比度键 13

Dynamic 23

E

ECO 键 13, 16

ECO Mode (经济模式) 16, 20, 28

F

Full 14, 24, 25

Full 1/Full 2 14, 27

H

HD15 键 13

HD15 (RGB/COMPONENT IN) 连接器 8

HDMI 1/HDMI 2 IN 连接器 8

HDMI 1/HDMI 2 键 12

Horizontal Shift (水平位置调节) 20, 25, 27

Hue (色调) 19, 21

I

ID MODE 键 13, 16

Illumination 29

Index Number (索引号码) 13, 16, 29

Information (信息) 20, 29

INPUT 键 7

IP Address Setup (IP 地址设定) 20, 30

L

Language (语言) 20, 28

LED 26

M

Manual (IP Address Setup) 30

MENU 键 7, 12

MONITOR CONTROL ADAPTOR (显示器控制适配器) 9

Multi Display (多项显示设定) 20, 26, 27

N

Noise Reduction (降噪) 19, 21

Normal 14, 25, 27

O

On/Off Timer 28

OPTION 1/OPTION 2 插槽 9, 10

OPTION 1/OPTION 2 键 13

Output Format 26

P

PAP 键 12, 15

PAP Setting (双画面设定) 15, 20, 25, 27

PAP Size 25

Phase (相位) 20, 27

Picture (对比度) 19, 21, 22

PICTURE 键 12

Picture Mode (图像模式) 19, 21, 22

Picture Mode Reset (图像模式预设) 19, 21, 22

Picture 设定 19, 21

Pitch (像素频率调节) 20, 27

Position 26

POWER 开关 7

POWER ON 开关 12

POWER/STANDBY 指示灯 7

R

Remote Index 29

REMOTE 连接器 9

Reset (初始化) 20, 25, 27

S

S VIDEO IN/OUT 连接器 9

Screen 设定 20, 24

Setup 设定 20, 28

Sharpness (锐度) 19, 21

输入信号 32

Sony 标志 7, 29

SOUND 键 12

Sound Mode (声音模式) 19, 23

Sound Mode Reset (声音模式预设) 19, 23

Sound 设定 19, 23

SPEAKER 插座 11

Speaker Out (扬声器输出) 19, 23

Speed Setup (速度设定) 20, 30

SRS WOW 23

Standard 21, 22, 23

STANDBY 键 13

Status Display 29

Swap 25

T

TC Control 21, 22

Tiles 26

Timer Setting (定时器设定) 20, 28

Treble (高音) 19, 23

True Color Control 19, 22

V

Vertical Shift (垂直位置调节) 20, 25, 27

Vertical Size (宽荧幕垂直高度调节) 20, 25

VIDEO IN/OUT 连接器 9

VIDEO INPUT ADAPTOR (视频输入适配器) 9, 10

Vivid 21, 22

W

Wide Mode (屏显模式) 14, 20, 24, 27

Wide Mode 键 12, 14

Wide Zoom 14, 24, 25

Window 26

X

消音键 13

Y

遥控传感器 7

音量键 7, 13

Z

支架安装挂钩 11

Zoom 14, 24